秋田県文化財調査報告書第229集

# 曲田地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ

## ――家ノ後遺跡――

1992・12

# 曲田地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ

## ――家ノ後遺跡（いえのうしろ）――

1992・12

# 序

本県には、先人の遺産である埋蔵文化財が数多く残されています。この埋蔵文化財を保護し、後世に伝えてゆくことは、私たちの務めであります。

このたび、曲田地区農免農道整備事業で路線の一部が、家ノ後遺跡を通過することになりました。このため本教育委員会は、工事に先立って道路工事にかかる部分の遺跡の発掘調査を実施いたしました。

調査の結果、縄文時代の土壙墓や粘土採掘坑などを検出し、捨て場からは多くの土器・石器などが出土し、当時の生活の一端を明らかにすることができました。

本報告書は、これらの調査成果をまとめたものであります。本書が埋蔵文化財の保護のために広く活用され、同時に郷土の歴史資料として役立てば幸いです。

最後になりましたが、本調査の実施並びに本報告書の刊行に当たり御援助、御協力をいただきました秋田県農政部、北秋田農林事務所、大館市教育委員会、比内町教育委員会をはじめ関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成４年12月１日

秋田県教育委員会
教育長　橋　本　顕　信

# 例　言

1. 本報告書は、曲田地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書の２冊目の報告書である。
2. 本報告書は平成３年度に調査した大館市所在の家ノ後遺跡の調査結果を収めたものである。
3. 本書の執筆は、第４章第１節基本層序、第２節と第４節の土器・土製品、第６章の土器・土製品は柴田 陽一郎が、それ以外を谷地 薫が行い、小山内透、藤岡光男、石川真一の協力を得た。
3. 出土土器の胎土と土坑底面から採取した粘土の分析は秋田大学鉱山学部高島勲教授にお願いし、結果について玉稿をいただいた。
4. 発掘調査および遺物整理にあたって、下記の方々からご指導・ご助言を賜った。記して感謝の意を表する次第である。（敬称略、五十音順）

秋本信夫　板橋範芳　及川良彦　可児通宏　上條朝宏　工藤利幸　酒井重洋　鈴鹿良一
高橋與右衛門　館野 孝　千田和文　能登谷宣康　林 謙作　藤井安正　八木光則

# 凡　例

1. 各遺構に付している略記号は以下のとおりである。

ＳＩ（竪穴住居跡）　ＳＫ（土坑）　ＳＤ（溝状遺構）　ＳＮ（焼土遺構）　ＳＸ（性格不明遺構）

2. 遺構の番号は検出順に通し番号とした。精査段階で欠番となったものもある。
3. 土色の表記は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修　財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』に拠った。
4. 挿図中の遺物実測図と拓本は土器・土製品と石器類に分け、それぞれ通し番号とした。石器類の番号にはＳを付した。図版中の遺物もそれにしたがった。
5. 石器観察表中の単位は、長さ、幅、厚さがcm、重さがｇである。
6. 文章中および表中の法量の推定値は（　）で表示した。
7. 石器実測図の１点鎖線は、破断面を表している。
8. 挿図中のスクリーン・トーン、シンボルマークは以下のように使い分けた。これ以外のスクリーン・トーン、シンボルマークは各図中に凡例を示した。

| | | |
|---|---|---|
| 焼土 | 粘土 | ● 土器 |
| ベンガラ | 石器の磨面 | ▲ 石器 |
| アスファルト | 撹乱・石器の新しいキズ | |

# 目　　次

序
例言・凡例
目次・表目次・図版目次
第１章　はじめに …… 1
　第１節　調査に至るまで …… 1
　第２節　調査の組織と構成 …… 1
第２章　遺跡の立地と環境 …… 2
　第１節　遺跡周辺の地形・地質 …… 2
　第２節　歴史的環境 …… 3
第３章　発掘調査の概要 …… 9
　第１節　遺跡の概観 …… 9
　第２節　調査の方法 …… 9
　第３節　調査の経過 …… 10
第４章　調査の記録 …… 15
　第１節　基本層序 …… 15
　第２節　遺物の分類基準 …… 19
　　1　土器・土製品 …… 19
　　2　石器類 …… 27
　第３節　検出遺構と遺物 …… 31
　　1　竪穴住居跡 …… 31
　　2　土坑 …… 45
　　3　溝状遺構 …… 94
　　4　焼土遺構 …… 107
　　5　性格不明遺構 …… 112
　第４節　遺構外出土遺物 …… 128
　　1　捨て場出土遺物 …… 128
　　2　表土及び捨て場以外出土遺物 …… 201
第５章　自然科学的分析 …… 229
　第１節　粘土及び胎土の化学分析結果 …… 229
　第２節　家ノ後遺跡から産出した花粉化石 …… 232
　第３節　家ノ後遺跡より産出した大型植物化石 …… 238
　第４節　土器内低部から産出した植物遺体 …… 240
　第５節　放射性炭素年代測定 …… 241
第６章　まとめ …… 242
図版

# 表　目　次

第１表　周辺遺跡一覧表 …… 6
第２表　Ｂ類土坑遺物出土状況一覧表 …… 50
第３表　Ｂ類土坑の推定頭位方向一覧表 …… 51
第４表　層位別器種別石器類出土数一覧表 …… 133
第５表　分類別石器出土数表 …… 134
第６表　捨て場２　層別土器組成表 …… 140
第７表　石器観察表（１）　磨石① …… 221
第８表　石器観察表（２）　磨石② …… 222
第９表　石器観察表（３）　磨石③ …… 223
第10表　石器観察表（４）　磨石④　凹石① 224
第11表　石器観察表（５）　凹石② …… 225
第12表　石器観察表（６）　凹石③
　　円盤状石製品① 226
第13表　石器観察表（７）　円盤状石製品② …… 227
第14表　石器観察表（８）　円盤状石製品③ …… 228
第15表　家ノ後遺跡自然科学的分析一覧 …… 230
第16表　Ｘ線マイクロアナライザーによる土器及び原土の化学分析結果 …… 230
第17表　原土（試料番号１～３）から石英20％を差し引いて再計算した化学分析値 …… 230
第18表　家ノ後遺跡から出土した花粉化石の組成表 …… 236
第19表　家ノ後遺跡より産出した大型植物化石一覧表 …… 238

# 図　版　目　次


図版１　１　遺跡遠景　道目木スキー場から（南→北）
　　２　遺跡遠景　道目木スキー場から（南→北）
　　３　遺跡近景　旧国道103号から（南西→北東）
　　４　遺跡近景　（南東→北西）
　　５　段丘堆積物各層（西→東）
図版２　１　調査区中央部のＢ類土坑群（東→西）
　　２　調査区東側　調査前（西→東）
　　３　調査区東側のＡ類土坑群（西→東）
　　４　調査区西側　調査前（東→西）
　　５　調査区西側のＥ類土坑群（東→西）
図版３　１　ＳＩ95Ａ竪穴住居跡（南→北）
　　２　ＳＩ95Ａ竪穴住居跡（北→南）
　　３　ＳＩ95Ｂ竪穴住居跡断面土層（西→東）
　　４　ＳＩ113竪穴住居跡（北→南）
　　５　ＳＤ138溝状遺構（西→東）
　　６　ＳＮ129焼土遺構断面土層（西→東）
　　７　ＳＸ62性格不明遺構遺物出土状況（北→南）
　　８　ＳＸ107性格不明遺構遺物出土状況（北→南）
図版４　１　ＳＫ01土坑土器出土状況（南西→北東）
　　２　ＳＫ01土坑小型土器出土状況（南→北）
　　３　ＳＫ11土坑土器出土状況（北→南）
　　４　ＳＫ15土坑断面土層（西→東）
　　５　ＳＫ32土坑（南東→北東）
　　６　ＳＫ35土坑（北→南）
　　７　ＳＫ44土坑（北東→南西）
　　８　調査区東側のＡ類土坑群（南東→北西）
図版５　１　ＳＫ36・37・38・39・54土坑（北→南）
　　２　ＳＫ37土坑石製品出土状況（西→東）
　　３　ＳＫ49土坑（南→北）
　　４　ＳＫ53土坑（北西→南東）
　　５　ＳＫ55土坑（南西→北東）
図版６　１　ＳＫ56土坑（粘土採掘坑）（西→東）
　　２　ＳＫ56土坑（粘土採掘坑）（東→西）
図版７　１　ＳＫ56土坑からかき出されていた粘土塊（西→東）
　　２　ＳＫ56土坑中央部（南西→北東）
　　３　ＳＫ56土坑底面の粘土層（南→北）
　　４　ＳＫ56土坑底面の土器出土状況（北→南）
　　５　ＳＫ56土坑調査風景（東→西）
図版８　１　ＳＫ58土坑（西→東）
　　２　ＳＫ58土坑断面土層（西→東）
　　３　ＳＫ58土坑（北→南）
　　４　ＳＫ59土坑断面土層（西→東）
　　５　ＳＫ59土坑炭化材出土状況（南→北）
　　６　ＳＫ59土坑底面の粘土層（南→北）
　　７　ＳＫ61土坑断面土層（西→東）
　　８　ＳＫ61土坑底面の粘土層（南→北）
図版９　１　ＳＫ63土坑遺物出土状況（南西→北東）
　　２　ＳＫ64土坑遺物出土状況（北→南）
　　３　ＳＫ66・67土坑精査状況（南西→北東）
　　４　ＳＫ66土坑（南→北）
　　５　ＳＫ67土坑（南→北）
　　６　ＳＫ68土坑（南→北）
　　７　ＳＫ71土坑（北→南）
　　８　ＳＫ71土坑遺物出土状況（北西→南東）
図版10　１　ＳＫ71土坑遺物出土状況（南東→北西）
　　２　ＳＫ71土坑遺物出土状況（南→北）
　　３　ＳＫ89土坑（北→南）
　　４　ＳＫ89土坑遺物出土状況（南→北）
　　５　ＳＫ99土坑遺物出土状況（西→東）
　　６　ＳＫ109土坑遺物出土状況（東→西）
　　７　ＳＫ109土坑　鉢の中の土器（南東→北西）
　　８　ＳＫ119土坑断面土層（西→東）
図版11　１　沢（ＮＲ51グリッド）断面土層（南→北）
　　２　沢（ＮＱ49グリッド）断面土層（南→北）
　　３　捨て場２（ＮＯライン）上部の土層（南西→北東）
　　４　捨て場２（ＮＯライン）下部の土層（南西→北東）
　　５　捨て場２（５層）遺物出土状況（東→西）
　　６　捨て場２（５層）遺物出土状況（南→北）
　　７　作業風景（南→北）
　　８　台風19号で倒壊したプレハブハウス（南東→北西）
図版12　家ノ後遺跡出土土器（１）
図版13　家ノ後遺跡出土土器（２）
図版14　家ノ後遺跡から産出した花粉化石（１）
図版15　家ノ後遺跡から産出した花粉化石（２）
図版16　家ノ後遺跡から産出した花粉化石（３）
図版17　家ノ後遺跡の大型植物化石
図版18　試料№10の表面写真と灰像写真
図版19　試料№11の断面写真と灰像写真
図版20　試料№12の表面写真と灰像写真

# 第１章 はじめに

## 第１節　発掘調査に至るまで

曲田地区農免農道は、大館市曲田・中山両地区の農業合理化を目的とした曲田字沢口から中山字兎沢に至る全長3.3kmの道路である。

本農道の計画路線内には埋蔵文化財が包蔵されている可能性があることから、県農政部北秋田農林事務所は、文化財保護法に基づき秋田県教育委員会に遺跡調査の依頼を行った。秋田県教育委員会はこれを受けて、平成元年度に計画路線内の遺跡分布調査を行い、路線内に係る周知の遺跡を１箇所確認した。さらに平成２年度に試掘調査可能な地点について分布調査を行い、新たに家ノ後遺跡と上聖遺跡の２遺跡を発見した。

この遺跡分布調査の結果を受けて、平成２年度には家ノ後遺跡と上聖遺跡の範囲確認調査を実施し、両遺跡の範囲内を計画路線が通ることが明らかになった。これらの遺跡の保存について、秋田県教育委員会は原因者と協議の結果、記録保存の措置をとることで合意し、平成３年５月13日～６月８日に上聖遺跡、同６月10日～11月15日に家ノ後遺跡の発掘調査を実施した。

## 第２節　調査の組織と構成

| | |
|---|---|
| 所　在　地 | 秋田県大館市曲田字家ノ後96－２外 |
| 調査期間 | 平成３年６月10日～平成３年11月15日 |
| 調査面積 | 2,800㎡ |
| 調査主体者 | 秋田県教育委員会 |
| 調査担当者 | 谷地　　薫　（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事） |
| | 柴田　陽一郎（秋田県埋蔵文化財センター文化財主任） |
| 総務担当 | 佐田　　茂　（秋田県埋蔵文化財センター主査）<br>（現　秋田県立農業科学館主査） |
| | 皆川　　清　（秋田県埋蔵文化財センター主査） |
| | 佐々木　真　（秋田県埋蔵文化財センター主任） |
| 調査協力機関 | 秋田県北秋田農林事務所 |
| | 大館市教育委員会 |
| | 比内町教育委員会 |

# 第２章　遺跡の立地と環境

## 第１節　遺跡周辺の地形・地質

家ノ後遺跡が存在する大館市は秋田県の北東部に位置し、東は鹿角郡小坂町と鹿角市、南は北秋田郡比内町、南西は北秋田郡鷹巣町、西は北秋田郡田代町に接し、北縁は青森県との県境となっている。市域は大きくは標高200～800ｍ前後の山地と標高40～100ｍの盆地とから成る。前者はいわゆる出羽山地の一部で、北西側に白神山地、東側に高森山地、南西側に摩当山地が存在する。後者は断層による陥没盆地で、内部には米代川・長木川・下内川・犀川等の河川が存在し、これらの河川の営力によって大館段丘地や低地が形成されている。

家ノ後遺跡は大館市南部の河岸段丘上にある。大館盆地周縁には米代川とその支流によって形成された段丘が発達し、高位から第１段丘～第５段丘に区分されている。遺跡は中位の第３段丘上に立地する。この段丘面は関上段丘とも呼ばれ、構成層は鳥越軽石質火山灰層の河成二次堆積物である。遺跡周辺の段丘や低地の基盤層は第４紀の未固結堆積物である。調査区内の東側では、風化した花崗岩の大礫を主体とする礫層の上に、層厚20～50㎝の小礫層・粗砂層・粘土層が間に入るシルト層が３～５ｍ水平に堆積し、その上を厚さ１～２ｍの黄褐色火山灰土が覆う。礫層とシルト層は不整合で、著しい凹凸がある。シルト層中の粘土層は不透水層で、粘土層の上面には著しい鉄分の沈着がみられる。また、粘土層中にも鉄分の小粒が含まれている。調査区西側では礫層を覆う土の主体がシルトではなく砂層となる。間に薄い粘土層とシルト層をはさんで、粗砂層、細砂層の互層が３～４ｍ堆積し、その上を黄褐色火山灰土が覆っている。

遺跡北方及び南方の山地は主に新第３紀の大滝層と大葛層及び火山性貫入岩類からなる。☆片石器の原料となる頁岩が含まれるのは大滝層である。大滝層は油田地域の女川層に酷似し、硬質泥岩と浮石凝灰岩との互層をなして遺跡北方の高森山地に広く分布している。

遺跡の西側では北方の鞍掛山（標高484.4ｍ）東麓から高森山地を下刻して南流する数本の侵食谷が、段丘を開析して南側の十二所先行谷低地へ流れ込んでいる。遺跡の占地する段丘面は、この侵食谷によって西側を区切られ、西側の侵食谷にはさらに東西方向の小枝谷が入り、西に向かって張り出す舌状台地となっている。舌状台地は南北約70ｍ、東西約250ｍで、中央部の標高は91～92ｍ、台地上と南側の段丘崖下の沖積地との比高差は約15ｍである。

遺跡の西側の侵食谷は、沖積地への出口でせき止められて溜池となっており、通称「ダイガクツツミ」と呼ばれている。この溜池をつくる際の土取り跡が調査区西端部に残っている。舌状台地の付け根にあたる東側は若干高い。調査区内の台地上はほぼ平坦である。南側の段丘崖

は急傾斜で、表土があまり発達せず、斜面の下部では礫層が露出している地点もみられる。

参考文献

秋田県　『秋田県総合地質図幅　大館』　1973(昭和48年)

秋田県農政部農地整備課　『土地分類基本調査　大館』　1986(昭和61年)

## 第２節　歴史的環境

今回の家ノ後遺跡の調査では縄文時代前期、中期、後期、晩期の土器が出土し、縄文時代晩期の竪穴住居跡と土坑、焼土遺構、溝状遺構などを検出した。ここでは、家ノ後遺跡の周辺にあって発掘調査され、類似した様相を呈する縄文時代の遺跡を中心に概観する。古代、中世の遺跡については『大館市史』第一巻を参照されたい。なお、文中（　）内の数字・記号は第１図、第１表と対応し、文献⑯に拠っている。

大館市と比内町には合計164箇所の遺跡が知られている。家ノ後遺跡周辺の縄文時代の遺跡は第１図の範囲で25箇所で、家ノ後遺跡（Ｂ）を含めて13箇所が発掘調査されている。いずれも米代川と犀川が形成した河岸段丘や低丘陵地などの、沖積地を見下ろす高台に立地する。

縄文時代早期の土器は、家ノ後遺跡の北西3.8kmの山館上ノ山遺跡（4-71）、東1.4kmの蔦ケ長根Ⅳ遺跡（4-123）、南西2.3kmの横沢遺跡（12-13）で出土している。いずれも貝殻沈線文系の土器である。山館上ノ山遺跡は前期から中期の集落跡で、地点を換えながら円筒下層ａ式期から円筒上層ｂ式期までの竪穴住居跡が検出された。前期の捨て場からは膨大な量の遺物が出土したが、茂屋下岱式土器群の編年的位置付けが明確でないこともあって前期前葉の土器の様相は不明な点が多い。円筒下層式土器群は、他の多くの遺跡からも出土しているが、それ以前の前期前葉の土器は蔦ケ長根Ⅳ遺跡と上聖遺跡で、早期末から前期初頭らしい土器が少数出土しているにすぎない。

中期前葉までは山館上ノ山遺跡や家ノ後遺跡の北西2.2kmの本道端遺跡（12-19）にみられるように集落が形成されたことがわかるが、中期中葉の住居跡は検出されていない。円筒上層ｃ～ｅ式土器の出土も比較的少ないが、このころから大木系土器の出土例が増加する。大木8a式、8b式土器は横沢遺跡、本道端遺跡などで出土している。横沢遺跡ではさらに中期後葉の住居跡が検出されている。大木９式土器、中の平Ⅲ式土器は本道端遺跡や山館上ノ山遺跡などでも出土している。家ノ後遺跡ではわずかながら大木10式並行期の土器が出土した。大木10式並行期から後期初頭にかけての遺跡は隣接する上聖遺跡のほか、本道端遺跡があり、発掘調査によって集落跡であることが明らかにされている。

後期前葉では、家ノ後遺跡の南3.5kmの大日堂前遺跡（12-7）、東2.7kmの萩峠遺跡（4-81）、

山館上ノ山遺跡などがあり、発掘調査により集落跡であることが明らかにされている。これらの遺跡や蔦ケ長根Ⅳ遺跡、上聖遺跡では袋状土坑を含む土坑群が検出されている。

家ノ後遺跡の遺構、遺物の主体は晩期である。発掘調査によって晩期の土器が出土し、住居跡や土坑群が検出された遺跡には蔦ケ長根Ⅲ遺跡（4-122）、山館上ノ山遺跡がある。家ノ後遺跡では、これらの遺跡からの出土遺物量をはるかに上回る量の遺物も出土し、晩期の周辺遺跡と比較して特に目立つ存在である。

家ノ後遺跡調査区の主な性格は晩期の墓域と考えられる。米代川流域には、後・晩期の墓域と考えられる著名な遺跡が多い。上流域では、後期に属する国の特別史跡大湯環状列石及び大湯環状列石周辺遺跡（鹿角市）、高屋館跡（鹿角市）、小坂環状列石（小坂町）、晩期の玉内遺跡（鹿角市）、中流域では晩期の山館上ノ山遺跡（大館市）、矢石館遺跡（田代町）、藤株遺跡（鷹巣町）、下流域では晩期の柏子所貝塚（能代市）などがある。これらの他、前期～中期の配石墓が数多く検出された狐岱遺跡（森吉町）もある。狐岱遺跡では、多数の竪穴住居跡も検出され、墓域と集落が近接しているが、他の遺跡では集落と墓域が分離する傾向がうかがえる。また、墓域の様相は後期においては大湯環状列石にみられるように、配石を伴う墓壙が環状に配列され、墓域を共通する集団の強い規制を推測させる。晩期では、土壙墓が多くなり、重複する墓壙も多い。

家ノ後遺跡調査区の土壙墓群は、出土土器から晩期前葉と考えられる。同じ頃、配石墓が主体の玉内遺跡、石棺墓主体の矢石館遺跡と土壙墓主体の藤株遺跡、山館上ノ山遺跡、柏子所貝塚が営まれており、家ノ後遺跡調査区は後者の系列に含まれる。今後、配石墓や石棺墓と土壙墓の違い、地域による違い等を明らかにし、葬制の変遷をたどろうとするとき、今回の家ノ後遺跡調査区も晩期の墓域の代表的な例のひとつとして、研究の対象となろう。

ところで家ノ後遺跡と隣接する上聖遺跡のある舌状台地の西方には、東西1.5km、南北約500m、標高85m～92mの台地が広がっている。この台地は、南北方向に延びる中山沢の沖積地への出口付近から東に入る３本の沢によって区切られ、東から西に延びる細長い舌状台地が３列連なる地形となっており、周知の７遺跡が存在する。これらの遺跡はいずれも未発掘であるが、遺跡の内容が明らかになれば、十二所から山館に至る米代川右岸の河岸段丘や低丘陵地に立地する遺跡が、地理的にほぼ連続して解明されることになり、当該地域の縄文時代の様相がより明確になるものと考えられる。曲田地区農免農道の路線は最も北側の舌状台地（冷水山根台地）を通る計画であり、今後埋蔵文化財の保護に留意した対応が必要である。

註　山館上ノ山遺跡は合計７回の発掘調査が行われ、様々な遺跡名で報告されている（文献②③⑤⑪⑫⑬⑭⑯）。本書は最近の大館市教育委員会による詳細分布調査（文献⑬）及び秋田県教育委員会作成の遺跡地図（文献⑯）に拠った。

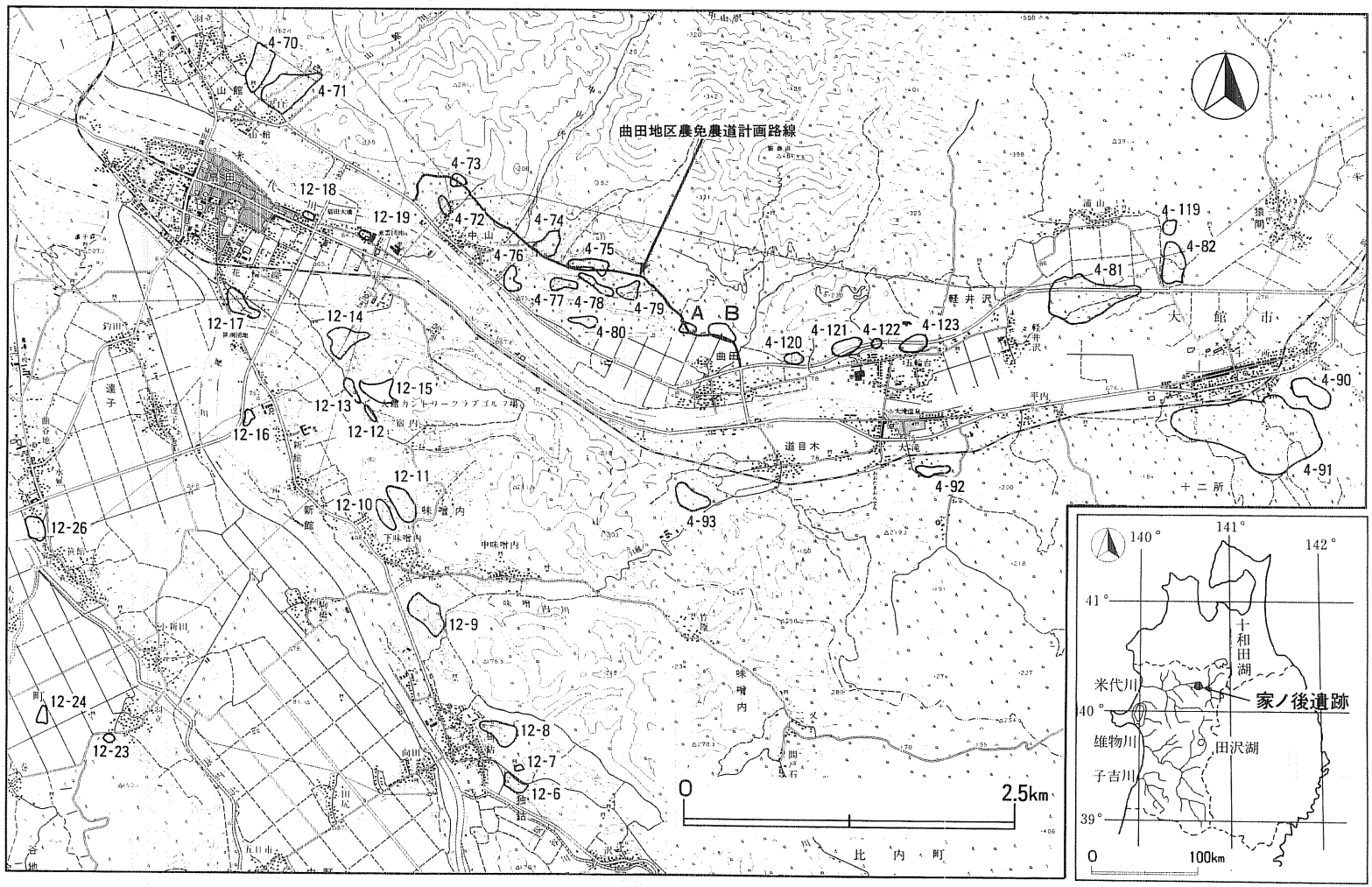
参考文献

①比内町教育委員会　『真館緊急調査報告書』　1973（昭和48年）
②大館市教育委員会　『大館市山館「上ノ山遺跡」発掘調査報告書』大館市史編さん調査資料第15集　1975（昭和50年）
③秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図』　1976（昭和51年）
④比内町教育委員会　『谷地中「館」遺跡発掘調査報告書』　1978（昭和53年）
⑤大館市史編さん委員会　『大館市史』第一巻　1979（昭和54年）
⑥秋田県教育委員会　『国道103号線バイパス工事関係遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第84集　1981（昭和56年）
⑦秋田県教育委員会　『秋田県の中世城館』秋田県文化財調査報告書第86集　1981（昭和56年）
⑧比内町教育委員会　『大日堂前遺跡発掘調査報告書』　1982（昭和57年）
⑨比内町教育委員会　『比内町埋蔵文化財調査報告書　本道端遺跡』　1986（昭和61年）
⑩秋田県教育委員会　『味噌内農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－袖ノ沢遺跡・横沢遺跡－』秋田県文化財調査報告書第169集　1988（昭和63年）
⑪秋田県教育委員会　『国道103号大館南バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－上ノ山Ⅰ遺跡・上ノ山Ⅱ遺跡－』秋田県文化財調査報告書第173集　1988（昭和63年）
⑫秋田県教育委員会　『国道103号道路改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－上ノ山Ⅱ遺跡第２次調査－』秋田県文化財調査報告書第193集　1990（平成２年）
⑬大館市教育委員会　『秋田県大館市遺跡詳細分布調査報告書』　1990（平成２年）
⑭秋田県教育委員会　『国道103号道路改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－上ノ山Ⅰ遺跡第２次調査－』秋田県文化財調査報告書第211集　1991（平成３年）
⑮秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』秋田県文化財調査報告書第217集　1991(平成３年)
⑯秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図（県北版）』　1991（平成３年）
⑰文化財保護委員会　『大湯町環状列石』1953(昭和28年)
⑱鹿角市教育委員会　『大湯環状列石周辺遺跡発掘調査報告書(１)～(８)』鹿角市文化財調査資料29・31・32・33・35・38・42・43　1985～1992（昭和60～平成４年）
⑲秋田県教育委員会　『西山農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ－高屋館跡－』秋田県文化財調査報告書第198集　1990(平成２年)
⑳小坂町環状列石調査団　『小坂環状列石墳墓』　1969（昭和44年）
㉑秋田県教育委員会　『玉内遺跡発掘調査報告書－国道282号改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査－』秋田県文化財調査報告書第171集　1988(昭和63年)
㉒奥山潤　「縄文晩期の組石棺」　考古學雑誌第40巻2号　日本考古學会　1953(昭和28年)
㉓秋田県教育委員会　『藤株遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第85集　1981(昭和56年)
㉔能代市教育委員会　『柏子所貝塚発掘調査報告書』　1972(昭和47年)
㉕秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』秋田県文化財調査報告書第201集　1990(平成２年)
㉖大野憲司　「狐岱遺跡について－1989年の範囲確認調査から－」　秋田県埋蔵文化財センター研究紀要第５号　1990(平成２年)
㉗秋田県教育委員会　『曲田地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－上聖遺跡－』秋田県文化財調査報告書第219集　1992年（平成４年）

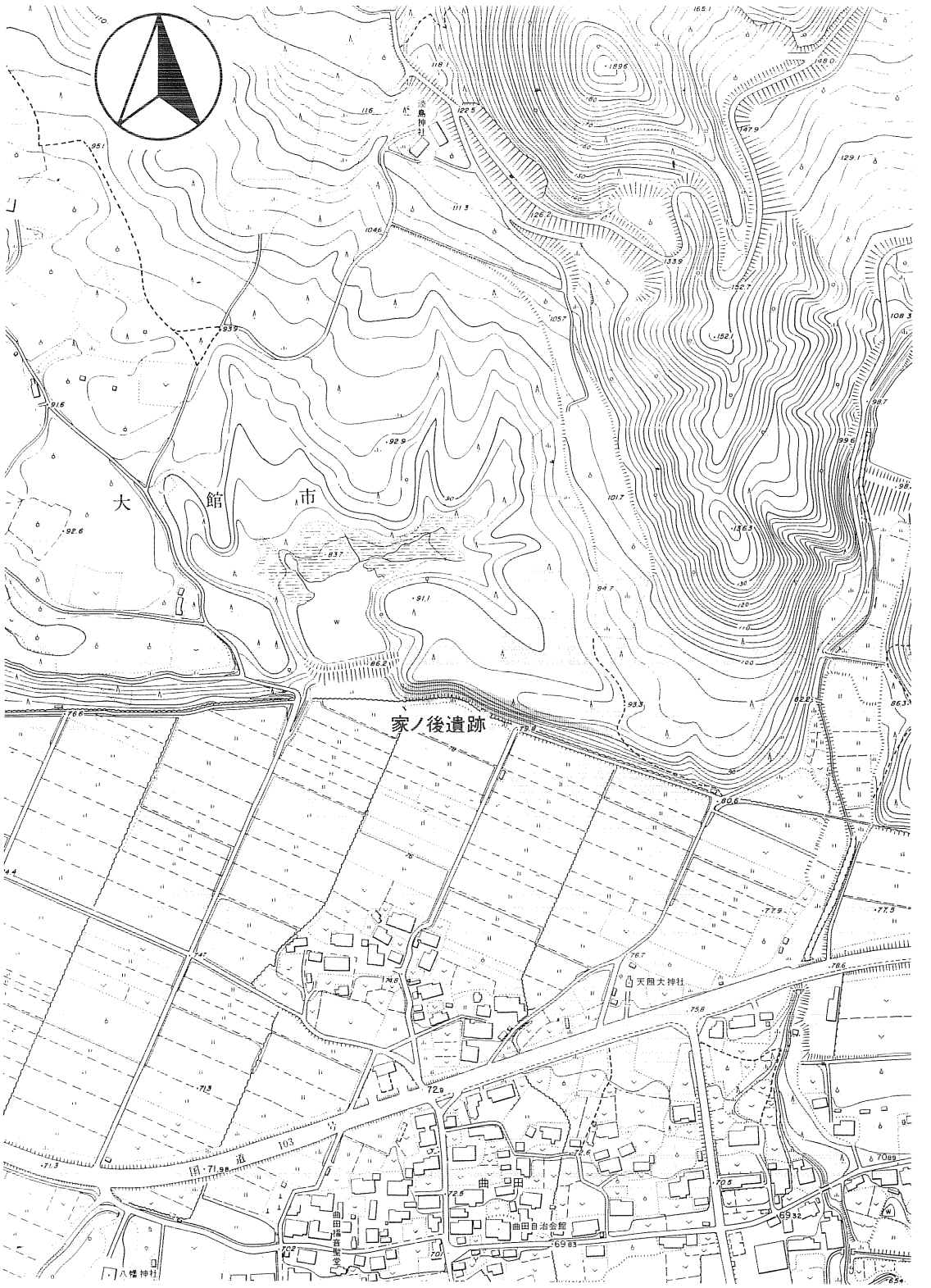
| 地図番号 | 遺跡名 | 所在地 | 種別 | 現況 | 遺構・遺物 | 所蔵者 | 文献 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-70 | 山館 | 大館市山館字館の上 | 館跡 | 畑地<br>神社地等 | 土師器、中世陶磁器 | | ⑦⑬⑯ |
| 4-71 | 山館上ノ山 | 大館市山館字上ノ山 | 集落跡 | 畑地<br>道路 | 縄文時代竪穴住居跡、土坑、フラスコ状ピット、平安時代竪穴住居跡、縄文土器(前・中・後・晩期)石器、土師器 | 大館市<br>教育委員会 | ②③⑤⑪<br>⑫⑬⑭⑯ |
| 4-72 | 竜毛岱 | 大館市中山字竜毛岱 | 遺物<br>包含地 | 果樹園 | 縄文土器(中期・後期)<br>須恵器 | 田村栄 | ⑬⑯ |
| 4-73 | 兎沢 | 大館市中山字兎沢 | 遺物包含地 | 果樹園 | 縄文土器 | 田村栄 | ⑬⑯ |
| 4-74 | 寒沢 | 大館市中山字寒沢 | 遺物<br>包含地 | 畑地<br>果樹園 | 縄文土器(中期・円筒上層d式)、磨製石器 | 高橋昭悦 | ⑬⑯ |
| 4-75 | 冷水山根 | 大館市曲田字冷水山根 | 遺物<br>包含地 | 果樹園 | 縄文土器(前期・中期・後期)、石器 | 田村栄 | ⑬⑯ |
| 4-76 | 野沢岱Ⅰ | 大館市曲田字野沢岱 | 遺物<br>包含地 | 畑地<br>果樹園 | 縄文土器(前期) | | ⑬⑯ |
| 4-77 | 野沢岱Ⅱ | 大館市曲田字野沢岱 | 遺物<br>包含地 | 畑地<br>果樹園 | 縄文土器(中期)、石器 | | ⑬⑯ |
| 4-78 | 野沢岱Ⅲ | 大館市曲田字野沢岱 | 遺物<br>包含地 | 畑地<br>果樹園 | 縄文土器、青竜刀形石器、磨製石斧 | 高橋昭悦 | ⑬⑯ |
| 4-79 | 野沢岱Ⅳ | 大館市曲田字野沢岱 | 遺物<br>包含地 | 畑地<br>果樹園 | 縄文土器、石器、土師器、須恵器 | | ⑬⑯ |
| 4-80 | 下聖 | 大館市曲田字下聖 | 遺物<br>包含地 | 畑地<br>果樹園 | 縄文土器(前期・中期・後期) | | ⑬⑯ |
| 4-81 | 萩峠 | 大館市軽井沢字萩峠 | 集落跡 | 畑地・杉林・道路 | 縄文時代竪穴住居跡、中世空堀、縄文後期土器、土師器、中世陶磁器 | 大館市<br>教育委員会 | ⑥⑬⑯ |
| 4-82 | 軽井沢新館 | 大館市軽井沢字新館 | 遺物包含地 | 畑地<br>杉林 | 土師器、中世陶器 | | ⑬⑯ |
| 4-90 | 十二所古館 | 大館市十二所字中藤原 | 館跡 | 杉林<br>草地 | 郭、空堀 | | ⑬⑯ |
| 4-91 | 十二所城 | 大館市十二所字台<br>真山岱・藤原 | 館跡 | 畑地・社地<br>・宅地墓地 | 土師器、須恵器、鉄滓、中世陶磁器 | 大館市<br>教育委員会 | ⑬⑯ |
| 4-92 | 大滝古館 | 大館市十二所字古館 | 館跡 | 畑地・グラウンド | 土師器、中世陶器 | 大館市<br>教育委員会 | ⑬⑯ |
| 4-93 | 陣場岱 | 大館市道目木字陣場岱 | 遺物包含地 | 畑地 | 土師器、須恵器、鉄滓 | 大館市<br>教育委員会 | ⑬⑯ |
| 4-119 | 山崎 | 大館市軽井沢字山崎 | 塚 | 畑地<br>杉林 | 土師器 | 大館市<br>教育委員会 | ⑬⑯ |
| 4-120 | 沢口 | 大館市曲田字沢口 | 遺物包含地 | 道路<br>畑地 | 縄文土器(後期) | 大館市<br>教育委員会 | ⑥⑬⑯ |
| A | 上聖 | 大館市曲田字上聖3-2外 | 集落跡 | 道路・<br>果樹園 | 土坑、焼土遺構、縄文土器(前期～晩期)、石器 | 県埋蔵文化財センター | ㉗ |

| 地図番号 | 遺跡名 | 所在地 | 種別 | 現況 | 遺構・遺物 | 所蔵者 | 文献 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4-121 | 鳶ヶ長根Ⅱ | 大館市軽井沢字鳶ヶ長根 | 集落跡 | 道路<br>畑地 | 土坑、縄文土器(晩期)、石器 | 大館市<br>教育委員会 | ⑥⑬⑯ |
| 4-122 | 鳶ヶ長根Ⅲ | 大館市軽井沢字鳶ヶ長根 | 集落跡 | 道路<br>草地 | 縄文時代竪穴住居跡、土坑、縄文土器(晩期)、石器 | 大館市<br>教育委員会 | ⑥⑬⑯ |
| 4-123 | 鳶ヶ長根Ⅳ | 大館市軽井沢字鳶ヶ長根 | 集落跡 | 道路 | 縄文時代竪穴住居跡、埋甕炉埋設土器、土坑、縄文土器(早期・前期・後期・晩期)弥生土器 | | ⑥⑬⑯ |
| 12-6 | 独鈷 | 比内町独鈷字大日堂前3-1外 | 館跡 | 畑地 | 郭、空堀(中期) | | ⑯ |
| 12-7 | 大日堂前 | 比内町独鈷字大日堂前10外 | 館跡 | 神社<br>境内 | 竪穴住居跡、溝状遺構、土坑、縄文土器片、土師器片 | | ⑧⑯ |
| 12-8 | 十狐城 | 比内町独鈷字大日館間22外 | 館跡 | 山林・畑地 | 郭、空堀 | | ⑦⑯ |
| 12-9 | 数珠掛 | 比内町数珠掛11外 | 遺物包含地 | 畑地 | 縄文土器片(晩期)、土師器片 | | ⑯ |
| 12-10 | 味噌内 | 比内町味噌内字下台38外 | 遺物包含地 | 畑地 | 配石遺構、縄文土器片(後期) | | ⑯ |
| 12-11 | 宿内中岱 | 比内町宿内中岱6外 | 遺物包含地 | 畑地 | 縄文土器片(前期・後期) | | ⑯ |
| 12-12 | 袖ノ沢 | 比内町宿内袖ノ沢67-2外 | 集落跡 | 山林 | 平安時代竪穴住居跡、土坑、溝状遺構、柱穴様土坑、土師器片 | 県埋蔵文化財センター | ⑩⑯ |
| 12-13 | 横沢 | 比内町扇田字横沢3外 | 集落跡 | 畑地 | 縄文時代竪穴住居跡、平安時代竪穴住居跡、土坑、フラスコ状土坑、板状土偶、土師器片、縄文土器片(早期・中期) | 県埋蔵文化財センター | ⑩⑯ |
| 12-14 | 大岱 | 比内町扇田字南大岱59外 | 遺物包含地 | 畑地 | 縄文土器片(前期)、土師器 | 県埋蔵文化財センター | ⑯ |
| 12-15 | 横沢 | 比内町扇田字横沢128-1外 | 遺物包含地 | ゴルフ場 | 土師器片 | | ⑯ |
| 12-16 | 真館 | 比内町新館字真館100-1外 | 館跡 | 苗畑 | 竪穴住居跡、土坑、土師器片、須恵器 | 比内町<br>教育委員会 | ①⑯ |
| 12-17 | 長岡城 | 比内町扇田字長岡41外 | 館跡 | 畑地・宅地 | 腰郭、堀跡 | | ⑦⑯ |
| 12-18 | 市川 | 比内町扇田字本道端65外 | 遺物包含地 | 宅地・畑地 | | | ⑯ |
| 12-19 | 本道端 | 比内町扇田字本道端44外 | 集落跡 | 宅地 | 竪穴住居跡、土坑、集石遺構、縄文土器(早期・前期・中期・晩期) | 比内町<br>教育委員会 | ⑨⑯ |
| 12-23 | 小堤 | 比内町笹館字小堤18-1 | 遺物包含地 | 山林 | 縄文土器片(前期) | | ⑯ |
| 12-24 | 谷地中館 | 比内町谷地中字谷地中20、21 | 館跡 | 水田 | 竪穴住居跡、焼土遺構、縄文土器(前期・後期・晩期)、土師器片、須恵器 | | ④⑯ |
| 12-26 | 笹館城 | 比内町笹館字笹館189-4外 | 館跡 | 畑地 | | | ⑦⑯ |
| B | 家ノ後 | 大館市曲田字家ノ後96-2外 | 集落跡 | 道路<br>山林 | 縄文時代竪穴住居跡、土坑、焼土遺構、縄文土器(中～晩期)、石器 | 県埋蔵文化財センター | 本書 |

第1表　周辺遺跡一覧表




第1図　家ノ後遺跡の位置と周辺の遺跡分布図




第２図　遺跡周辺地形図

# 第３章　発掘調査の概要

## 第１節　遺跡の概観

家ノ後遺跡は西に張り出す舌状台地上にある。発見された遺構の配置や地形から、遺跡の範囲は舌状台地全体に及ぶものと推測される。

今回の調査地点は舌状台地の南縁にあたる縁辺部の一部と南側の斜面で、調査面積は2,800㎡である（第２図、第３図）。調査区の西側で幅約３～７ｍ、深さ約２～３ｍの沢の一部が検出された。この沢は台地の南縁から南側の急崖を流れ下り、南側の沖積地へ開口する。

発掘調査の結果、竪穴住居跡４軒、土坑112基、溝状遺構２基、焼土遺構５基、性格不明遺構２箇所を検出し、縄文土器104,822点、石器類5,628点が出土した（第４図）。

竪穴住居跡は、後期末葉が１軒、晩期前葉が３軒である。晩期前葉の２軒は重複している。

土坑のうち45基は、ベンガラの散布・形態・埋土の状態・遺物出土状況から、縄文時代後期末から晩期前葉の土壙墓と考えられるものである。また、４基は粘土層を掘り込んでいること、形態、埋土の状態、出土遺物から、縄文時代後期末の粘土採掘坑と考えられる。土壙墓は台地南縁の張り出し部に３～11基の群を形成する。

台地縁辺は突出部と沢目が連なった波状を呈し、その沢目部分には特に遺物の多いところが２箇所あり、縄文時代の捨て場と考えられる。一方には２層、他方には６層の遺物包含層の重なりがある。

土器は、後期末葉から晩期前葉が主で、前期前葉、中期末葉、弥生前期も少量ながら出土した。後期末葉（瘤付土器）から晩期前葉（大洞ＢＣ式）の中でも主体となるのは大洞Ｂ式である。遺構内の一括出土遺物や、捨て場の層位的出土状況から、該期の器種のセット関係がある程度判明した。

石器類では、円盤状石製品、石剣、岩版等の非実用利器が多く出土した。

## 第２節　調査の方法

発掘調査はグリッド法を採用した。調査区の設定方法は、調査区内の任意の点１箇所（国家座標第Ｘ系Ｘ＝23968.941、Ｙ＝-17278.602）を選定し、これをグリッドの起点ＭＡ50とした。ＭＡ50から真北を求め、それから15度東へかたよった方向をグリッドの南北基線とした。この南北基線及びそれと直交する東西基線から、４ｍ×４ｍのグリッドを設定し、25箇所の杭を仮

レベル原点とした。グリッド杭には、東から西に向かって東西方向を表すＬＴ・ＭＡ・・・ＭＴ・ＮＡ・・・ＮＴ・ＯＡ・・・ＯＤというアルファベットと、南から北に向かって南北方向を表す46・47・・・・の２桁の数字を組み合わせた記号を記入し、４ｍ×４ｍの方眼杭の南東隅をグリッドの名称とした（第３図）。ＭＡ50グリッドにおける磁北は南北基線から23度50分東にかたよっている。グリッドはさらに中を４分割し、２ｍ×２ｍの小区を設定した。小区は北西小区をＡ、北東小区をＢ、南西小区をＣ、南東小区をＤと呼称した。

遺物は、遺構外出土のものは、出土グリッド・小区・出土層位・遺物番号・出土年月日を記入し、遺構内出土のものは、出土遺構名・出土層位・遺物番号・出土年月日を記入したラベルとともに取り上げた。基本的に竪穴住居跡・性格不明遺構は十字に土層観察用のベルトを残し、四分割して調査した。土坑・焼土遺構・溝状遺構は、長軸に沿って二分割して調査した。調査の記録は、主に図面と写真によった。図面は、基本的には１／20の縮尺で作図した。遺物出土状況図は1／10の縮尺で作図した。写真撮影は、35㎜のモノクロとリバーサルフィルムを使用した。

室内における整理は、遺構は現場で取った平・断面図より第２原図を作成し、これをトレースした。遺物は洗浄・注記の後に実測図・拓影図の作成、写真撮影を行った。

## 第３節　調査の経過

平成４年４月９～10日に現況視察及び作業員手配依頼、６月６日にグリッド杭打設、７～８日にプレハブ設置の後、10日から11月15日まで発掘調査を行った。

６月10日　発掘機材の搬入・整理を行った。

６月11日　調査区斜面肩部の盛土除去及び現況地形の測量を行った。

６月12日　斜面下に土留柵を設置し、資材整備や周辺の安全確保等の作業を行った。

６月20日　ＭＬ50グリッドで１個体の粗製土器が正立状態で入っている土坑（ＳＫ01）を検出した。

６月24日　遺構精査を開始した。

７月１日　調査区東側（ＭＮラインより東）の粗掘完了。

７月４日　北鹿新聞に記事が掲載され、２名の見学者があった。

７月５日　大館市中央公民館の佐藤氏が社会教育活動用ビデオの撮影のため来跡。

７月15日　調査区東側完掘。完掘の全景写真を撮影した。

７月18日　ＮＯラインまで盛土の除去のため粗掘を開始、遺物の水洗等、整理も行う。

７月24日　ＮＴラインまでの東側の表土除去を行ったところ、特にＮＦ51・52グリッドの斜

面で大量の遺物が検出された。捨て場の可能性が高い。

8月７日　イギリス・ロンドン大学大学院から研修中のOrri Ve'steinsson氏来跡。

8月19日　ＮＥ～ＭＲラインの第２層除去開始。

9月３日　ＮＧ50グリッドを精査。多量の土器が４・５層から出土した。ＳＫ67土坑を半截したところ、ベンガラを検出した。

9月９日　南斜面西寄りの遺物捨て場（ＮＮ・ＮＭ50）で多量の遺物が出土した。林謙作北海道大学助教授が来跡し、ＳＫ56・58土坑について粘土採掘坑の可能性を御指摘いただいた。また、出土遺物等に関しても貴重な御教示をいただいた。

9月24日　ＳＫ66・67・71・89・92土坑の半截を行った。全て、オーバーハング部分の高さが低く、つぶれたフラスコ状土坑の断面形を呈している。

9月26日　調査区南側、斜面下の水田部にトレンチを設定し、土層の観察を行った。特に、ＮＯ48グリッド部分のトレンチでは多量の遺物が出土した。

9月28日　台風19号による突風で、プレハブ２階建の事務所が完全倒壊。遺物・図面等の貴重な資料や機材等が散乱してしまう。この後数日は、近辺に散逸する物品や、プレハブの残骸を片付けるのに費やされる。

10月３日　発掘調査の実質的な再開。斜面上部の遺構精査と水田部分のトレンチ掘下げとに分かれて調査が進行する。

10月７日　ＳＫ71土坑より完形土器が数点検出される。土坑内の堆積土から、ベンガラ・炭化物も検出された。

10月24日　ＮＮ～ＮＱラインの４－ｃ層下部から６－ａ層にかけて完形土器も含む、夥しい数の遺物が出土した。

10月29日　ＳＫ56・57土坑の完掘間際、縄文土器が出土した。また、ＳＩ95竪穴住居跡の北側の床面直上で、完形土器４個体と土偶の胴体部が出土した。

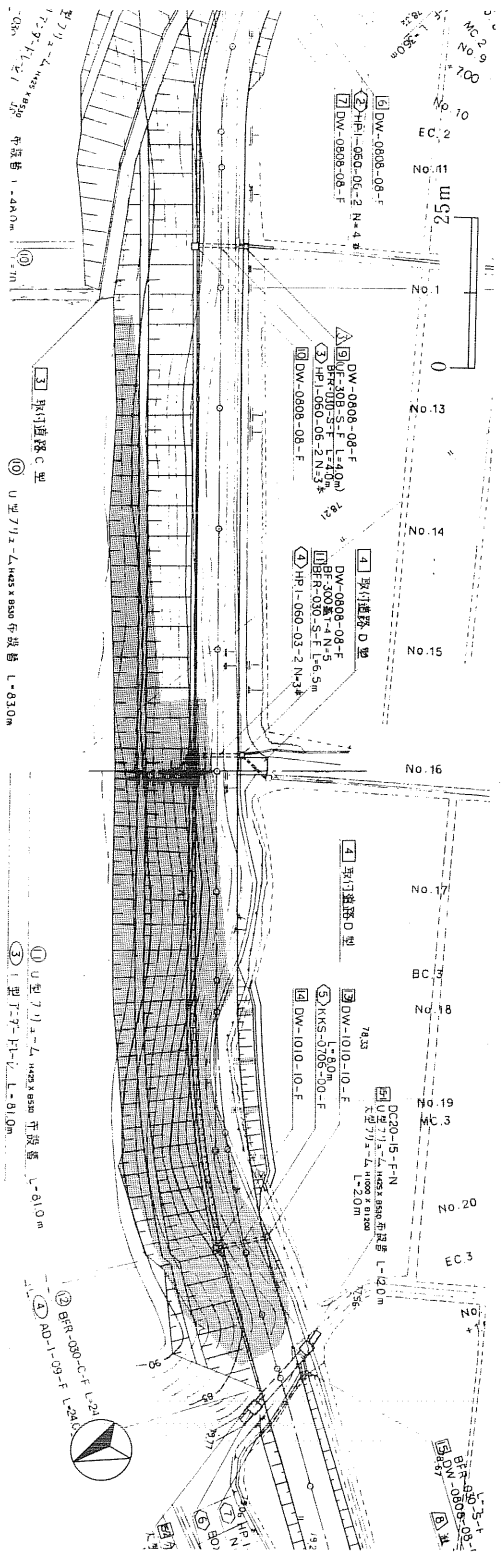
10月30日　ＮＦ51グリッドの精査で遺物が多量に出土した。第４層上面では焼土の広がりが確認された。

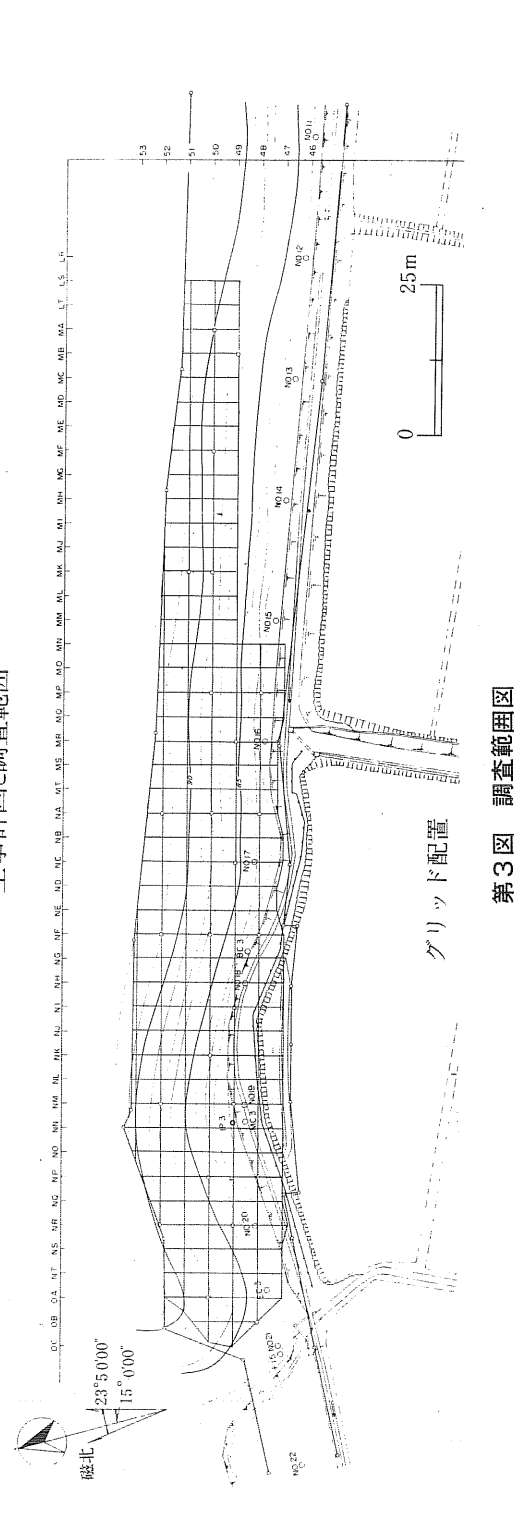
11月１日　ＮＪライン以西で、柱穴様の土坑のプランが多数検出された。

11月６日　ＳＫ109土坑より、ボール状の大型鉢の中に注口土器２個体、台付鉢１個体が収納されたような状態で出土した。いずれも完形品であった。また、これらの遺物の下、床面近くの埋土中から厚さ５～６㎝程のベンガラも検出された。

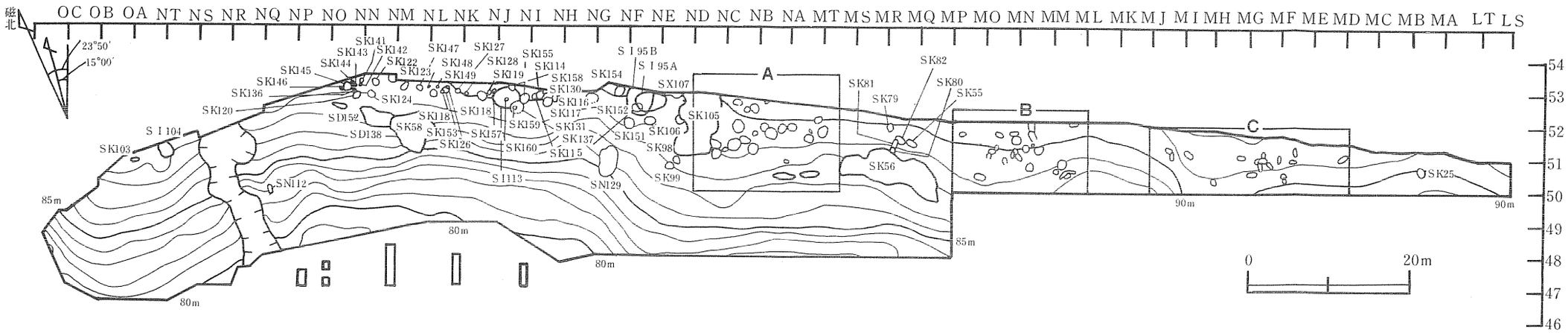
11月15日　遺構の調査を終了し、発掘機材を撤収、本日で発掘調査の現場作業をべて完了した。

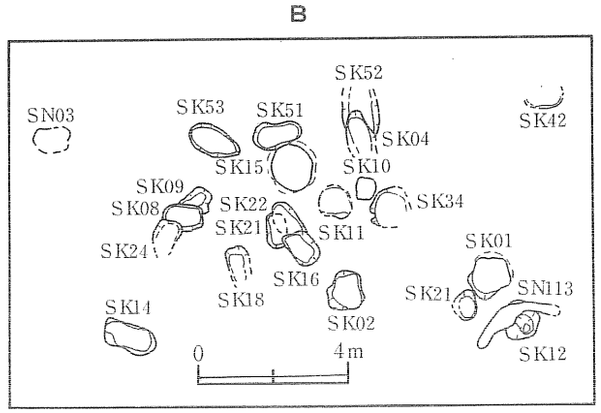
この後、埋蔵文化財センターで遺物、図面等の整理作業を行い、報告書を作成した。

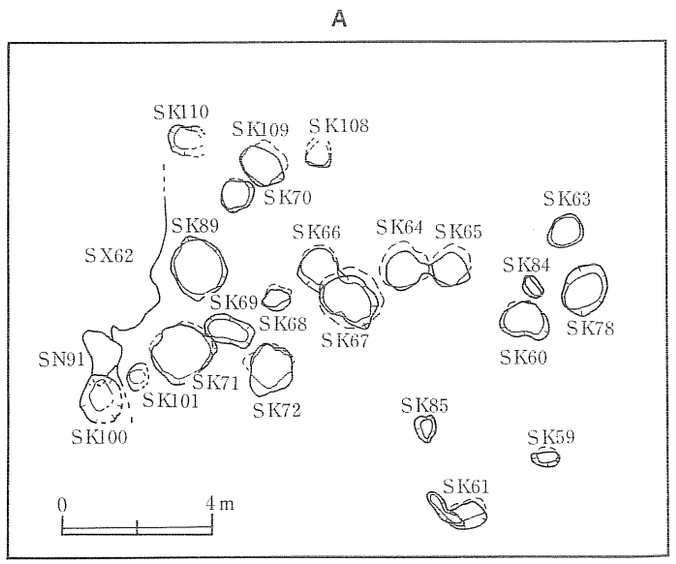

工事計画と調査範囲
25m
0
No.10
No.11
No.13
No.14
No.15
No.16
No.17
No.18
No.19
No.20
EC.2
EC.3
BC.4
DW-0808-08-F
DW-0809-08-F
DW-0808-08-F
DW-1010-10-F
DW-1010-10-F
DW-0808-08-F
DW-0809-08-F
DW-0808-08-F
DW-1010-10-F
DW-0808-08-F
DW-0809-08-F
DC20-15-F-N
BFR-030-C-F L-24
AD-1-09-F L-24.0
U型フリューム H425×B550 平均長 L=81.0m
U型フリューム H425×B550 平均長 L=83.0m
現行道路C型
現行道路D型
現行道路D型
U型フリューム H425×B550 平均長 L=81.0m
U型フリューム H1000×B1200 平均長 L=20m
L=12.0m

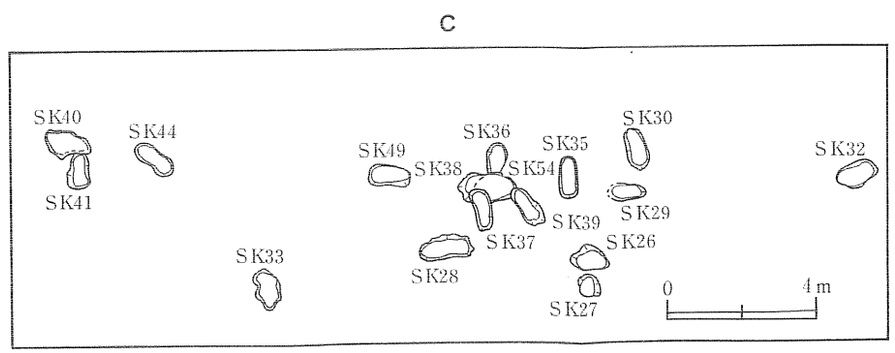

グリッド配置
25m
0
磁北
23°50'00"
15°00'00"

第３図　調査範囲図


磁北
23°50′
15°00′
OC OB OA NT NS NR NQ NP NO NN NM NL NK NJ NI NH NG NF NE ND NC NB NA MT MS MR MQ MP MO MN MM ML MK MJ MI MH MG MF ME MD MC MB MA LT LS
54
53
52
51
50
49
48
47
46
A
B
C
SK141
SK143
SK142
SK147
SK127
SK155
SK144
SK122
SK128
SK114
SK145
SK123
SK148
SK149
SK119
SK158
SK146
SK154
SI95B
SI95A
SK136
SK130
SX107
SK124
SK116
SK120
SK118
SK117
SK152
SD152
SK118
SK159
SK131
SK105
SK106
SI104
SK58
SK153
SK157
SK137
SK151
SD138
SK126
SK160
SK115
SK98
SK103
SI113
SK99
SN112
SN129
SK56
SK81
SK79
SK82
SK80
SK55
SK25
85m
80m
80m
80m
85m
90m
90m
0
20m


B
SN03
SK53
SK51
SK52
SK42
SK04
SK15
SK10
SK09
SK08
SK22
SK34
SK21
SK11
SK24
SK01
SK18
SK16
SK21
SN113
SK14
SK02
SK12
0
4m


A
SK110
SK109
SK108
SK70
SK63
SK89
SK66
SK64
SK65
SX62
SK84
SK69
SK68
SK78
SK67
SN91
SK60
SK71
SK101
SK72
SK100
SK85
SK59
SK61
0
4m


C
SK40
SK44
SK36
SK35
SK30
SK49
SK38
SK54
SK32
SK41
SK29
SK39
SK37
SK26
SK33
SK28
SK27
0
4m

第４図　遺構配置図

# 第４章　調査の記録

## 第１節　基本層序

今回の調査地点は前述したように舌状台地の南側縁辺部の一部と南側の斜面であるが、地点により異なる様相を呈する場合もある。表土から地山まで７層に分層したが、例えば、縁辺部のＳＫ105土坑の周辺（第５図）には基本層序の第２・４層がなく、斜面上部で検出したＳＮ129焼土遺構では基本層序の４・５・６層が焼土の下に40～46cmと厚く堆積している場合もある。

基本層序は南側縁辺部では大略以下のとおりである。

第１－ａ層　盛土

第１－ｂ層　黒褐色（10ＹＲ２／３）土－表土－で、層厚10～15cmである。

第２層　黒色（10ＹＲ２／１）土で、大湯浮石粒子混入し、層厚10～23cmである。

第３層　明黄褐色（2.5Ｙ７／６）の大湯浮石層である。層厚３～５cmほどであるが、層を成していない所が多い。斜面の凹地や沢部では部分的に厚く堆積している所もある。

第４層　黒色（10ＹＲ２／１）土で、地山粒子をわずかに含み、層厚は８～10cmである。

第５層　暗褐色（10ＹＲ３／４）土で、地山粒子をわずかに含み、層厚は13～22cmである。部分的に堆積しており、山林側には顕著である。

第６層　黄褐色（10ＹＲ５／４）土で、地山ブロックを含み、粘性が強い。地山漸移層である。

第７層　黄褐色（10ＹＲ５／８）土で、地山である。鳥越軽石質火山灰層の河成二次堆積物である。

南側斜面はＮＯラインを中心とした捨て場（以下「捨て場２」と呼称する）で、段丘崖の縁辺部に形成された自然の深い沢目を含む斜面とその下の沖積地に遺物包含層が形成されている。遺物包含層は４－ａ層から６－ｃ層まで６枚あり、表土からの深さは最大で284cmに達する。このうち斜面下部の４－ｃ層と６－ａ層は厚く、遺物出土量も大変多い。第１－ａ・１－ｂ層、第６－ｃ層は、南側縁辺部の基本層序と対応する。捨て場２の基本層序の詳細は基本層序図（第６図）にゆずることにして、ここでは遺物包含層の大略を上位から記すこととし、その広

がりについては別節で後述する。

第４－ａ層　黒褐色（10ＹＲ４／３）土。しまりあり。層厚は68～86cmである。遺物をやや含む。

第４－ｂ層　黒褐色（10ＹＲ２／２）土。しまりあり。層厚20～84cmである。遺物をやや含む。

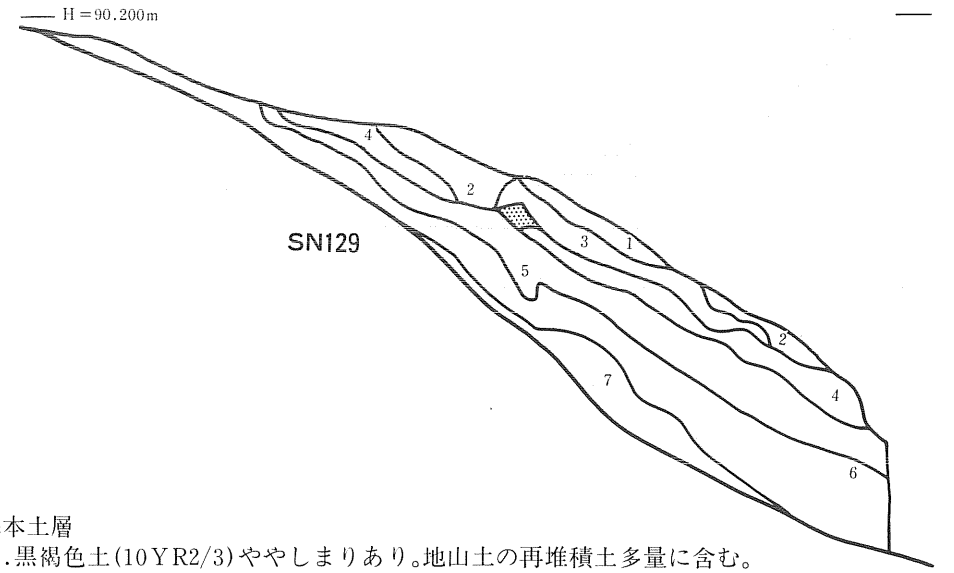
第４－ｃ層　黒褐色（10ＹＲ２／３）土。しまり・粘性とも強。層厚34～108cmである。遺物を大変多く含む。

第５層　黒褐色（10ＹＲ２／３）土。ややしまりあり。層厚28～72cmである。遺物をわずかに含む。

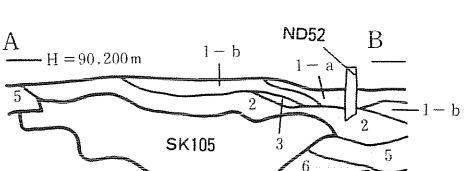
第６－ａ層　黒色（10ＹＲ1.7／１）土。粘性・しまりとも大変強い。層厚82～104cmである。上部に遺物を大変多く含む。

第６－ｃ層　黄褐色土。しまりややあり。地山漸移層で遺物をわずかに含む。層厚18～28cmである。

さらに、同じ捨て場２下部の沖積地で作成した土層断面図（ＮＭライン）によれば、ここでは第１層～第９層まであり、シラスの二次堆積物・砂層・泥炭層などが認められる。このうち、遺物包含層は第６層の暗青灰色土層（層厚12～31cm）、第８層の黒色泥炭質粘土層（層厚50～94cm）の２層がある（第６図）。沖積地のため土色は斜面の層とは違うものの、土層の混入物・遺物の出土状況・周辺の同一層の広がり具合などの観察から、第６層は斜面の第４－ｃ層に、第８層は第６－ａ層に相当することがわかった。

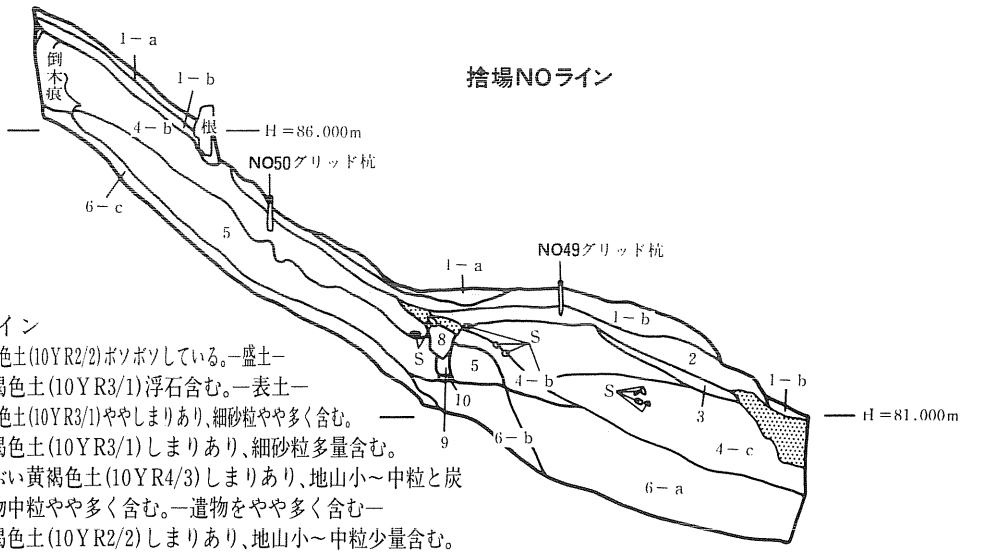



基本土層
1．黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり。地山土の再堆積土多量に含む。
2．極暗褐色土(7.5ＹR2/3)しまりあり。黒褐色土と焼土が混じる土層。地山土が多量に混じる部分もある。
3．明褐色土(7.5ＹR5/8)しまりあり。パサパサ、火熱を受け赤化した部分。
4．黒褐色土(7.5ＹR1.7/1)しまりあり。地山粒やや多く、焼土(3層)の下部に近いところはやや赤変している。
5．黒褐色土10ＹR2/2)しまりあり。地山粒やや多く含む。―基本層位4層―
6．暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり。地山粒やや多く含む。―基本層位5層―
7．にぶい黄褐色土(10ＹR5/4)しまりあり。粘性ややあり。地山崩壊土多量に含む。―漸移層―



1－a．黒褐色土(10ＹR2/2)盛土。
1－b．黒色土(10ＹR2/1)ややしまりあり。
2．　黒褐色土(10ＹR2/1)しまりあり、地山粒を少量含む。
3．　明黄褐色土(2.5Y7/6)―大湯浮石層－
5．　暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり地山粒を少量含む。
6．　にぶい黄褐色土(10ＹR5/4)しまりあり粘性ややあり、地山ブロックを多量に含む。―漸移層―

**第５図　遺跡基本土層断面図**




捨場ＮＯライン

１－ａ　黒褐色土(10ＹR2/2)ボソボソしている。－盛土－

１－ｂ　黒褐色土(10ＹR3/1)浮石含む。－表土－

２　黒褐色土(10ＹR3/1)ややしまりあり、細砂粒やや多く含む。

３　黒褐色土(10ＹR3/1)しまりあり、細砂粒多量含む。

４－ａ　にぶい黄褐色土(10ＹR4/3)しまりあり、地山小～中粒と炭化物中粒やや多く含む。－遺物をやや多く含む－

４－ｂ　黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、地山小～中粒少量含む。

４－ｃ　黒褐色土(10ＹR2/3)きわめてしまりあり、地山小～中粒と炭化物小～大粒きわめて多量含む。部分的に酸化している。－遺物を多く含む－

５　黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり、地山小～大粒多量含む。

６－ａ　黒色土(10YR1.7/1)きわめてしまりあり、地山小～極大粒やや多く含む。－上部遺物の出土多い－

６－ｂ　ややしまりあり、地山小～中粒多量含む。

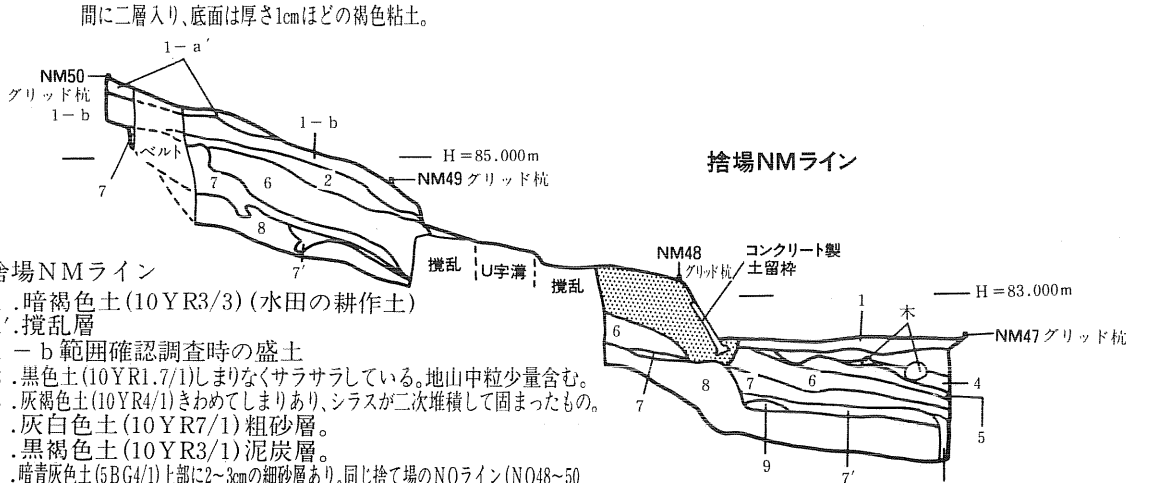
６－ｃ　黄褐色土(10ＹR5/8)ややしまりあり、地山小～大粒やや多く、暗褐色土部分的に含む。－基本層位6層と同じ地山漸移層－

７　黄褐色土(10ＹR5/8)ややしまりあり。

８　黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、細粒、地山小粒含む。ボソボソした土。

９　褐色土(10ＹR4/6)ややしまりあり、地山極小粒少量含む。

10　褐色土(10ＹR4/6)細砂。黒褐色土(10ＹR2/3)のうすい(3ミリ)層が間に二層入り、底面は厚さ1cmほどの褐色粘土。




捨場ＮＭライン

１.暗褐色土(10ＹR3/3)(水田の耕作土)

1′.撹乱層

１－ｂ範囲確認調査時の盛土

２.黒色土(10ＹR1.7/1)しまりなくサラサラしている。地山中粒少量含む。

３.灰褐色土(10ＹR4/1)きわめてしまりあり、シラスが二次堆積して固まったもの。

４.灰白色土(10ＹR7/1)粗砂層。

５.黒褐色土(10ＹR3/1)泥炭層。

６.暗青灰色土(5BG4/1)上部に2～3cmの細砂層あり。同じ捨て場のNOライン(NO48～50グリッド)4－ｃ層に相当。－遺物包含層－

７.灰白色土(10ＹR7/1)細砂層。

7′.灰白色土(10ＹR8/1)粗砂層。

８.黒色土(10ＹR2/1)泥炭質粘土層。クルミの殻、トチの皮多く出土。同じ捨て場のNOライン(NO48～50グリッド)の6－ａ層に相当。－上部遺物包含層－

９.地山混じりの褐色砂層。

0　4m

**第６図　捨て場２土層断面図**

# 第２節　遺物の分類基準

## １　土器・土製品

出土した土器はコンテナで約300箱にのぼり、遺構外の捨て場、特に南側斜面の捨て場２から出土したものが圧倒的に多い。この他、舌状台地の縁辺部で検出した竪穴住居跡・土壙墓などの遺構内からも完形・復元土器が多く出土している。このため、土器の分類にあたってはこれらの土器も含めて分類した。出土した土器は縄文時代前期・中期・後期後半～晩期後半、弥生時代に属するが、このうち後期末～晩期中葉の土器が圧倒的に多く、他は極めて少ない。

後期末～晩期後半の土器は、従来の知見からみて、型式学的な断絶は認められず、また、完形・復原土器も多いことから、一括して器形で分類した。器形については、深鉢形土器・鉢形土器・浅鉢形土器・皿形土器・壺形土器・注口形土器・香炉形土器・ミニチュア土器に分類した（以下、深鉢・鉢・浅鉢・皿・壺・注口・香炉・ミニチュアと略す）。鉢と皿は口径と高さの比率によって区分した。すなわち、器高が口径以上のものを深鉢、器高が口径の1／1以下～2／3以上のものを鉢、器高が口径の2／3以下～1／3以上のものを浅鉢とし、さらに器高が口径の1／3以下のものを皿として区分した。台付・脚付土器については深鉢・鉢・浅鉢に多くみられたが、深鉢は点数が大変少ないことなどから、台部の付かない深鉢に含めて分類した。

**Ⅰ群土器**　縄文時代前期の土器である。遺構内から２点出土した。

Ａ類　不整撚糸文を施文している口縁部付近の土器である。胎土に繊維を含む。ＳＫ117からの出土である。

Ｂ類　地文が多軸絡条体で縦位に綾絡文を施文している土器である。ＮＤ52グリッドのＳＸ107からの出土である。

**Ⅱ群土器**　縄文時代中期の土器である（第100図）。

Ａ類　全体に縄文を施文した小型の深鉢形土器である(378)。口縁部が折返し口縁風に肥厚する。

Ｂ類　口縁部で、縄文原体の側面圧痕による爪形文を施文している土器である(379)。

Ｃ類　波状口縁の波頂部で、地文が縄文で３～４条の細くて浅い平行沈線を、横は曲線的に、縦は直線的に施文している(380)。

Ｄ類　浅鉢形土器で、口縁部及び隆線に沿うように縄文を押圧している土器である(381)。

Ｅ類　口縁部に平行な山形と直線の隆線を施文している土器である(382)。

Ｆ類　無文の口縁部で、横に隆線を施文している土器である(383)。

**Ⅲ群土器**　縄文時代後期後半から晩期後半の土器である。

**深鉢**

Ａ類　長胴で、胴は内弯気味に立ち上がり、口縁端部が内側に屈曲する。底部は上底で外縁は、わずかに外に張り出す。

Ｂ類　長胴で、口縁部が内傾する。

Ｂ１　上底である。

Ｂ２　平底で、底部外縁がわずかに張り出す。

Ｃ類　胴張りの強い器形で、口縁部が内弯する。縄文の他、斜縄文(羽状縄文）を施文している土器もある。

Ｃ１　平口縁で、底部は上底である。

Ｃ２　波状口縁で、底部は上底である。

Ｄ類　胴上部～口縁部がほぼまっすぐないしは、わずかに内傾する。

Ｄ１　平底で底部外縁がやや張り出す。地文は縄文が多いが、まれに条痕文が施文される。

Ｄ２　平底で底部外縁に張り出しをもたない。地文は縄文が多いが口唇部に刻目か、口縁部に文様帯をもつものもある。

Ｅ類　円筒形で縄文を施文し、平底である。

Ｅ１　口唇部がわずかに肥厚し、底部外縁は外に張り出す。

Ｅ２　口唇部上半がわずかに内傾気味に立ち上がる。口縁部上端に１条ないし２条の沈線が巡り、口唇部には刻目、もしくは「Ｂ」突起と刻目をもつものがある。

Ｆ類　胴上部～口頸部が「Ｓ」字状に大きく外反する。台が付く。

Ｇ類　胴上半でくびれ、口縁部が外反する。台が付く。

Ｈ類　胴上半でくびれ、短かい口縁部が大きく「く」字状に外反する。

Ｉ類　胴上半でくびれ、短かい口縁部がまっすぐに立ち上がる。

Ｊ類　胴上半でくびれ、ごく短かい口縁部が「く」字状にわずかに外反する。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のものを一括した。

鉢

Ａ類　胴が丸味をもち胴部上半～口縁部が強く内弯する。

Ｂ類　胴上半～口縁部がほぼまっすぐ、ないしはわずかに内傾気味に立ち上がる。

Ｂ１　口縁はわずかに波状となり、胴部は無文である。

Ｂ２　口縁部文様帯には１列の刻目帯をもち、小波状となり、胴部は無文である。

Ｃ類　胴部は丸味をもち、口縁部がほぼまっすぐ立ち上がる。

Ｄ類　胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反する。

Ｄ１　平口縁である。地文が縄文か、無文のものもある。

Ｄ２　波状口縁で、波頂部下に弧線文を施文する。

Ｅ類　胴中央部～口頸部が「Ｓ」字状に屈曲して外反する。底部は上底である。

Ｆ類　胴部は丸味をもち、胴上半でくびれ口縁部が外反する。小波状口縁で、底部は丸底である。

Ｇ類　胴部は丸味をもち、胴上半でくびれ口縁部が「く」字状に外反する。

Ｈ類　胴上部～口縁部が外反する。

Ｉ類　口頸部が「Ｓ」字状に屈曲してわずかに外反する。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のものを一括した。

**台付鉢**

Ａ類　波状口縁を呈し、胴部が丸味をもって立ち上がるもの。

Ａ１　ゆるやかに外反するもので、胴部～口縁部に施文するもの、無文のものがある。

Ａ２　ゆるやかに内傾するもので、無文である。

Ｂ類　胴部が外傾、口縁部がほぼまっすぐ立ち上がる。

Ｃ類　胴部がゆるやかに立ち上がる。

Ｄ類　胴下半部が丸味をもち、胴上半～口縁部がまっすぐ立ち上がる。

Ｅ類　小波状口縁で、胴部上半～口縁部がほぼまっすぐに立ち上がる。

Ｆ類　胴下半部が丸味をもち、胴部上半～口縁部が「Ｓ」字状に外反する。

Ｇ類　胴上半部が丸味をもち、胴部上半～口縁部が「Ｓ」字状に外反する。

Ｈ類　胴部が丸味をもち、口頸部が「Ｓ」字状に屈曲して外反する。

Ｈ１　胴部の丸味と口頸部の屈曲度が強い。台が付く。

Ｈ２　口頸部がゆるやかに屈曲する。台が付く。

Ｈ３　口縁部の文様帯が比較的狭い。高台が付く。

Ｉ類　胴部上半～口縁部が強く内傾し、口唇部が内側に屈曲する。

Ｊ類　口頸部が「Ｓ」字状に短かく屈曲して外反する。

Ｋ類　口縁部が屈曲気味に内傾する。

Ｌ類　胴部が丸味をもち、ゆるやかに内傾する。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のものを一括した。

**浅鉢**

Ａ類　胴部が丸味をもち、口縁部が強く内傾する。

Ｂ類　胴部が丸味をもち、口縁部がまっすぐ立ち上がる丸底の土器である。

Ｃ類　胴部が丸味をもち、口縁部がわずかに内傾気味に立ち上がる。

Ｄ類　胴部がゆるやかにやや内傾気味に立ち上がり、口縁部がわずかに外反する。

Ｅ類　胴部が内傾気味に立ち上がり、口縁部がわずかに内傾、又はほぼまっすぐ立ち上がる。

Ｅ１　口縁部がわずかに内傾する。

Ｅ２　口縁部がほぼまっすぐに立ち上がり、底部は丸底風である。

Ｆ類　丸味をもつ胴部が上半～口縁部にかけて「Ｓ」字状にゆるく外反する。

Ｇ類　胴下半部で大きく屈曲し、直線的に外反する。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のものを一括した。

**台付浅鉢**

Ａ類　胴部の立ち上がりはゆるやかで、口縁部やや直線的に外に開いて立ち上がる。

Ｂ類　胴部は内傾気味でやや急に外に開いて立ち上がる。

Ｃ類　胴部は内傾気味で、口縁部はまっすぐ立ち上がる。

Ｄ類　丸味をもつ胴部は内傾気味でゆるやかに立ち上がり、口縁部は外に開く。

Ｅ類　口頸部が屈曲し、短かい口縁部がわずかに外反する。高台が付くものもある。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のものを一括した。

**皿**

Ａ類　胴部～口縁部がゆるやかに内傾し、胴部上半で口縁部がわずかに外反する。底部は丸底風である。

Ｂ類　胴上半で急に内傾し、口縁部がまっすぐに立ち上がる。無文で、底部は丸底である。

Ｃ類　胴下半で急に内傾し、口縁部がわずかに内側に屈曲する。

Ｄ類　底部外縁～口縁部が直線的に大きく外に開く。

Ｅ類　胴下半部が屈曲し、口縁部にかけて直線的に大きく外反する。

Ｅ１　胴下半部が内傾し、外反する。平底である。

Ｅ２　胴下半部が強く「く」字状に内傾し、外反する。丸底である。

Ｆ類　胴部～口縁部が直線的に外に開く。

Ｇ類　胴部～口縁部が曲線的に外に開く。丸底である。

Ｈ類　胴部～口縁部がわずかに内傾気味に外に開く。四足付である。

Ｉ類　胴部～口縁部が内傾する。

Ｊ類　胴部～口縁部が直線的に立ち上がる。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のもの

を一括した。

壺

Ａ類　胴部のほぼ中央に最大径のある球形胴で、比較的長い口頸部をもつ。

Ａ１　頸部～口縁部がまっすぐに立ち上がる。

Ａ２　頸部～口縁部がわずかに内傾する。

Ｂ類　胴のほぼ中央部が強く張り出し、口縁部がまっすぐに立ち上がる。

Ｃ類　胴下半部に最大径があり、頸部～口縁部が外に開く。

Ｃ１　頸部～口縁部がゆるやかに「Ｓ」字状に開く。

Ｃ２　頸部～口縁部が「く」字状に屈曲して外反する。

Ｄ類　胴のほぼ中央部に最大径のある球形胴で、口頸部が外反、又はまっすぐに立ち上がる。

Ｄ１　頸部が「く」字状に屈曲して口縁部が外反する。

Ｄ２　口頸部がほぼまっすぐに立ち上がる。

Ｅ類　胴上半部に最大径があり、口縁部が外反する。

Ｅ１　頸部がほぼまっすぐに立ち上がり、口縁部で短かく外反する。

Ｅ２　頸部が「く」字状に屈曲して口縁部が外反する。

Ｆ類　胴のほぼ中央部に最大径があり強く張り出す球形胴で、口径が大きく口縁部が外反する。

Ｆ１　頸部で「く」字状に屈曲して口縁部がゆるやかに外反する。

Ｆ２　頸部からほぼまっすぐ立ち上がり、口縁部が短かく外反する。

Ｇ類　つぶれた球形胴で、口径が大きく口縁部が短かく外反する。

Ｇ１　頸部が内傾気味に立ち上がり外反する。

Ｇ２　頸部が直線的に立ち上がり外反する。

Ｇ３　頸部半ばまで内傾し、「く」字状に屈曲して外反する。

Ｈ類　胴のほぼ中央部に最大径のある球形胴で、口径が広く、口頸部が短かい。

Ｉ類　直線的に立ち上がる胴中央部付近に最大径があり、頸部が細長い。底部は丸底である。

Ｊ類　胴中央部か胴下半部に最大径をもつ球形胴で、頸部が細長く直線的に内傾し、口縁部短かく外反する。

Ｋ類　胴下半部に最大径をもつ球形胴で、頸部は細長い。胴部から頸部まで屈曲せず、直線的に内傾し、口縁部は短かく外反する。

Ｌ類　長胴で、口縁部はわずかに外反する。

Ｍ類　円筒形に近い長胴で、底部が強く外に張り出す。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のもの

を一括した。

**注口**

Ａ類　胴中央部付近に最大径があるつぶれた球形胴で、丸底風の底部に小さな台が付く。頸部が内傾し、口縁部が外反する。

Ｂ類　胴中央部付近に最大径があるつぶれた球形胴で、丸底風の底部に小さな台が付く。口頸部は長く直線的にわずかに外反する。

Ｃ類　胴中央部付近に最大径があるつぶれた球形胴で、丸底である。短かい口頸部が直立もしくは外反する。

Ｄ類　胴中央部付近に最大径があるつぶれた算盤玉状で、底部は丸底である。口縁部が直線的に長く内傾する。

Ｅ類　胴中央部付近に最大径があるつぶれた算盤玉状で、丸底である。頸部が内傾し、口縁部が大きく椀状となる。

Ｆ類　底部～胴部が半球状となり、底部は丸底である。頸部は外湾気味に内傾し、短かい口縁部は直立する。

Ｘ類　器形は分かるが、破片のため全体の形状が不明で上記のどの分類に入るか不明のものを一括した。

その他、大変数は少ないが、香炉・ミニチュア土器が出土した。

**香炉**

１点の出土である。

体部上半は刻目と２箇１対の大円孔、体部下半には縄文を施文するものである。

**ミニチュア**

Ａ類　上下は欠失しているが、胴部中央が張り出し、上に小孔を穿つ無文の土器である。

Ｂ類　底部が丸底風で、波状口縁を呈する無文の鉢形土器である。

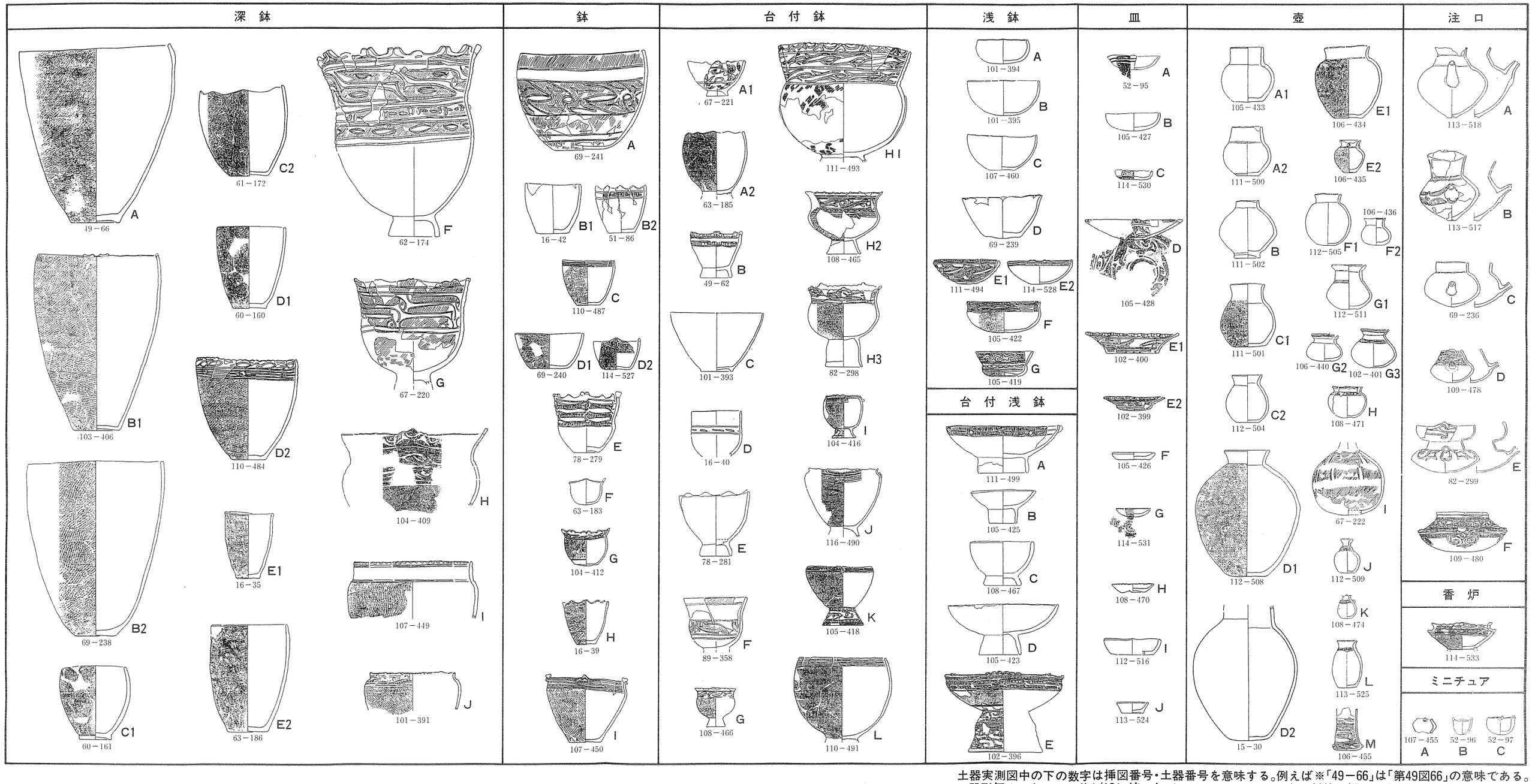
Ｃ類　口縁部が欠失しているが、丸底で無文の鉢形土器である。

**Ⅳ群土器**　弥生時代の土器である。

Ａ類　変形工字文・貼瘤を施文している小波状口縁を呈する深鉢形土器である。口縁部内面には１条の沈線がめぐる(1012)。1014は４条の沈線のみであるが1013と同じ土器であろうか。

Ｂ類　４条の沈線が巡る小波状口縁を呈する深鉢形土器である。口縁部内面には１条の沈線がめぐり、口縁部はわずかに外反する(1013)。

Ｃ類　変形工字文・貼瘤を施文している平口縁を呈する鉢形土器である。口縁部内面には１条の沈線がめぐる(1015)。




第７図　第Ⅲ群土器分類基準図

土器実測図中の下の数字は挿図番号・土器番号を意味する。例えば※「49－66」は「第49図66」の意味である。
※器形毎のスケールは約1/10に統一している。※土器実測図中の斜線は縄文を表わしている。

Ｄ類　１～２条の沈線が口縁に対して平行に巡り、沈線間は無文となる口縁部で壺形土器である(1017・1016)。1017の口縁部内面には１条の沈線がめぐる。

Ｅ類　２～３条の平行沈線が巡る高杯形土器の脚部である(1018・1019)。同一個体と思われる。

Ｆ類　口縁部上半部を３条の沈線が対をなし口縁に対して平行に巡り、沈線間は無文となる鉢形土器で、下半部には縄文を施文している(1011)。

Ｆ類　口縁部の上半を２～３条の沈線が対をなして口縁に平行に巡り、沈線間は無文となる浅鉢形土器で、下半部には縄文を施文している(1020)。

２　石器類

石器類は、次の33種の器種に分類した。さらに、石鏃、石槍、石錐、篦状石器、ピエス・エスキーユ、縦型石匙、不定形石器、磨製石斧、石皿、岩版、二次加工のある剥片、石核は、それぞれ分類基準を設定して細分類し、挿図観察表中の「分類」の頃に記載した。

1.石鏃　2.石槍　3.石錐　4.篦状石器　5.トランシェ様石器
6.ピエス・エスキーユ　7.縦型石匙　8.横型石匙　9.不定形石器
10.微小剥離痕のある剥片　11.石錘　12.磨製石斧　13.打製石斧
14.半円状扁平打製石器　15.礫器　16.砥石　17.擦石
18.磨石　19.凹石　20.敲打痕のある礫　21.石皿
22.石剣　23.石棒　24.独鈷石　25.刻線礫　26.岩版
27.有孔石製品　28.円盤状石製品　29.石冠　30.凹みのある石製品
31.二次加工のある剥片　32.剥片　33.石核

**石鏃**

◎形態による分類。

a　凹基無茎

b　平基有茎

c　円基有茎

d　円基無茎

e　尖基

f　凸基有茎

**石槍**

◎長さによる分類。

a　～4.0cm

b　4.1～6.0cm

c　6.0～　cm

**石錐**

◎形態及び錐部の断面形による分類。

a　基部と錐部が連続する形態で、錐部の断面形が菱形になるもの

b　基部と錐部が明瞭に区別される形態で、錐部の断面形が三角形になるもの

**箆状石器**

◎刃部の形態、平面形、断面形、調整加工の施される部位による分類。

刃部の形状

A　凸丸刃

B　直刃

調整加工の施される部位

ア　表面のみ全面

イ　表裏両面全面

ウ　表面の全面と裏面の両側縁（「打面調整剥離技法」）

A・Bとア～ウの組み合わせで表記する。

註　「打面調整剥離技法」の用語は、奏昭繁「特殊な剥離技法を持つ東日本の石匙－松原型石匙の分布と製作時期について－」『考古學雑誌』第76巻第４号　1991（平成３年）による。

**ピエス・エスキーユ**

◎両極剥離痕の数による分類。

a　対になる両極剥離痕が１組のもの

b　両極剥離痕が直交する方向に２組あるもの

**縦型石匙**

◎刃部の作出方法及び、全体の調整のしかたによる分類。

a　「打面調整剥離技法」によって表面全面に調整が施され、刃部も作出されるもの

b　「打面調整剥離技法」を用いず、表面全面に調整剥離が施され、刃部も作出されるもの

c　周縁のみに二次加工を施して刃部を作出するもの

d　二次加工がつまみ部を作出するノッチのみで、刃部は素材剥片の縁辺をそのまま利用するもの

**不定形石器**

◎刃部の形態による分類。

a　直刃

b　凸丸刃（大）

c　凹丸刃（大）

d　凸丸刃（小）

e　凹丸刃（小）

f　鋸歯刃

g　Ｓ字状刃

h　複刃　ａ～ｇの複数の刃部のあるもの。同一形態の刃部が複数箇所あるもの含む。

**磨製石斧**

◎残存部位による分類。

a　基部

b　中央部

c　刃部

ａ～ｃの組み合わせで表記する。完形品は出土しなかった。

**石皿**

◎周縁の土手の有無、形態、作業面の凹み具合、使用部位による分類。

a　土手が明瞭につくり出され、全体の形も整形されるもの

a’　ａのうち、土手が明らかに全周しないもの

b　土手は明瞭につくり出されず、作業面がわずかに凹むもので、全体の形は素材礫に近いもの

b’　土手、作業面の状態はｂであるが、全体の形は整形されてａに近いもの

c　素材礫の中央部のみが凹んでいるもの

d　作業面の凹みは明瞭でないが、使用の痕跡のあるもの

e　表裏両面が使用され凹んでいるもの

f　ａ～ｅの一部と思われる破片で、ａ～ｅの識別ができないもの。

g　中高石皿

**岩版**

◎文様の刻まれている面、文様による分類。

文様の刻まれている面

a　表裏両面

b　表面のみ

c　表裏面ともなし

文様

ア　曲線文様のみ

イ　曲線文様＋中心線＋中心孔

ウ　曲線文様＋中心線

エ　中心線＋中心孔

オ　中心孔のみ

カ　細い刻線

ａ～ｃとア～カの組み合わせで表記する。

**二次加工のある剥片**

◎二次加工の施され方による分類。

ａ　周縁が表裏からの交互剥離によって整形されているもの

ｂ　周縁に著しい敲打痕があるもの

ｃ　細かい二次加工をほぼ全面に施し、尖頭形に整形されているが、先端は鋭利に作られていないもの

ｄ　何らかの石器の基部と考えられるもの

ｅ　石器の未製品と考えられるもの

ｆ　ａ～ｅ以外のもので、周縁及び表・裏面に不規則な剥離痕が認められるもの

ｇ　周縁の一部にのみ二次的な剥離痕が認められるもの

**石核**

◎形態及び作業面の位置・数による分類。

Ｂ：板状の形態のもの

Ｂ－ａ　周縁を打面とし、板状の素材の片面のみから剥片剥離を行うもの

Ｂ－ｂ　周縁を打面とし、板状の素材の両面から剥片剥離を行うもの

Ｂ－ｃ　周縁を打面とし、板状の素材の片面から剥片剥離を行い、さらに側面からも剥片剥離を行うもの

Ｂ－ｄ　板状の素材の片面を打面とし、側縁から剥片剥離を行うもの

Ｂ－ｅ　周縁を打面とし、板状の素材の両面から剥片剥離を行い、さらに側面からも剥片剥離を行うもの

Ｓ：三角柱状の形態のもの

Ｓ－ａ　１面のみから剥片を剥ぎ取っているもの

Ｓ－ｂ　２面から剥片を剥ぎ取っているもの

Ｓ－ｃ　３面から剥片を剥ぎ取っているもの

Ｋ：角柱状の形態のもの

Ｒ：立方体状の形態のもの

# 第３節　検出遺構と遺物

## １　竪穴住居跡

台地上の縁辺部で４軒を検出した。このうち２軒は重複する。竪穴住居跡の規模は、第８～12図の表に掲載した。

### ＳＩ95Ａ竪穴住居跡（第８・９・13・19図、図版３）

ＳＩ95Ｂ竪穴住居跡が埋没した後に、やや東側に位置を移して構築されている。

平面形は東西に長い楕円形プランと推定される。柱穴は確認できなかった。壁は東側では高さ10～15cmが残るが、南側と西端はほとんど残っていない。中央やや北寄りの床面に85cm×55cmの楕円形に焼土があり、周囲には一部に熱を受けた石が散在している。おそらく石組炉であったと思われる。その南側には長さ40～50cm、幅15～20cmの角柱状の大礫３個が八の字形に置かれている。床面、埋土中からは第13図１～８の大洞Ｂ式を主体する土器が出土している。

### ＳＩ95Ｂ竪穴住居跡（第10・13～17・19・20図、図版３）

ＳＫ137土坑の埋没後に構築された住居跡である。ＳＫ137土坑の開口部分に貼床等の施設はないが、ＳＫ137土坑上面がきわめて固くしまっていることと、土層の堆積状況からＳＩ95Ｂ竪穴住居跡が新しいと判断した。

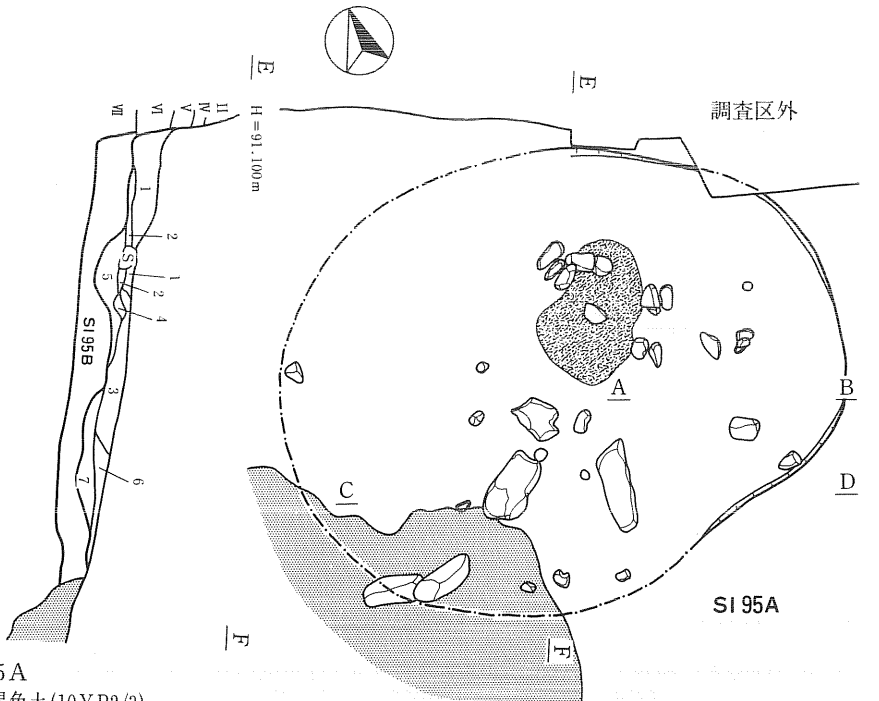
平面形は南北に長い楕円形プランと推定される。柱穴は東壁の中央部に１箇所、北西側床面に１箇所円形の浅い凹みがあるが、他は不明である。東側の壁はＳＩ95Ａによって上部に破壊を受け高さ10～12cm程度が残る。西側の壁は高さ25～30cmが残る。北側は調査区外、南側は撹乱を受けており不明である。推定プランの床面中央部に径20cmの地床炉がある。西壁際から北側にかけての床面から、計10個体分の完形、復元土器と土偶の胴部が１個出土した。

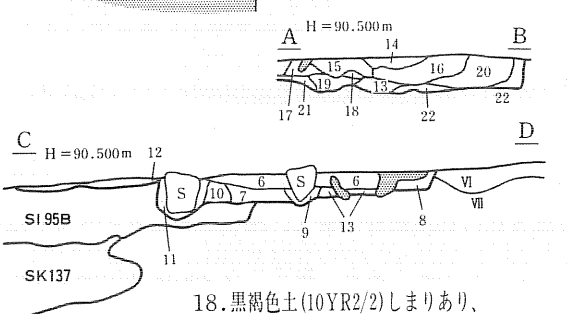
第16図33、36、41は床面に倒立して出土した。第15図32、第16図34、37、39、40、42は横倒しで、34の中に35が、37の中に38が入っていた。第17図43の土偶胴部は胸からボタン状に貼り付けられた臍まで隆帯が垂下する。

この他に埋土中から多量の土器が出土した。埋土は上層（１、２、３、10、11層）と下層（４、５、６、７、８、９、12、13層）に大別されるが出土土器は類似しており、大きな時期差はない。床面出土土器の第16図33、40は後期末葉、埋土出土土器も注口土器（第15図28）の器形や21、第14図11のように瘤の残る土器を含むことから、床面出土土器と大差ない時期であろう。

### ＳＩ104竪穴住居跡（第11・17図）

調査区西端部で検出した。石組炉とピットを検出し、その周囲に平坦でややしまりのある面が連続しており、竪穴住居跡の一部と判断した。撹乱によって竪穴住居のプランは不明瞭である。石組炉とピットの周辺から土器が出土した。石組炉は直方体ないし、扁平な三角錐形の礫



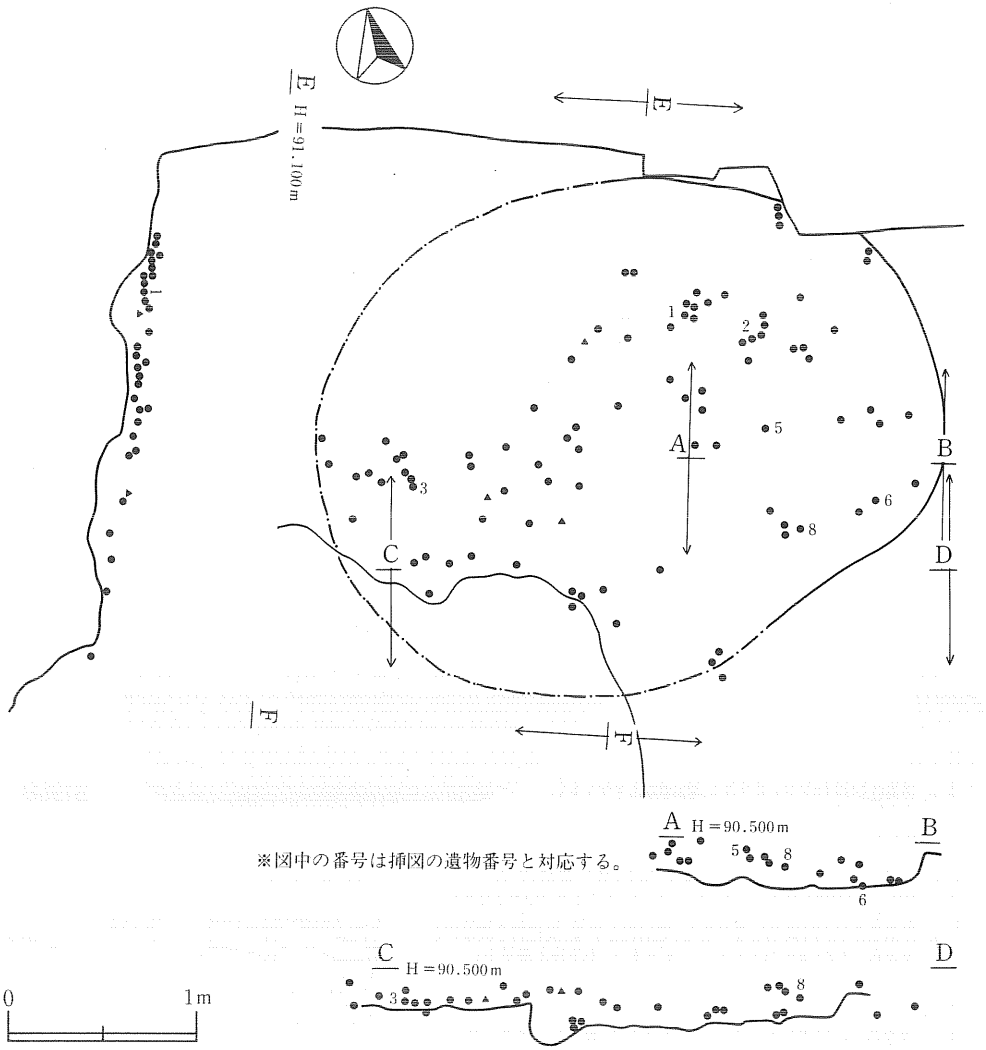

ＳＩ95Ａ

1．黒褐色土(10YR2/3)
　しまりあり、炭化物、地山粒少量含む。
2．黒褐色土(10YR2/2)
　しまりあり、炭化物きわめて多量含む。
3．黒色土(10YR2/1)
　しまりあり、炭化物やや多く含む。
4．明褐色土(7.5YR5/8)
　ややしまりあり、炭化物少量含む。
5．黒褐色土(10YR3/2)
　きわめてしまりあり、炭化物少量、焼土粒やや多く含む。
6．暗褐色土(10YR3/3)
　地山崩壊土を多量、白色粘土粒を少量含む。
7．暗褐色土(10YR3/3)
　しまりあり、地山土を多量に含む。
8．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山土をやや多く含む。
9．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり、地山粒を少量含む。
10．黒褐色土(10YR2/3)ややしまりなし、炭化物を少量含む。
11．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりなし。
12．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、白色粘土粒・炭化物を少量含む。
13．灰黄褐色土(10YR4/2)きわめてしまりあり、白色粘土粒やや多く、炭化物少量含む。
14．黒褐色土(10YR2/2)きわめてしまりあり、白色粘土粒やや多く、炭化物多量、焼土粒少量含む。
15．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、白色粘土粒少量、炭化物微量、焼土粒微量含む。
16．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、白色粘土粒少量、炭化物やや多く、地山粒少量含む。
17．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、白色粘土粒少量、炭化物微量、地山粒やや多く含む。
18．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山土多量、炭化物少量、白色粘土粒少量含む。
19．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、炭化物少量、地山少量含む。
20．褐色土(10YR4/4)しまりあり、炭化物少量、地山粒少量含む。
21．にぶい黄褐色土(10YR4/3)地山土多量含む。
22．褐色土(10YR4/4)ややしまりあり、地山土多量含む。

0　1m

| 住居跡 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＳＩ95Ａ | ＮＤ52、ＮＥ52 | Ⅵ | 楕円形 | Ｅ | (3.34)×(2.74) | × | 0.22 | 自然堆積 | SX107→SK137→SI95B→SI95 | 13・19 |

第８図　SI95A竪穴住居跡

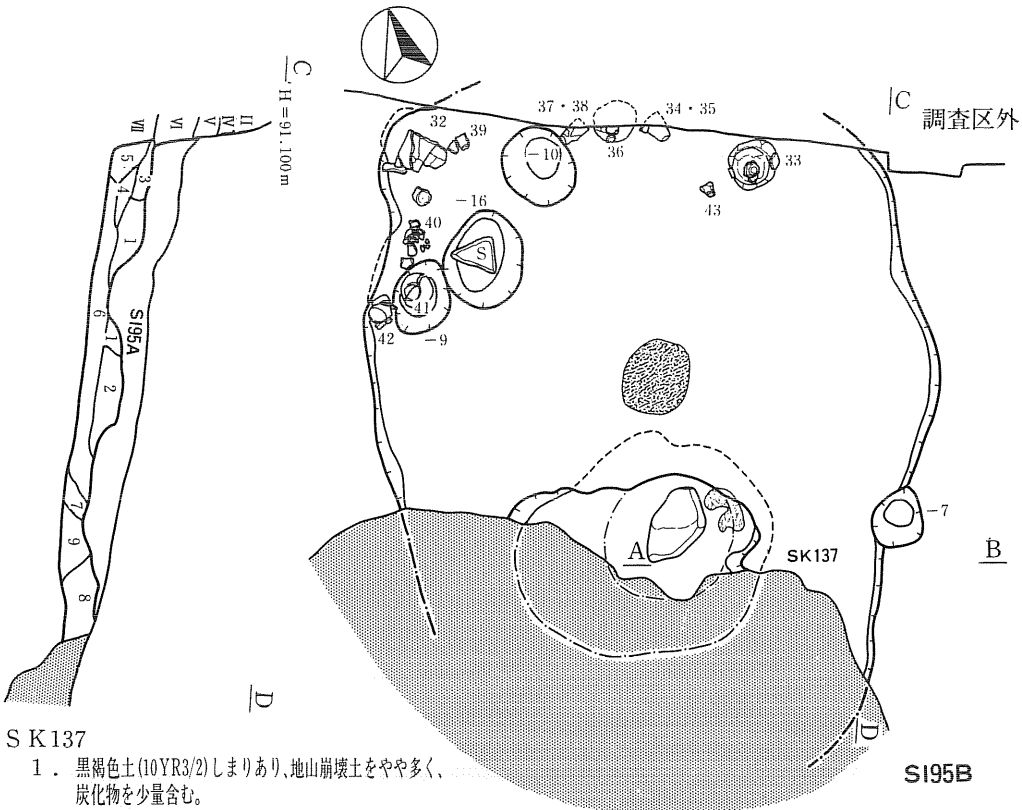



第９図　SI95A竪穴住居跡遺物出土分布図

をつきさすように立て並べて円形に囲んでいる。中には焼土、炭化物が堆積していた。炉に隣接してピットがあり、その上から第17図50、51の粗製深鉢が出土した。その他には晩期前葉の土器（44、45、48）が出土している。

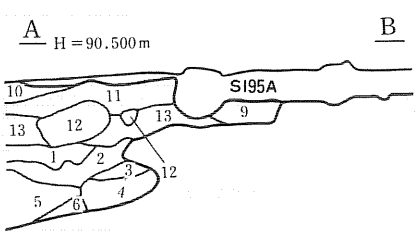
**ＳＩ113竪穴住居跡（第11・12・18・21図、図版３）**

調査区中央やや西側の、土坑が多数検出された区域で検出した。ＳＩ113竪穴住居跡はＳＫ157・158・159・160土坑によって切られており、竪穴住居跡が古い。また、竪穴状のＳＫ131土坑の埋没後にＳＩ113竪穴住居跡が構築されている。すぐ東側に隣接するＳＫ155土坑内出土土器とＳＩ113竪穴住居跡出土土器には、接合するものや同一個体のものがあり、両者は同時期に埋没した遺構である。したがって前後関係はＳＫ131→ＳＩ113・ＳＫ155→ＳＫ157・158・




ＳＫ137

１．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土をやや多く、炭化物を少量含む。
２．黒褐色土(10YR2/3)しまりなし、地山土をきわめて多量に含む。
３．黒色土(10YR2/1)しまりあり、炭化物を微量含む。
４．黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山粒を少量、炭化物を微量含む。
５．黒褐色土(10YR3/2)しまりなし、地山粒を少量、炭化物を微量含む。
６．黒褐色土(10YR3/1)きわめてしまりあり、炭化物を微量含む。



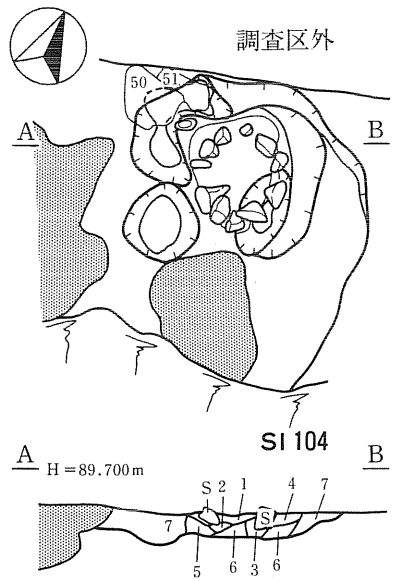

ＳＩ95Ｂ

１．黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山粒やや多く含む。
２．黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山粒やや多く、地山崩壊土やや多く含む。
３．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
４．黒褐色土(10YR2/3)きわめてしまりあり、地山粒やや多く、炭化物少量含む。
５．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
６．黒褐色土(10YR2/2)きわめてしまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
７．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
８．黒褐色(10YR2/1)しまりあり、地山粒少量、地山崩壊土ブロック少量含む。
９．にぶい黄褐色土(10YR4/3)ややしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
10．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、炭化物を微量含む。
11．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり、地山粒・炭化物を少量含む。
12．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土をやや多く、炭化物を少量含む。
13．黒褐色土(10YR2/3)ややしまりあり、地山崩壊土を少量含む。

0　1m

| 住居跡 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＳＩ95Ｂ | ＮＤ52、ＮＥ52・53 | Ⅶ | (楕円形) | Ｅ | ×3.40 | ×2.96 | 0.33 | 自然堆積 | SK137→SI95B→SI95A | 13～17・19・20 |
| ＳＫ137 | ＮＥ52 | Ⅶ | 円形 | Ｃ | ×(0.75) | ×1.28 | 0.45 | 自然堆積 | SK137→SI95B→SI95A | 71 |

**第10図　SI95B竪穴住居跡、SK137土坑**

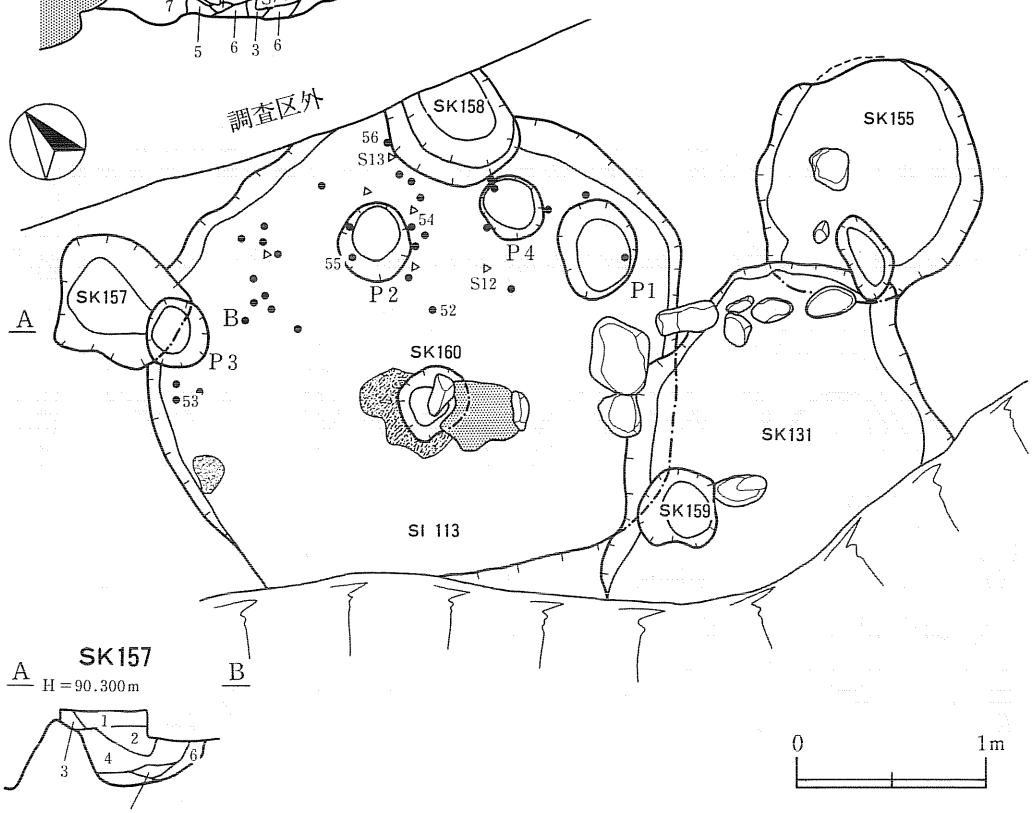



ＳＩ104

１．黒色土(10ＹＲ2/1)ややしまりなし、炭化物を少量含む。
２．褐色土(7.5ＹＲ4/6)焼土。
３．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)ややしまりあり、地山崩壊土、黒色土多量含む。
４．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)ややしまりなし、地山崩壊土、黒色土多量含む。
５．黒色土(10ＹＲ2/1)しまりあり、地山粒少量含む。
６．明黄褐色土(10ＹＲ7/6)ややしまりなし、地山崩壊土。
７．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりなし。

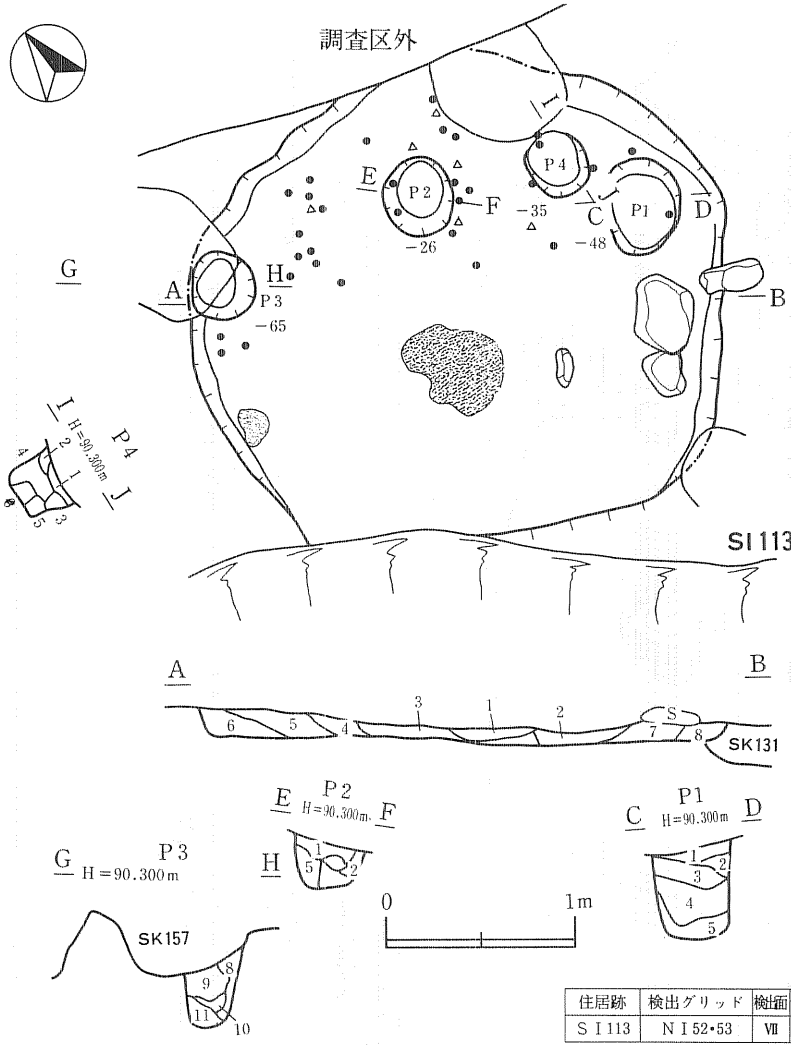
ＳＫ157

１．暗褐色土(10ＹＲ3/1)しまりあり、地山粒やや多く含む。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/4)しまりあり、地山粒少量含む。
３．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山土多量含む。
４．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり。
５．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山粒少量含む。
６．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
７．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山粒多量含む。




| 住居跡 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＳＩ104 | NS50･51、NT50･51 | Ⅶ | | | × | × | 0.18 | 自然堆積 | | 17 |
| ＳＫ157 | NI52･53、NJ52･53 | Ⅶ | 楕円形 | F | (0.94)× 0.65 | (0.5)× 0.35 | 0.48 | 自然堆積 | SI113→SK157 | |
| ＳＫ158 | ＮＩ53 | Ⅶ | 楕円形 | F | (0.80)× 0.63 | (0.45)× 0.31 | 0.55 | | SI113→SK158 | |
| ＳＫ159 | ＮＩ52 | Ⅶ | 円形 | E | 0.44 × 0.45 | 0.30 × 0.26 | 0.19 | | SK131→SI113→SK159 | |
| ＳＫ160 | ＮＩ52 | Ⅶ | 円形 | F | 0.42 ×(0.36 | 0.22 × 0.20 | 0.16 | | SI113→SK160 | |

第11図　SI 104・113 竪穴住居跡、SK157・158・159・160土坑




SＩ113
1．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒微量、炭化物少量含む。
2．黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山粒微量、炭化物、焼土粒少量含む。
3．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒少量、炭化物、焼土粒少量含む。
4．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒微量、炭化物、焼土粒微量含む。
5．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量、地山土やや多く含む。
6．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山土多量、炭化物少量含む。
7．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山土やや多く含む。
8．暗褐色土(10YR3/3)ややしまりあり、地山土多量含む。

SＩ113 P1
1．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山崩壊土多量、炭化物少量含む。
2．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量、黒褐色土やや多く含む。
3．にぶい黄橙色土(10YR6/4)きわめてしまりあり、暗褐色土多量含む。
4．明黄褐色土(10YR6/6)きわめてしまりあり、地山土の再堆積土。
5．明黄褐色土(10YR6/6)しまりあり、地山土の再堆積土。

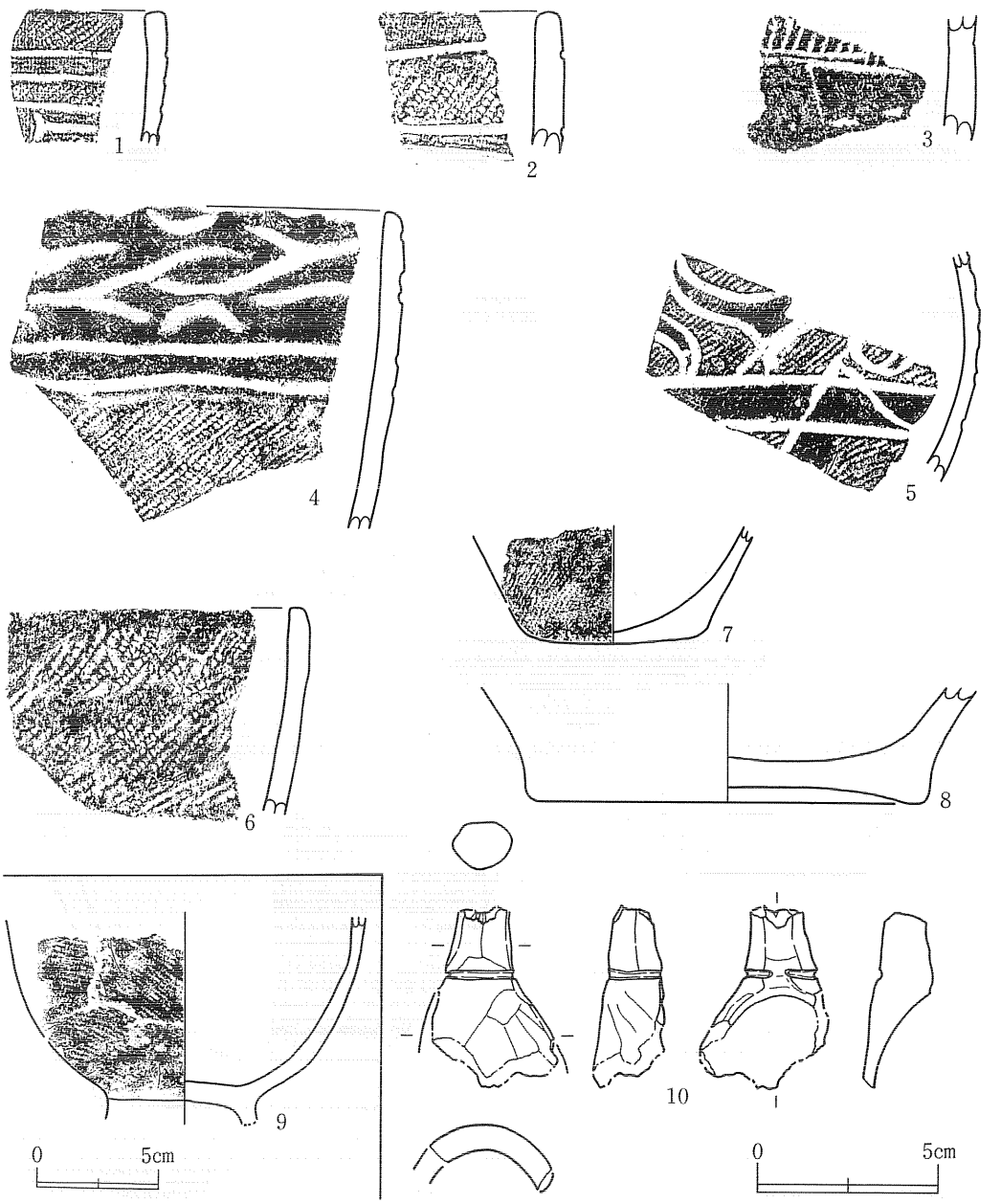
SＩ113 P2
1．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒やや多く、炭化物少量含む。
2．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山崩壊土多量、炭化物やや多く含む。
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)ややしまりなし、地山崩壊土多量含む。
4．褐色土(10YR4/4)しまりなし、地山崩壊土多量含む。
5．にぶい黄褐色土(10YR5/4)ややしまりなし、地山崩壊土多量含む。

SＩ113
8．にぶい黄褐色土(10YR4/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土多量含む。
9．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。
10．明黄褐色土(10YR6/6)きわめてしまりあり、暗褐色土きわめて多量含む。
11．褐色土(10YR4/6)しまりあり、地山粒やや多く含む。

SＩ113 P4
1．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒少量含む。
2．にぶい黄褐色土(10YR5/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
3．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
4．黄褐色土(10YR5/6)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
5．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
6．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。

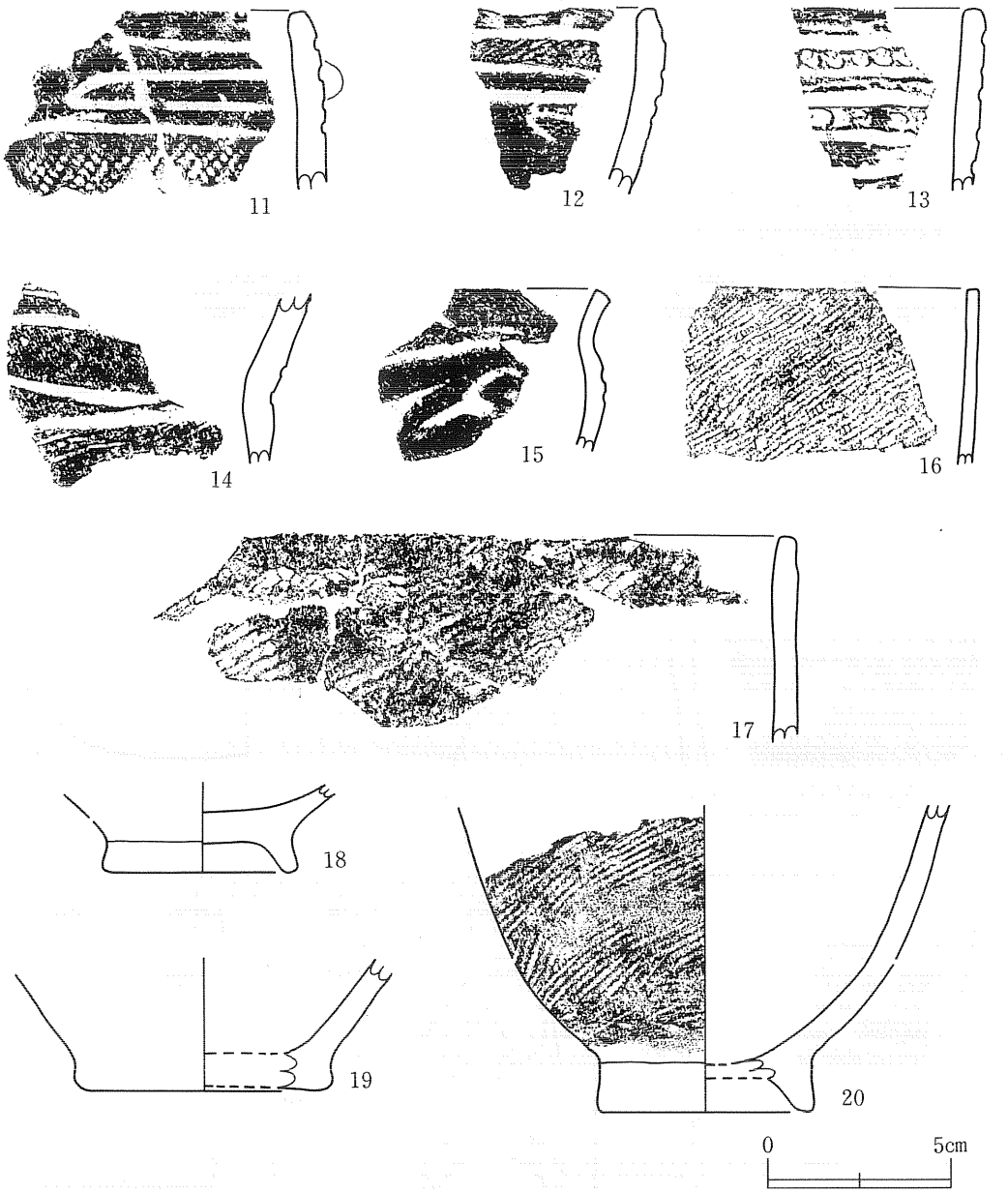
| 住居跡 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SＩ113 | NＩ52・53 | Ⅶ | 楕円形 | E | 2.90×(2.60) | 2.78×(2.50) | 0.17 | 自然堆積 | SK131→SI113→SK157～160 | 18・21 |

第12図　SI 113竪穴住居跡



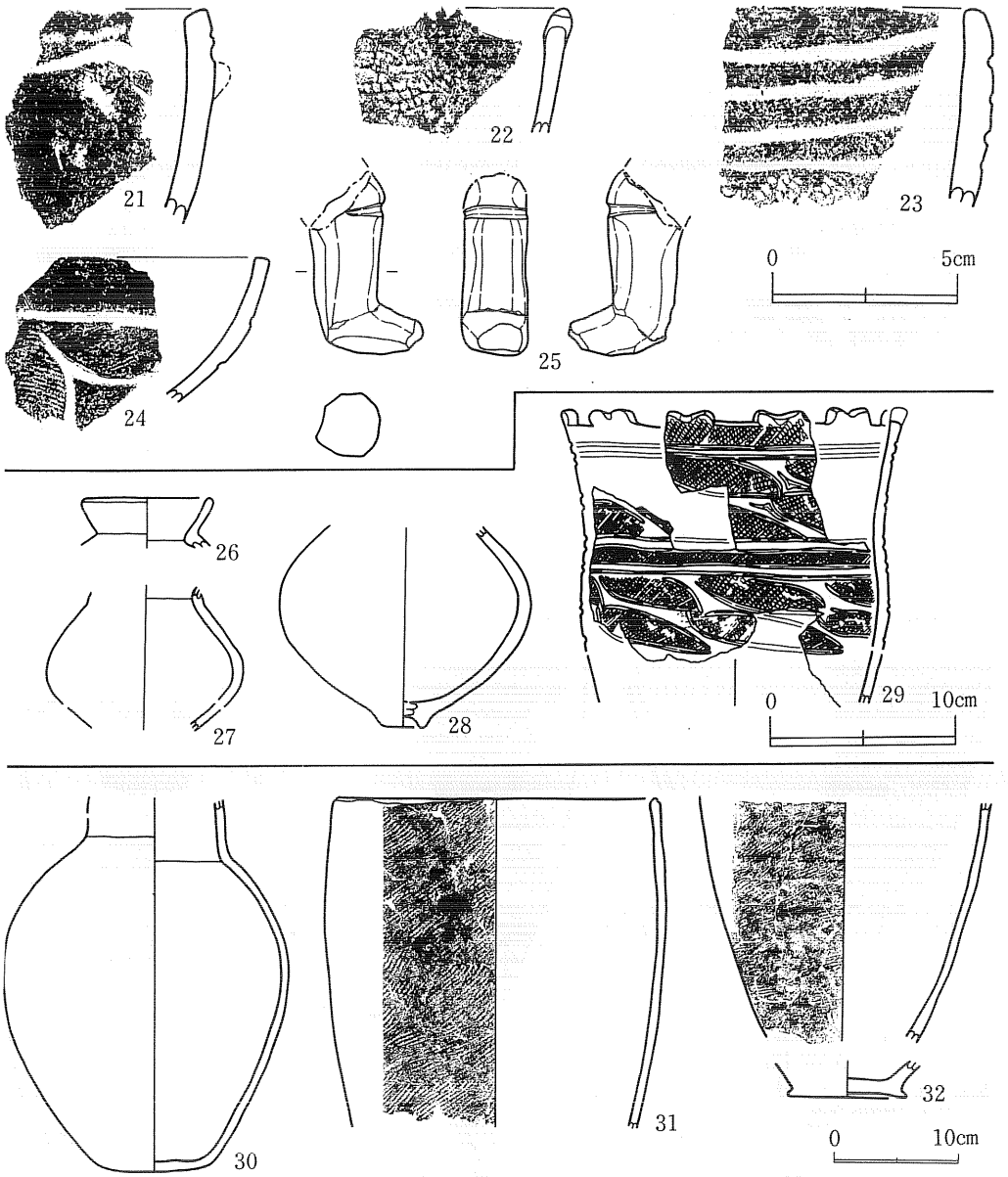

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 匿方向 | 内面の調整 | 付着物外 | 付着物内 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | SI95A | 床直 | 鉢 | | | | | 入組三叉文? | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 2 | SI95A | 床直 | 〃 | | | | | 入組三叉文? | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 3 | SI95A | 埋土中 | 〃 | | | | | 平行沈線間にキザミ目充填 | | | ナデ | | |
| 4 | SI95A | 埋土中 | 〃 | | | | | 上下に弧状文を付加した入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 5 | SI95A | 埋土中 | 壺 | | | | | 雲形文?＋横位無文帯＋縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 6 | SI95A | 床直 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 7 | SI95A | 埋土中 | | | | 5.1 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 8 | SI95A | 埋土中 | | | | (11.0) | | | | | | | |
| 9 | SI95B | 上層 | 鉢 | | | 6.2 | | 縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 10 | SI95B | 上層 | 匙形土器 | | | | | 横位沈線 | | | ナデ | | |

**第13図　SI95A・SI95B竪穴住居跡出土土器(1)**



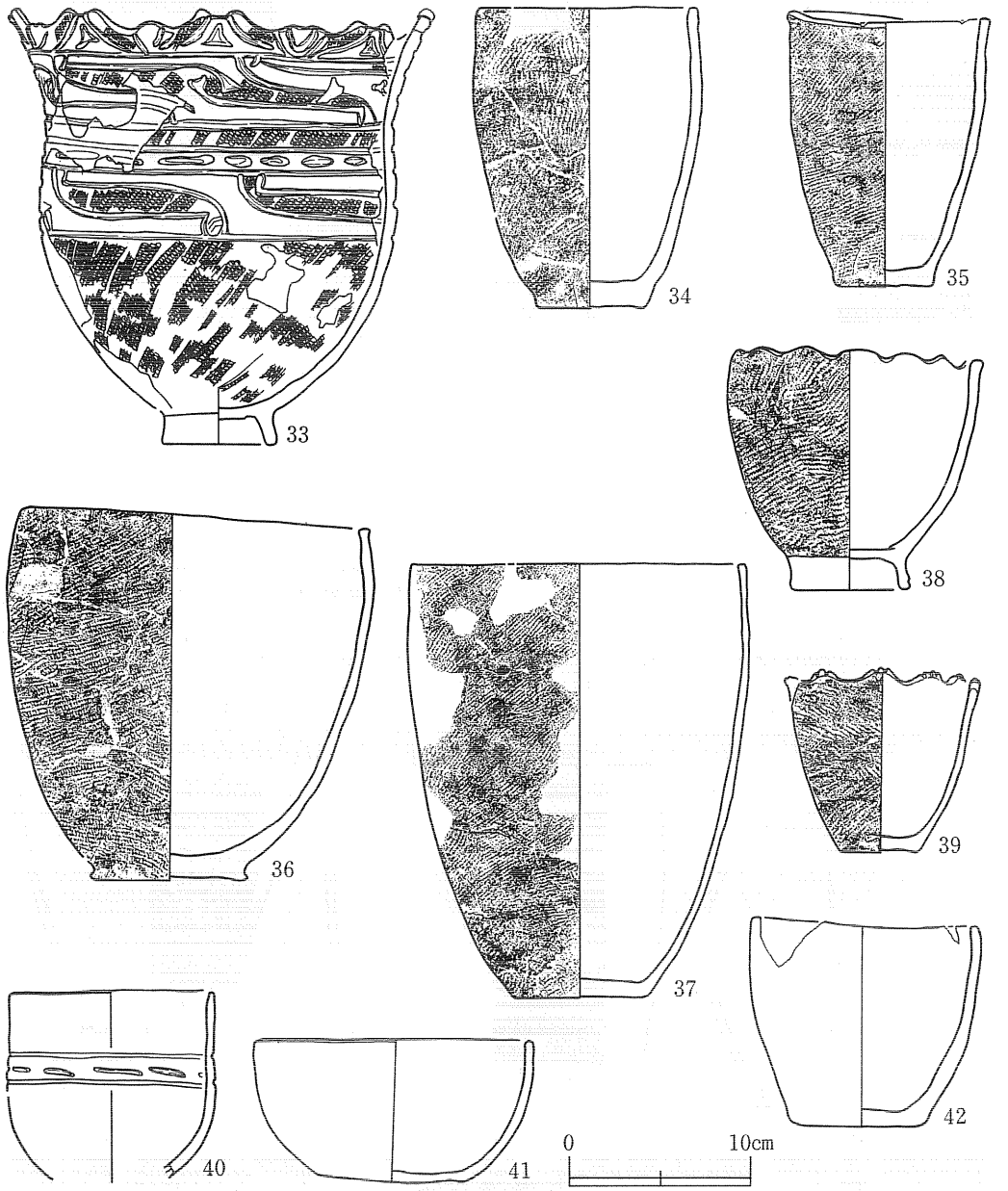

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物外 | 付着物内 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | SI95B | 上層 | 鉢 | | | | | 平行沈線文？＋貼瘤 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 12 | SI95B | 上層 | 〃 | | | | | 平行沈線内縄文充填＋区画文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 13 | SI95B | 上層 | 〃 | | | | | 平行沈線＋浅い刺突充填 | | | ヨコナデ | | ススス |
| 14 | SI95B | 上層 | 〃 | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 15 | SI95B | 上層 | 〃 | | | | | 入組三叉文 | | | | | |
| 16 | SI95B | 上層 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 17 | SI95B | 上層 | 〃 | | | | | 縄文(上部には閉端部回転圧痕) | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 18 | SI95B | 上層 | 台 | | | 5.1 | | | | | | ススス | ススス |
| 19 | SI95B | 上層 | | | | (7.0) | | | | | | | ススス |
| 20 | SI95B | 上層 | 鉢 | | | (5.8) | | 縄文 | ＬＲ | 横・斜 | ケズリ | | ススス |

**第14図　SI95A・SI95B竪穴住居跡出土土器(2)**



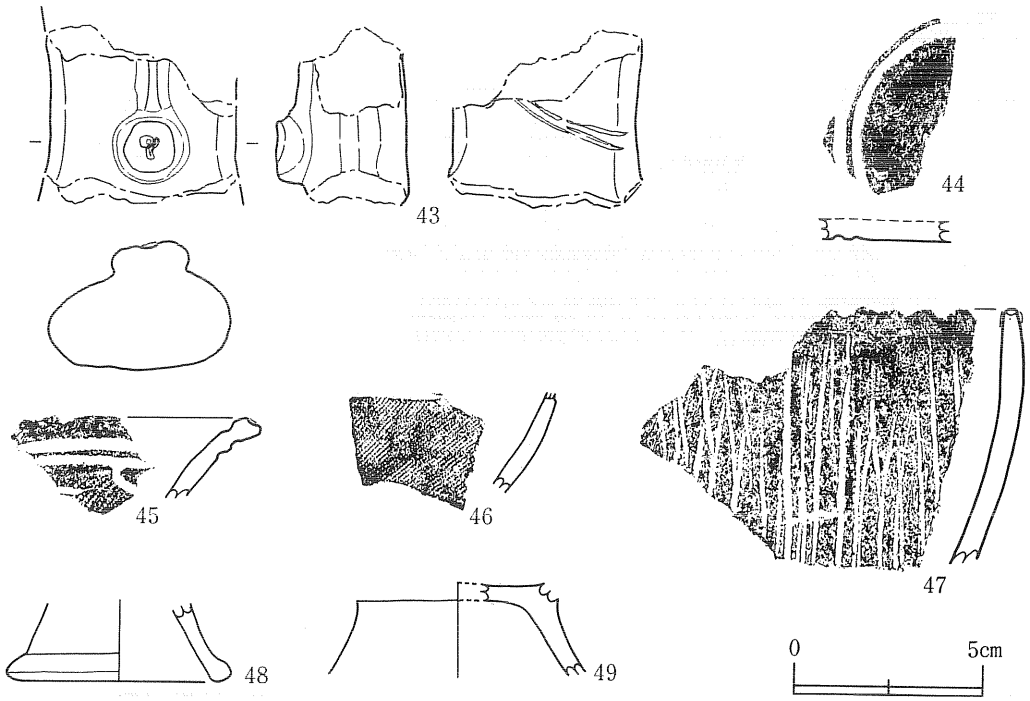

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物外 | 付着物内 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | SI95B | 下層 | | | | | | 平行沈線＋2個一対の貼瘤 | | | ヨコナデ | | |
| 22 | SI95B | 下層 | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 23 | SI95B | 下層 | | | | | | 平行沈線 | | | ヨコナデ | | |
| 24 | SI95B | 下層 | 浅鉢 | | | | | 雲形文内縄文充填 | ＬＲ | 横・斜 | ミガキ | ベンガラ | |
| 25 | SI95B | 下層 | （土偶） | 足 | | | | 膝を曲げた形で前面に横位沈線 | | | | | |
| 26 | SI95B | 下層 | 壺 | | 7.1 | | | | | | ミガキ | | |
| 27 | SI95B | 下層 | 〃 | | | | | | | | ヨコナデ | | |
| 28 | SI95B | 下層 | 注口 | | | (2.2) | | | | | 上ヨコナデ 下ケズリ | ベンガラ | ベンガラ |
| 29 | SI95B | 下層 | 台付深鉢 | | 18.7 | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 横 | | ススス | ススス |
| 30 | SI95B | 下層 | 壺 | D2 | | 9.0 | | | | | ナデ | | |
| 31 | SI95B | 埋土中 | 深鉢 | | 26.8 | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 32 | SI95B | 床直 | 鉢 | | | (9.4) | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |

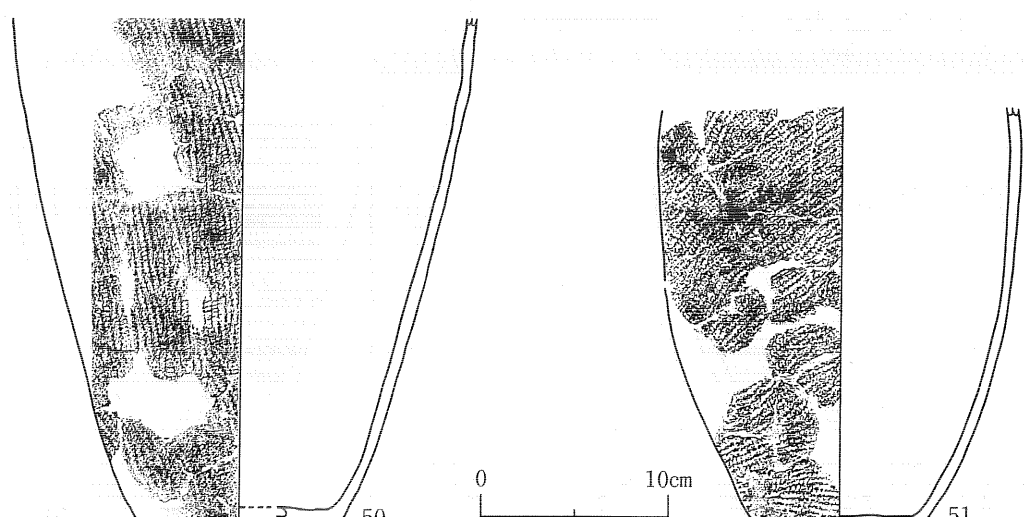
**第15図　SI95A・SI95B竪穴住居跡出土土器(3)**




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 調整 | 内面の調整 | 付着物外 | 付着物内 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | SI95B | 床直 | 台付深鉢 | G | 23.4 | 6.0 | 23.8 | 2個一組の山形突起+小突起、入組三叉文+平行沈線間に短い沈線を充填+入組三叉文 | LR | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 34 | SI95B | 床直 | 深鉢 | E 1 | 12.0 | 6.0 | 16.3 | 縄文 | RL | 不整 | ナデ | ススス | |
| 35 | SI95B | 床直 | 〃 | E 1 | 11.2 | 5.5 | 15.0 | 縄文 | LR | 不整 | ナデ | ススス | ススス |
| 36 | SI95B | 床直 | 〃 | C 1 | 19.2 | 8.6 | 20.4 | 縄文 | LR | 横 | ナデ | ススス | |
| 37 | SI95B | 床直 | 〃 | D 1 | (18.4) | 7.4 | 23.8 | 縄文 | LR | 横 | ナデ | ススス | |
| 38 | SI95B | 床直 | 鉢 | A 1 | 13.3 | 6.5 | 13.4 | 縄文 | LR | 不整 | ナデ | ススス | ススス |
| 39 | SI95B | 床直 | 鉢 | H | (10.7) | 4.4 | 10.1 | 縄文 | LR | 不整 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 40 | SI95B | 床直 | 鉢 | D | 11.1 | | | 平行沈線間に短い横沈線を充填 | | | ミガキ | | |
| 41 | SI95B | 床直 | 鉢 | C | 15.3 | 8.0 | 8.0 | (外面ミガキ) | | | ミガキ | | |
| 42 | SI95B | 床直 | 鉢 | B 1 | 12.4 | 7.6 | 11.5 | (外面ケズリ) | | | ナデ | ススス | ススス |

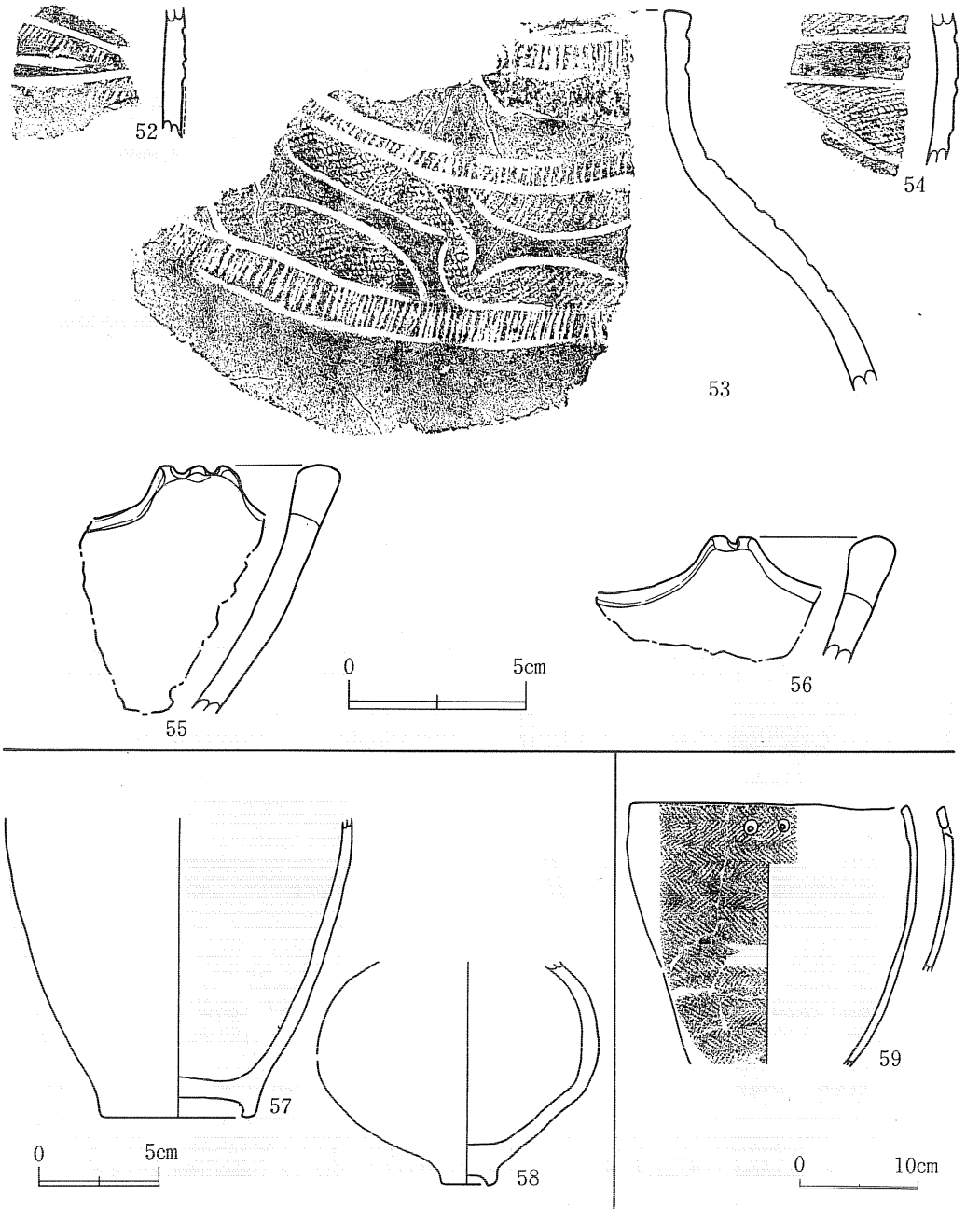
**第16図　SI95A・SI95B竪穴住居跡出土土器(4)**



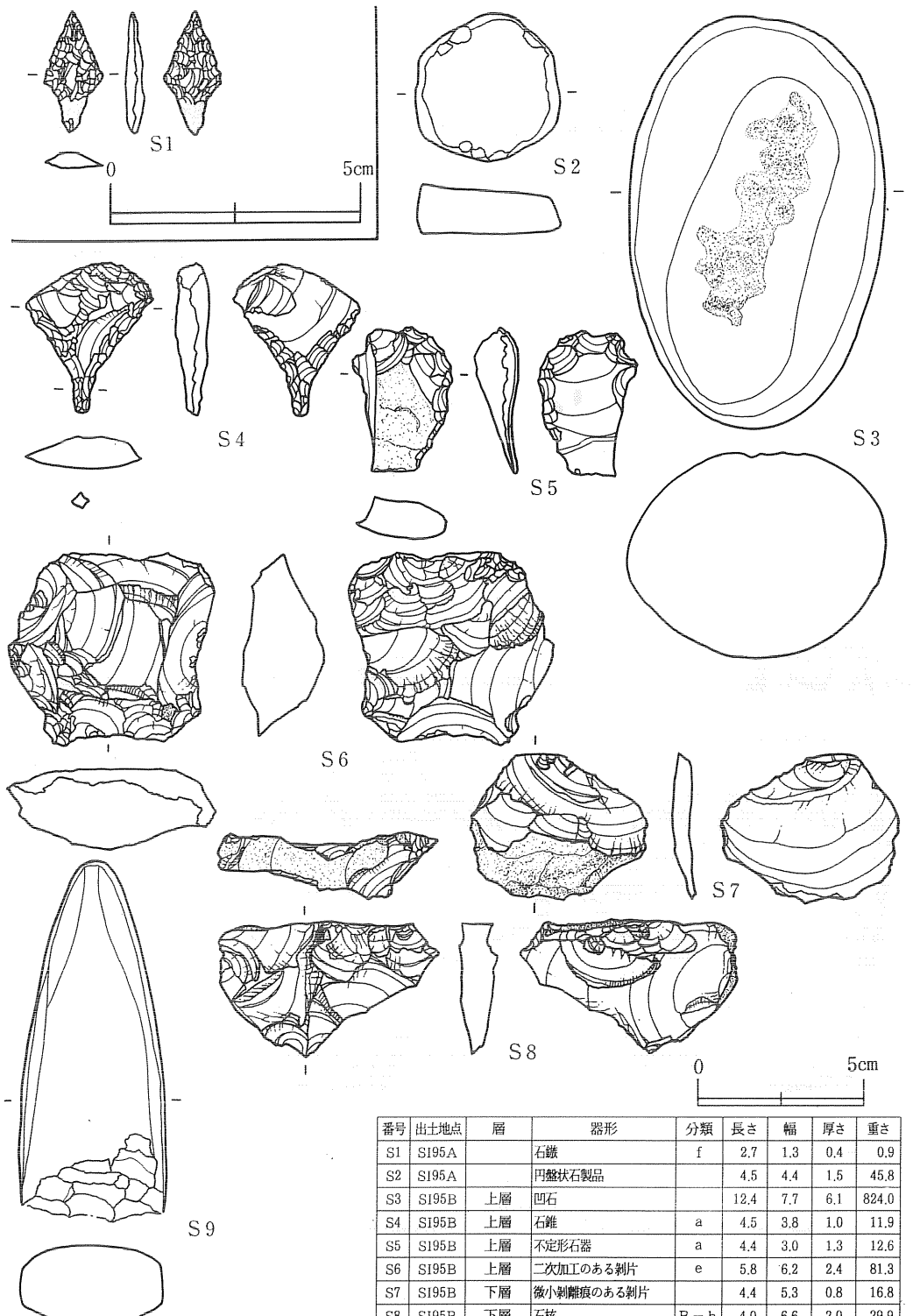

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 施加 | 内面の調整 | 付着物外 | 付着物内 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 43 | SI95B | 床直 | （土偶） | 胴 | | | | 隆帯とボタン状の貼り付け | | | | | |
| 44 | SI104 | 埋土中 | 皿 | | | | | 平行沈線＋ミガキ | | | | | |
| 45 | SI104 | 埋土中 | 皿 | | | | | 雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | ベンガラ |
| 46 | SI104 | 埋土中 | | | | | | 沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 47 | SI104 | 埋土中 | 鉢 | | | | | 口唇部刺突＋縦位条痕状沈線 | | | ヨコナデ | | |
| 48 | SI104 | 炉内 | 台 | | | | | 台部下端に縄文帯 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 49 | SI104 | 炉内 | 台 | | | | | | | | ミガキ | | |
| 50 | SI104 | 床直 | 深鉢 | | | (10.9) | | 縄文 | ＲＬ | 斜 | ヨコナデ | スス | |
| 51 | SI104 | 床直 | 深鉢 | | | 8.7 | | 縄文 | ＬＲ | 横・斜 | ヨコナデ | | |

第17図　SI 95B・SI 104竪穴住居跡出土土器(5)



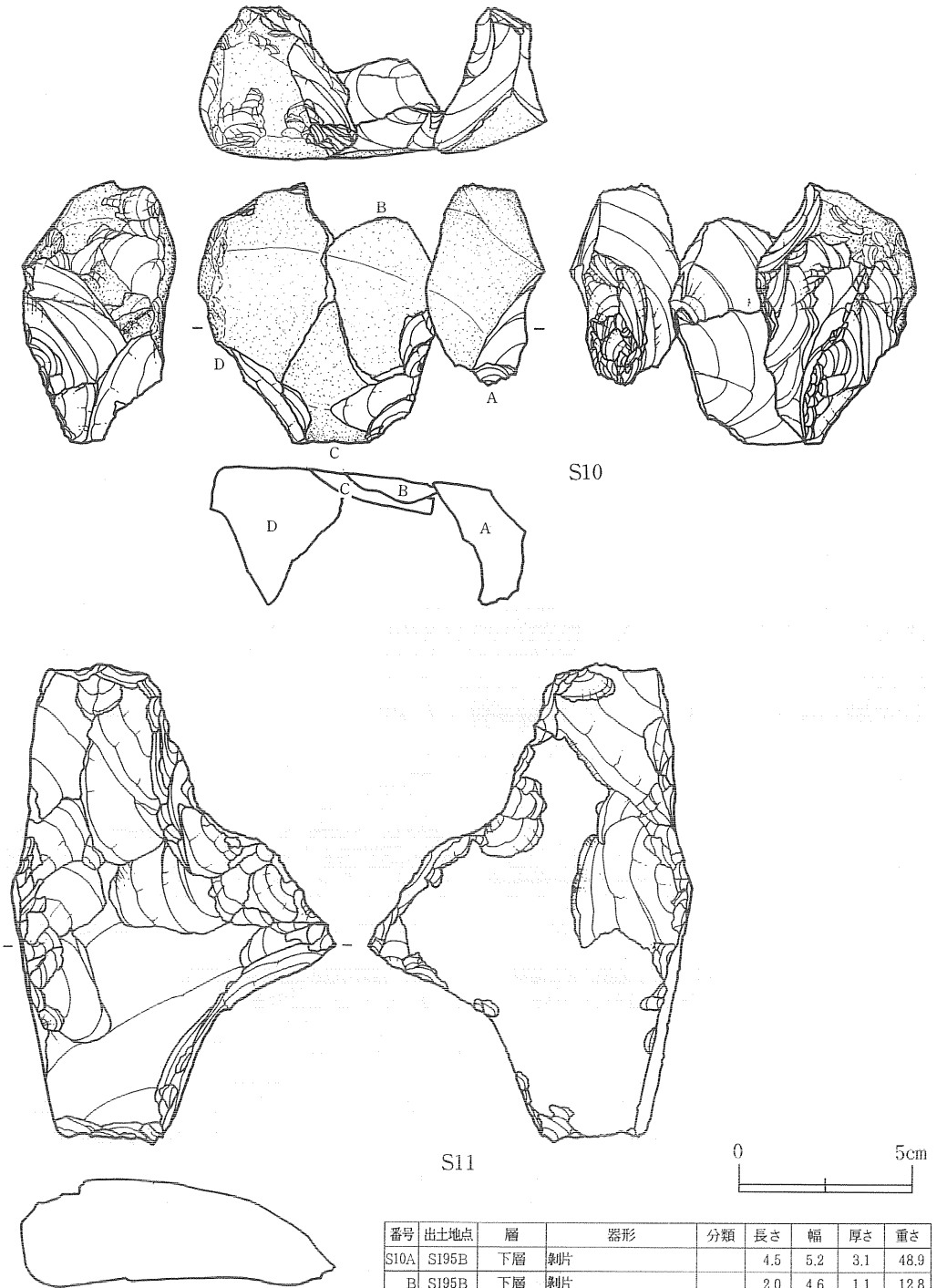

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物外 | 付着物内 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 52 | SI113 | | | | | | | 入組三叉文？＋斜位キザミ目充填 | | | ナデ | ススス | ススス |
| 53 | SI113 | | 壺 | | | | | 横位キザミ目文帯＋入組三叉文内縄文充填 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 54 | SI113 | | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 55 | SI113 | | | | | | | 山形突起の先端に２個のキザミ | | | ミガキ | | |
| 56 | SI113 | | | | | | | 山形突起の先端に１個のキザミ | | | ミガキ | | |
| 57 | SI113 | | 鉢 | C | | 6.4 | | | | | ヨコナデ | ススス | |
| 58 | SI113 | | 壺 | A | | 2.3 | | | | | ナデ | | |
| 59 | SI113 | | 深鉢 | C１ | 23.4 | | | 非結束羽状縄文(同一原体による) | ＲＬ | 横・縦 | ナデ | ススス | ススス |

**第18図　SI 113竪穴住居跡出土土器**



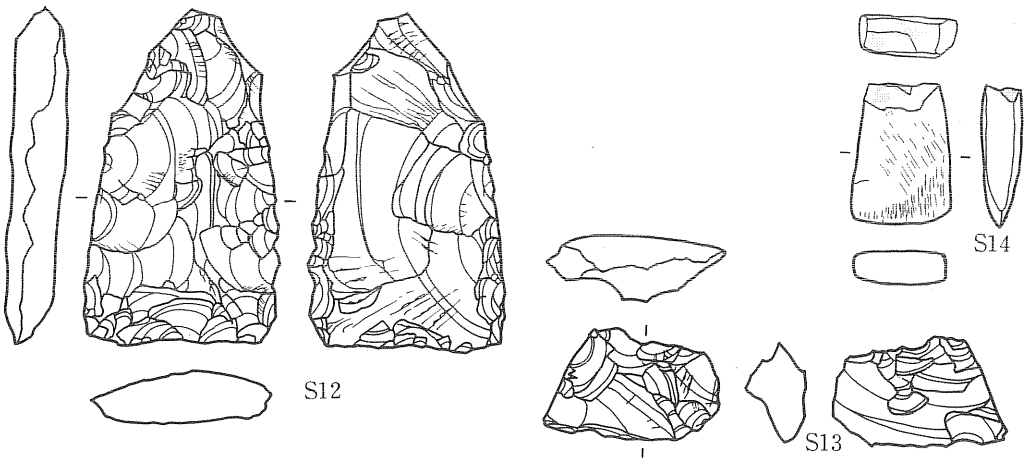

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S1 | SI95A | | 石鏃 | f | 2.7 | 1.3 | 0.4 | 0.9 |
| S2 | SI95A | | 円盤状石製品 | | 4.5 | 4.4 | 1.5 | 45.8 |
| S3 | SI95B | 上層 | 凹石 | | 12.4 | 7.7 | 6.1 | 824.0 |
| S4 | SI95B | 上層 | 石錐 | a | 4.5 | 3.8 | 1.0 | 11.9 |
| S5 | SI95B | 上層 | 不定形石器 | a | 4.4 | 3.0 | 1.3 | 12.6 |
| S6 | SI95B | 上層 | 二次加工のある剥片 | e | 5.8 | 6.2 | 2.4 | 81.3 |
| S7 | SI95B | 下層 | 微小剥離痕のある剥片 | | 4.4 | 5.3 | 0.8 | 16.8 |
| S8 | SI95B | 下層 | 石核 | B－b | 4.0 | 6.6 | 2.0 | 29.9 |
| S9 | SI95B | 下層 | 磨製石器 | a b c | (10.9) | 4.4 | 2.4 | (184.8) |

第19図　SI 95A・95B竪穴住居跡出土石器(1)




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S10A | SI95B | 下層 | 剥片 | | 4.5 | 5.2 | 3.1 | 48.9 |
| B | SI95B | 下層 | 剥片 | | 2.0 | 4.6 | 1.1 | 12.8 |
| C | SI95B | 下層 | 剥片 | | 4.6 | 5.2 | 1.3 | 23.7 |
| D | SI95B | 下層 | 石核 | S－b | 7.5 | 4.1 | 4.3 | 123.5 |
| S11 | SI95B | 下層 | 礫器 | | 13.9 | 9.3 | 3.1 | 306.6 |

第20図　SI 95B竪穴住居跡出土石器(2)




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S12 | SI113 | | 箆状石器 | Ｂウ | 8.9 | 5.2 | 1.6 | 74.4 |
| S13 | SI113 | | 二次加工のある剥片 | e | 2.9 | 4.7 | 1.7 | 20.2 |
| S14 | SI113 | | 磨製石斧 | ｂｃ | (3.7) | 2.7 | 1.0 | (17.9) |

0　5cm

**第21図　SI 113竪穴住居跡出土石器**

159・160となる。

平面形はほぼ円形で、中央部に地床炉がある。壁は南側を除いて高さ10～15cmが残存する。柱穴は北側半分で４箇所検出したが、南側半分では検出できなかった。南西側の壁際の床面で径20cm程の灰白色粘土塊を検出した。この粘土塊はＳＫ56、57、58、61土坑の埋土や底面で出土した粘土と同質のものである。ＳＫ137土坑底面でも検出されている。大型の壺（第18図53）、浅鉢（55、56）、注口土器（58）等の出土土器の特徴から、遺構の帰属時期は後期末葉である。床面に近い埋土中から打面調整剥離技法によって作られた箆状石器（第21図Ｓ12）小型磨製石斧（Ｓ14）等が出土した。Ｓ14は折れ面にアスファルトが付着しており、補修して使用していたことをうかがわせる。

## 2　土坑

土坑は112基を検出した。個々の土坑の位置、形態、測定値等は第10図、第11図、第24図～第48図、第49図～第76図の表に掲載した。

断面形は、次の７類に分類し、表中にはその記号を記載した。

A　口径より底径が広い三角フラスコ形の形態で、壁は底面から鋭角に立ち上がり、底面と壁との境界は明瞭である。

B　口径より底径が広い三角フラスコ形の形態で、壁と底面の境界は丸味を帯びて連続する。

Ｃ　口径より底径が広い形態で、壁と底面の境界は丸味を帯びて連続するが、大きく内傾し、底面と天井部の高さは底径に対して極端に低い。壁は内傾した後、上方に立ち上がり開口する。

Ｄ　口径より底径が広い袋状の形態で、壁と底面の境界は丸く連続し不明瞭である。口径と底径の差はあまり大きくない。

Ｅ　平坦な底面から壁が直立し、底面と壁に明瞭な境界がある。

Ｆ　平坦な底面から壁が立ち上がるが、底面と壁は丸味を帯びて連続し境界は不明瞭である。

Ｇ　底面から壁にかけて全体に丸く連続し、境界は不明瞭である。

土坑は、形態、大きさ、埋土の状態、粘土層の掘り込みから次の７類に分類される。

**Ａ類（31基）**

平面形は楕円形で、断面形はＥまたはＦ。埋土は、ブロック状や粒状に地山土を多量に含む人為堆積である。底面や埋土の下部でベンガラが検出された土坑も４基ある。

ＳＫ０４、０８、０９、１４、１６、２２、２３、２８、２９、３０（ベンガラ）、３２（ベンガラ）、３５、３６、３７、３８、３９、４０、４１（ベンガラ）、４４、４９、５１、５２、５３、５４、５５（ベンガラ）、６９、８０、８１、８２、１０３、１２１

**Ｂ類（14基）**

平面形は円形もしくは不整円形で、断面形はＢまたはＣ。埋土は、Ａ類と同様にブロック状や粒状に地山土を多量に含む。底面や埋土下部でベンガラが検出された土坑も３基ある。

ＳＫ０１、６０、６３、６４、６５、６６、６７（ベンガラ）、６８、７１（ベンガラ）、７２、８９、９９、１０９（ベンガラ）

**Ｃ類（６基）**

平面形は円形もしくは不整円形で、断面形はＡ、Ｂ、Ｄ。埋土は、地山土の粒子を含む黒褐色系の土が流入する自然堆積で、壁の崩落による地山土の層がその間に入り互層をなす。

ＳＫ１５、３４、１２３、１３２、１３７、１５１

**Ｄ類（４基）**

平面形は不整形、底面は凹凸が著しく、上端よりも奥に入り込んで袋状になっている部分もある。粘土層を掘り込んでおり、埋土中には粘土やシルトのブロックが多く含まれる。埋土は自然堆積で、壁の崩落による地山土の層がある場合もある。

ＳＫ５６、５８、５９、６１

**Ｅ類（26基）**

平面形は円形で、断面形はＥ、Ｆ。径の小さい柱穴状のピットである。埋土は次の５種に細

分できる。

（ａ）　地山土の粒子を含む黒褐色系の土が流入する自然堆積のもの。

（ｂ）　中央部に縦長の黒褐色系の土が入り、黒褐色～褐色系の土がその周囲を囲み、柱の痕跡のようにみえるもの。

（ｃ）　埋土の上部に地山のシラス層がうすく入る。自然堆積のもの。

（ｄ）　底面直上に固くしまった薄い黒褐色土層があり、その上に地山のシラス層が入る。上部の埋土は、黒褐色と褐色土が薄い互層をなす自然堆積のもの。

（ｅ）　下部の埋土は（ｄ）と同じであるが、上部には地山の粒子を多く含む黒褐色系の土がブロック状に入る人為堆積のもの。

ＳＫ１１４（ｃ）、１１５（ａ）、１１８（ｅ）、１１９（ｄ）、１２２（ｄ）、１２４（ｅ）、１２５（ｂ）、１２６（ｂ）、１２７（ｂ）、１２８（ｄ）、１３０（ａ）、１３６（ｄ）、１４０、１４１（ａ）、１４２、１４３、１４４、１４６、１４７（ｅ）、１４８（ｂ）、１４９、１５３、１５７（ａ）、１５８、１５９、１６０

**Ｆ類（28基）**

Ａ～Ｄ類以外の土坑で、埋土中に大湯浮石粒を含まず、縄文時代の土坑と考えられるものである。

ＳＫ０２、１０、１１、１８、２１、２４、２６、２７、３３、４２、７０、７８、７９、８５、９８、１００、１０１、１０５、１０７、１０８、１１０、１１６、１１７、１２０、１３１、１４５、１５４、１５５

**Ｇ類（３基）**

Ａ～Ｄ類以外の土坑で、埋土中に大湯浮石粒を含み、平安時代以降の土坑と考えられるものである。

ＳＫ１２、２５、８４

これらのうち、Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ類について、配置、長軸方位、遺物出土状況等の特徴をまとめ、各類土坑の性格を推定してみる。

［配置］

Ａ類、Ｂ類、Ｃ類、Ｅ類は台地上の平坦部と下り際の比較的緩傾斜の斜面に分布し、Ｄ類は斜面中腹に分布する。Ａ・Ｂ・Ｄ・Ｅ各類は、調査区内の分布にそれぞれ著しいかたよりがある（第22図）。

Ａ類：８箇所のまとまりがある。台地南縁には波状の出入りがあるが、Ａ類土坑はその突出部に多数が集中し、沢目に少数がまとまって存在する。多数のまとまりは東側（ＭＥ～ＭＧグ

リッド）に９基、西側（ＭＭ～ＭＯグリッド）に10基である。それをはさむようにＭＩラインに３基、ＭＱラインに４基のまとまりがある。これらの他はＮＤ51グリッド、ＮＢ51グリッド、ＮＮ53グリッド、ＯＡ50グリッドで単独に各１基がある。単独の４基以外は調査区の東半に集中しており、Ｂ類、Ｅ類が分布する区域とはほとんど重ならない。

Ｂ類：調査区中央部の最も広い突出部に13基のまとまりがある。特にＭＴ～ＮＢグリッドに11基が集中する。他には１基が離れて単独でＭＬ50グリッドにある。Ａ類、Ｄ類、Ｅ類が分布する区域とはほとんど重ならない。

Ｃ類：３箇所に分散し、台地上の平坦部及び斜面上部のやや急斜面にある。東側のＭＭ・ＭＮラインは、Ａ類の最も集中する区域内にあり、中央部のＮＥ、ＮＧラインはＢ類区域とＥ類区域の中間、西側のＮＭ53グリッドは、Ｅ類の集中区域内である。

Ｄ類：斜面中腹の比較的急斜面に占地する。表土が未発達で段丘堆積物が露出しやすい部分である。調査区東側に３基、西側に１基ある。

Ｅ類：調査区西側の台地上に26基すべてがまとまる。台地南縁の凹部に面する。斜面下部は捨て場２の範囲である。この区域にはＢ類は全くない。

［長軸方位］

楕円形のＡ類について、８箇所の集中区を東側から順にａ～ｈ群とし、長軸方位を群毎にまとめたのが第23図である。

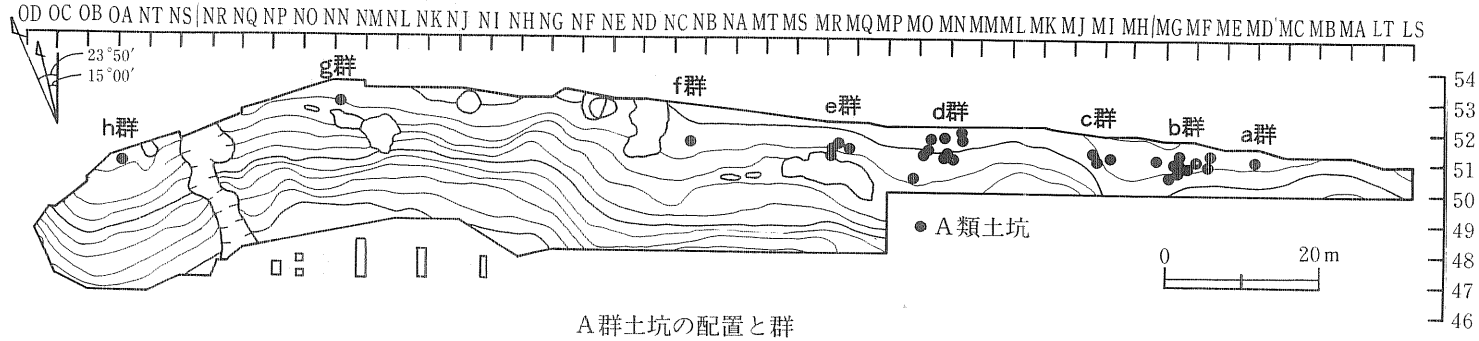
まず全体では西－東、北西－南東、北－南に集中する傾向が認められ、その他に単独で東北東－西南西のものが１基ある。北北西（Ｎ－６°－Ｗ～Ｎ－28°－Ｗ）－南南西と西北西（Ｎ－57°－Ｗ～Ｎ－70°－Ｗ）－東南東、北東（Ｎ－39°－Ｅ～Ｎ－67°－Ｅ）－南西方向には分布しない。

次にこの長軸方位とａ～ｈ群の分布域の関係を検討する。（単独の土坑によって構成されるａ、ｆ、ｇ、ｈ群は除く。）ｂ、ｃ、ｄ、ｅ群の含まれる長軸方向のまとまりが３方向、ｂ、ｄグループのみのまとまりが２方向認められる。（以下、北側180度の半円内における長軸方位で表す。）前者は、**ウ**Ｎ－28°－Ｗ～Ｎ－36°－Ｗ、**イ**Ｎ－45°－Ｗ～Ｎ－57°－Ｗ、**オ**Ｎ－24°－Ｅ～Ｎ－39°－Ｅ、後者は、**エ**Ｎ－17°－Ｅ～Ｎ－６°－Ｗ、**ア**Ｎ－70°－Ｗ～Ｎ－79°－Ｗである。さらに**カ**Ｎ－67°－Ｅのものが単独である。

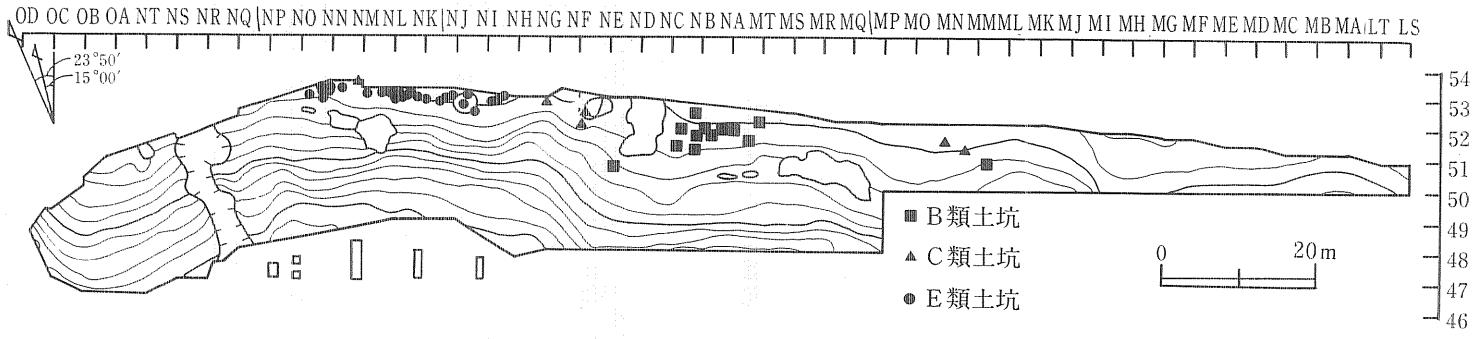
［遺物出土状況］

Ａ類：ほとんど遺物が出土せず、わずかにＳＫ37土坑で有孔石製品が２点、ＳＫ53土坑から縄文土器片が２点出土したのみである。

Ｂ類：土坑内からは、完形土器や復元土器が多数出土した。出土状況を大別すれば次の４種がある。




A群土坑の配置と群

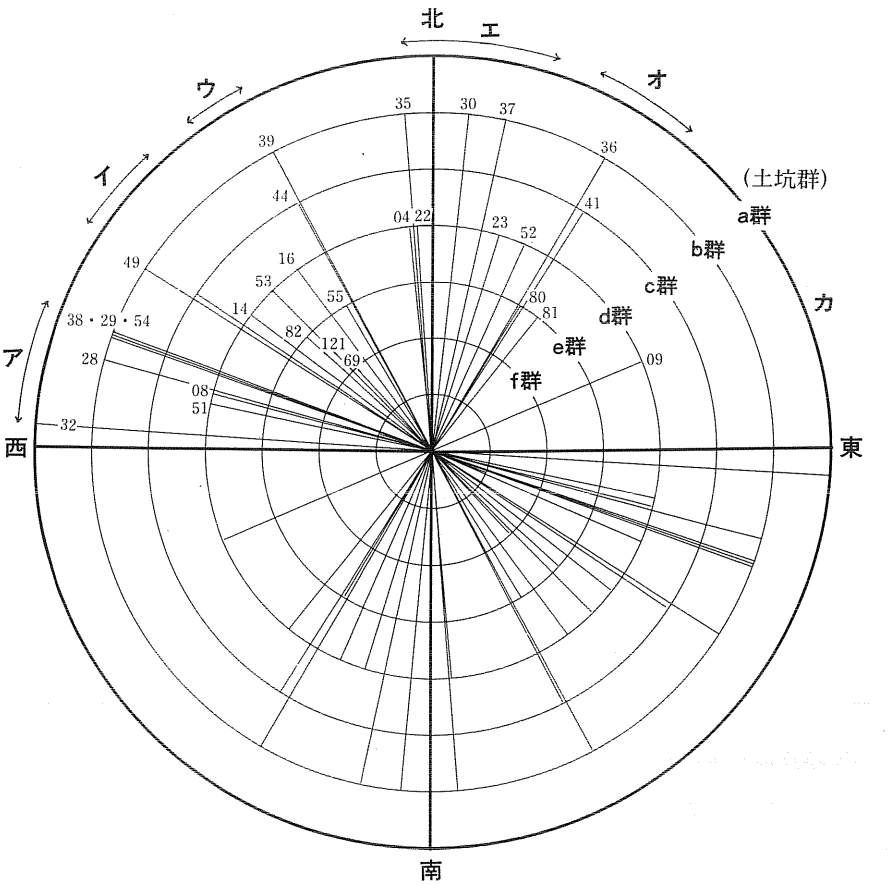



B類・C類・E類土坑の配置

第22図　各種土坑配置図

| |
|---|
| ＳＫ０１　遺物出土パターンｂ<br>土坑北西側で、第49図66の中に64が入れ子状に重なり、さらにその中に小型台付鉢の62と扁平な礫が入る。64・66はいずれも粗製深鉢で胴部下半から大きく２つに折れたように上半部が横倒しになって底面に接する。下半部はほぼ正立の状態で底面との間に薄い間が入る。この他に土器の小破片が埋土中に含まれる。 |
| ＳＫ６０　遺物なし |
| ＳＫ６３　遺物出土パターンｃ<br>第60図154、155が多数の破片となって土坑の北側半分を覆う。土坑底面との間には約10～12cm間層が明瞭に入る。この他に土器の小破片が底面や埋土中に含まれる。 |
| ＳＫ６４　遺物出土パターンｂ<br>土坑の中央部で第60図162の中に重なって161が入った状態で横倒しになっている。隣接して160も横倒しに入る。これらはいずれも小型粗製深鉢である。土器は、底面から10～12cm程度上にあり、その間には地山ブロックを多量に含む暗褐色土と黒褐色土が互層に入る。 |
| ＳＫ６５　遺物出土パターンｄ<br>埋土中から少量の土器片・石器が出土した。 |
| ＳＫ６６　遺物出土パターンｂ・ｃ<br>第61図169、170等の大破片が土坑北西側を覆うように分布する。172は横倒しの状態でそれに隣接する。これらの土器と土坑底面の間には12～14cmの地山土を多量に含む間層が入る。さらに埋土中には土器の小破片が含まれる。 |
| ＳＫ６７　遺物出土パターンｂ<br>第61図173の粗製深鉢が土坑北東側に横倒しになり、その反対側土坑南西側には底面にベンガラの散布する範囲が認められた。さらに、埋土中には土器の小破片が少量含まれる。 |
| ＳＫ６８　遺物出土パターンｄ<br>埋土中から縄文のみが施文された土器の小破片が少量出土した。 |
| ＳＫ７１　遺物出土パターンａ<br>第62図174～179が土坑底面に接して出土した。土坑底面の北側はベンガラが散布されてあり、土器はその上から横倒しの状態で出土した。 |
| ＳＫ７２　遺物出土パターンｄ<br>埋土中から縄文のみが施文された土器の小破片が１点出土した。 |
| ＳＫ８９　遺物出土パターンａ<br>第63図184～187が、土坑底面に接して出土した。183は薄い間層をはさんで底面からやや上で出土した。186～187の大型粗製深鉢は土坑底面の中央やや北寄りに折り重なって横倒しになっており、その南側に隣接する185の上部の破片は土の南側にも広がっていた。184の小型壺と183の小型鉢は土坑底面の周縁に近い所があった。 |
| ＳＫ９９　遺物出土パターンｃ<br>第64図195の粗製深鉢の破片が土坑底面との間に約８～10cmの間層をはさんで土坑を覆うような状態で出土した。復元した結果残存していたのは土器の⅔程である。この他に埋土中には土器の小破片、石器が少数含まれている。 |
| ＳＫ１０６　遺物出土パターンｄ<br>埋土中から第64図192～194等、少数の土器破片が出土した。 |
| ＳＫ１０９　遺物出土パターンａ・ｃ<br>ベンガラの混じる土が、土坑の北西側で底面との間に８～14cmの間層をはさんで検出された。第69図238の粗製深鉢はベンガラの範囲にやや重なってその南側に土坑を覆うように破片が広がっている。また、内部に注口土器(235)と台付浅鉢(237)の入った第69図241の大型の鉢と236の注口土器はベンガラのさらに北側に、235は土坑の東側にいずれも底面と壁の境界に接するように置かれていた。 |

**第２表　Ｂ類土坑遺物出土状況一覧表**




第23図　A類土坑長軸方位図

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＳＫ０１ | Ｎ－ 30°－Ｗ | ＳＫ６８ | ? |
| ＳＫ６０ | Ｎ－ 70°－Ｗ | ＳＫ７１ | Ｎ－50°－Ｗ |
| ＳＫ６３ | Ｎ－ 65°－Ｅ | ＳＫ７２ | ? |
| ＳＫ６４ | Ｎ－ 15°－Ｅ | ＳＫ８９ | Ｎ－０°－Ｗ |
| ＳＫ６５ | ? | ＳＫ９９ | Ｎ－０°－Ｗ |
| ＳＫ６６ | Ｎ－ 30°－Ｗ | ＳＫ１０６ | Ｎ－70°－Ｗ |
| ＳＫ６７ | Ｎ－170°－Ｗ | ＳＫ１０９ | Ｎ－75°－Ｗ |

第３表　B類土坑の推定頭位方向一覧表

a. 土坑の底面や壁に接して完形土器が置かれている。

b. 土坑底面と完形土器の間には間層が入り、土器は埋土の下位～中位に置かれている。

c. 原形をとどめない多数の破片となって土器が埋土中位に土坑を覆うように広がっている。

d. 埋土中に少量の土器破片が含まれるのみである。

完形土器の中には、２個体、または３個体が入れ子状になって重ねられているものもある。

このような出土状況は短期または長期の土坑埋没過程で自然に流入または混入した結果ではなく、意識的に土坑内に埋納したものと考えられる。各土坑の出土状況をまとめたものが第２表である。

Ｃ類：ほとんど遺物が出土しない。

Ｄ類：ＳＫ56土坑の底面から大型粗製深鉢の胴部と底部が出土し(第51図82、83)、埋土の下位から波状口縁で刻目文帯が横位にめぐる小型深鉢(86)が出土した。埋土の上位では、晩期前葉の精製土器が出土した(85)。ＳＫ58土坑は埋土全体に多量の土器片を包含している。埋土中位に炭化物を多量に含む層が入り、この面には焼土も形成されており、埋没過程で一度人為的な面が形成されたようである。この炭化物層をはさんで埋土は上位と下位に大別され、上位は晩期前葉の土器が、下位には後期末の土器が主体である。ＳＫ59土坑内からは土坑の下部を覆うように厚さ２～３cm、長さ35cm、幅約11cmと長さ約14cm、幅約24cmの炭化材が出土した。

Ｅ類：埋土中から縄文土器の小破片が出土する土坑と、全く遺物が出土しない土坑がある。総じて遺物は少ない。

［土坑の帰属時期と性格］

Ａ類

形態的特徴、埋土の状況、ベンガラが検出されること等から、縄文時代の土壙墓と考えられる。能代市柏子所貝塚[1]、鷹巣町藤株遺跡[2]、秋田市地方遺跡[3]、上新城中学校遺跡[4]、狸崎Ａ遺跡[5]、東由利町湯出野遺跡[6]、青森県青森市三内丸山遺跡[7]、浪岡町源常平遺跡[8]等同様の遺構が検出されている。他遺跡の類例を参考にすれば後期末～晩期中葉の幅に収まるものと思われる。

この形態の土壙墓は副葬品として完形土器が入っている例や被葬者の装身具類が出土する例がある。ＳＫ37土坑出土の有孔石製品２点はこのような副葬品もしくは被葬者の装身具であろう。

調査区内におけるＡ類土坑の分布は８箇所に分かれるが、これらのうち単独で検出されたａ群、ｆ群、ｇ群、ｈ群はさらに調査区の北側に連続して群をなすものの一部とであるとも考えられ、群を形成せず単独で存在すると言い切れない。

群を形成して検出されたｂ群、ｃ群、ｄ群、ｅ群については主軸方位に一定の傾向を認めることができる。すなわち、ｂ～ｅ群には第23図に示す長軸方位のまとまり**イ**、**ウ**、**オ**の方向の土坑が必ず１～２基含まれる。また多数の土坑による群であるｂ群、ｄ群には、長軸方位のまとまり**イ**、**ウ**、**オ**以外の土坑が多くあるが、それらは概ね長軸方位のまとまりが**ア**、**エ**に集中

する傾向がある。従来から言われているように長軸方位に縄文時代人の何らかの観念的意味があるとすれば、長軸方向のまとまりは背後に共通する観念の存在を想定できる。

一方、ｂ～ｅ群においては、土坑が重複したりきわめて近接しながらも各区域に分かれて群を形成してしており、それらの場所に対する執着は背後に何らかの規制があったことを暗示している。これら相互の関係は、調査区内から得られた情報だけでは明らかにできない。しかし、あえて推測すれば、土坑の占地は、縄文時代人の相互の人間関係、(例えば血縁関係、出自等)を、長軸方向の違いは埋葬する際に集団全体に及んでいたであろう頭位方向に関する規制（頭位と方位に関する観念、埋葬する季節、集団内に占める自然発生的分業に基づく死者の地位、性別等）を考えることができよう。結論は保留し、他遺跡での人骨の残っている例を中心とした今後の分析と資料の蓄積を待ちたい。

Ｂ類

人為的堆積を示す埋土の状態、ベンガラが散布されるものがあること、遺物の出土状況から、Ａ類土坑と同様に土壙墓の可能性が高いと考える。土坑内から出土した完形土器は副葬されたものであろう。土坑の帰属時期は出土土器から、縄文時代後期末から晩期初頭と考えられる。

先に遺物出土状況をａ～ｄに大別したが、出土状況ａの土器は遺骸とともに土坑に副葬したもの、出土状況ｂの土器は、土坑に遺骸を埋葬し、土である程度覆った後にその上に安置されたもの、出土状況ｃはｂと同様に遺骸をある程度土で覆った後、土器を割って得た破片でその上を覆ったものと推測される。さらに推測を重ねれば、Ａ類土坑ではベンガラが遺骸の頭部あるいは胸部の位置を表しているのと同様に、出土状況ｃの土器片も遺骸の頭部や胸部を覆う行為とも考えられる。とすれば、ＳＫ109土坑の遺物出土状況は、遺骸の頭部にベンガラをふりかけ、上半身を粗製深鉢を割った破片で覆い、他の５点の土器をその周囲の壁際に副葬して埋葬したものとも解釈できる。

このように遺物の出土場所やベンガラから頭位を推定できそうなものの方向を第３表にまとめてみた。Ａ類土坑と比較してみると、Ａ類土坑において認められた長軸方位のまとまり**ア～オ**以外の角度に入るという特徴がある。

また、１つの土坑群を形成している土坑の中にも副葬品の入り方や種類、量に大きな違いがあってＡ類土坑とは大きく異なっている。

形態的違いも含め、Ｂ類土坑とＡ類土坑の違いを時期差とすることは、出土遺物からは決定し難い。類例を求めると大館市山館上ノ山遺跡[9]では断面形がフラスコ形や袋状になる土坑群が検出された。完形土器や浅鉢形の木製品が出土し、ベンガラが散布されていた土坑もあり、家ノ後遺跡Ｂ類土坑と類似する。帰属時期は晩期前葉から中葉である。晩期前半の円形の土壙墓として河辺町松木台Ⅲ遺跡[10]例もある。松木台Ⅲ遺跡の土壙墓は埋土中に断面形がフラスコ形な

るものはなく、円礫を多く含むものや標識的立石を伴うものがある。

青森県むつ市大湊近川遺跡[11]例は、家ノ後遺跡よりやや古い時期の土壙群で、土坑の形態、埋土の状態、遺物出土状況は類似する。岩手県安代町水神遺跡[12]例は、報告書では土壙墓ではなく貯蔵穴であるとしているが、後期末から晩期中葉までの土坑が数多く検出され、家ノ後遺跡Ｂ類土坑と類似する土坑もある。九戸村川向Ⅲ遺跡[13]例は、家ノ後遺跡とほぼ同時期と考えられるが、雫石町繋Ⅲ遺跡[14]例とともに貯蔵穴としており、土坑内から出土する完形土器は貯蔵用に使用された土器がそのまま遺棄されものと解釈している。盛岡市萪内遺跡[15]例ではきわめて多数の土坑が検出され、人骨の遺存土壙があることもあって、円形の土坑、楕円形の土坑のいずれも土壙墓としている。

このような例から、北東北にあってはＢ類土坑は、家ノ後遺跡例より少し古い時期から晩期中葉まで認められる。

しかし、これらの遺跡でもＡ類土坑とＢ類土坑の時期差を明瞭に示す例はなく、また、明らかに同時期に存在するバラエティーと言い切れるのものもない。したがって家ノ後遺跡調査区内のＡ類土坑とＢ類土坑が同時期における埋葬様式の違いなのか、Ａ類からＢ類へ推移する時期差を表すものなのかを決めることは現時点では困難である。もし前者であれば家ノ後遺跡を墓域としていた集団内には埋葬様式や土壙墓の占地に反映される重層的で複雑な組織原理が存在したことになるであろう。後者であれば、Ａ類土坑とＢ類土坑の特徴に現れている葬送様式の変化の背後には、集団内における人間関係の質的変化が後期末から晩期前葉にかけて生起し、縄文時代の一小画期となることが想像される。今後それが判明するような類例の調査が行われれば、家ノ後遺跡の土壙墓群に対する理解も深めることができるであう。

Ｃ類

埋土の状態、遺物がほとんど入らないことから、貯蔵穴と考えられる。時期は不明である。

Ｄ類

Ｄ類土坑のうち最大規模のＳＫ56土坑は、平面形が不整形で、整った形のＡ・Ｂ・Ｃ・Ｅ類土坑とは異なる。底面は径１～２ｍの不整形土坑のような凹部が多数重複し、凹凸が著しい。この凹部の底面は灰白色の粘土層を掘り込み、粘土層の下面まで達しているが、それより下には掘り下げられていない。土坑の埋土中、特に斜面下部側には土坑内から掻き出されたような粘土ブロックを多量に含んだ埋土が堆積している（図版７）。このような状況から、ＳＫ56土坑は粘土層の粘土を掘り出すことを目的とした縄文時代後期末～晩期初頭の粘土採掘坑と考える。ＳＫ59土坑、ＳＫ61土坑も小規模ながら、ＳＫ56土坑に隣接し、形態が不整形であること、粘土層を掘り込んでいることから同様の目的で掘られた土坑と考えられる。ＳＫ58土坑も不整形で、土坑壁面の上部にある粘土層を掘り込んでいること、埋土中に多量の粘土ブロックを含

むことから粘土採掘坑と考えられるが、粘土層自体は薄く、採掘された粘土の量もあまり多くないようである。土坑の下部では均質な細砂層を掘り込んでおり、素地に混ぜ合わせる砂を採取していた可能性もある。

ＳＫ56・59・61土坑の、埋土の状態からは、地表面から到達するに至る掘削の過程がある程度推測できる。まず斜面中腹の粘土層が露頭している所を横に所謂「たぬき掘り」状に掘り込み、しだいに入口を広げていく。次に掘削坑の天井部分をも掘りくずし、斜面中腹にテラス状の平場をつくりながら、さらに粘土層に沿って奥へ掘り進んでいく。ＳＫ56土坑はこのようにして形成された後、オーバーハングした天井が大規模に崩落（落盤）して、下部が一度に埋没したものであろう。底面近くから出土した第51図82の土器は、粘土採取時期に最も近い時期のものである。

縄文時代粘土採掘坑とされる土坑はこれまでに岩手県雫石町塩ケ森Ⅱ遺跡[16]、福島県羽白Ｃ遺跡[17]、茨城県東大橋原遺跡[18]、東京都多摩ニュータウンNo.248遺跡[19]の４例が報告されている。ＳＫ56土坑の形態は、塩ケ森Ⅱ遺跡例、羽白Ｃ遺跡例に類似する。しかし、粘土層まで到達するに至る掘り込み方はこれらの遺跡では地表面から下に掘り進んでいるのに対し、ＳＫ56は斜面を横から掘り進み、オーバーハングする天井をもっており、やや異なる。また大規模な掘削が行われた多摩ニュータウンNo.248遺跡例では、地表面から垂直に竪穴を掘り、粘土層にあたったところで横にトンネル状に掘り進んでいる。粘土層を横方向に追って掘り進んでいくやり方はＳＫ56土坑と共通する。粘土採掘の規模（採掘粘土の量）は、多摩ニュータウンNo.248遺跡外は家ノ後も含め小規模で、重複も多くない。規模の小さいＳＫ59・61土坑は粘土層を探りあてるための試掘坑かもしれない。縄文時代の粘土採掘坑はまだ類例も少なく資料蓄積の段階である。家ノ後遺跡のＤ類土坑もその一資料として提示しておく。今後の詳細な研究をまちたい。

Ｅ類

埋土状態ｄ・ｅの最下部にみられる黒褐色土とシラスの薄くしまった互層は、土坑上部の埋土状態とは関係なく同じ堆積状況を示すこと、きわめて固くしまっていること、埋土がすべて自然堆積である埋土状態ａの土坑とは明確に区別できることから、人為的に入れて固められたもでのあると考える。このような埋土の状態及び規模・形態から、何らかの建物の柱穴と推測される。帰属時期は出土遺物からみて後期末～晩期前葉頃と推定される。土坑群のほぼ中央にあるＳＫ125・126・127・148土坑は埋土状態ｂで、柱の痕跡らしき土色の違いが観察され、柱の最下部が残存した状態で埋没したと想像される。この４土坑を東西からはさむようにＳＫ124・147・128・118土坑があり、これらは人為的堆積を示す埋土状態ｅである。これらの４土坑は上端部が不整形に広がっており、柱が抜き取られた可能性がある。埋土状態ｅと同様に土坑下部にシラスがうすく入る埋土状態ｄの土坑は、埋土状態ａの土坑と混在する形で土坑群の東側

と西側に多い。

調査した範囲はＥ類土坑群の南端部で調査区の北側にはさらに多数の土坑があると推定される。調査区内の柱穴だけでは柱穴配置や建物の配置は困難である。後期・晩期の墓域に付属する柱穴群としては、鹿角市大湯環状列石周辺遺跡、高屋館跡、秋田市地方遺跡がある。前２者は後期前半の配石墓群の外側をとりまいて建物群域があり、さらに外側に遺物が多量に出土する区域がある。地方遺跡は逆に柱穴群をはさんで東西２箇所に晩期前半の墓域が形成され、柱穴群の南側から多量の遺物が出土した。これらの例は、墓域と建物群と捨て場がセットとなって、葬送と祭祀が行われていたことを示すものである。家ノ後遺跡の状況もこれと類似する。すなわち、土壙墓であるＡ類土坑、Ｂ類土坑とは分布域を異にして、土壙墓群の西側に建物群の柱穴であるＥ類土坑が配置される。その東側と南側の斜面には捨て場が形成されている。ただ、前記３遺跡との相違点もある。大湯環状列石周辺遺跡と高屋館跡では、六角形または五角形の建物が墓域を放射状に取り囲むが、家ノ後遺跡では、墓域を放射状に取り囲むのではなく、墓域の外側に隣接する。地方遺跡でも墓域を放射状に取り囲まず墓域に隣接するが、地方遺跡ではさらに建物群をはさんだ反対側にも墓域がある。家ノ後遺跡調査区の西側は地形的に墓域が分布する余地はない。また、捨て場は上記３遺跡では平地あるいは緩斜面にに形成されるが、家ノ後遺跡では急斜面と斜面下の沖積地に形成されている。さらに家ノ後遺跡での土壙墓にはＡ類土坑とＢ類土坑があるが上記３遺跡には形態の異なる土壙墓が異なる地点で群を形成することはない。

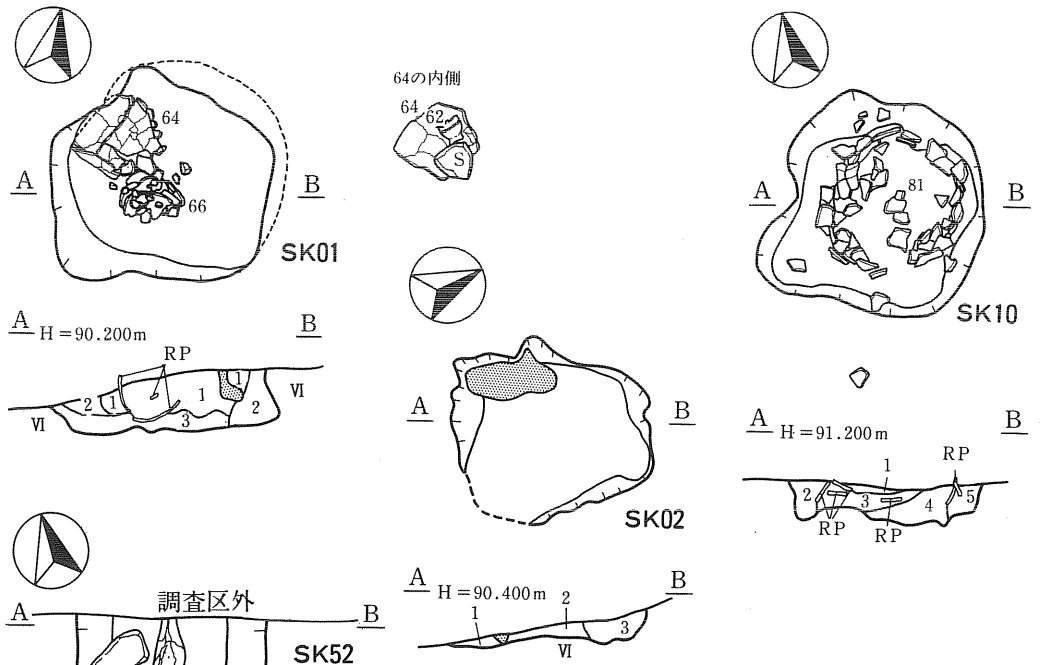
このように家ノ後遺跡と上記３遺跡は墓域、建物群、捨て場というセット関係において共通し、個々の遺構群のあり方は異なる。これを仮に以下のように解釈しておく。墓域の周辺では、掘立柱建物群を用い、多量の土器・石器等を使用する葬送儀礼及び祭祀が行われる。そして祭祀参加者に共通の観念的背景をもった祭祀行為の一環としてそれらの集中廃棄も行われる。このような葬送儀礼及び祭祀の基本構造は、後期前葉の大湯環状列石や高屋館跡、後期末～晩期前葉の家ノ後遺跡、晩期前半の地方遺跡とも共通し、さかのぼれば中期の岩手県水沢市西田遺跡[20]例までたどれそうである。一方個々の遺構群の配置では、空間の中心に墓域がある後期の２例と、中心に建物群や捨て場のある地方遺跡例の違いは、葬送儀礼及び祭祀を行う主体者達の精神生活において墓の占める位置及び重要度の違いを表わす。後期の２例にあっては個々の死者は所属する集団全体の葬送儀礼及び祭祀と不可分に結びつき一体化している。死者は集団全体によって集団の聖域の中心に埋葬される。晩期の地方遺跡例では、後期２例とは逆に祭祀空間である建物群と捨て場が埋葬空間にとり囲まれ、祭祀と埋葬は逆転している。さらに楕円形土壙墓群の中にいくつかの支群があり、支群の中では著しい重複がある。これは、全体の墓域の中にあって、小集団の墓域が固定化しつつあることを示すもので、全体の集団から相対的に

独立の度合いを高めた小集団の存在が顕在化しつつある状況が想定できる。それ故に全体で行う葬送儀礼もしくは祭祀が集団全体に対する帰属意識の再確認及び強化の機会として重要性を増し、その場が墓域の中心に設定されることになる。

晩期の遺跡には、青森県亀ケ岡遺跡や是川遺跡に代表されるように、完形土器等が大量に出土する遺跡が多く知られ、その中には必ずしも墓域と隣接しない例もある。これを葬送儀礼と祭祀の分化と考えれば、かつて葬送と一体化していた祭祀が分離し、独自の発達をすることの背後には、集団に対する帰属意識の再確認と強化の要請がさらに強まったという事情があったと考えられる。これは、裏返しにみれば結びつきが相対的に強い小集団が全体の中で顕在化してくる傾向があったことを意味する。このような後期前葉から晩期前半に至る流れを想定すれば家ノ後遺跡Ａ類土坑、Ｂ類土坑の分布、Ｅ類土坑群や捨て場の配置は、その中間的様相を示している。

**註**

（１）能代市教育委員会　『柏子所貝塚発掘調査報告書』　1972(昭和47年)
（２）秋田県教育委員会　『藤株遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第85集 1981(昭和56年)
（３）秋田市教育委員会　『秋田市秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書』　地方遺跡 1987(昭和62年)
（４）秋田市教育委員会　『「上新城中学校遺跡」林道工事・小グランド造成に伴う緊急発掘調査報告書』 1980(昭和55年)
（５）秋田市教育委員会　『秋田市秋田臨空港新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書』狸崎Ａ遺跡　1985(昭和60年)
（６）秋田県教育委員会　『湯出野遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第53集1978(昭和53年)
（７）青森県教育委員会　『近野遺跡発掘調査報告書(Ⅲ)・三内丸山(Ⅱ)遺跡発掘調査報告書－青森県総合運動公園建設関係発掘調査－』　青森県埋蔵文化財調査報告書第33集　1977(昭和52年)
（８）青森県教育委員会　『源常平遺跡発掘調査報告書』　青森県埋蔵文化財調査報告書第33集1978 (昭和53年)
（９）大館市史編さん委員会　『大館市史』第一巻　1979(昭和54年)
(10) 秋田県教育委員会　『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅰ－石坂台Ⅳ遺跡・石坂台Ⅵ遺跡・石坂台Ⅶ遺跡・石坂台Ⅷ遺跡・石坂台Ⅸ遺跡・松木台Ⅲ遺跡』秋田県文化財調査報告書第150集 1986(昭和61年)
(11) 青森県教育委員会　『大湊近川遺跡発掘調査報告書』　青森県埋蔵文化財調査報告書第104集 1987 (昭和62年)
(12) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　『水神遺跡発掘調査報告書－東北横断自動車道関連発掘調査－』　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第96集　1986(昭和61年)
(13) 財団法人岩手県埋蔵文化財センター　『川向遺跡発掘調査報告書－畑地帯総合土地改良事業関連発掘調査(昭和55年度)－』　岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第26集 1982(昭和57年)
(14) 財団法人岩手県埋蔵文化財センター　『御所ダム建設関連遺跡発掘調査報告書　盛岡市繋Ⅲ遺跡』 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第13集　1980(昭和55年)
(15) 財団法人岩手県埋蔵文化財センター　『御所ダム建設関連遺跡発掘調査報告書　盛岡市萪内遺跡』 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第32集　1982(昭和57年)　(→Ｐ.63)




ＳＫ01
１.黒色土(10ＹR2/1)ややしまりあり、地山崩壊土を均等に少量含む。
２.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
３.黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、粘性ややあり。

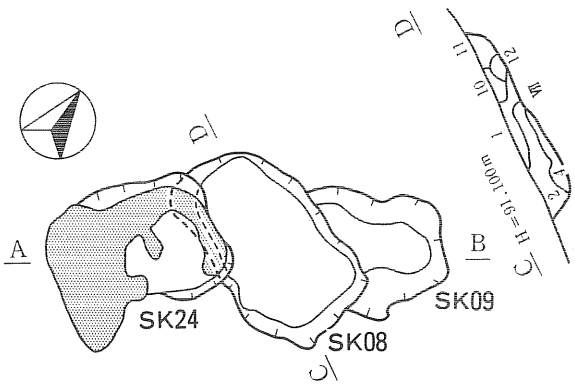
ＳＫ02
１.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり。
２.褐色土(10ＹR4/4)しまりあり、地山ブロックをきわめて多量に含む。
３.暗褐色土(10ＹR3/3)しまりなし、地山崩壊土を多量に含む。

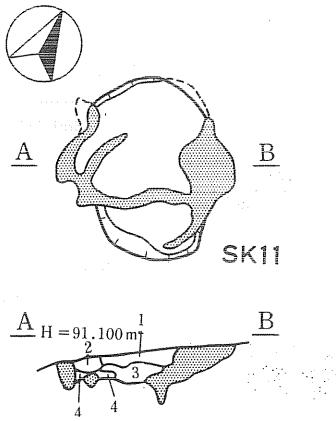
ＳＫ10
１.黒色土(10ＹR2/1)しまりあり、浮石粒を少量含む。
２.黒褐色土(10ＹR2/3)きわめてしまりあり、地山粒を多量に含む。
３.黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、焼土粒・炭化物粒を少量含む。
４.黒褐色土(10ＹR2/3)きわめてしまりあり。
５.褐色土(10ＹR4/4)きわめてしまりあり、地山ブロックを多量含む。

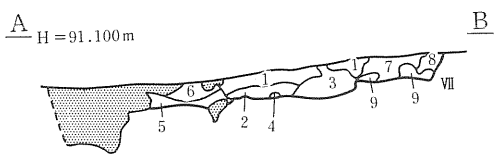
ＳＫ52
１.黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、浮石粒を少量含む。
２.黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり。
３.黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり、暗褐色土をきわめて多量に含む。
４.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり。
５.黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりなし。
６.暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり。
７.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
８.暗褐色土(10ＹR3/3)きわめてしまりあり、粘性あり、地山粒・炭化物を微量含む。

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK01 | ML50・51 | Ⅵ | 円形 | B | 1.26×1.20 | 1.16×1.11 | 0.45 | 人為堆積 | | 49・73 |
| SK02 | MM50 | Ⅵ | (円形) | F | 1.19×(0.95) | (1.00)×0.80 | 0.23 | | | |
| SK04 | MM51・52 | Ⅴ | (楕円形) | F | ×0.9 | ×0.45 | 0.27 | | SK52→SK04 | |
| SK52 | MM51・52 | Ⅴ | (楕円形) | F | ×0.96 | ×0.65 | 0.19 | 人為堆積 | SK52→SK04 | |
| SK10 | MM51 | Ⅶ | 不整円形 | E | 0.65×0.25 | 0.58×0.49 | 0.10 | | | 51 |

**第24図　SK01・02・04・10・52土坑**

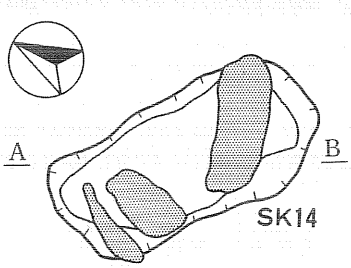


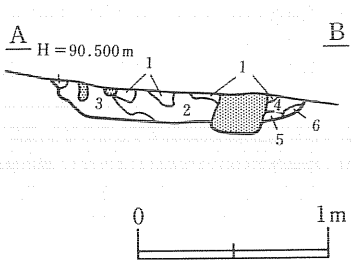




ＳＫ11
１．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
２．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりあり、地山粒を少量含む。
３．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりあり。
４．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりなく軟らかい。

ＳＫ08・09・24
１．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりあり、粘性あり、地山ブロックをやや多く含む。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/3)きわめてしまりあり、地山粒を少量含む。
３．黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりあり、粘性ややあり。
４．褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりあり、粘性ややあり、地山細粒を均質に含む。
５．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山ブロックをきわめて多量に含む。
６．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山小粒を少量含む。
７．暗褐色土(10ＹＲ3/4)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
８．黒褐色土(10ＹＲ3/2)きわめてしまりあり、地山小粒をきわめて多量に含む。
９．明黄褐色土(10ＹＲ6/6)しまりあり、地山土に暗褐色土(7層)が多量に混入する。
10．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山粒を少量含む。
11．暗褐色土(10ＹＲ3/4)ややしまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
12．褐色土(10ＹＲ4/6)地山崩壊土を多量に含む。



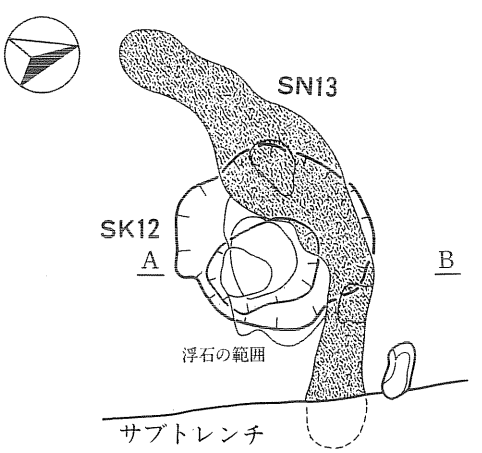



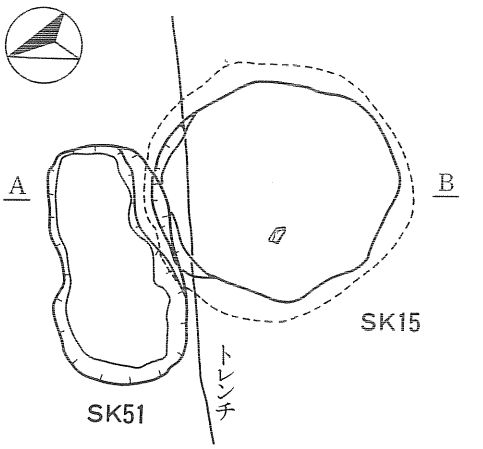

ＳＫ14
１．黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりなし。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/4)ややしまりあり、地山ブロックを多量に含む。
３．褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりあり、地山ブロックを多量に含む。
４．暗褐色土(10ＹＲ3/3)ややしまりなし、地山粒を少量含む。
５．褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりなし。
６．黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりなし。

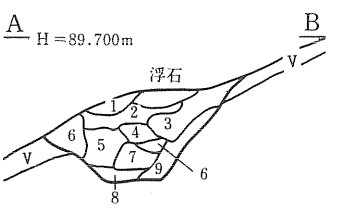


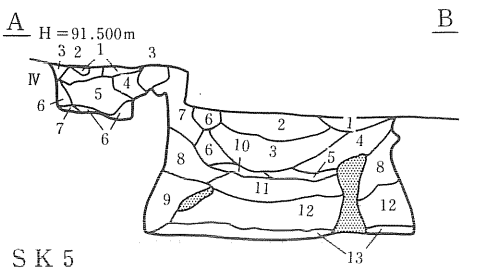

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK24 | MN51、MO51 | Ⅶ | (楕円形) | F | (0.89)×(0.77) | × | 0.13 | | SK08→SK24 | |
| SK08 | MN51 | Ⅶ | 楕円形 | E | 1.15×0.69 | 0.93×0.56 | 0.20 | 人為堆積 | SK09→SK08→SK24 | |
| SK09 | MN51 | Ⅶ | 楕円形 | E | ×0.69 | ×0.37 | 0.12 | 人為堆積 | SK09→SK08 | |
| SK11 | MM51 | Ⅶ | (円形) | E | 0.97×(0.75) | 0.92×(0.75) | 0.23 | | | |
| SK14 | MO51 | Ⅶ | 楕円形 | F | 1.46×0.73 | 1.31×0.54 | 0.27 | 人為堆積 | | 50 |

**第25図　SK08・09・11・14・24土坑**




ＳＫ12

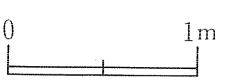
１．黒褐色(10ＹR1.7/1)ややしまりなし、浮石粒が混じる。
２．黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりあり、浮石粒をきわめて多量に含む。
３．黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、粘性ややあり。
４．黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりなし、粘性ややあり。
５．黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりなし、暗褐色～褐色土がきわめて多量に混入する。
６．黒色土(10ＹR2/1)しまりあり、シラスをきわめて多量に含む。
７．黒色土(10ＹR2/1)しまりあり。
８．黒色土(10ＹR2/1)しまりあり、粘性ややあり、地山崩壊土をやや多く含む。
９．黒色土(10ＹR2/1)しまりなし、地山土をやや多くほぼ均質に含む。

ＳＫ15

１．黒色土(10ＹR2/1)しまりなし、孔隙多。
２．黒色土(10ＹR2/1)しまりあり。
３．黒色土(10ＹR2/1)しまりあり。
４．黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
５．黒色土(10ＹR2/1)きわめてしまりあり。
６．黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり。
７．黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
８．黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
９．暗褐色土(1010ＹR3/3)しまりなし、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
10．黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
11．黒褐色土(10ＹR2/2)きわめてしまりあり、地山土をブロック状にやや多く含む。
12．暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、粘性ややあり。
13．黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり。

ＳＫ５

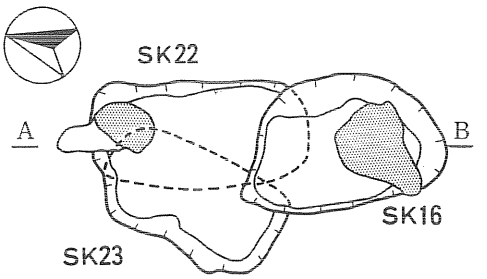
１．黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりあり。
２．黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりあり、地山粒をきわめて多量に含む。
３．黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり。
４．黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり。
５．黒褐色土(10ＹR2/2)しまりなし、地山粒をやや多く含む。
６．黒褐色土(10ＹR2/3)しまりなし、地山崩壊土をやや多く含む。
・黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。

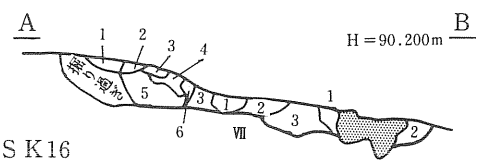


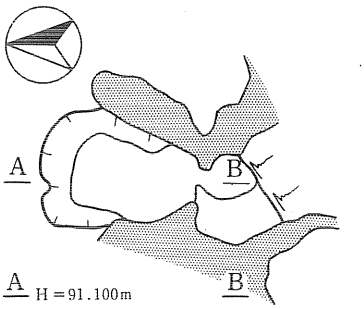

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK12 | ML50 | V | 円形 | H | 1.05×(1.01) | 0.6×0.45 | 0.51 | 人為堆積 | SK12→SN13 | |
| SK51 | MN51 | Ⅵ | 楕円形 | E | 1.30×0.70 | 1.20×0.54 | 0.34 | 人為堆積 | SK15→SK51 | |
| SK15 | MM51、MN51 | Ⅵ | 円形 | A | 1.30×1.17 | 1.43×1.38 | 0.77 | 自然堆積 | SK15→SK51 | |

| 焼土遺構 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 厚さ(cm) | 堆積の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SN13 | ML50 | V | 弧状 | G | (2.43)×0.75 | | 28 | | SK12→SN13 | |

**第26図　SK12・15・51土坑、SN13焼土遺構**



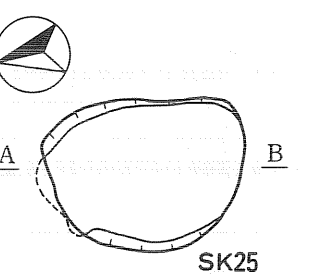



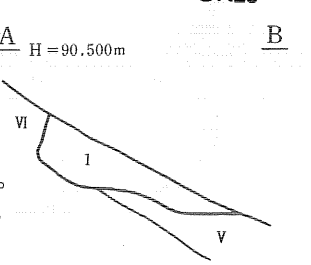

ＳＫ16
１.暗褐色土(10ＹR3/3)ややしまりあり。
２.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり。
３.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。

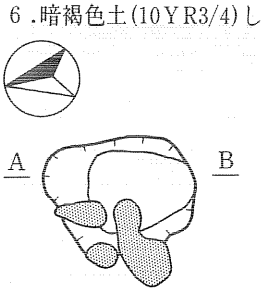
ＳＫ18
１.暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
２.暗褐色土(10ＹR3/4)ややしまりあり、地山粒をやや多く含む。

ＳＫ22
１.暗褐色土(10ＹR3/3)ややしまりあり。
２.暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
３.褐色土(10ＹR4/4)しまりあり。

ＳＫ23
１.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
２.黒褐色土(10ＹR2/2)きわめてしまりあり。
３.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
４.暗褐色土(10ＹR3/3)ややしまりなし。
５.褐色土(10ＹR4/4)しまりなし、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
６.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。

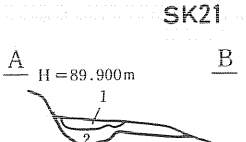


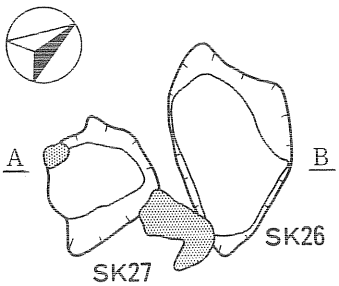

ＳＫ21
１.黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりなし。
２.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり、
　地山粒を多量に含む。

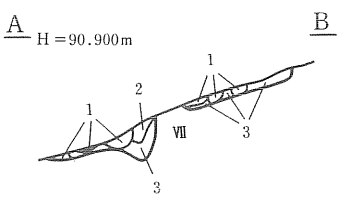
ＳＫ25
１.黒色土(10ＹR2/1)しまりあり、粘性あり、
　浮石粒微量、地山崩壊土少量含む。

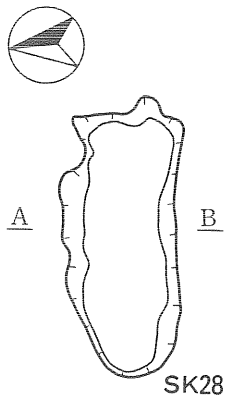


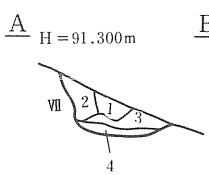
| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平 面 形 | 断 面 形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK16 | MM50･51、MN5･51 | Ⅶ | 楕円形 | F | 1.13×0.72 | 0.90×0.49 | 0.24 | 人為堆積 | SK16→SK22→SK23 | |
| SK22 | MM51、MN51 | Ⅶ | 楕円形 | F | (1.15)×(0.58) | (0.99)× | 0.32 | 人為堆積 | SK16→SK22→SK23 | |
| SK23 | MN51 | Ⅶ | 楕円形 | F | (1.00)×(0.56) | 0.86 × | 0.21 | 人為堆積 | SK16→SK22→SK23 | |
| SK18 | MN50･51 | Ⅶ | (楕円形) | G | (1.15)×(0.81) | (0.95)×0.40 | 0.19 | | | 50 |
| SK21 | ML51 | Ⅶ | 円形 | G | 0.83×(0.70) | 0.54 ×0.48 | 0.27 | 自然堆積 | | |
| SK25 | MA50 | Ⅵ | 楕円形 | E | 1.08×0.81 | 1.12 ×0.73 | 0.48 | 人為堆積 | | |

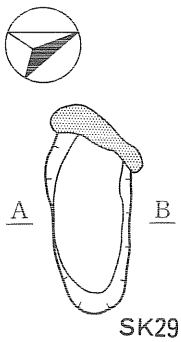
**第27図　SK16・18・21・22・23・25土坑**

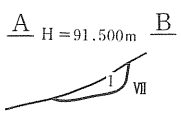


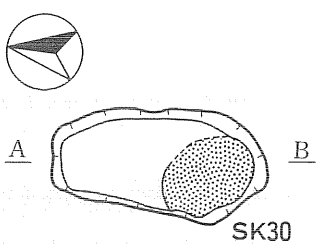



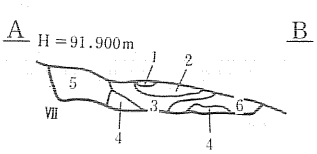



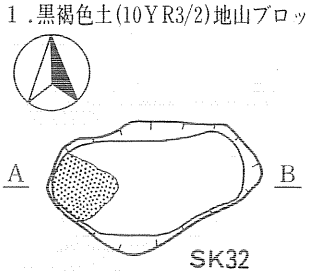

ＳＫ26・27
１．黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりあり。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/3)ややしまりなし。
３．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりなし、地山細粒を多量に含む。

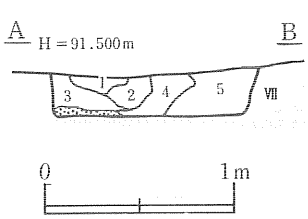
ＳＫ28
１．黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりあり。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/3)ややしまりあり、地山ブロックを多量に含む。
３．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりなし、地山粒をやや多く含む。
４．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりあり、粘性ややあり、地山崩壊土を多量に含む。

ＳＫ29
１．黒褐色土(10ＹＲ3/2)地山ブロックを多量に含む。



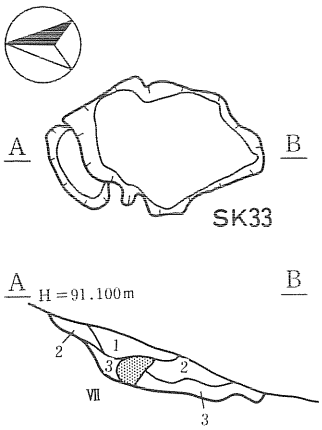




ＳＫ30
１．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり。
２．黒色土(10ＹＲ2/1)しまりあり。
３．黒褐色土(10ＹＲ3/2)きわめてしまりあり、地山粒をやや多く含む。
４．黒褐色土(10ＹＲ2/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
５．黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりなし、地山粒を多量に含む。
６．3・4層にベンガラが混じる部分。

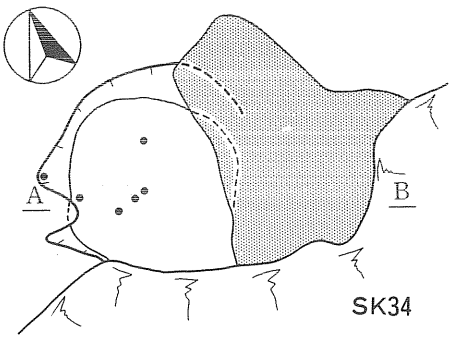
ＳＫ32
１．褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。ベンガラが少量混じる。
２．暗赤褐色土(5ＹＲ3/3)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。ベンガラが多量に混じり赤色が最も強い。
３．黒褐色土(7.5ＹＲ3/2)ややしまりあり、地山ブロックを少量含む。ベンガラが少量混じる。

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK26 | ME50、MF50 | Ⅶ | 不整円形 | G | 1.13×0.61 | 0.85×0.52 | 0.63 | | | |
| SK27 | ME50、MF50 | Ⅶ | 楕円形 | F | 0.74×0.60 | 0.53×0.37 | 0.26 | | | |
| SK28 | MF50、MG50 | Ⅶ | 楕円形 | F | 1.49×0.61 | 1.31×0.45 | 0.36 | 人為堆積 | | |
| SK29 | ME50・51 | Ⅶ | 楕円形 | F | (0.97)×0.44 | (0.85)×0.36 | 0.19 | 人為堆積 | | |
| SK30 | ME51 | Ⅶ | 楕円形 | E | 1.15×0.57 | 1.02×0.50 | 0.28 | 人為堆積 | | |
| SK32 | MD51 | Ⅶ | 楕円形 | E | 1.15×0.70 | 1.01×0.51 | 0.31 | 人為堆積 | | |

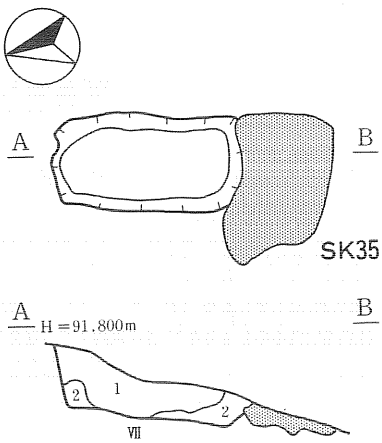
第28図　SK26・27・28・29・30・32土坑

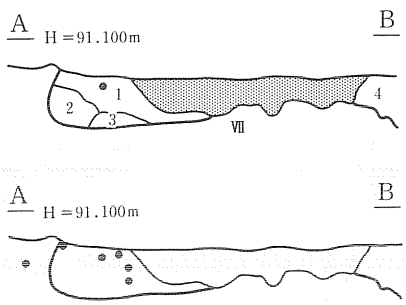



ＳＫ33
１．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり。
２．にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
３．明黄褐色土(10YR6/6)ややしまりあり、地山ブロックをきわめて多量に含む。

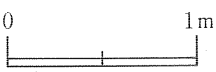



ＳＫ34
１．暗褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒少量含む。
２．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山大ブロック少量、地山粒少量含む。
３．褐色土(10YR4/6)ややしまりあり、地山粒やや多く含む。




ＳＫ35
１．黒褐色土(10YR2/2)ややしまりあり、地山ブロックきわめて多量含む。
２．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山ブロック多量含む。




| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK33 | MH50 | Ⅶ | 不整楕円形 | G | 1.15×0.70 | 1.05×0.61 | 0.41 | 自然堆積 | | |
| SK34 | MM51 | Ⅶ | (円形) | B | | | 0.41 | 自然堆積 | | 50 |
| SK35 | MF50・51 | Ⅶ | 楕円形 | E | (1.00)×0.52 | 0.89×0.36 | 0.39 | 人為堆積 | | |

**第29図　SK33・34・35土坑**

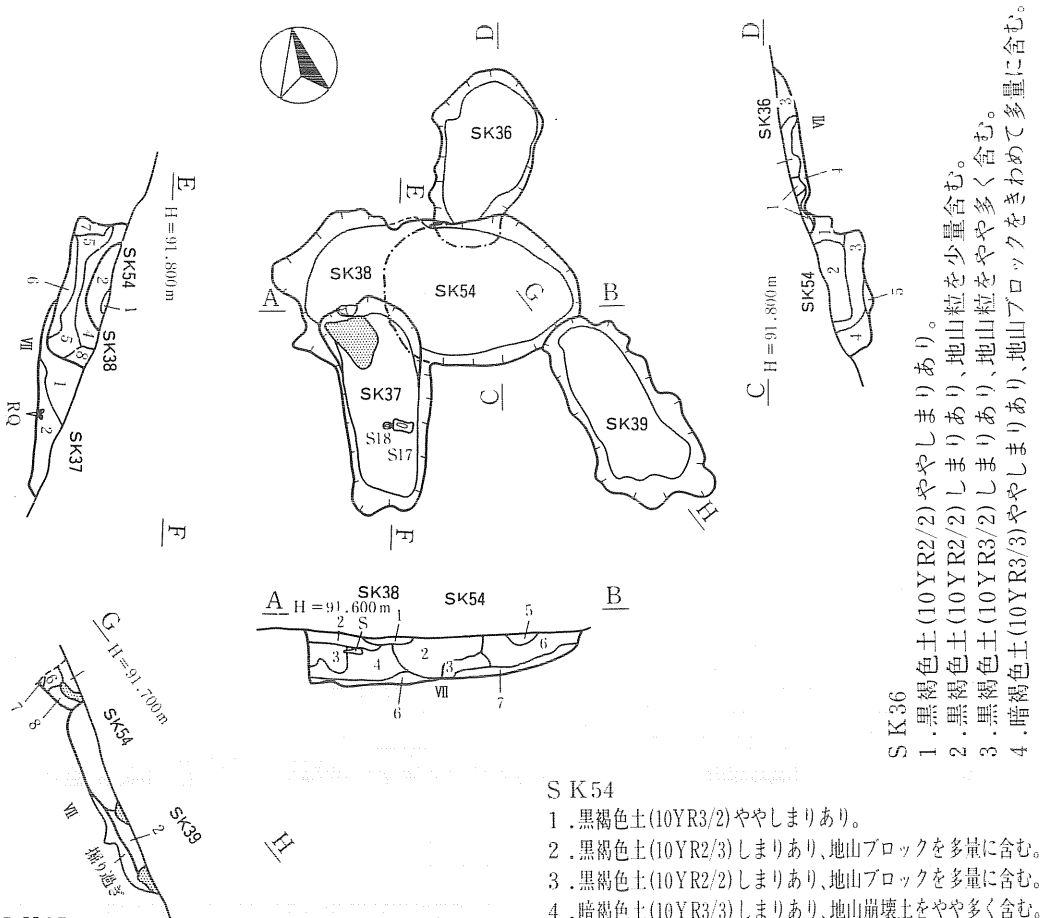
(16) 財団法人岩手県埋蔵文化財センター　『御所ダム建設関連遺跡発掘調査報告書　雫石町塩ケ森Ⅱ遺跡』　岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第31集　1982(昭和57年)

(17) 福島県教育委員会他　『真野川流域総合開発事業　真野ダム関連遺跡発掘調査報告XII』　福島県文化財調査報告書第194集　1988(昭和63年)

福島県教育委員会他　『真野川流域総合開発事業　真野ダム関連遺跡発掘調査報告XIII』　福島県文化財調査報告書第210集　1989(平成元年)

(18) 石岡市教育委員会　『石岡市東大橋原遺跡－第２次調査報告－』　1979(昭和54年)

石岡市教育委員会　『石岡市東大橋原遺跡－第３次調査報告－』　1980(昭和55年)　(→Ｐ.94)




S K36
1．黒褐色土(10YR2/2)ややしまりあり。
2．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒を少量含む。
3．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
4．暗褐色土(10YR3/3)ややしまりあり、地山ブロックをきわめて多量に含む。

S K54
1．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり。
2．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
3．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
4．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
5．黒褐色土(10YR2/2)ややしまりなし、地山崩壊土を少量含む。
6．暗褐色土(10YR3/3)ややしまりなし、地山粒を多量に含む。
7．褐色土(10YR4/4)しまりなし、地山崩壊土をやや多く含む。
8．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり。

S K37
1．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり、地山粒をやや多く含む。
2．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。

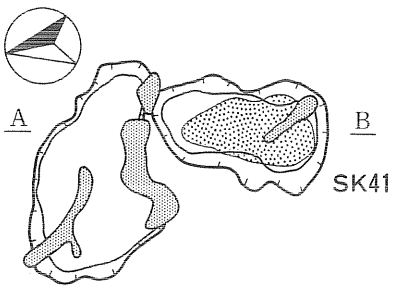
S K38
1．黒褐色土(10YR2/2)ややしまりなし。
2．黒褐色土(10YR2/2)ややしまりあり、地山ブロックをやや多く含む。
3．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
4．暗褐色土(10YR3/3)ややしまりあり、地山ブロックをやや多く含む。
5．にぶい黄褐色土(10YR4/3)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
6．褐色土(10YR4/4)ややしまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
7．暗褐色土(10YR3/3)ややしまりなし、地山ブロックをやや多く含む。
8．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山ブロックをきわめて多量に含む。

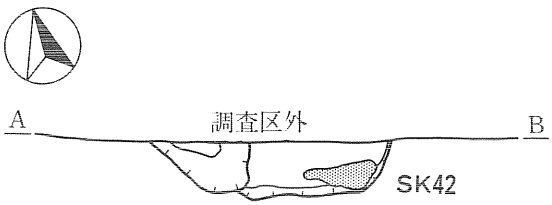
S K39
1．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒多量含む。
2．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒少量含む。

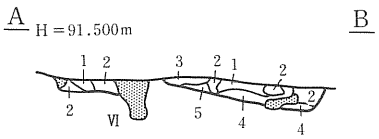
0　1m

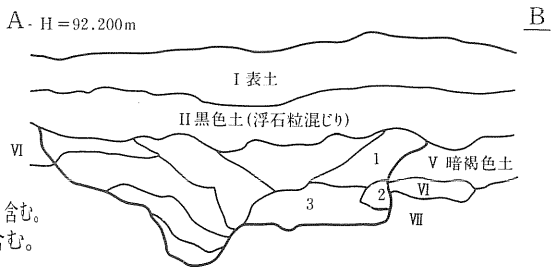
| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK36 | MF51 | Ⅶ | 楕円形 | F | (0.96)×0.56 | (0.74)×0.48 | 0.17 | 人為堆積 | SK38→SK54→SK36 | 50 |
| SK37 | MF51・51 | Ⅶ | 楕円形 | F | 1.16×0.50 | 0.98×0.37 | 0.24 | 人為堆積 | SK37→SK38→SK54 | 73 |
| SK38 | MF50・51 | Ⅶ | 楕円形 | E | ×0.82 | ×0.52 | 0.28 | 人為堆積 | SK37→SK38→SK54 | |
| SK39 | MF50・51 | Ⅶ | 楕円形 | F | 1.18×0.60 | 0.96×0.39 | 0.32 | 人為堆積 | SK54→SK39 | |
| SK54 | MF50・51 | Ⅶ | 楕円形 | F | (1.05)×0.81 | (1.02)×0.68 | 0.39 | 人為堆積 | SK38→SK54→SK39<br>SK36 | |

第30図　SK36・37・38・39・54土坑



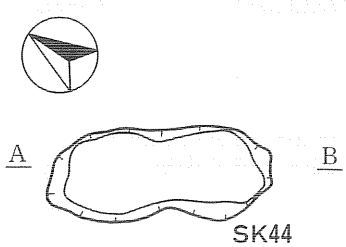



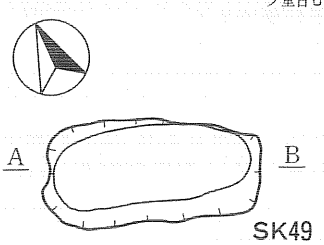



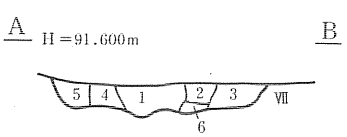

ＳＫ40
1．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、粘性ややあり、地山崩壊土をやや多く含む。
2．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒をやや多く含む。

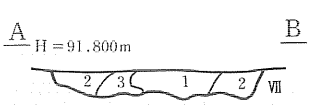
ＳＫ41
1．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
2．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり、地山ブロックを多量に含む。
3．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり。
4．褐色土(7.5YR4/6)しまりあり、粘性ややあり、ベンガラが混じる。
5．褐色土(7.5YR4/4)しまりあり、粘性ややあり、3層にベンガラが混じる。

ＳＫ42
1．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり。
2．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
3．黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山粒を少量含む。



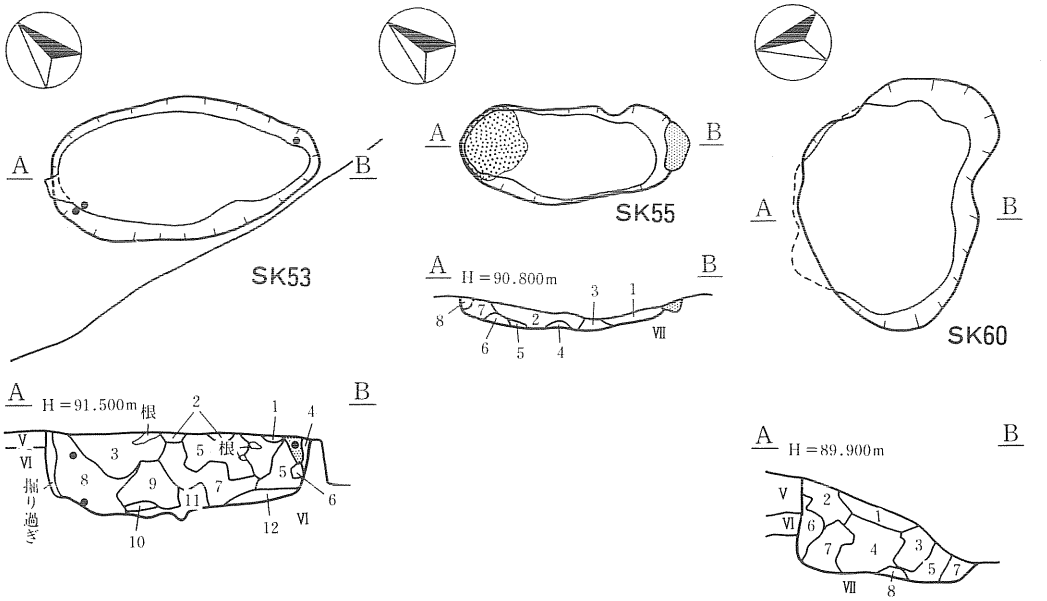

ＳＫ44
1．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
2．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
3．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒を多量に含む。
4．暗褐色土(10YR3/4)ややしまりあり、地山ブロックを多量に含む。
5．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、粘性ややあり。

ＳＫ49
1．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
2．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
3．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山粒をやや多く含む。

0　1m

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平 面 形 | 断 面 形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重 複 関 係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK40 | MI51 | Ⅶ | 不整楕円形 | F | 1.23×(0.75) | 1.09×(0.70) | 0.11 | 人為堆積 | | |
| SK41 | MI51 | Ⅶ | 楕円形 | E | 0.93×0.57 | 0.84×0.35 | 0.12 | 人為堆積 | | |
| SK42 | ML52 | Ⅴ | (楕円形) | E | | | 0.48 | (人為堆積) | | |
| SK44 | MH51、MI51 | Ⅶ | 楕円形 | E | 1.20×0.52 | 1.06×0.43 | 0.19 | 人為堆積 | | |
| SK49 | MG51 | Ⅶ | 楕円形 | E | 1.15×0.56 | 1.03×0.41 | 0.19 | 人為堆積 | | |

第31図　SK40・41・42・44・49土坑




ＳＫ53
１.黒色土(10ＹR2/1)しまりあり、浮石細粒を少量含む。
２.黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり、浮石細粒を少量含む。
３.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山ブロックを少量含む。
４.暗褐色土(10ＹR3/3)ややしまりなし、地山崩壊土をやや多く含む。
５.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり、地山ブロックを多量に含む。
６.暗褐色土(10ＹR3/3)ややしまりあり。
７.黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
８.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
９.にぶい黄褐色土(10ＹR4/3)しまりあり、地山ブロックをきわめて多量に含む。
10.黒色土(10ＹR1.7/1)しまりあり、粘性ややあり。
11.暗褐色土(10ＹR3/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
12.褐色土(10ＹR4/4)ややしまりなし、粘性ややあり、地山崩壊土をやや多く含む。

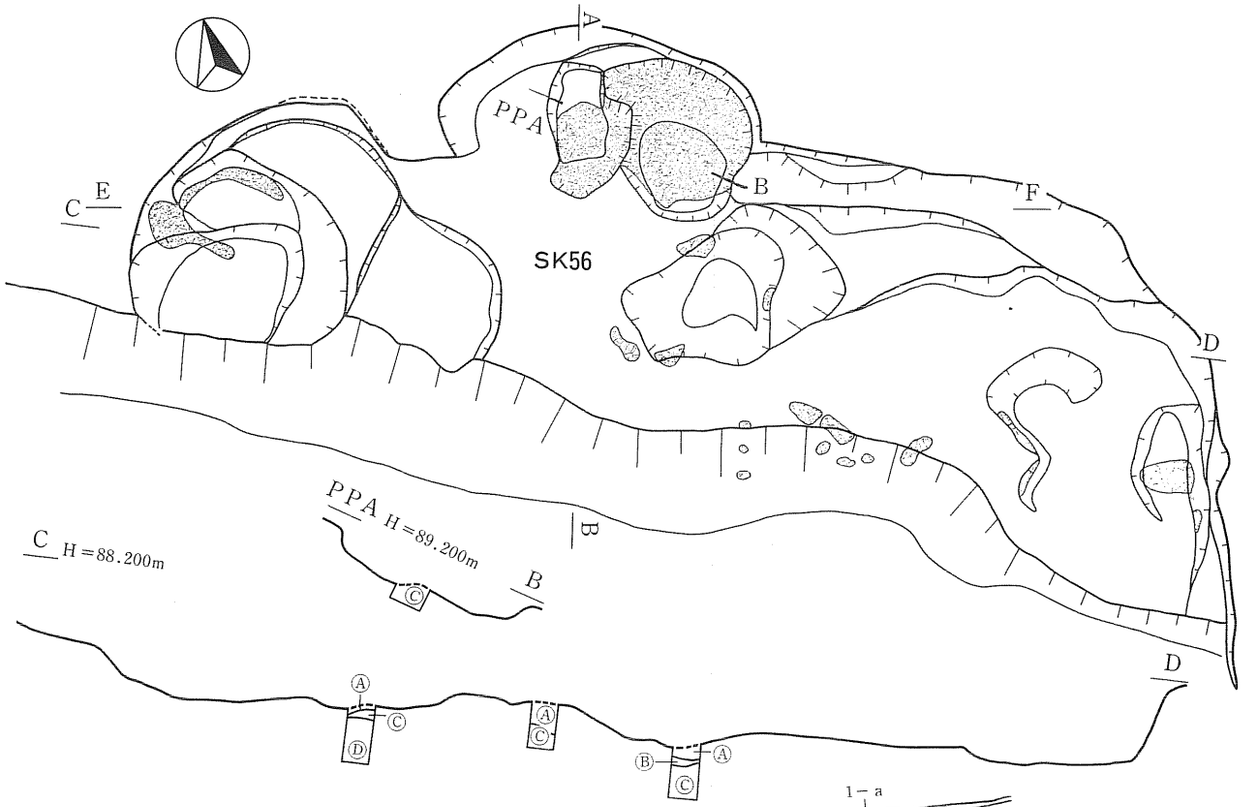
ＳＫ55
１.暗褐色土(10ＹR3/4)ややしまりなし、地山粒をやや多く含む。
２.暗褐色土(10ＹR3/4)ややしまりなし。
３.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
４.黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり。
５.暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、ベンガラを含む。
６.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり、粘性ややあり、地山ブロックを多量に含む。
７.暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、粘性ややあり、地山崩壊土を少量含む。ベンガラを多量に含む。
８.黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり、地山ブロックを少量含む。

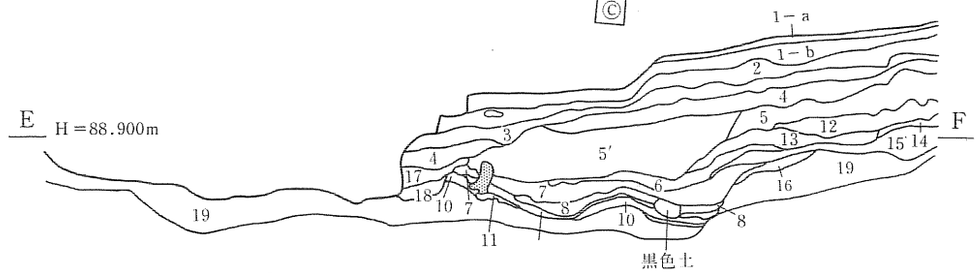
ＳＫ60
１.黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり。
２.黒褐色土(10ＹR3/2)ややしまりあり。
３.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり。
４.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり、地山粒を少量含む。
５.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりなし、地山粒を少量含む。
６.褐色土(10ＹR4/4)ややしまりあり、地山粒をやや多く含む。
７.にぶい黄褐色土(10ＹR4/3)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
８.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。

0　1m

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK53 | MM51・52 | Ⅴ | 楕円形 | E | 1.41×0.76 | 1.32×0.60 | 0.40 | 人為堆積 | | 50 |
| SK55 | MQ51 | Ⅶ | 楕円形 | E | (1.15)×0.51 | 1.01×0.45 | 0.23 | 人為堆積 | | |
| SK60 | MT50 | Ⅴ | 不整円形 | B | 1.31×0.95 | 1.14×0.88 | 0.60 | 人為堆積 | | 75 |

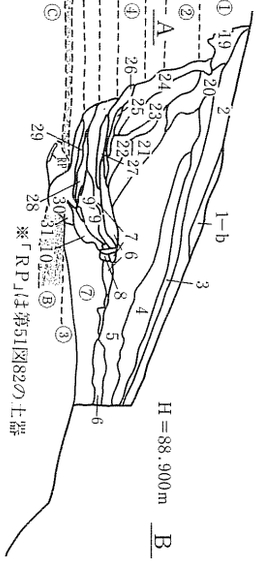
第32図　SK53・55・60土坑



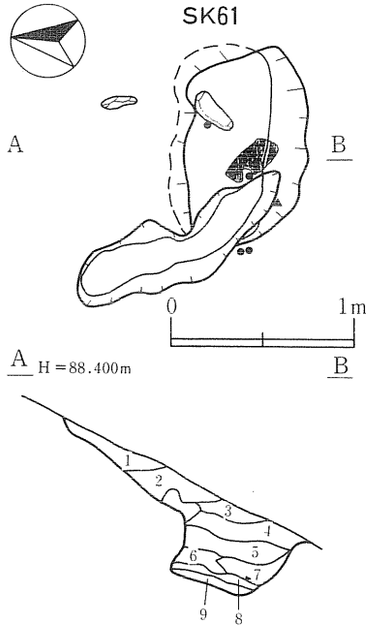




ＳＫ56 ＳＰ．Ｅ～Ｆ
１－ａ、１－ｂ、２、３、４は基本層位と同じ。
５．黒褐色土(10ＹＲ2/2)にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)多量含む。
５′黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり、地山小～中粒多量含む。
６．黒褐色土(10ＹＲ2/2)と灰白色(2.5Y8/2)粘土の混土層。
７．褐色土(10ＹＲ4/6)粘土。地山に暗褐色土を粒状もしくは斑状にきわめて多量含む。
８．にぶい黄橙色土(10ＹＲ6/4)シルト。7～8の黄褐色土(10ＹＲ5/6)の斑状に互層をなす。
９．明黄褐色土(10ＹＲ7/6)シルト。ややしまりあり。
10．褐色土(10ＹＲ4/4)明黄褐色土(10ＹＲ6/6)シルト、多量含む。
11．黄褐色土(10ＹＲ5/6)しまりあり。
12．黄褐色土(10ＹＲ5/6)ややしまりあり、黒褐色土(10ＹＲ2/2)多量含む。
13．地山の浅黄橙色土と灰白色土大ブロック∅5～10cmを主体に黒褐色土(10ＹＲ2/2)多量含む。－この遺構の埋土中～下位にかけて特徴的に見られる。
14．にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)粘土。
15．地山の浅黄橙色土主体で黒褐色土(10ＹＲ2/2)やや多く含む。
16．地山のにぶい黄橙色土(10ＹＲ6/4)粘土で、水分を含み軟らかい。
17．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりなし、地山の浅黄橙色土大ブロック少量含む。
18．地山の浅黄橙色土ににぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)が少量含む。
19．浅黄橙色土(10ＹＲ8/1)シルト－地山－

0　2m




ＳＫ56
黄褐色粘土
②明黄褐色(10ＹＲ6/6)シルト。軟かい。遺構埋土に似る。
③赤褐色粘土
④明褐色シルト(10ＹＲ7/6)
褐色(7.5ＹＲ4/6)。酸化層。
⑥浅黄橙シルト(10ＹＲ8/3)。軟かい。
Ⓐ　〃　硬い。
Ⓑ灰白(10ＹＲ8/1)粘土。軟かい。採掘された層。
Ⓒ灰白(10ＹＲ8/1)粘土。酸化した筋が入り、上の灰白粘土より硬くしまりあり。層厚25cm位。
Ⓓⓒの下は同じ灰白色粘土で、白い極小礫と細砂混入。
⑦Ⓐと同じかあるいは橙色シルト(7.5ＹＲ6/6)。酸化して部分的に赤褐色。硬くしまる。

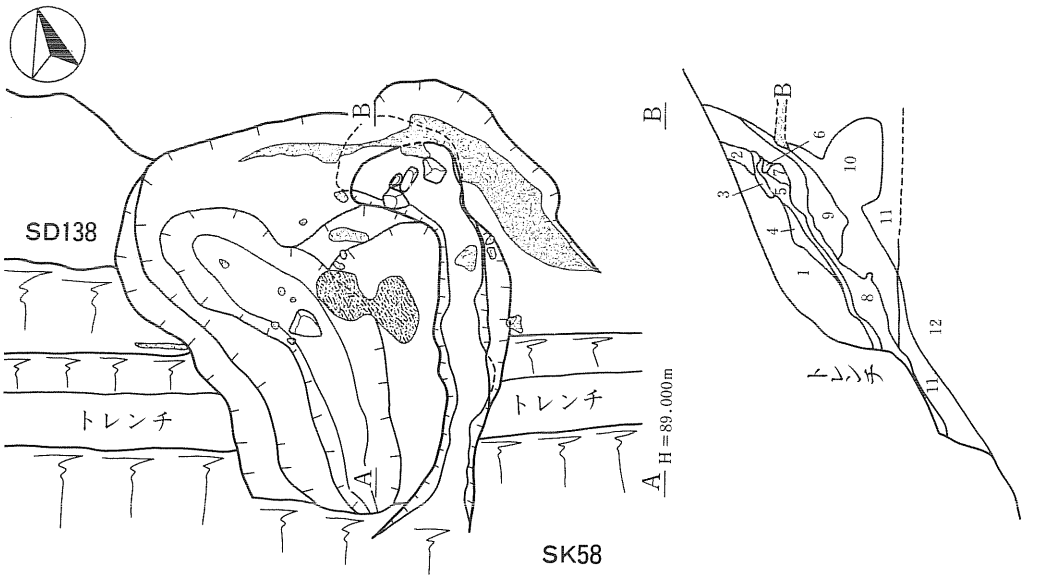


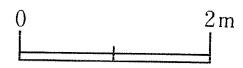

ＳＫ61
１．黒褐色土(10ＹＲ2/3)きわめてしまりあり、青灰小礫粒少量、黄褐浮石少量含む。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/4)しまりあり、灰白浮石少量、黄褐浮石少量含む。
３．黒色土(10ＹＲ2/1)しまりあり、黄褐浮石微量含む。
４．黒色土(10ＹＲ2/1)しまりなし、1cm大炭化物きわめて多量含む(炭化物はとてももろい)。
５．暗褐色土(10ＹＲ3/3)きわめてしまりあり、黄褐地山粒少量含む。
６．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)ややしまりあり、青灰小礫粒少量、黄褐地山粒多量含む。
７．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりなし、黄褐地山礫小粒少量含む。
８．黒褐色土(10ＹＲ2/3)きわめてしまりあり、青灰小礫粒微量含む、ネバネバの粘土。
９．灰褐色土(10ＹＲ4/1)しまりあり、橙色小礫粒少量、全体にムラなく炭化物粒きわめて多量含む。

ＳＫ56　　ＳＰ．Ａ～Ｂ(1～18はＳＰ．Ｅ～Ｆと同じ)
19．地山と暗褐色土(10ＹＲ3/3)の混合土。
20．黒褐色土(10ＹＲ2/2)に地山小～中粒多量含む。
21．黒褐色土(10ＹＲ2/2)に地山小～中粒やや多く含む。
22．黒褐色土(10ＹＲ2/2)地山極小～小粒多量含む。
23．地山と暗褐色土(10ＹＲ3/3)の混合土。
24．地山主体の層。褐色土多量含む。12層と似る。
25．暗褐色土(10ＹＲ3/3)きわめてしまりあり、地山多量含む。
26．明黄褐色土(10ＹＲ7/6)主体で褐色土やや多く含む。
27．地山(明黄褐色土10ＹＲ6/6－シルト質)6と26の境(上)に5mmほどの褐色土含む。
28．褐色土(10ＹＲ4/4)地山きわめて多量含む。
29．地山(にぶい黄橙色土10ＹＲ6/4)－シルト質－。上下に2～3mmの薄い褐色土層が入る。
30．地山(にぶい黄橙色土10ＹＲ7/4)－シルト－。この層より縄文土器(大破片)出土。
31．地山(にぶい黄橙色土10ＹＲ7/3)－粘土－に灰黄褐色土(10ＹＲ6/2)粘土多量含む。

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK61 | MT50・NA50 | Ⅳ | 不整 | E | 1.76×0.78 | 1.60×0.62 | 0.49 | 自然堆積 | なし | なし |
| SK56 | MP50～MS50 | Ⅲ | | G | 12.20×7.70 | | 1.90 | 自然堆積 | なし | なし |

第33図　SK56・61土坑



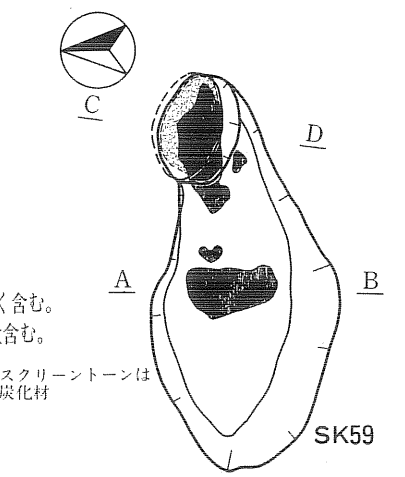



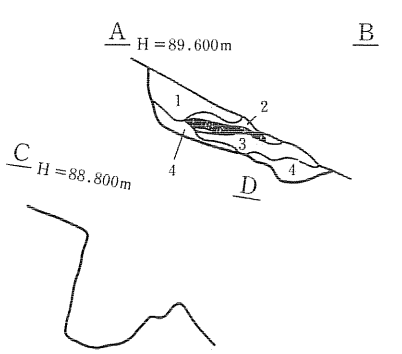

ＳＫ58

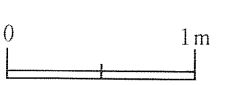
１．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山ブロックやや多く、炭化物少量含む。
３．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりなし、地山崩壊土多量、炭化物微量含む。
４．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)ややしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
５．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり、炭化物きわめて多量、焼土粒少量含む。
６．にぶい黄褐色土(10ＹＲ7/4)しまりあり、暗褐色土やや多く含む。
７．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山崩壊土多量、炭化物やや多く含む。
８．暗褐色土(10ＹＲ3/4)しまりあり、地山崩壊土、粘土ブロック多量、炭化物やや多く含む。
９．にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)しまりあり、地山崩壊土、粘土ブロックきわめて多量含む。
10．にぶい黄橙色土(10ＹＲ7/4)ややしまりなし、暗褐色土やや多く含む。
11．黄褐色土(10ＹＲ5/6)中砂層。
12．細砂層。
13．粘土層。

ＳＫ59

１．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりあり、暗褐色土をやや多く、黄褐色浮石を少量含む。
２．黒色土(10ＹＲ2/1)しまりなし、炭化材をきわめて多量、黄褐色浮石を多量に含む。
３．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、小礫を少量、地山粒をやや多く含む。
４．黄褐色土(10ＹＲ5/6)しまりあり、灰白色地山粘土ブロックをきわめて多量、黄褐色地山粒を少量含む。

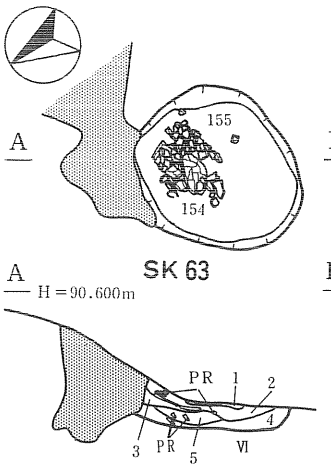


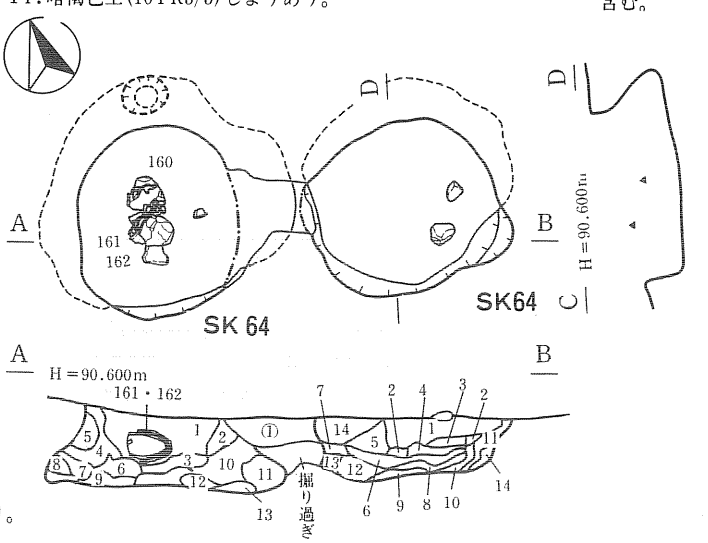

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK58 | ML51・52、NM51・5 | Ⅶ | 不整円形 | G・D | 4.68×4.20 | × | 0.82 | 自然堆積 | SD138との新旧は不明 | 52～59、74・75 |
| SK59 | MT50 | Ⅵ | 不整楕円形 | F・D | 2.10×0.99 | 1.94×0.68 | 0.60 | 自然堆積 | | |

第34図　SK58・59土坑

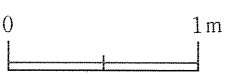



ＳＫ63
1．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりあり。
2．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
3．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり、炭化物を少量含む。
4．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
5．暗褐色土(10YR3/4)ややしまりあり、地山粒を少量含む。

ＳＫ65
1．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり。
2．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりなし、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
3．黒褐色土(10YR2/3)ややしまりあり。
4．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
5．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり。
6．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
7．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
8．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
9．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
10．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり。
11．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
12．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
13．黄褐色土(10ＹＲ5/6)きわめてしまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
14．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり。

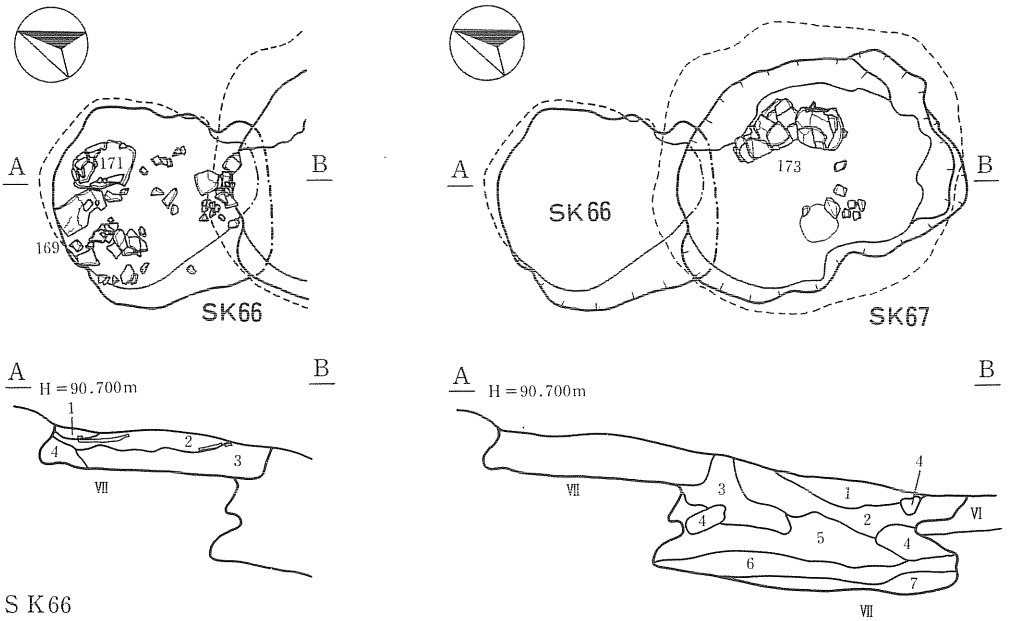



ＳＫ64
1．黒褐色土(10ＹＲ2/2)ややしまりあり。
2．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりあり。
3．黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりあり、地山崩壊土を多量、炭化物を微量含む。
4．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり、地山崩壊土を少量含む。
5．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山崩壊土を小ブロック状に多量に含む。
6．暗褐色土(10ＹＲ3/3)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
7．黒褐色土(10ＹＲ3/2)きわめてしまりあり、地山崩壊土を少量含む。
8．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりなし、地山粒を少量含む。
9．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
10．黒褐色土(10ＹＲ3/1)しまりあり、地山崩壊土を少量含む。
11．にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/3)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
12．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
13．明黄褐色土(10ＹＲ7/6)ややしまりなし、地山ブロック。
14．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりなし、地山粒を少量含む。サラサラしている。
①黒褐色土(10ＹＲ3/2)ややしまりあり。



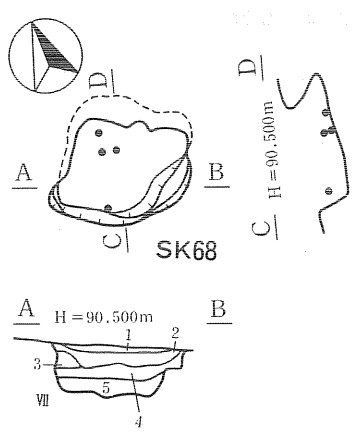

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK63 | MT52 | Ⅶ | 円形 | F | 0.91×0.81 | 0.86×0.72 | 0.24 | 人為堆積 | | 60 |
| SK64 | NA51・52 | Ⅶ | 円形 | C | 1.02×(0.83) | 1.36×1.15 | 0.57 | 人為堆積 | | 60 |
| SK65 | MT51・52、NA51・52 | Ⅶ | 円形 | C | (1.18)×0.95 | 1.12×1.08 | 0.49 | 人為堆積 | | |

第35図　SK63・64・65土坑




ＳＫ66
1．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
2．暗褐色土(10ＹＲ3/3)ややしまりあり。
3．暗褐色土(10ＹＲ3/4)ややしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
4．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)ややしまりあり、地山粒を多量に含む。

ＳＫ67
1．黒褐色土(10Ｙ R3/2)きわめてしまりあり、明黄褐色土をやや多く含む。
2．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山土をやや多く含む。
3．にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
4．褐色土(10YR4/4)しまりあり。
5．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり、地山粒を少量含む。
6．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
7．明黄褐色土(10YR6/8)ややしまりあり、地山崩壊土に褐色土が少量混じる。

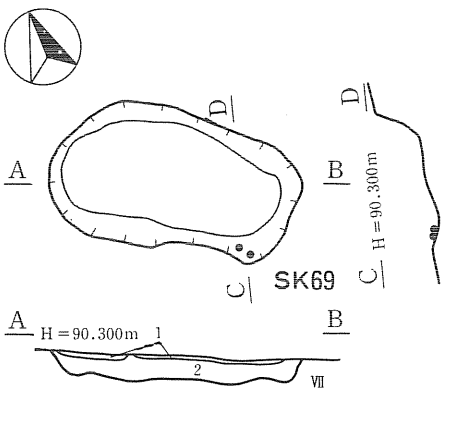


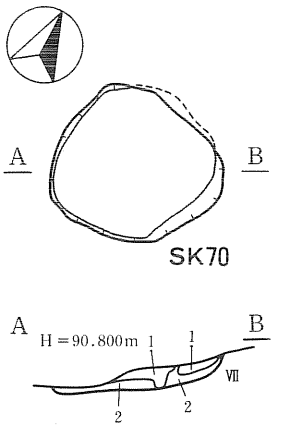

ＳＫ68
1．暗褐色土(10YR3/3)きわめてしまりあり。
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまりあり、小礫をきわめて多量含む。
3．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山粒をきわめて多量に含む。
4．橙色土(7.5YR6/4)きわめてしまりあり、にぶい黄褐色土(10YR7/3)の粘土を多量に含む。
5．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山土きわめて多量に含む。

0　1m

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平　面　形 | 断　面　形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK66 | NA51・52、NB51 | Ⅶ | 不整円形 | C | (1.18)×1.05 | (1.17)×1.01 | 0.39 | 人為堆積 | SK67→SK66 | 61・75 |
| SK67 | NA51 | Ⅵ | 円形 | C | 1.57×1.19 | 1.75×1.55 | 0.80 | (人為堆積) | SK67→SK66 | 61 |
| SK68 | NB51 | Ⅶ | 不整方形 | C | 0.82×0.60 | 0.82×0.69 | 0.23 | 人為堆積 | | 61 |

第36図　SK66・67・68土坑

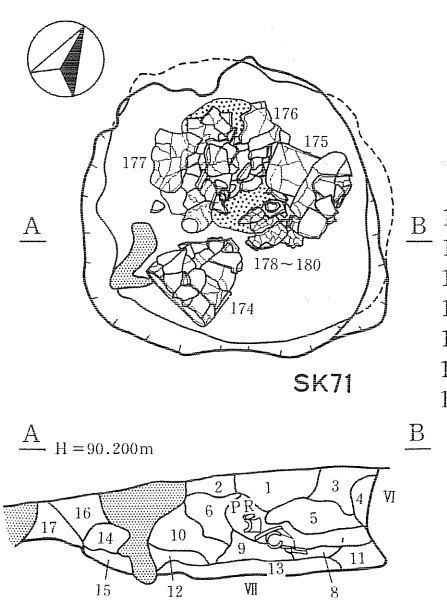



ＳＫ69
１.にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりなし、明黄褐色土(10ＹＲ6/8)のブロックをやや多く含む。
２.褐色土(10ＹＲ4/4)しまりなし、明黄褐色土(10ＹＲ6/8)小ブロックをきわめて多量含む。

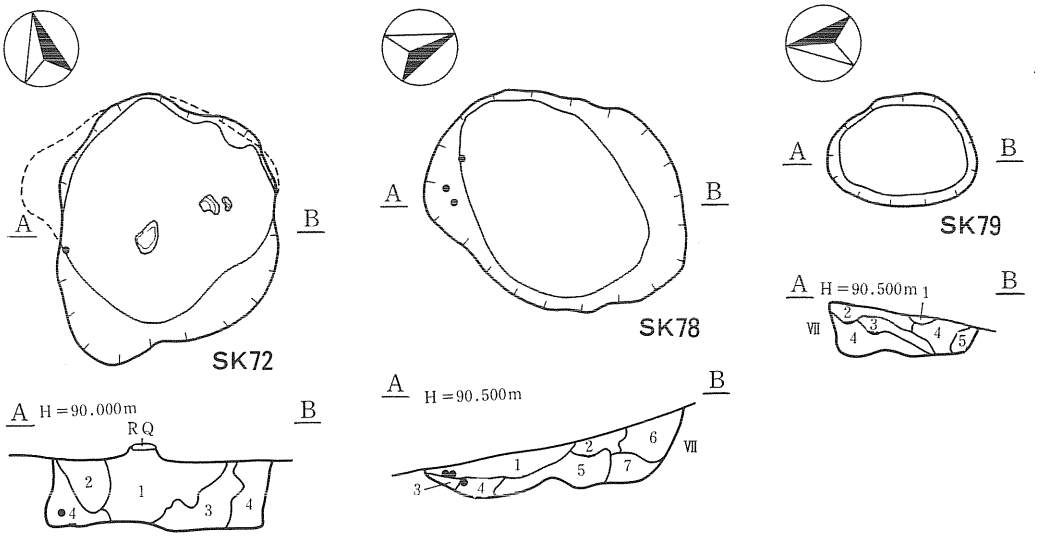
ＳＫ70
１.暗褐色土(10ＹＲ3/4)しまりあり、地山粒を多量、炭化物を少量含む。
２.黄褐色土(10ＹＲ5/8)ややしまりあり、暗褐色土(10ＹＲ3/4)を多量に均質に含む。

ＳＫ71
１.暗褐色土(10YR3/4)ややしまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
２.黄褐色土(10YR5/6)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
３.黄褐色土(10YR5/6)しまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
４.黄褐色土(10YR5/8)しまりあり、暗褐色土を多量に含む。
５.黄橙色土(10YR7/8)しまりあり、黒褐色土・暗褐色土をやや多く含む。
６.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土を多量、炭化物を微量含む。
７.暗褐色土(10YR3/3)ややしまりあり、地山粒・炭化物を少量含む。遺物包含層。
８.黒褐色土(10YR2/2)ややしまりあり、炭化物をやや多く含む。
９.暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土を多量、炭化物を少量含む。
10.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
11.褐色土(10YR4/6)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
12.褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
13.褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
14.にぶい黄褐色土(10YR5/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
16.暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
17.黄褐色土(10YR5/6)ややしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。



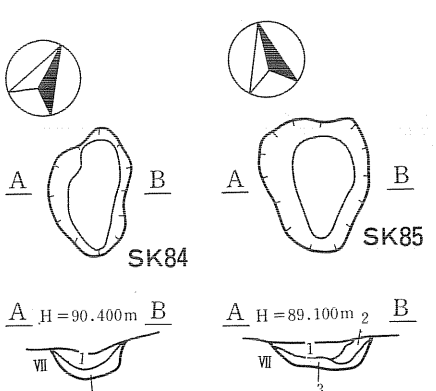

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平 面 形 | 断 面 形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK69 | NB51 | Ⅶ | 楕円形 | E | 1.34×0.74 | 1.16×0.54 | 0.33 | 人為堆積 | | 61 |
| SK70 | NB52 | Ⅶ | 円形 | F | 0.93×0.84 | 0.87×0.77 | 0.23 | | | |
| SK71 | NB51、NC51 | Ⅵ | 円形 | C | 1.79×1.58 | 1.56×1.50 | 0.19 | 人為堆積 | | 62 |

**第37図　SK69・70・71土坑**




１.黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりあり、炭化物を少量含む、地山粒を少量含む。
２.黒褐色土(10ＹR3/2)ややしまりあり、地山粒を少量含む。
３.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む、炭化物を少量含む。
４.暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。

ＳＫ78
１.黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり。
２.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり。
３.褐色土(10ＹR4/4)しまりあり。
４.暗褐色土(10ＹR3/4)ややしまりなし、地山崩壊土をやや多く含む。
５.黒褐色土(10ＹR3/2)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。




ＳＫ79
１.黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり。
２.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり、明黄褐色土を多量に含む。
３.黒褐色土(10ＹR2/2)ややしまりあり。
４.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりなし、地山粒をきわめて多量に含む。

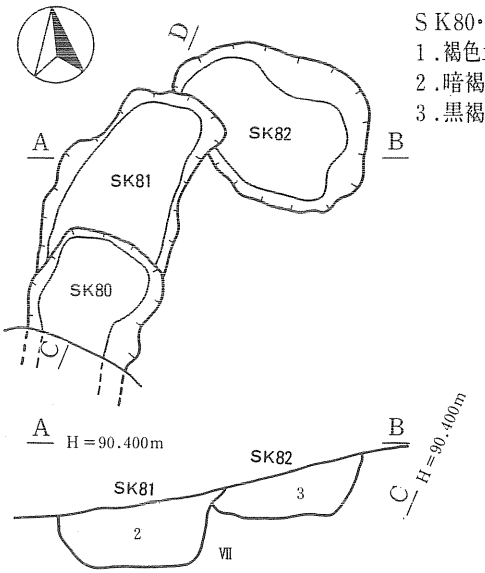
ＳＫ84
１.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりなし、浮石を多量に含む。
２.褐色土(10ＹR4/4)きわめてしまりあり。

ＳＫ85
１.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり、地山粒を少量含む。
２.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり、地山土を多量に含む。
３.褐色土(10ＹR4/6)しまりあり。

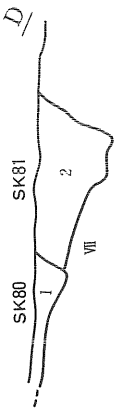
0　1m

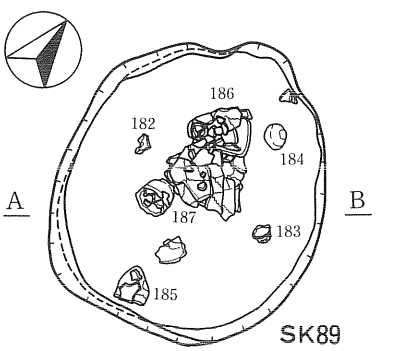
| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平 面 形 | 断 面 形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK72 | NB51 | Ⅶ | 円形 | E | 1.45×1.25 | 1.34×1.18 | 0.61 | 人為堆積 | | |
| SK78 | MS51、MT51 | Ⅶ | 楕円形 | F | 1.45×1.11 | 1.18×0.82 | 0.46 | 人為堆積 | | 63 |
| SK79 | MQ51・52、MR51・52 | Ⅶ | 円形 | F | 0.79×0.60 | 0.67×0.50 | 0.25 | 人為堆積 | | |
| SK84 | MT51 | Ⅶ | 楕円形 | G | 0.69×0.43 | 0.58×0.25 | 0.30 | 自然堆積 | | |
| SK85 | NA50 | Ⅶ | 不整楕円形 | F | 0.75×0.57 | 0.53×0.31 | 0.35 | 自然堆積 | | |

第38図　SK72・78・79・84・85土坑

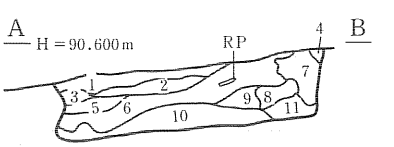


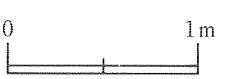

ＳＫ80･81･82
1．褐色土(10YR4/4)ややしまりあり、地山粒をきわめて多量に含む。
2．暗褐色土(10YR3/3)しまりなし、地山ブロックを多量に含む。
3．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、黄褐色土粒多量含む。

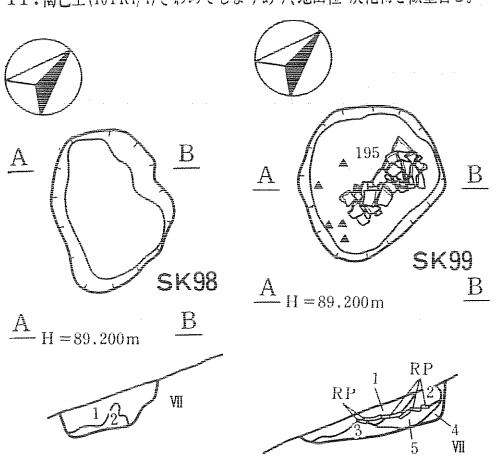



ＳＫ89
1．暗褐色土(7.5YR3/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
2．極暗褐色土(7.5YR2/3)しまりあり、地山粒を少量含む。
3．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山粒を少量含む。
4．黄褐色土(10YR5/6)きわめてしまりあり、粘性あり、地山土を多量に含む。
5．明褐色土(7.5YR5/6)きわめてしまりあり、やや粘性あり、地山粒を少量含む。
6．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、粘性あり、地山粒を少量含む。
7．明黄褐色土(10YR6/6)しまりあり、褐色土(10YR4/4)をきわめて多量に含む。
8．明黄褐色土(10YR6/6)しまりあり、褐色土(10YR4/4)を多量に含む。
9．黒褐色土(10YR2/3)きわめてしまりあり。
10．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、粘性あり、地山粒をやや多く、炭化物を微量含む。
11．褐色土(10YR4/4)きわめてしまりあり、地山粒・炭化物を微量含む。



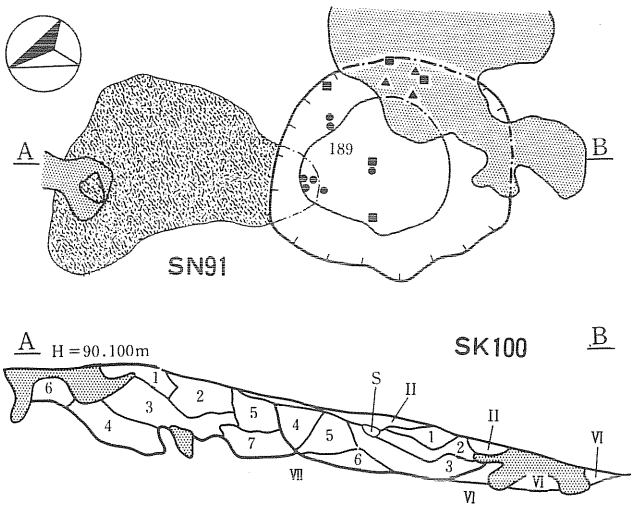



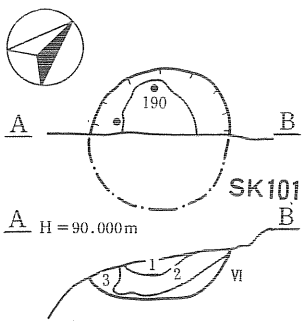

ＳＫ98
1．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒を少量含む。
2．にぶい黄褐色土(10YR4/3)ややしまりあり、地山ブロックを多量に含む。

ＳＫ99
1．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり。
2．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
3．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
4．にぶい黄褐色土(10YR4/3)ややしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。
5．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土を多量、炭化物を少量含む。

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK80 | MQ51、MR51 | Ⅶ | (楕円形) | E | ×0.67 | ×0.50 | 0.28 | 人為堆積 | SK82→SK81→SK80 | |
| SK81 | MQ51、MR51 | Ⅶ | (楕円形) | F | ×0.71 | ×0.59 | 0.76 | 人為堆積 | SK82→SK81→SK80 | |
| SK82 | MQ51 | Ⅶ | (楕円形) | F | 1.11×0.83 | 0.94×0.60 | 0.36 | 人為堆積 | SK82→SK81→SK80 | |
| SK89 | NB51･52 | Ⅶ | 円形 | C | 1.64×1.42 | 1.53×1.31 | 0.46 | 人為堆積 | | 63 |
| SK98 | ND50、NE50 | Ⅶ | 楕円形 | F | 0.87×0.66 | 0.72×0.50 | 0.32 | 人為堆積 | | |
| SK99 | ND50 | Ⅶ | 円形 | F | 0.85×0.75 | 0.76×0.67 | 0.30 | 人為堆積 | | 64 |

第39図　SK80・81・82・89・98・99土坑



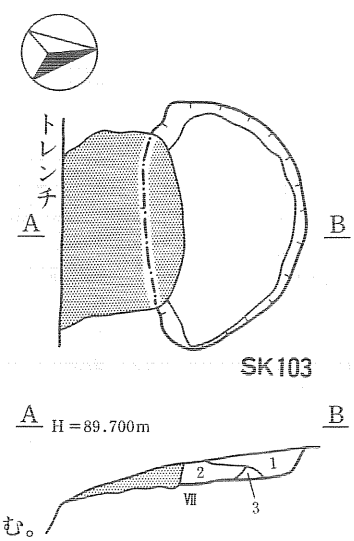




ＳＫ101
１．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり。
２．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山粒・炭化物を少量含む。
３．褐色土(10YR4/6)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
４．明黄褐色土(10YR6/8)きわめてしまりあり、暗褐色土を多量に含む。

ＳＫ100
１．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
２．黒褐色土(10YR2/2)ややしまりあり。
３．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒やや多く含む。
４．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
５．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒少量含む。
６．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
７．黄褐色土(10YR5/6)きわめてしまりあり、黒褐色土多量、炭化物少量、地山粒少量含む。
８．暗褐色土(7.5YR3/3)ややしまりあり、焼土粒少量、炭化物微量含む。

ＳＮ91
１．褐色土(7.5YR4/6)しまりあり、暗褐色土多量含む。焼土。
２．黒褐色土(7.5YR2/2)ややしまりあり、焼土が多量にブロック状に入る。地山崩壊土をやや多く含む。
３．明褐色土(7.5YR5/8)しまりあり、地山崩壊土を多量に含む。下部より多く含んでいる。
４．明褐色土(10YR 7.5YR5/8)しまりあり、地山が漸移的に赤変した部分である。
５．明褐色土(7.5YR5/6)きわめてしまりあり、粘性大。
６．にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量に含む。
７．にぶい黄褐色土(10YR4/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土やや多く含む。

ＳＫ103
１．褐色土(10YR4/4)ややしまりなし、地山崩壊土をやや多く含む。
２．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒をやや多く含む。
３．褐色土(10YR4/4)ややしまりあり。

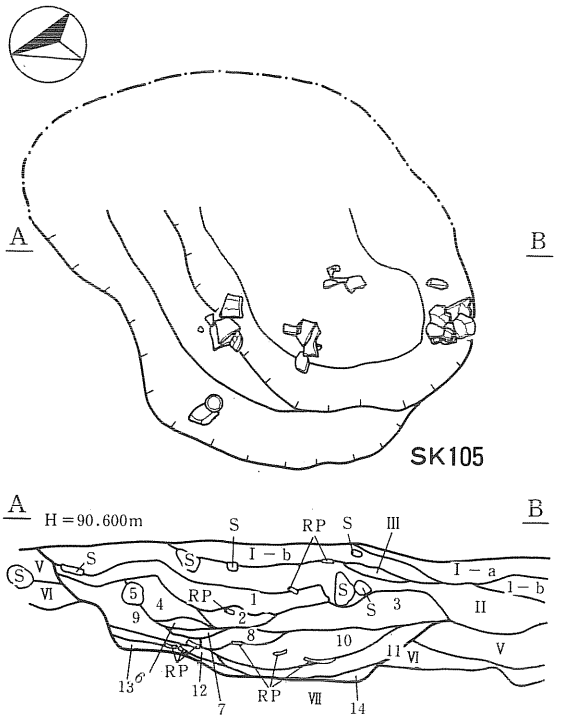


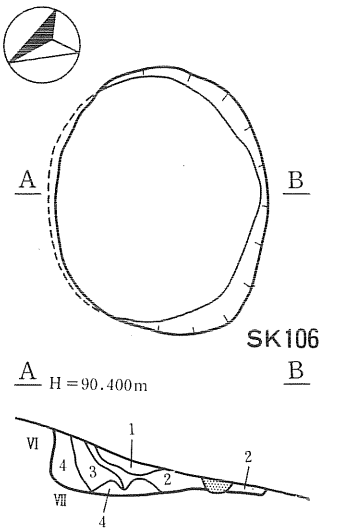

0　1m

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK100 | NC50・51 | VI | 円形 | F | (1.24×1.18) | 0.80×0.72 | 0.54 | 人為堆積 | SN91→SK100 | 64 |
| SK101 | NC51 | VII | 円形 | F | (0.76)×0.73 | (0.58)×0.39 | 0.24 | 自然堆積 | | 64 |
| SK103 | NT50 | VII | 楕円形 | F | 1.33×(0.86) | 1.23×(0.74) | 0.27 | 人為堆積 | | 64 |

| 焼土遺構 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 堆積の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SN91 | NC51 | VI | (不整楕円形) | G | 1.49×0.84 | × | 0.46 | 地山まで赤変 | SN91→SK100 | |

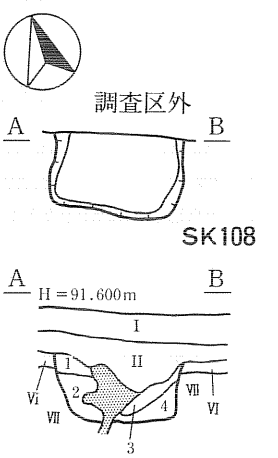
**第40図　SK100・101・103土坑、SN91焼土遺構**




ＳＫ106
１．黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。
２．黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、地山粒やや多く含む。
３．暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。
４．褐色土(10ＹR4/4)しまりあり、地山粒多量含む。

ＳＫ105
１．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、炭化物少量、焼土粒微量含む。
２．黒褐色土(10ＹR3/2)しまりあり、焼土(7.5ＹR5/6明褐色土)きわめて多量、炭化物少量含む。
３．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒少量含む。
４．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
５．にぶい黄褐色土(10YR6/4)しまりあり、炭化物微量、黒褐色土多量含む。
６．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒少量、炭化物微量、焼土粒微量含む。
７．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山崩壊土多量に含む。
８．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒少量、焼土粒少量、やや多く含む。
９．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山崩壊土少量、炭化物少量含む。
10．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒少量、地山ブロックきわめて多量含む。
11．暗褐色土(10YR3/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
12．黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山崩壊土多量、炭化物少量含む。
13．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量、地山ブロックやや多く含む。
14．暗褐色土(10YR3/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。

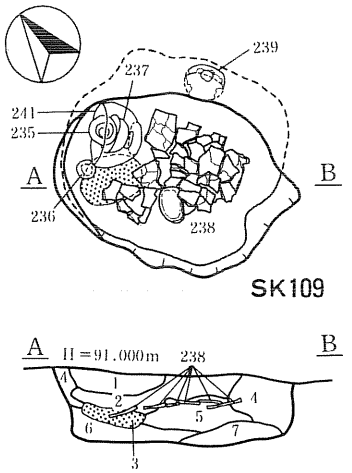


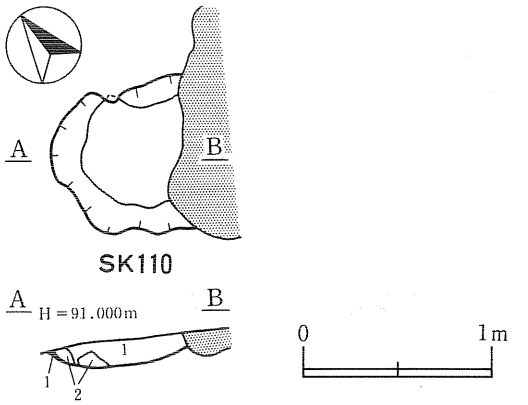

ＳＫ108
１．黒褐色土(10ＹR2/3)しまりあり。
２．暗褐色土(10ＹR3/3)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
３．黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
４．黄褐色土(10ＹR5/8)きわめてしまりあり。

0　1m

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平　面　形 | 断　面　形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK105 | NC52、ND52 | V | 不整楕円形 | F | (2.05)×2.19 | ×0.91 | 0.51 | 自然堆積 | SX62→SK105 | 65～68、75・76 |
| SK106 | ND52 | VI | 楕円形 | B | 1.42×1.11 | 1.29×1.11 | 0.30 | 人為堆積 | | 76 |
| SK108 | NA52 | VI | (方形) | E | 0.71× | 0.60× | 0.61 | 人為堆積 | | 70 |

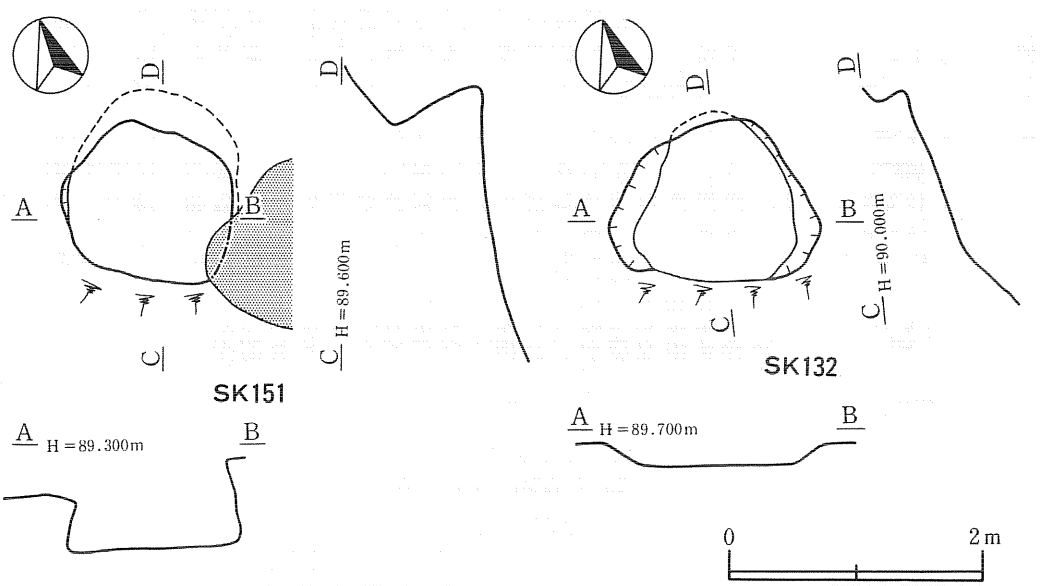
**第41図　SK105・106・108土坑**




ＳＫ110
１．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山ブロックやや多く含む。
２．明黄褐色土(10YR6/6)しまりあり、地山ブロックやや多く含む。

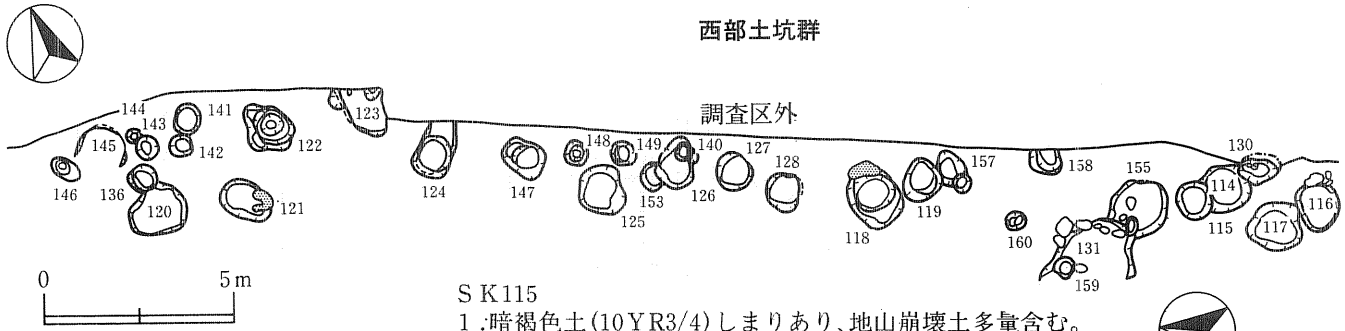
ＳＫ109
１．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山粒を少量含む。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山粒を微量含む。
３．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりあり、地山崩壊土をやや多く、炭化物を微量含む。ベンガラが混じる。
４．褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりなし、地山崩壊土を多量に含む。
５．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりあり、炭化物を少量含む。
６．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山土をきわめて多量に含む。
７．黄褐色土(10ＹＲ5/8)しまりあり、暗褐色土を少量含む。

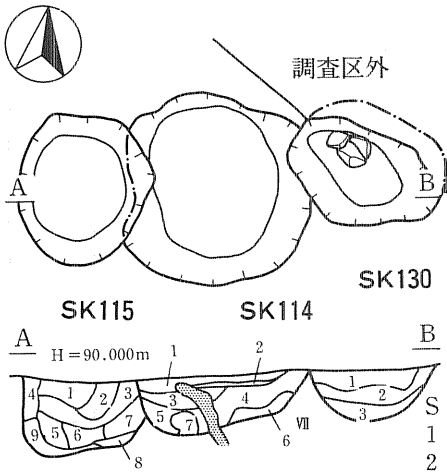


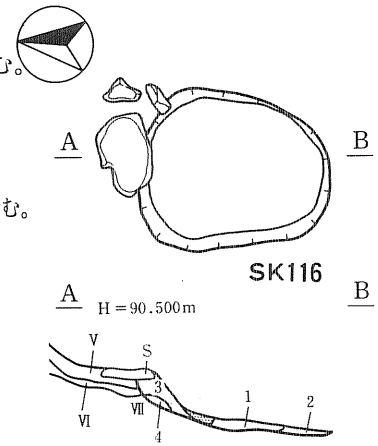

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平 面 形 | 断 面 形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK109 | NB52 | Ⅶ | 不整円形 | C | 1.32×0.92 | 1.22×1.20 | 0.45 | 人為堆積 | | 69 |
| SK110 | NB52 | Ⅶ | (円形) | G | ×0.82 | ×0.56 | 0.29 | 人為堆積 | | |
| SK132 | NF52、NG52・53 | Ⅶ | 円形 | B | 1.67×1.27 | 1.36×1.25 | 0.44 | | | |
| SK151 | ND51・52、NF51・52 | Ⅶ | 円形 | B | (1.37)×1.15 | 1.49×1.35 | 0.80 | | | 71・76 |

第42図　SK109・110・132・151土坑

## 西部土坑群




SK115
1.暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
2.黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、炭化物微量、焼土粒微量含む。
3.黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山粒少量含む。
4.褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
5.黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
6.暗褐色土(10YR3/3)ややしまりあり。
7.にぶい黄褐色土(10YR4/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
8.暗褐色土(10YR3/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土多量含む。
9.黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。

SK114
1.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり。
2.明黄褐色土(10YR6/6)しまりあり。
3.黒褐色土(10YR2/2)ややしまりあり炭化物少量含む。
4.暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
5.にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
6.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土多量含む。

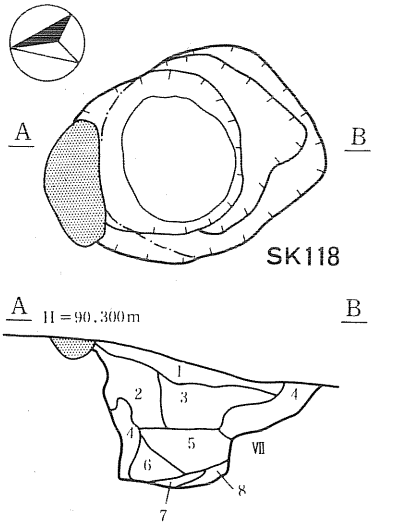
SK130
1.黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒少量含む。
2.暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土多量含む、炭化物微量含む。
3.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。

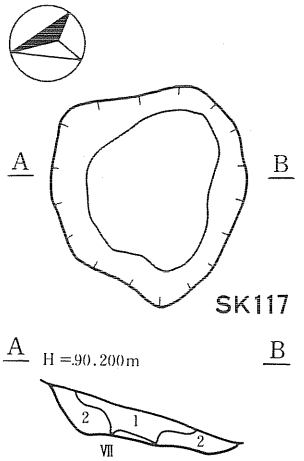
SK116
1.黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山ブロックやや多く含む。
2.黒褐色土(10YR2/2)しまりあり。
3.黒褐色土(10YR3/2)じまりあり、地山土多量含む。
4.にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまりあり、地山土を多量に含む。

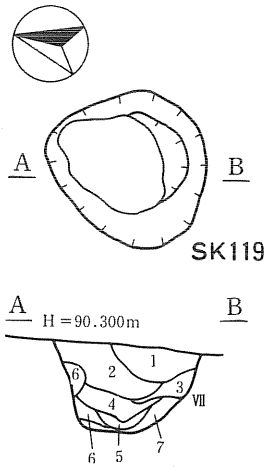
0　1m

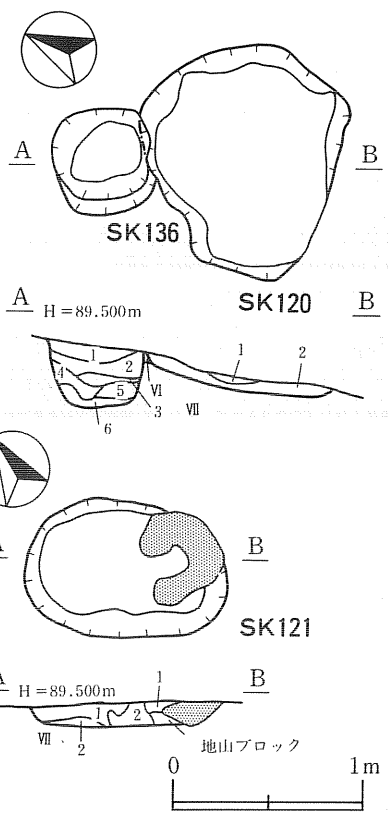
| 土坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK114 | NH52・53 | Ⅶ | 円形 | F | 1.12×1.05 | 0.80×0.65 | 0.36 | 自然堆積 | SK115→SK114 | 70・76 |
| SK115 | NH52 | Ⅶ | 円形 | F | 0.81×0.74 | 0.57×0.51 | 0.50 | 自然堆積 | SK115→SK114 | |
| SK130 | NH52・53 | Ⅶ | (円形) | G | 0.85×(0.65) | 0.57×0.30 | 0.48 | 自然堆積 | SK114→SK130 | 71 |
| SK116 | NG52、NH52 | Ⅴ | 円形 | F | 1.01×0.87 | 0.92×0.73 | 0.23 | | | 70 |

第43図　SK114・115・116・130土坑




S K118
1．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり。
2．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山粒多量、炭化物少量含む。
3．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山粒多く、炭化物やや多く含む。
4．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量、炭化物少量含む。
5．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒やや多く、炭化物少量含む。
6．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
7．淡黄色土(2.5Y8/3)きわめてしまりあり、黒褐色土が薄く層状に入る。
8．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。

S K117
1．黒褐色土(10YR3/2)ややしまりあり。
2．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山土多量含む。

S K119
1．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。
2．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山粒多量含む。
3．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土少量含む。
4．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、炭化物微量含む。
5．淡黄色土(2.5Y8/3)きわめてしまりあり、黒褐色土が薄く層状に入る。
6．明黄褐色土(10YR6/8)しまりあり、地山ブロック。
7．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。

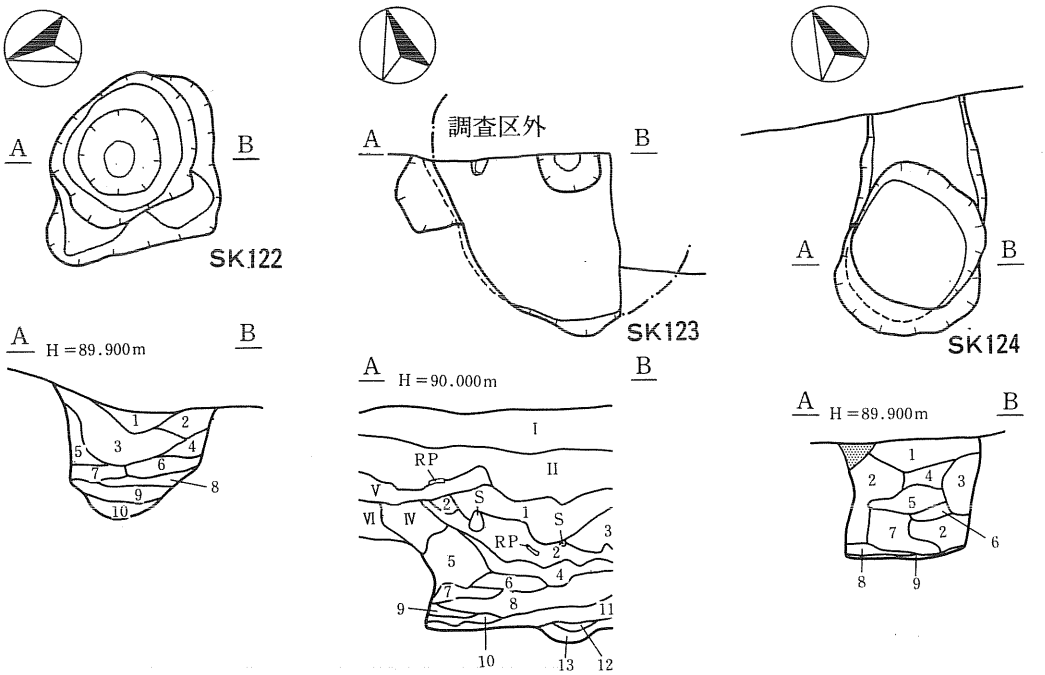
S K120
1．黒色土(10YR2/1)ややしまりなし、浮石粒やや多く含む。
2．黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山粒少量含む。

S K136
1．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土多量に含む。
2．褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
3．明黄褐色土(10YR7/6)きわめてしまりあり、褐色土多量含む。
4．明黄褐色土(10YR6/8)きわめてしまりあり、褐色土きわめて多量含む。
5．黄褐色土(10YR5/6)しまりなし、褐色土多量含む。
6．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。

S K121
1．黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山粒やや多く含む。
2．にぶい黄褐色土(10YR5/4)ややしまりなし、地山崩壊土きわめて多量含む。

| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平 面 形 | 断 面 形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK117 | NH52 | VII | 円形 | F | 1.16×1.02 | 0.85×0.67 | 0.40 | 自然堆積 | | 70 |
| SK118 | NJ52・53 | VII | 不整楕円形 | E | (1.19)×1.11 | 0.69×0.58 | 0.79 | 人為堆積 | | 70 |
| SK119 | NJ52・53 | VII | 円形 | E | 0.90×0.75 | 0.64×0.44 | 0.50 | 自然堆積 | | |
| SK121 | NM52・53 | VII | 楕円形 | F | 1.08×0.72 | 0.89×0.57 | 0.21 | 人為堆積 | | |
| SK120 | NN52 | VI | 不整円形 | G | 1.26×(1.10) | 1.15×0.98 | 0.27 | 自然堆積 | SK136→SK120 | |
| SK136 | NN52・53 | VI | 円形 | F | 0.57×0.51 | 0.42×0.31 | 0.37 | 自然堆積 | SK136→SK120 | |

**第44図　SK117・118・119・120・121・136土坑**




ＳＫ122
１.褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山粒やや多く含む。
２.褐色土(10YR4/4)ややしまりあり、地山粒やや多く含む。
３.褐色土(10YR4/6)しまりあり、地山粒多量、炭化物少量含む。
４.暗褐色土(10YR3/3)ややしまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
５.暗褐色土(10YR3/4)ややしまりあり、地山粒多量に含む。
６.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
７.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
８.にぶい黄褐色土(10YR4/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
９.黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山崩壊土少量含む。
10.暗褐色土(10YR3/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土やや多く含む。

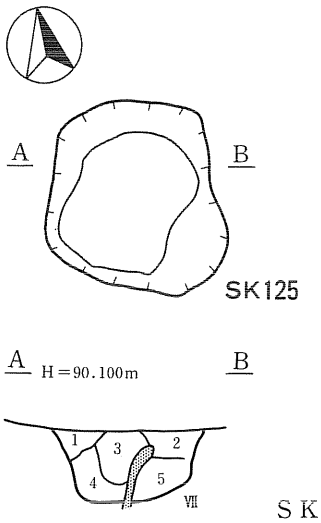
ＳＫ124
１.暗褐色土(10YR3/3)ややしまりなし。
２.褐色土(10YR4/4)ややしまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。
３.褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
４.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり。
５.暗褐色土(10YR3/3)ややしまりあり、地山崩壊土、炭化物をやや多く含む。
６.にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
７.暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土をやや多く含む。
８.明黄褐色土(10YR7/6)きわめてしまりあり、暗褐色土が多量に混じる。

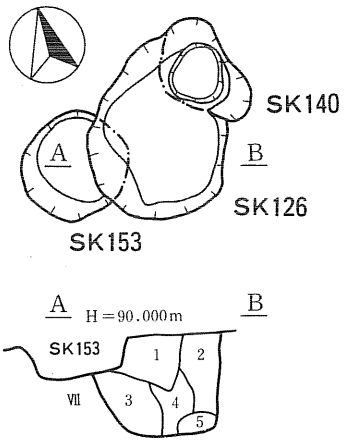
ＳＫ123
１.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり。
２.黒褐色土(10YR2/3)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
３.黒褐色土(10YR3/2)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
４.暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
５.黄褐色土(10YR5/6)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
６.黒褐色土(10YR2/3)しまりあり。
７.明黄褐色土(10YR6/6)しまりあり、黒褐色土やや多く含む。
８.黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒やや多く含む。
９.暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
10.明黄褐色土(10YR7/6)きわめてしまりあり、黒褐色土きわめて多く含む。
11.黒褐色土(10YR2/2)きわめてしまりあり、地山粒やや多く含む。
12.黒褐色土(10YR2/2)きわめてしまりあり。
13.黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり。

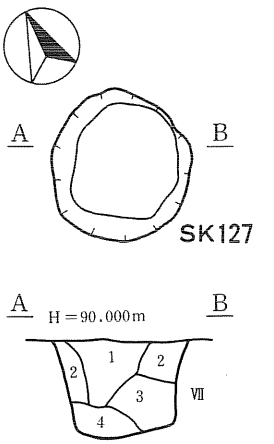
0　1m

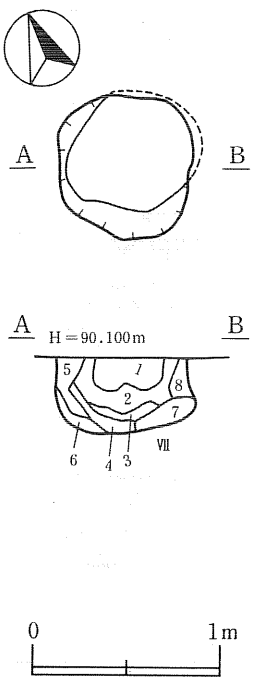
| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平 面 形 | 断 面 形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重　複　関　係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK122 | NM53 | Ⅶ | 円形 | H | 1.15×0.97 | 0.18×0.16 | 0.82 | 自然堆積 | | |
| SK123 | NM53 | Ⅵ | (円形) | A | × | × | 0.48 | 自然堆積 | | |
| SK124 | NL53 | Ⅶ | 不整円形 | E | 0.91×0.76 | 0.68×0.60 | 0.65 | 人為堆積 | | 71 |

**第45図　SK122・123・124土坑**




ＳＫ125
１.暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
２.褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりあり、地山崩壊土多量含む。
３.褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり。
４.にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)きわめてしまりあり、地山粒やや多く含む。
５.暗褐色土(10ＹＲ3/4)きわめてしまりあり。

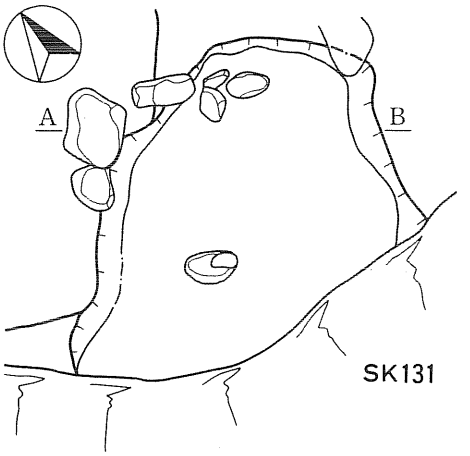
ＳＫ126
１.褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりあり。
２.にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
３.褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり。
４.褐色土(10ＹＲ4/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土多量含む。
５.にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)ややしまりあり。

ＳＫ127
１.にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。
２.褐色土(10ＹＲ4/6)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
３.褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山粒やや多く含む。
４.褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。

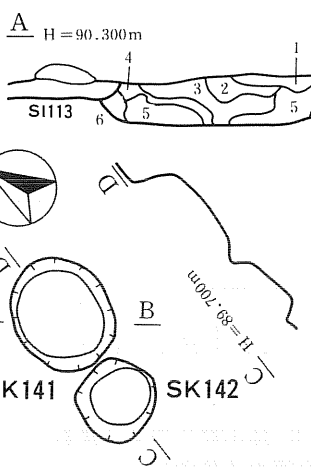
ＳＫ128
１.暗褐色土(10ＹＲ3/4)しまりあり、地山粒少量含む。
２.褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり。
３.にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)きわめてしまりあり、暗褐色土を多量に含む。
４.黄褐色土(10ＹＲ5/8)きわめてしまりあり、暗褐色土をやや多く含む。
５.にぶい黄褐色土(10ＹＲ7/4)きわめてしまりあり、暗褐色土やや多く含む。
６.黄橙色土(10ＹＲ7/8)きわめてしまりあり。
７.黒褐色土(10ＹＲ2/2)きわめてしまりあり。
８.明黄褐色土(10ＹＲ6/6)しまりなし、地山崩壊土をきわめて多量に含む。

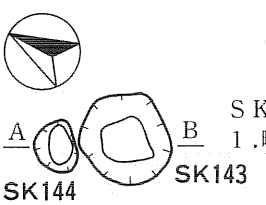
| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK125 | NK52・53、NL52 | Ⅶ | 不整円形 | E | 1.13×1.06 | 0.78×0.59 | 0.60 | 人為堆積 | | |
| SK126 | NK52・53 | Ⅶ | 不整円形 | E | 0.97×0.75 | 0.71×0.59 | 0.58 | 人為堆積 | SK140→SK126→SK153 | |
| SK140 | NK53 | Ⅶ | 円形 | E | 0.61×(0.38) | 0.26×0.25 | 0.63 | | SK140→SK126 | |
| SK153 | NK52・53 | Ⅶ | 円形 | E | 0.58×(0.57) | 0.46×(0.36) | 0.85 | | SK126→SK153 | |
| SK127 | NK52・53 | Ⅶ | 円形 | E | 0.80×0.75 | 0.65×0.58 | 0.51 | 人為堆積 | | |
| SK128 | NJ52・53、NK52 | Ⅶ | 円形 | E | 0.80×0.76 | 0.75×0.65 | 0.51 | 自然堆積 | | |

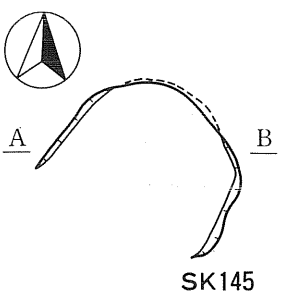
**第46図　SK125・126・127・128・140・153土坑**

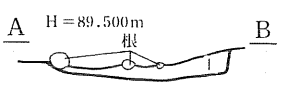



ＳＫ131
１．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり。
２．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
３．黒褐色土(10YR2/3)きわめてしまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
４．黒褐色土(10YR3/2)きわめてしまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
５．にぶい黄褐色土(10YR4/3)ややしまりあり、地山崩壊土多量含む。
６．黄褐色土(10YR5/6)しまりあり、暗褐色土きわめて多量含む。

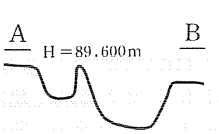


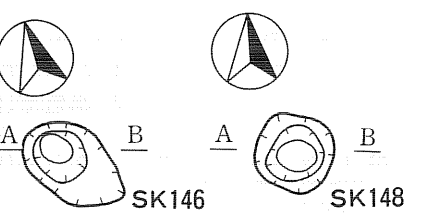



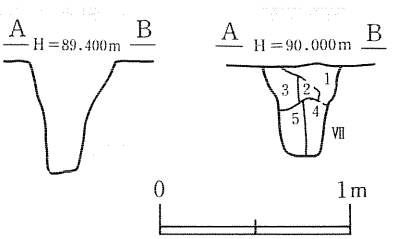

ＳＫ145
１．暗褐色土(10YR3/3)しまりあり、地山粒やや多く含む。



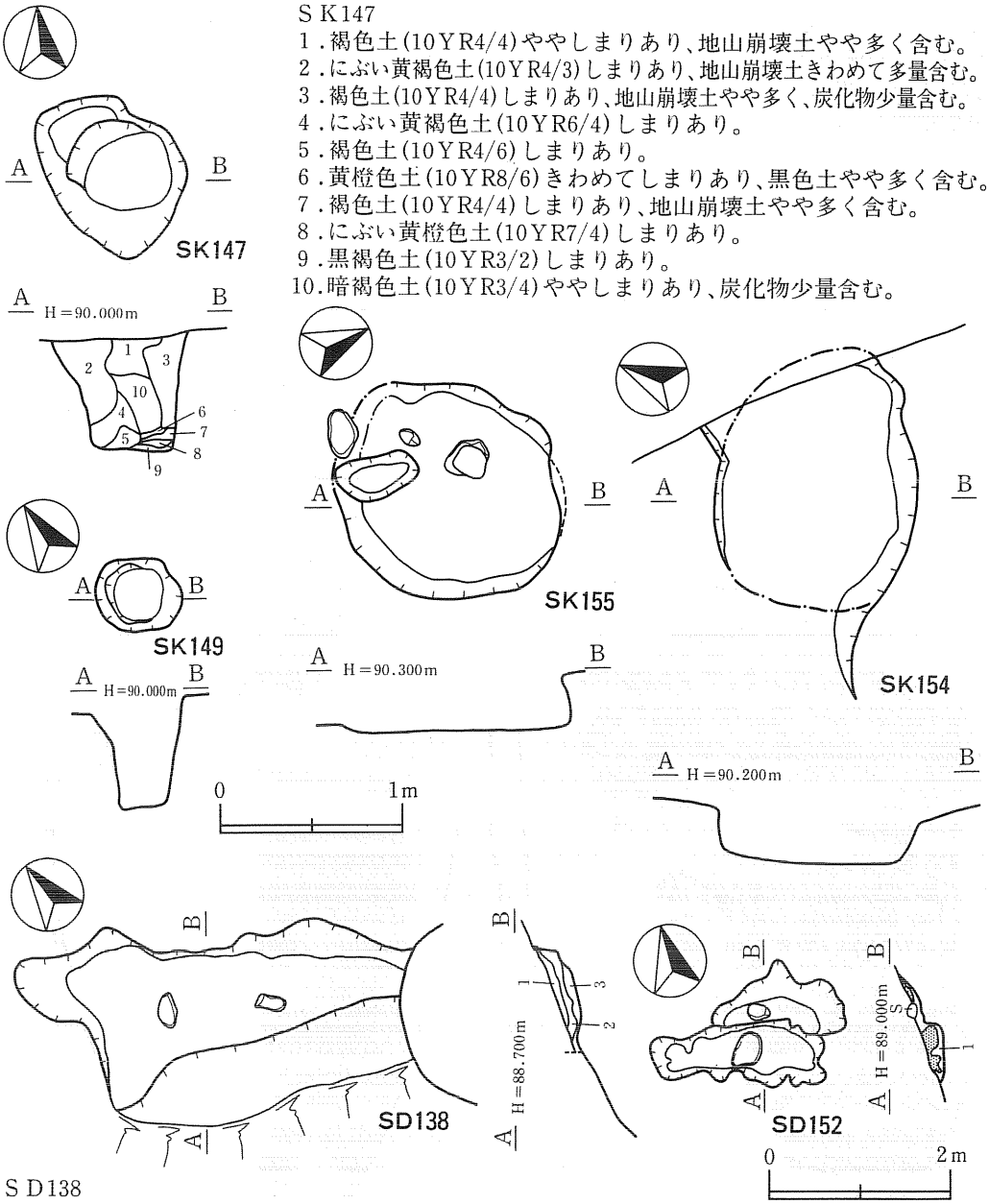

ＳＫ141
１．黒褐色土(10YR2/3)ややしまりあり、地山粒やや多く含む。
２．黒褐色土(10YR2/2)しまりあり、地山粒やや多く含む。

ＳＫ148
１．暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
２．褐色土(10YR4/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
３．褐色土(10YR4/6)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
４．褐色土(10YR4/6)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
５．黄褐色土(10YR5/6)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。




| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK131 | N152 | Ⅶ | (不整円形) | F | ×1.70 | ×1.45 | 0.26 | 自然堆積 | SK131→SI113→SK159<br>↘SK155 | |
| SK141 | NM53、NN53 | Ⅶ | 円形 | F | 0.61×0.50 | 0.49×0.42 | 0.24 | 自然堆積 | | |
| SK142 | NN53 | Ⅶ | 円形 | F | 0.46×0.42 | 0.32×0.29 | 0.16 | | | |
| SK143 | NN53 | Ⅶ | 円形 | E | 0.49×0.49 | 0.30×0.26 | 0.37 | | | |
| SK144 | NN53 | Ⅶ | 不整円形 | E | 0.29×0.21 | 0.21×0.12 | 0.20 | | | |
| SK146 | NN53 | Ⅶ | 不整円形 | H | 0.60×0.38 | 0.18×0.13 | 0.64 | | | |
| SK145 | NN53 | Ⅶ | (円形) | E | ×1.01 | ×0.91 | 0.22 | | | |
| SK148 | NK53、NL53 | Ⅶ | 円形 | E | 0.44×0.43 | 0.20×0.17 | 0.50 | 人為堆積 | | |

**第47図　SK131・141・142・143・144・145・146・148土坑**



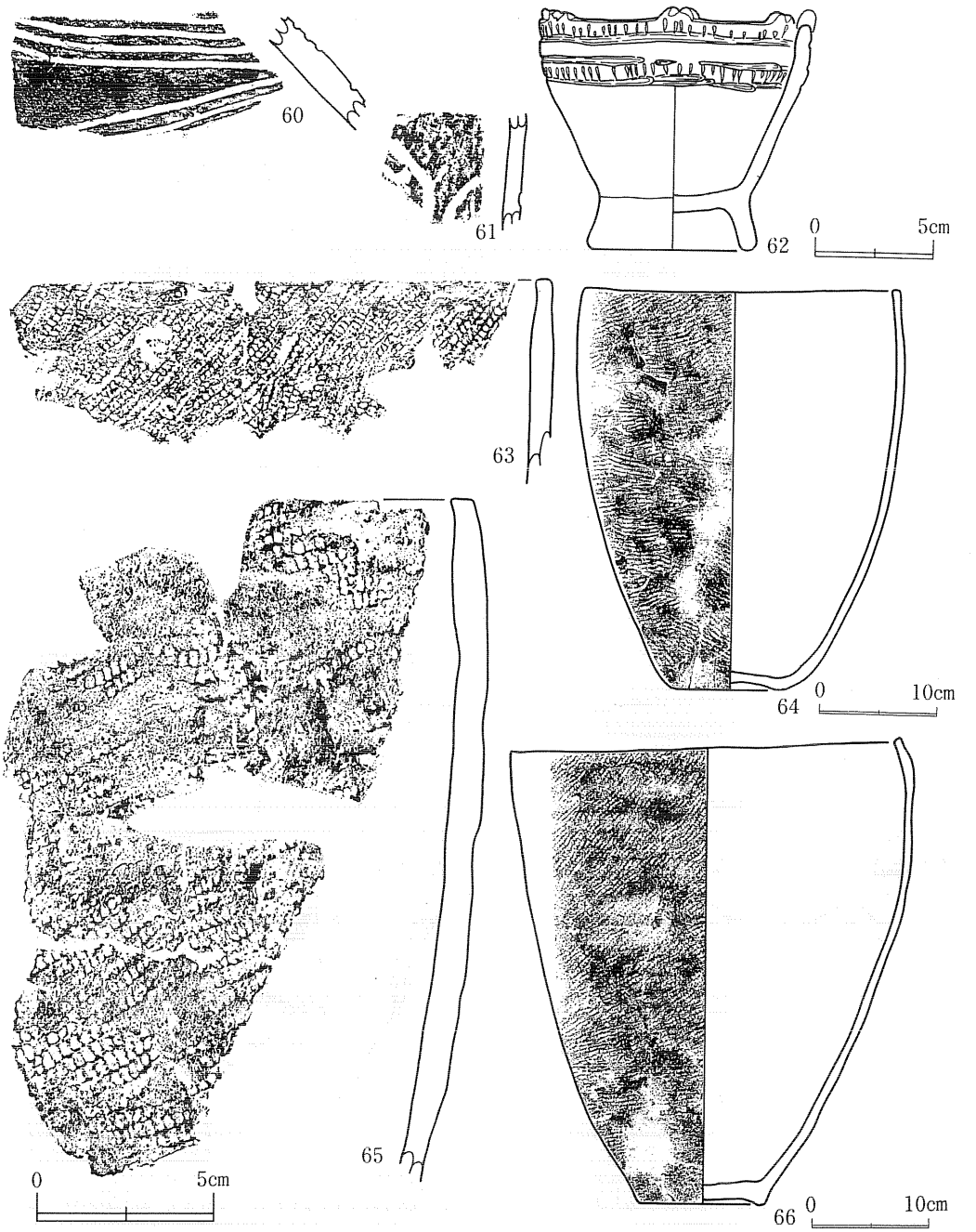

ＳＫ147
1．褐色土(10ＹＲ4/4)ややしまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
2．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
3．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く、炭化物少量含む。
4．にぶい黄褐色土(10ＹＲ6/4)しまりあり。
5．褐色土(10ＹＲ4/6)しまりあり。
6．黄橙色土(10ＹＲ8/6)きわめてしまりあり、黒色土やや多く含む。
7．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
8．にぶい黄橙色土(10ＹＲ7/4)しまりあり。
9．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり。
10．暗褐色土(10ＹＲ3/4)ややしまりあり、炭化物少量含む。

ＳＤ138
1．暗褐色土(10ＹＲ3/4)ややしまりあり、地山崩壊土多量含む。
2．にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
3．明黄褐色土(10ＹＲ6/8)しまりあり。

ＳＤ152
1．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山粒少量含む。
2．褐色土(10ＹＲ4/4)地山崩壊土多量に含む。

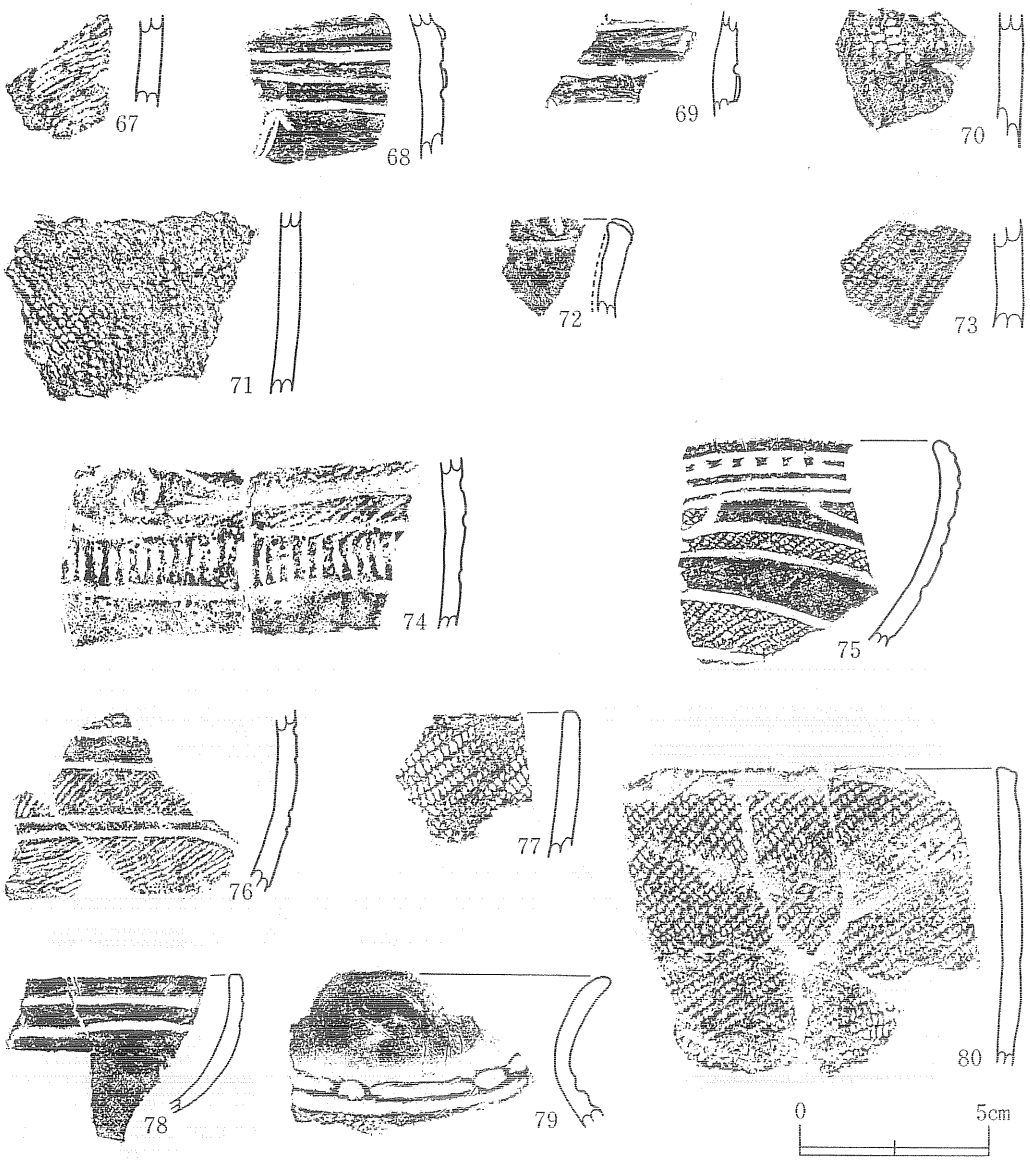
| 土　坑 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 深さ(m) | 埋土の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SK147 | NL52・53 | Ⅶ | 不整円形 | E | 0.93 ×0.73 | 0.50 ×0.40 | 0.65 | 人為堆積 | | |
| SK149 | NK53 | Ⅶ | 円形 | E | 0.48 ×0.43 | 0.29 ×0.26 | 0.63 | | | 71 |
| SK154 | NF52 | Ⅶ | (楕円形) | E | (1.48)×1.11 | ×0.97 | 0.39 | | | 72 |
| SK155 | NI52、NH52 | Ⅶ | 円形 | | (1.35)×1.17 | (1.18)×0.99 | 0.54 | | | 72 |
| SD152 | NN52、NO52 | Ⅶ | 不整楕円形 | G | ×1.74 | ×1.45 | 0.43 | 自然堆積 | | 72 |
| SD138 | NM51・52、NN52 | Ⅶ | 不整楕円形 | F | (4.28)×1.94 | (3.70)×1.77 | 0.87 | 自然堆積 | | 72 |

第48図　SK147・149・154・155土坑、SD138・152溝状遺構



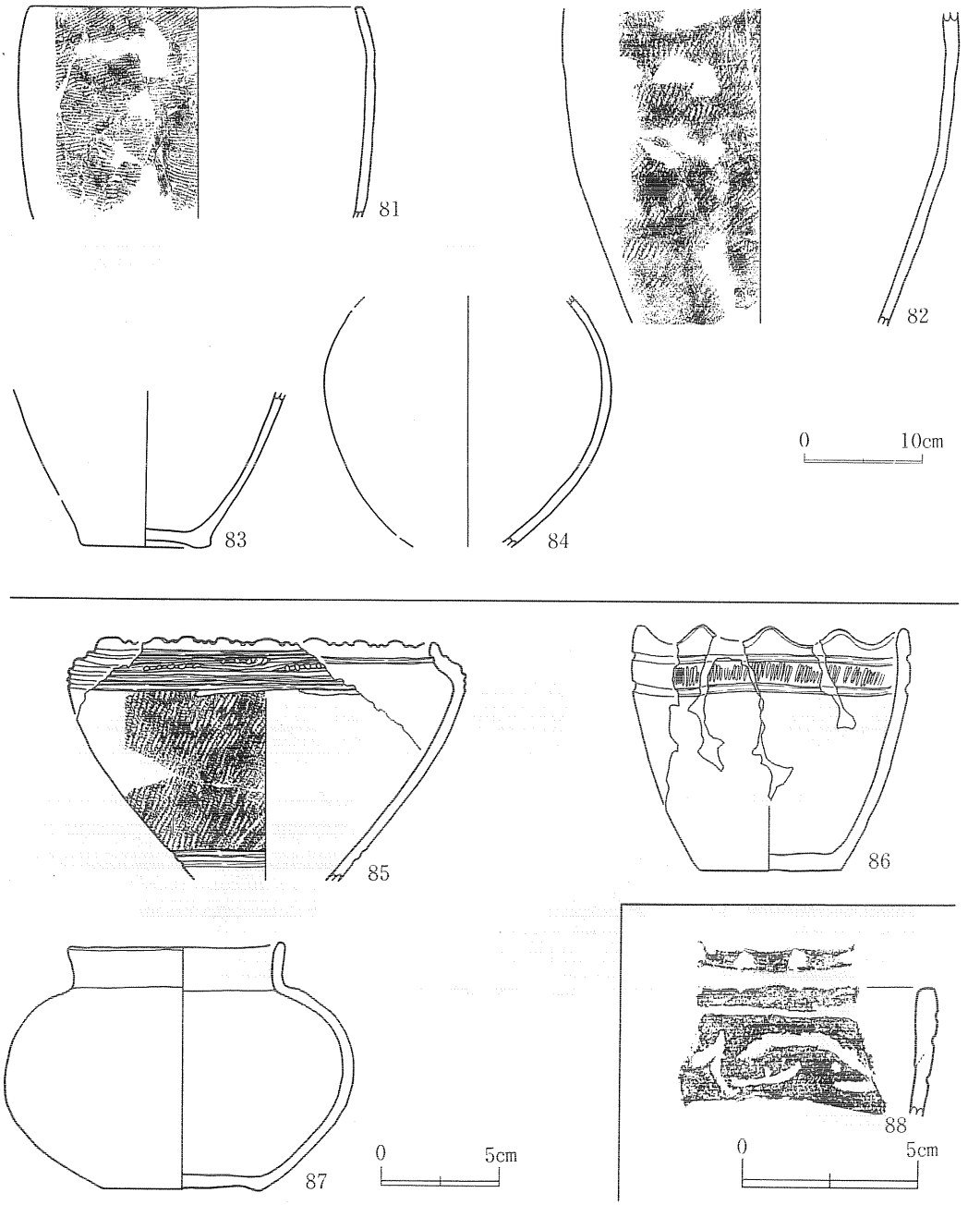

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 60 | SK01 | | 壺 | | | | | 変形工字文？ | | | ナデ | ベンガラ | ベンガラ |
| 61 | SK01 | | | | | | | 二重沈線による区画文 | | | ナデ | | |
| 62 | SK01 | 64の中 | 台付鉢 | B | (12.2) | 6.4 | 10.3 | 山形突起＋横位キザミ目文帯 | | | ヨコナデ | | |
| 63 | SK01 | | 深鉢 | | | | | 縄文 | LR | 横 | ナデ | ススス | |
| 64 | SK01 | 下層 | 深鉢 | B 1 | 26.6 | 9.1 | 34.5 | 縄文 | LR | 不整 | ナデ | ススス | |
| 65 | SK01 | | 深鉢 | | | | | 縄文 | LR | 横 | 横ケズリ | ススス | |
| 66 | SK01 | 下層 | 深鉢 | A | 33.0 | 10.6 | 40.0 | 縄文 | LR | 横・斜 | ヨコナデ | ススス | ススス |

**第49図　SK01土坑出土土器**



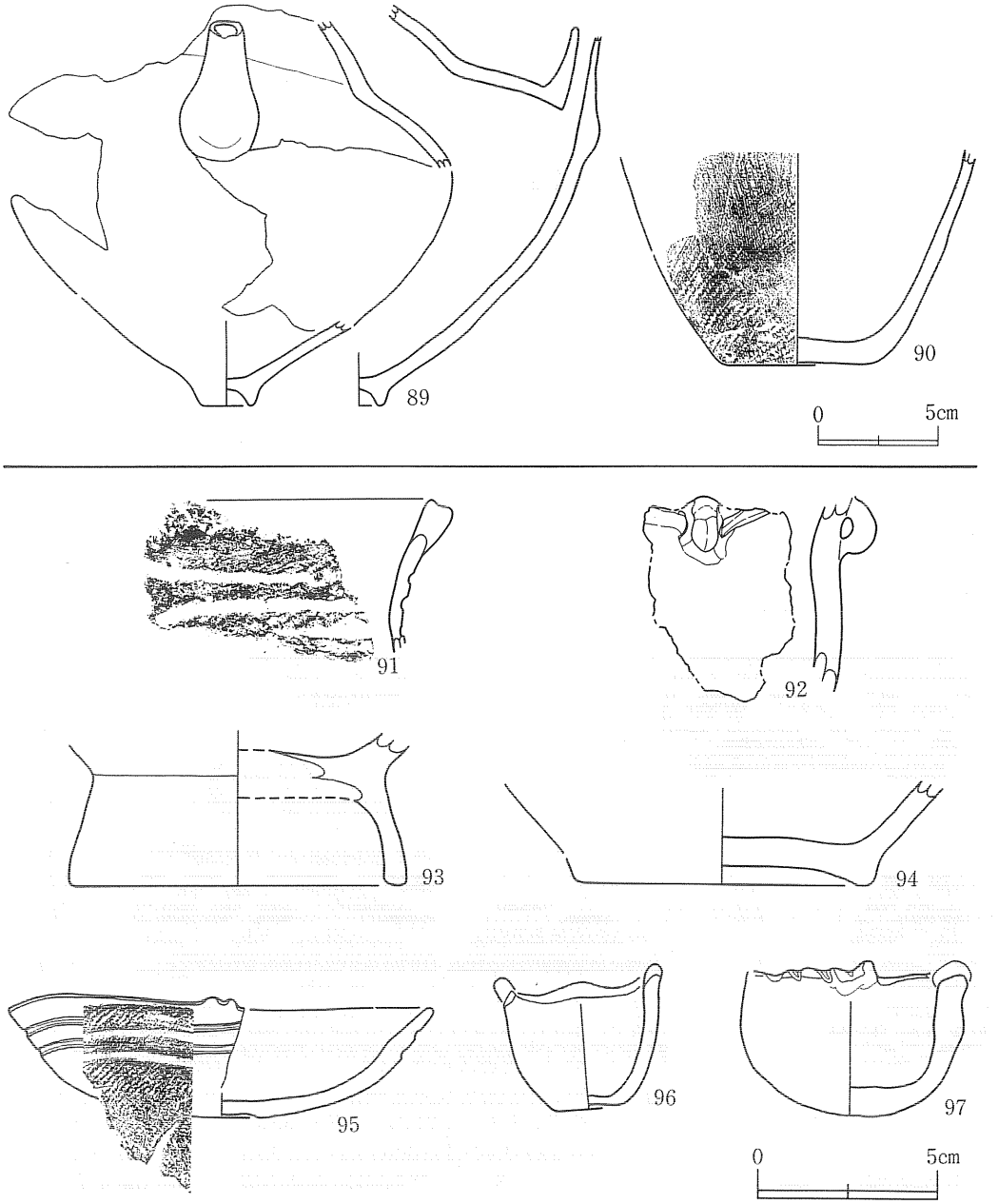

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 施文方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 67 | SK14 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 68 | SK18 | | | | | | | 横位隆線＋沈線文 | | | ヨコナデ | | |
| 69 | SK18 | | | | | | | 横位隆帯＋沈線文 | | | ヨコナデ | | |
| 70 | SK36 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 縦 | ナデ | | |
| 71 | SK34 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 斜 | ナデ | | スス |
| 72 | SK53 | | | | | | | 口唇部にキザミ | | | | | |
| 73 | SK53 | | | | | | | 縄文 | ＲＬ | 縦 | ナデ | スス | |
| 74 | SK56 | 5 | | | | | | 入組三叉文＋横位キザミ目文帯 | | | ナデ | スス | |
| 75 | SK56 | | 浅鉢 | | | | | 羊歯状文＋雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 76 | SK56 | | 鉢 | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | | スス |
| 77 | SK56 | 上層 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | スス | |
| 78 | SK56 | 上層 | 浅鉢 | | | | | 平行沈線文 | | | ミガキ | | |
| 79 | SK56 | 5層 | 壺 | | | | | 平行沈線文＋２個一組の刺突 | ＲＬ？ | 横？ | ヨコナデ | | |
| 80 | SK56 | 5層 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |

第50図　SK14・18・34・36・53・56土坑出土土器



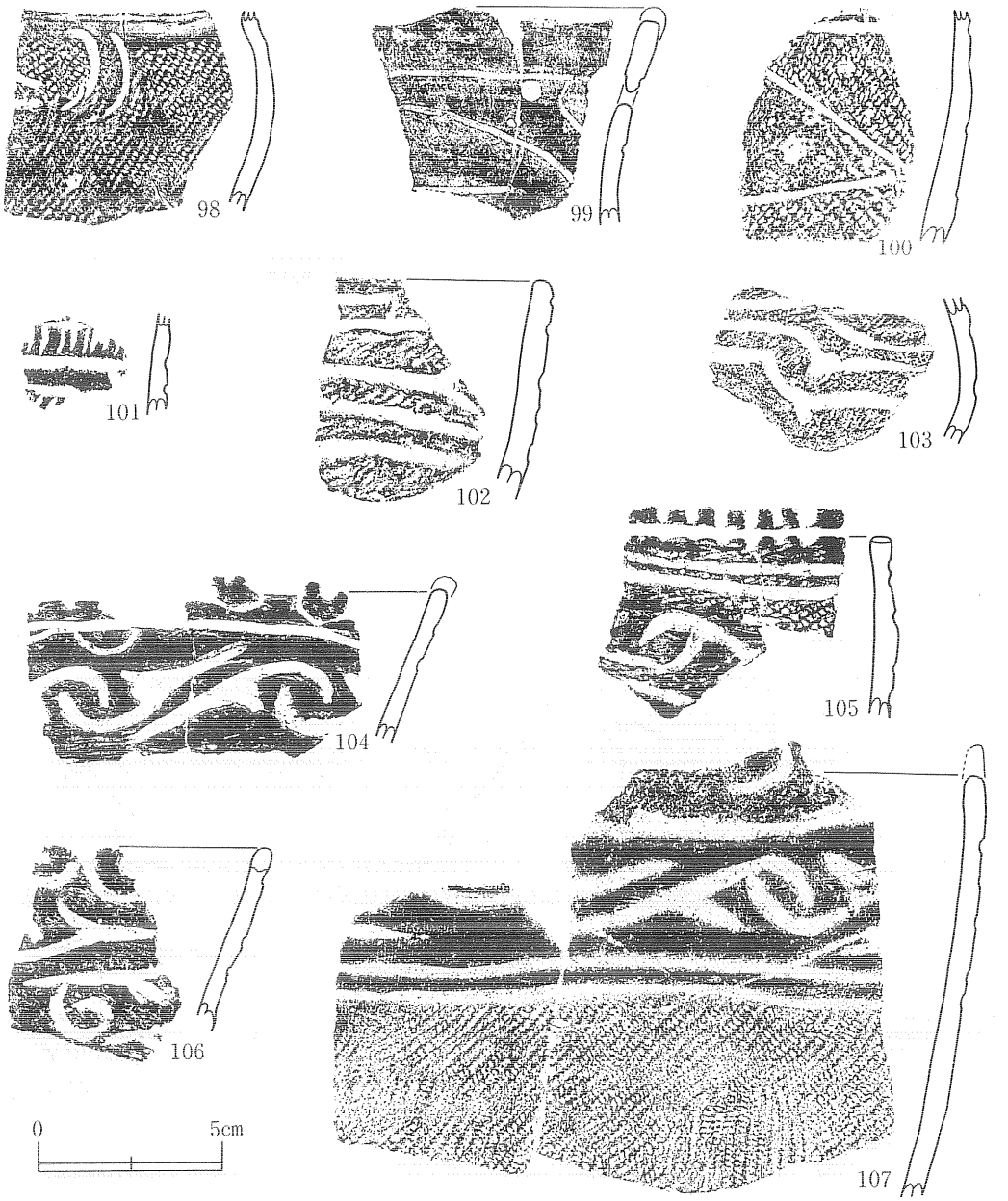

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 81 | SK10 | | 深鉢 | B | 28.5 | | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 82 | SK56 | 底面 | 深鉢 | A | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 83 | SK56 | 底面 | 鉢 | A | | 11.2 | | | | | ナデ | | |
| 84 | SK56 | | 壺 | F | | | | | | | ナデ | | |
| 85 | SK56 | | 鉢 | J | 14.3 | | | 羊歯状文 | | | ミガキ | ススス | |
| 86 | SK56 | | 鉢 | B 2 | (11.6) | ( 6.3) | (10.4) | 波状口縁＋横位キザミ目文帯 | | | ナデ | | ススス |
| 87 | SK56 | | 壺 | H | 9.3 | 6.7 | 10.5 | | | | ミガキ | | |
| 88 | SK56 | | | | | | | 口唇部キザミ＋入組三叉文 | | | ナデ | | |

第51図　SK10・56土坑出土土器



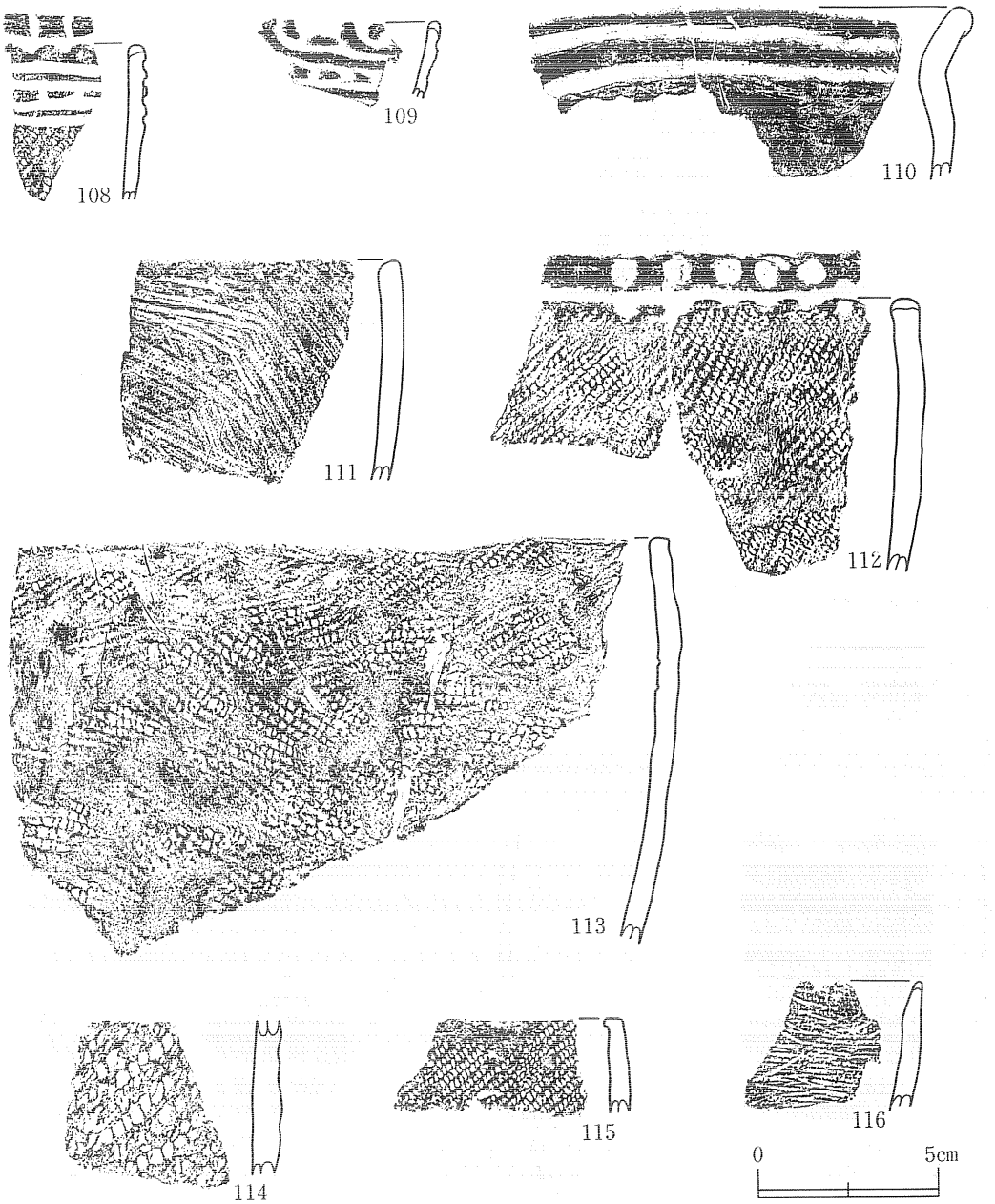

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 89 | SK56 | | 注口 | A | | 2.2 | | | | | ナデ | | |
| 90 | SK56 | | 深鉢 | B | | (6.6) | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 91 | SK56 | | | | | | | 山形突起＋三叉文 | | | 不明 | | |
| 92 | SK56 | | | | | | | リング状突起 | | | ヨコナデ | ススス | |
| 93 | SK56 | | 台付鉢 | | | (8.2) | | | | | ヨコナデ | | |
| 94 | SK56 | | 鉢 | | | (8.3) | | | | | ヨコナデ | | |
| 95 | SK58 | 上 | 皿 | A | 11.8 | 2.1 | 3.4 | 口唇部突起＋平行沈線内磨消 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 96 | SK58 | 上 | ミニチュア | | 4.2 | 2.0 | 3.8 | | | | ナデ | | |
| 97 | SK58 | 上 | ミニチュア | | ( 6.7) | | 4.4 | 口唇部突起 | | | ナデ | ススス | |

第52図　SK56・58土坑出土土器(1)



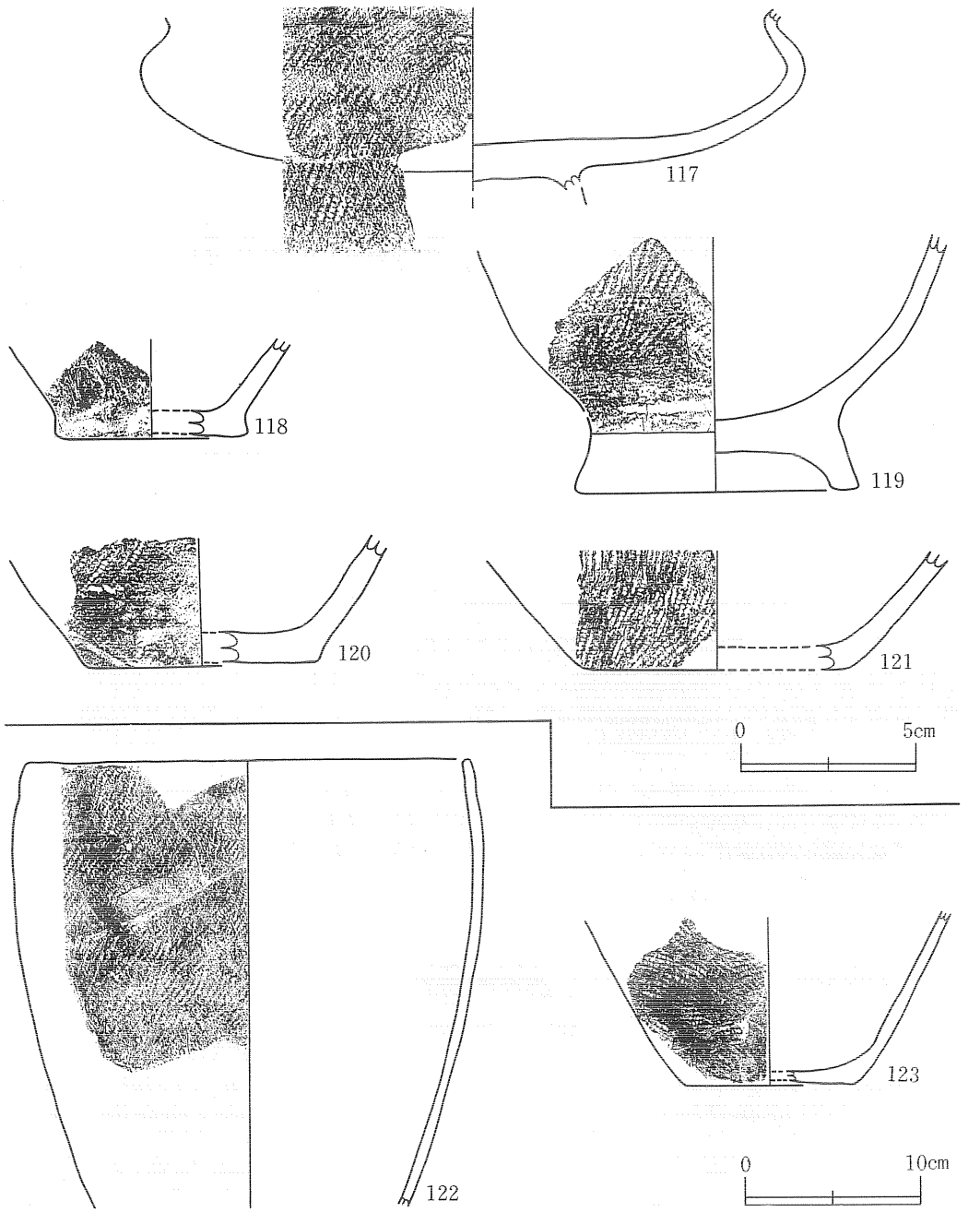

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 98 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 平行沈線による弧状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 99 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 波状口縁＋入組三叉文？補修孔あり | | | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 100 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 磨消縄文による幾何学文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | ベンガラ |
| 101 | SK58 | 上 | | | | | | 横位キザミ目文帯 | | | ヨコナデ | | |
| 102 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 103 | SK58 | 上 | | | | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 104 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 口唇部突起＋入組三叉文 | | | ミガキ | ススス | |
| 105 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 口唇部キザミ＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 106 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 口唇部突起＋三叉文 | | | ヨコナデ | ススス | |
| 107 | SK58 | 上 | 鉢 | | | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |

第53図　SK58土坑出土土器(2)



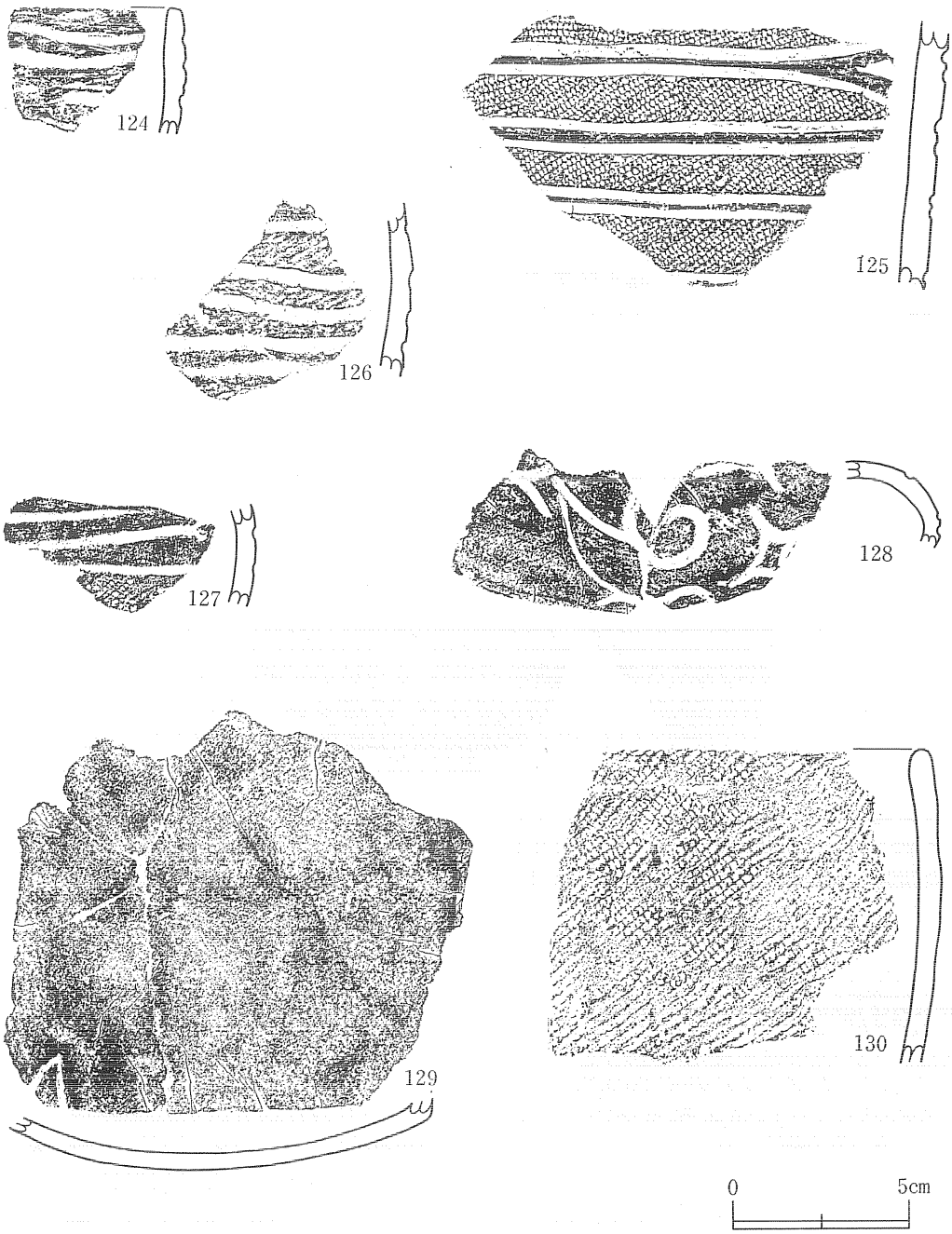

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 108 | SK58 | 上 | | | | | | 口唇部キザミ＋平行沈線文＋キザミ目 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 109 | SK58 | 上 | | | | | | 口唇部B突起＋羊歯状文？ | | | ミガキ | | |
| 110 | SK58 | 上 | | | | | | 平行沈線 | | | ミガキ | | |
| 111 | SK58 | 上 | 深鉢 | | | | | 斜位条痕文 | | | ナデ | | |
| 112 | SK58 | 上 | 深鉢 | | | | | 口唇部刺突＋縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 113 | SK58 | 上 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 不整 | ヨコナデ | ススス | |
| 114 | SK58 | 上 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 115 | SK58 | 上 | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 116 | SK58 | 上 | | | | | | 撚糸文 | Ｒ | 横 | ミガキ | | |

第54図　SK58土坑出土土器(3)



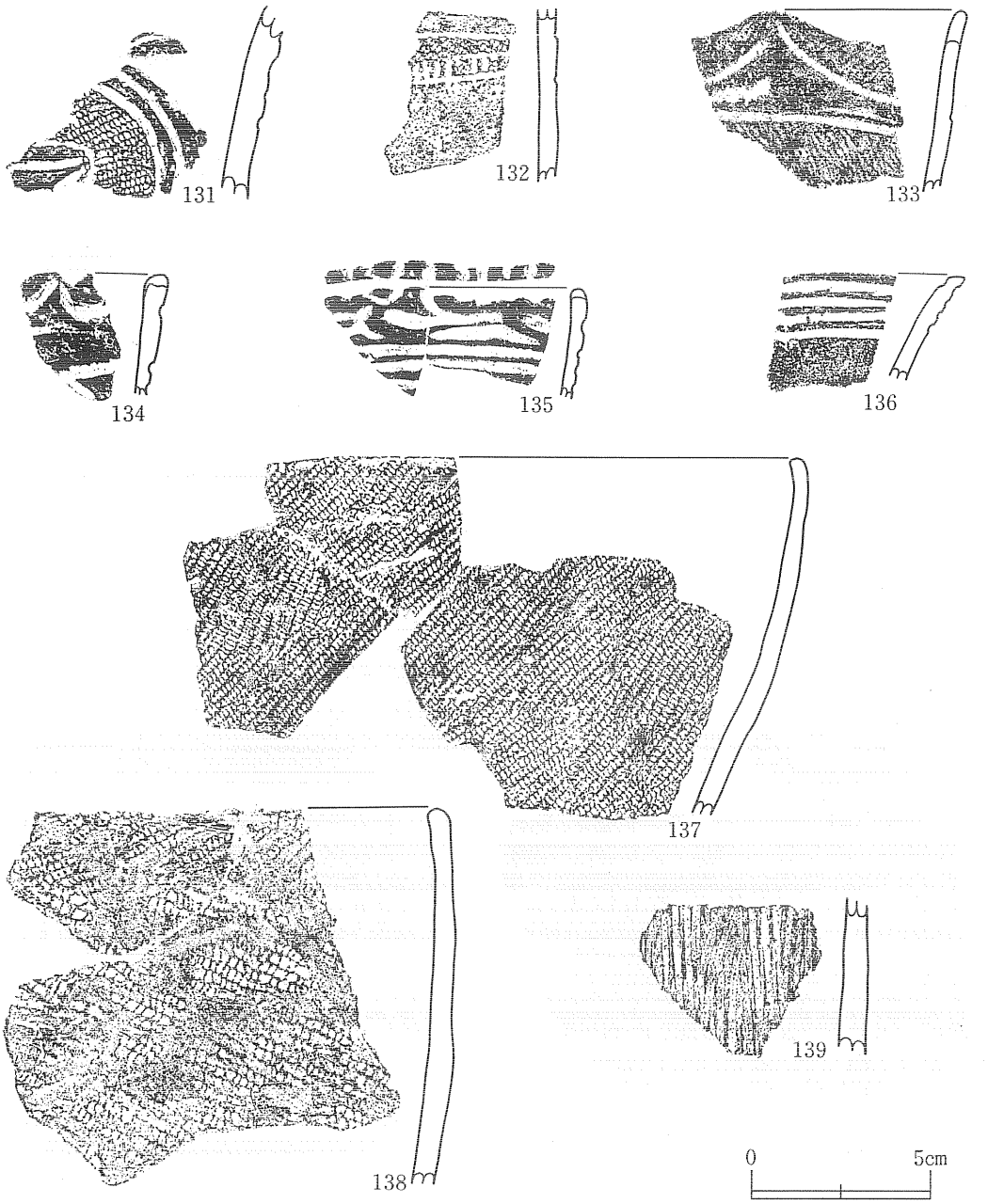

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 117 | SK58 | 上 | 台付浅鉢 | | | (6.1) | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 118 | SK58 | 上 | 鉢 | | | 5.5 | | | | | ナデ | | |
| 119 | SK58 | 上 | 台付鉢 | | | 7.1 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 120 | SK58 | 上 | 鉢 | | | (6.2) | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 121 | SK58 | 上 | 鉢 | | | (7.8) | | 縄文 | ＲＬ | 斜 | ナデ | ススス | |
| 122 | SK58 | 上 | 深鉢 | B | 25.0 | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 123 | SK58 | 上 | 鉢 | | | (9.8) | | 縄文 | ＲＬ | 斜 | ナデ | ススス | |

第55図　SK58土坑出土土器(4)



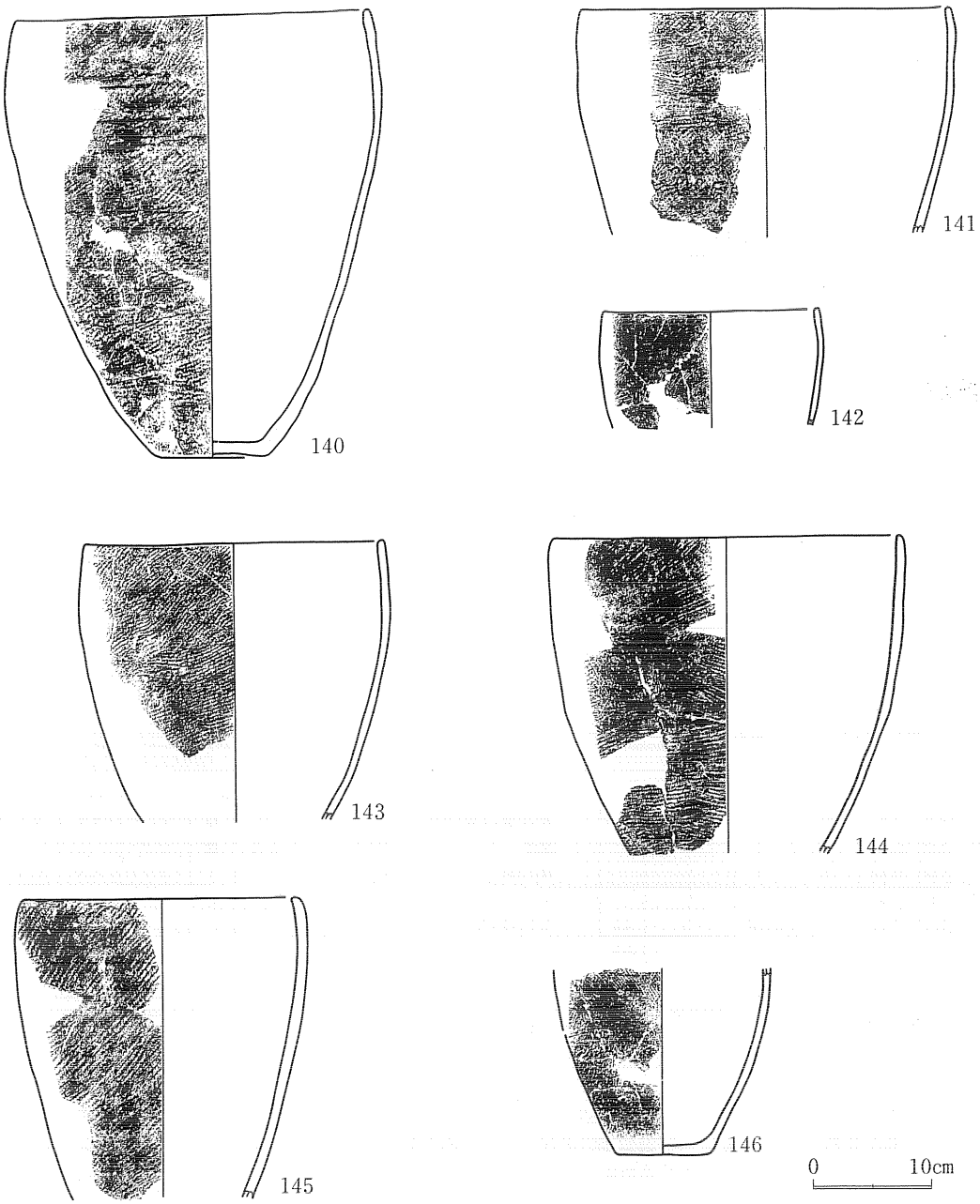

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 124 | SK58 | 炭化物層 | | | | | | 三叉文 | | | ナデ | ススス | |
| 125 | SK58 | 炭化物層 | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 126 | SK58 | 炭化物層 | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 127 | SK58 | 炭化物層 | | | | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 128 | SK58 | 炭化物層 | 注口 | | | | | 入組三叉文＋菱形文 | | | ナデ | | |
| 129 | SK58 | 炭化物層 | 注口 | | | | | (注口部の下)角状沈線文(外面ミガキ) | | | ナデ | | |
| 130 | SK58 | 炭化物層 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |

**第56図　SK58土坑出土土器(5)**



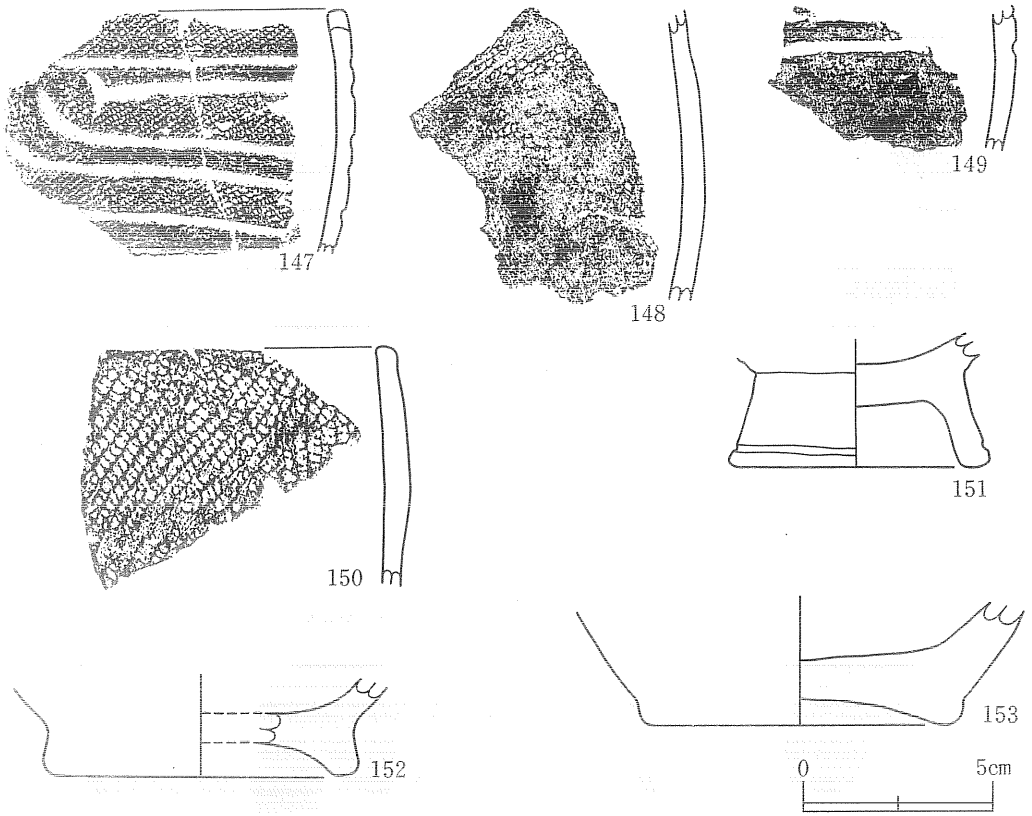

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 131 | SK58 | 下 | | | | | | 入組三叉文(二重沈線) | ＬＲ | 斜 | ナデ | | |
| 132 | SK58 | 下 | | | | | | 横位縄文帯＋キザミ目文帯 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | |
| 133 | SK58 | 下 | | | | | | 山形突起＋弧状沈線区画 | ＬＲ | 横・縦 | ナデ | ススス | ススス |
| 134 | SK58 | 下 | | | | | | 口唇部突起＋入組三叉文？ | | | | ススス | |
| 135 | SK58 | 下 | | | | | | B突起＋三叉文＋平行沈線 | | | ミガキ | ススス | ススス |
| 136 | SK58 | 下 | | | | | | 平行沈線＋内面横位沈線 | | | ナデ | | |
| 137 | SK58 | 下 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 138 | SK58 | 下 | 深鉢 | | | | | 異種原体による羽状縄文＋縄文 | RL+LR,LR | 横・横 | ナデ | ススス | |
| 139 | SK58 | 下 | 深鉢 | | | | | 条痕文 | | | | | |

第57図　SK58土坑出土土器(6)




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 140 | SK58 | 下 | 深鉢 | | 29.3 | 9.5 | 37.9 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 141 | SK58 | 下 | 深鉢 | | (30.8) | | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | ススス |
| 142 | SK58 | 下 | 深鉢 | | (18.5) | | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 143 | SK58 | 下 | 深鉢 | Ｄ | (25.2) | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 144 | SK58 | 下 | 深鉢 | | (30.0) | | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 145 | SK58 | 下 | 深鉢 | | (23.2) | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 146 | SK58 | 下 | 深鉢 | Ｄ２ | | 8.1 | | 縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | ススス |

58図　SK58土坑出土土器(7)




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 147 | SK58 | 下 | | | | | | 波状口縁＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 148 | SK58 | 下 | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 149 | SK58 | 下 | | | | | | 横位沈線 | | | ナデ | ススス | ススス |
| 150 | SK58 | 下 | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 151 | SK58 | 下 | 台付鉢 | | | 5.5 | | 台部下部に横位沈線 | | | ナデ | | |
| 152 | SK58 | 下 | 鉢 | | | (8.2) | | | | | ナデ | | |
| 153 | SK58 | 下 | 鉢 | | | (8.4) | | | | | ナデ | | |

第59図　SK58土坑出土土器(8)

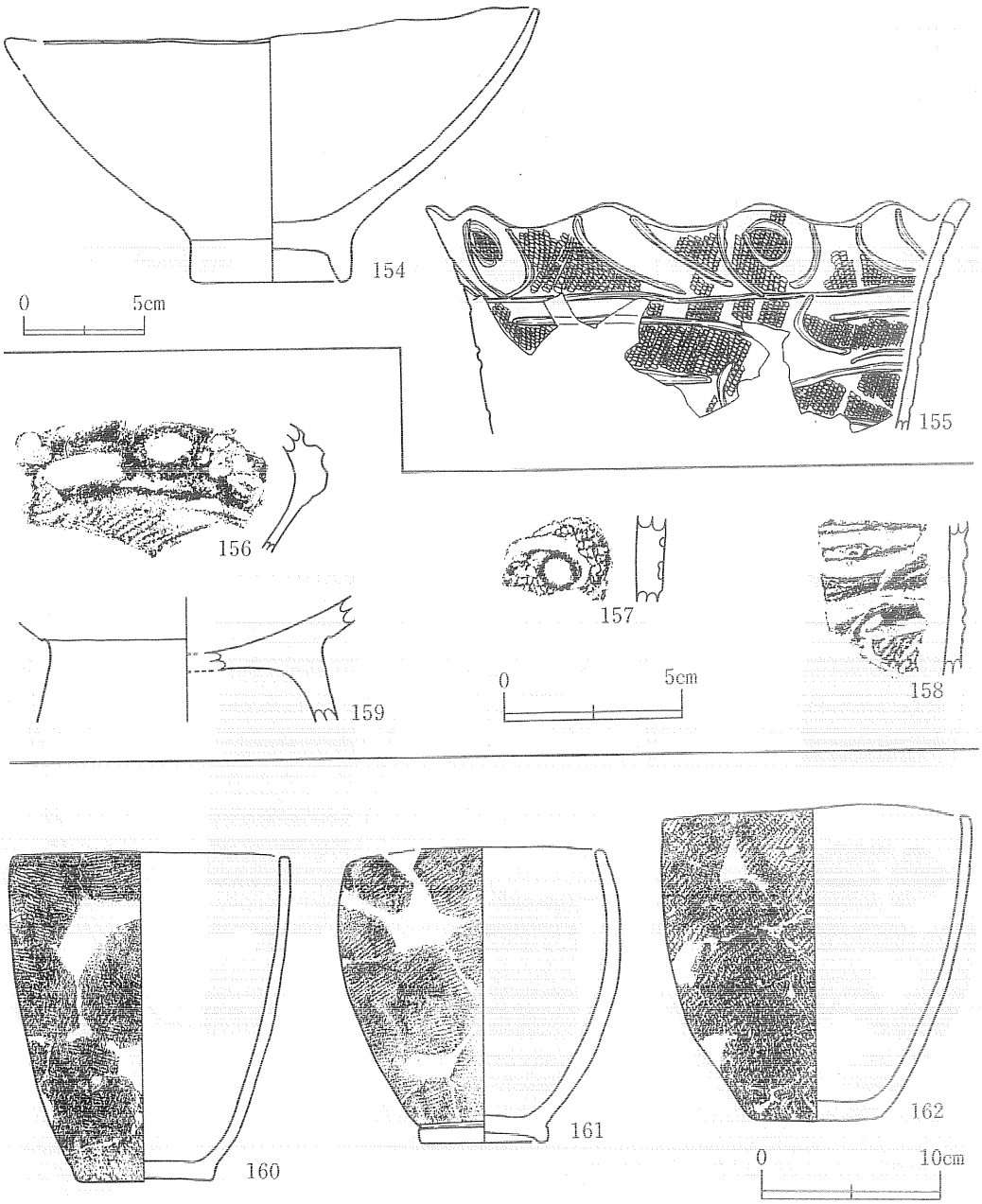
(19) 斉藤進・松崎元樹・及川良彦　『縄文時代中期の粘土採掘坑群の調査 －多摩ニュータウン遺跡群No.248遺跡－』　日本考古学協会第57回総会研究発表要旨　1991(平成３年)
(20) 岩手県教育委員会他　『東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅶ』　岩手県文化財調査報告書第51集　1980(昭和55年)

## 3　溝状遺構

調査区西側の斜面上部で２条検出した。幅広く浅い土坑に似た遺構である。

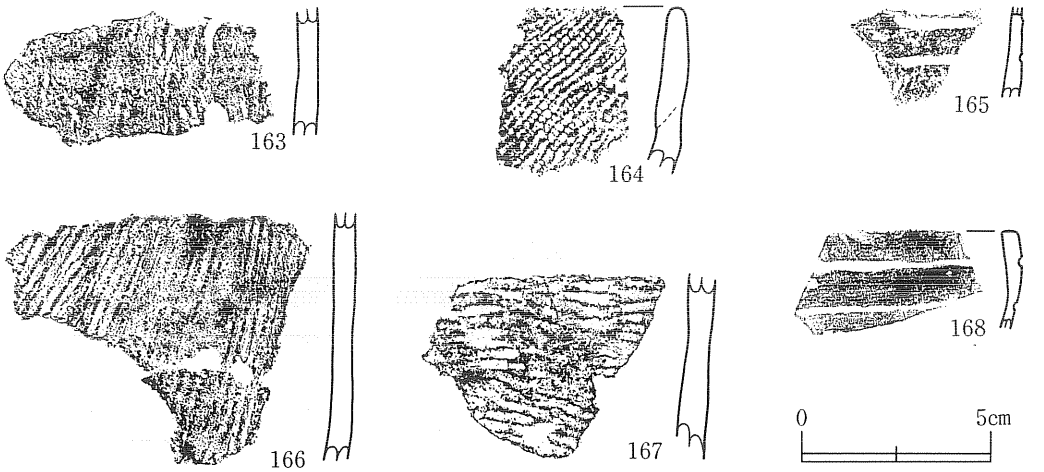
### ＳＤ138溝状遺構（第48・72図、図版３）

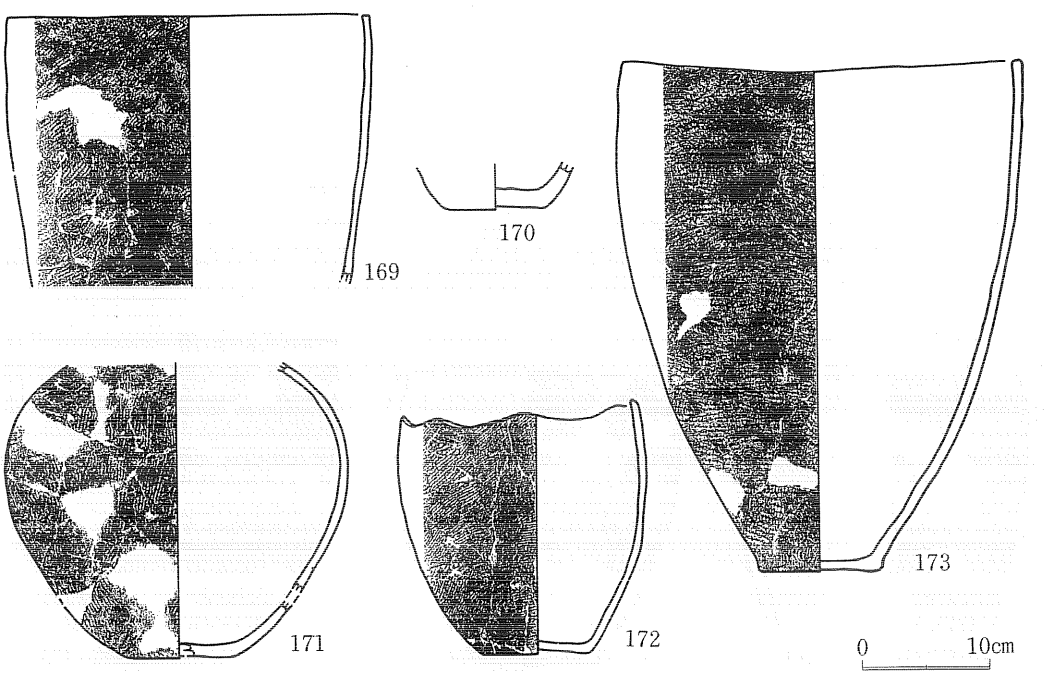
ＳＫ58土坑の西側に接する。前後関係は不明である。斜面中腹を等高線に並行に伸びている。地山面では斜面をＬ字形に掘削しているが、１層上にしまりのある黒褐色～褐色土が堆積し、




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 154 | SK63 | | 台付鉢 | B | 22.5 | 6.7 | 11.3 | 外面ミガキ | | | ナデ | | |
| 155 | SK63 | | 鉢 | G | (22.8) | | | | LR | 横 | ヨコナデ | スス | |
| 156 | SK63 | | | | | | | メガネ状隆線貼付文 | LR | 横 | ヨコナデ | | |
| 157 | SK63 | | | | | | | 玉抱き三叉文 | LR | 斜 | ヨコナデ | | |
| 158 | SK63 | | | | | | | 入組三叉文 | LR | 横 | ナデ | スス | |
| 159 | SK63 | | 台付鉢 | | | (8.4) | | | | | ナデ | スス | |
| 160 | SK64 | 1 | 深鉢 | D1 | 15.5 | 17.8 | 18.4 | 縄文 | RL | 不整 | ナデ | スス | |
| 161 | SK64 | 1 | 深鉢 | C1 | 14.3 | 7.0 | 16.5 | 縄文 | LR | 横 | ナデ | スス | スス |
| 162 | SK64 | 1 | 深鉢 | D2 | 17.3 | 7.2 | 17.7 | 縄文 | LR | 横 | ナデ | スス | |

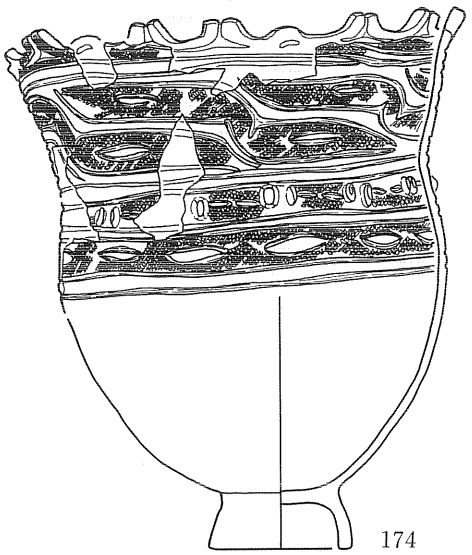
**第60図　SK63・64土坑出土土器**

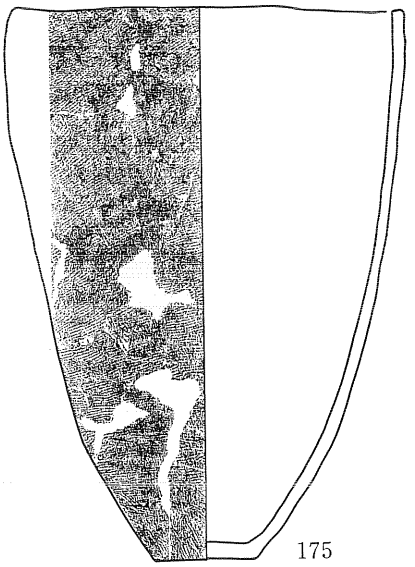


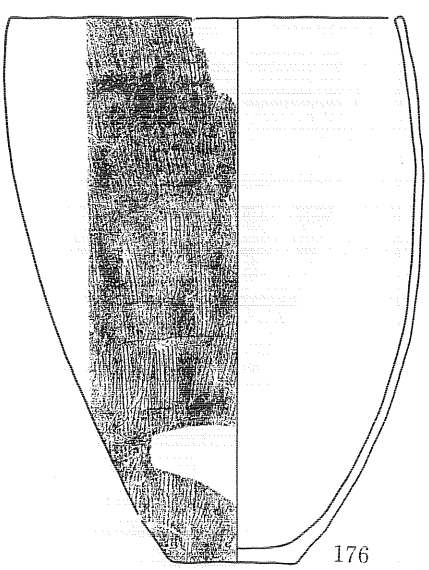



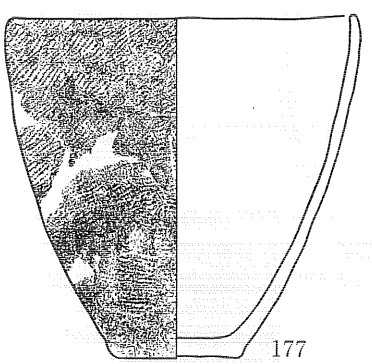

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 163 | SK65 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 164 | SK66 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 165 | SK67 | | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 166 | SK66 | | | | | | | 条痕文 | | | ヨコナデ | | |
| 167 | SK69 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 斜 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 168 | SK68 | | | | | | | 横位平行沈線 | | | ミガキ | | |
| 169 | SK66 | | 深鉢 | D | 28.8 | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 170 | SK67 | | 鉢 | | | 7.9 | | | | | ケズリ | | |
| 171 | SK66 | | 壺 | | | 8.4 | | 縄文＋上部は一部ケズリ | ＬＲ | 斜 | ナデ | ススス | ススス |
| 172 | SK66 | | 深鉢 | Ｃ２ | 18.5 | 8.8 | 20.0 | 縄文 | ＬＲ | 横 | | ススス | |
| 173 | SK67 | | 深鉢 | Ｄ１ | 31.7 | 9.6 | 40.9 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | | ススス | ススス |

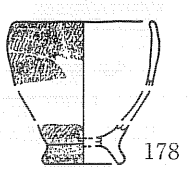
第61図　SK65・66・67・68・69土坑出土土器

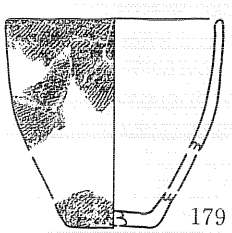


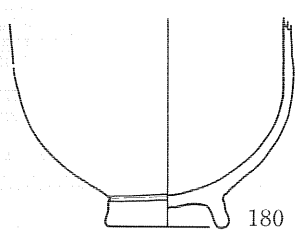



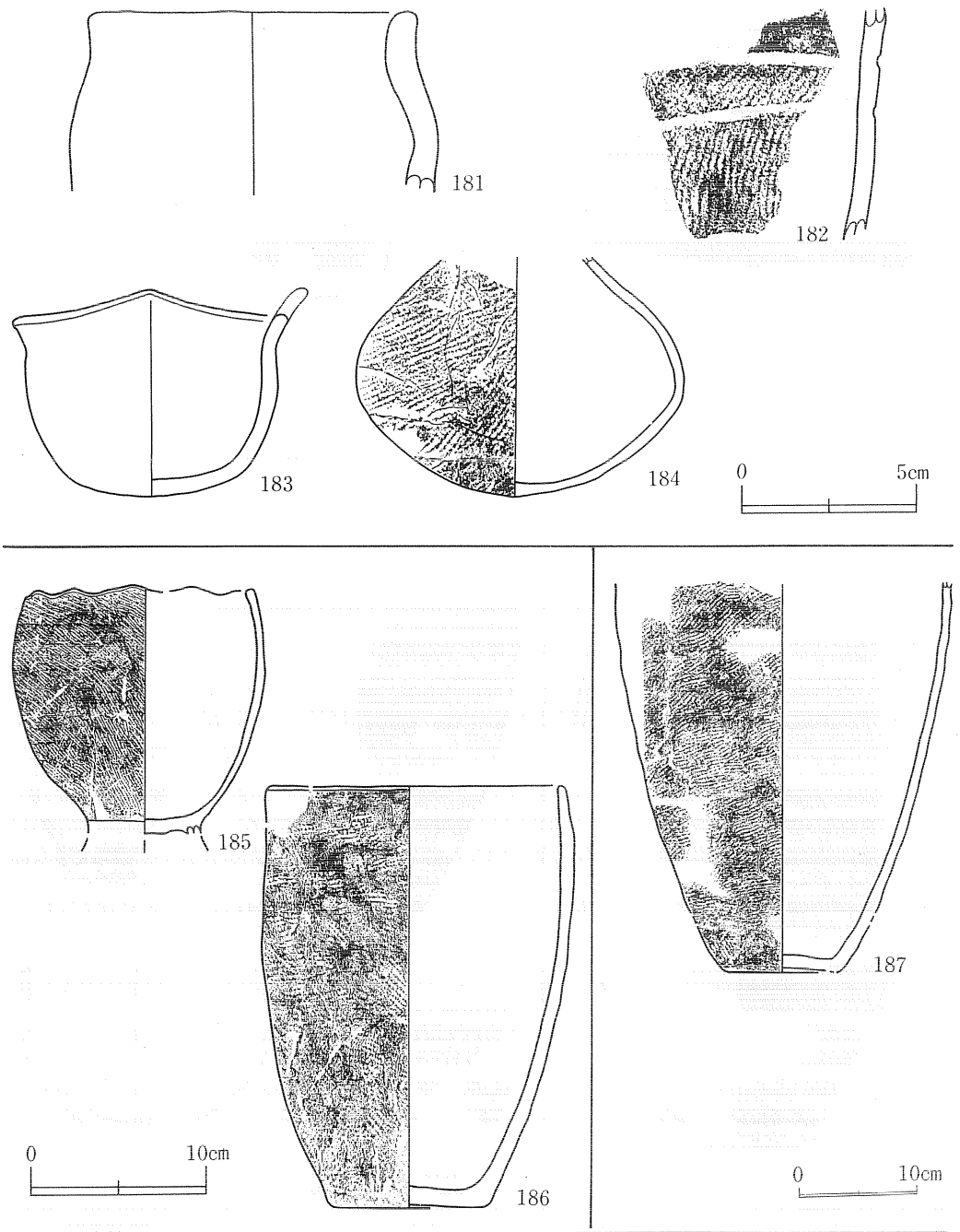




0　10cm

0　10cm

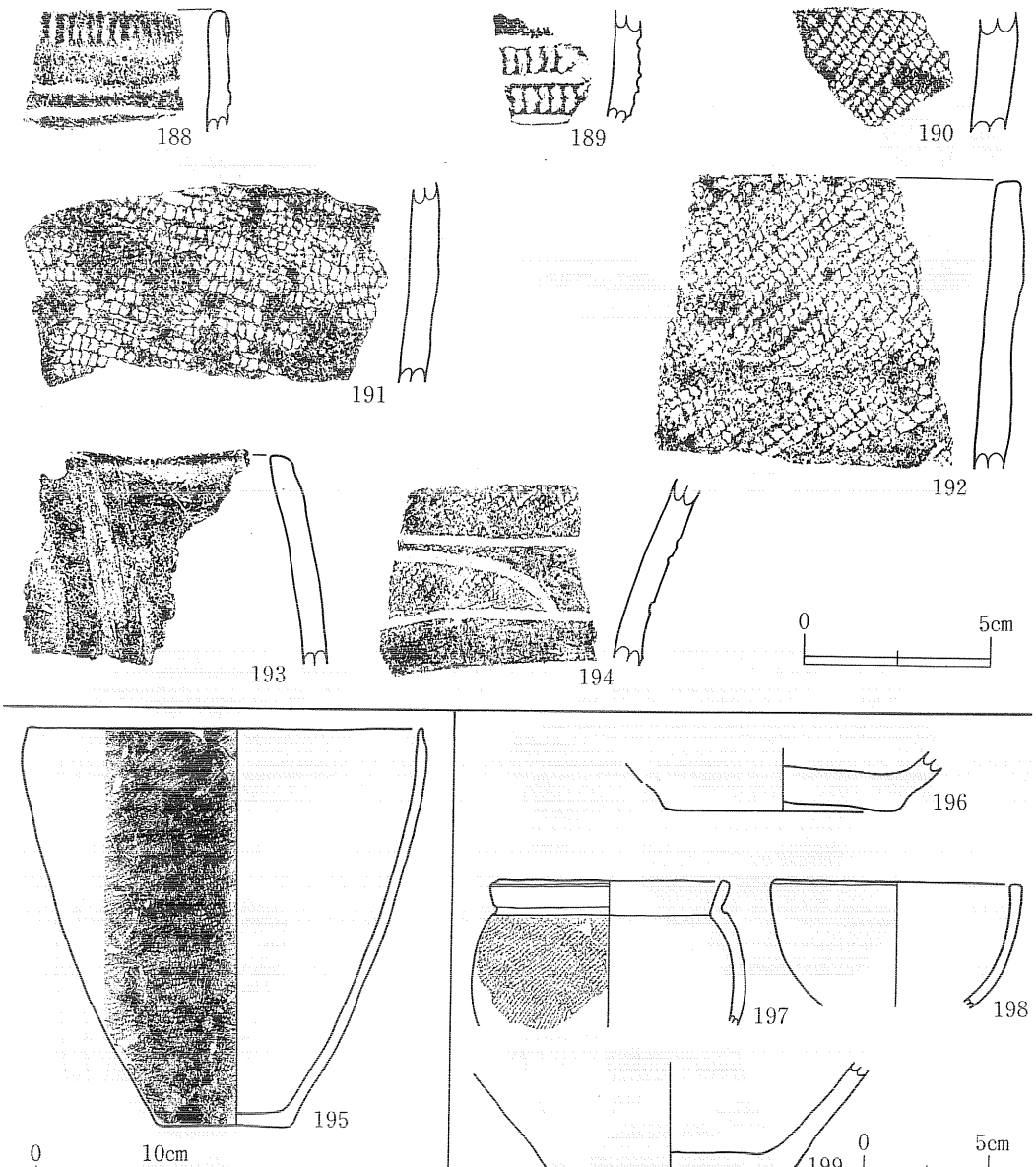
| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 174 | SK71 | 床直 | 台付深鉢 | F | 36.5 | 9.2 | 42.8 | 2個一対の山形突起+入組三叉文+レンズ条の無文部+2個一対の鍔帯+レンズ状無文部のある縄文帯 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 175 | SK71 | 床直 | 深鉢 | Ｄ１ | 30.8 | 8.4 | 43.8 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | ススス |
| 176 | SK71 | 床直 | 深鉢 | Ｄ１ | 31.1 | 9.9 | 43.3 | 条痕文 | | | | | |
| 177 | SK71 | 床直 | 深鉢 | Ｄ１ | 18.3 | 6.9 | 18.2 | 縄文 | ＬＲ | 横・斜 | | | |
| 178 | SK71 | 床直 | 鉢 | | 7.4 | 3.8 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 179 | SK71 | 床直 | 鉢 | | 11.5 | 4.7 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 180 | SK71 | 7 | 台付鉢 | F | | 6.0 | | | | | ナデ | ススス | ススス |

**第62図　SK71土坑出土土器**



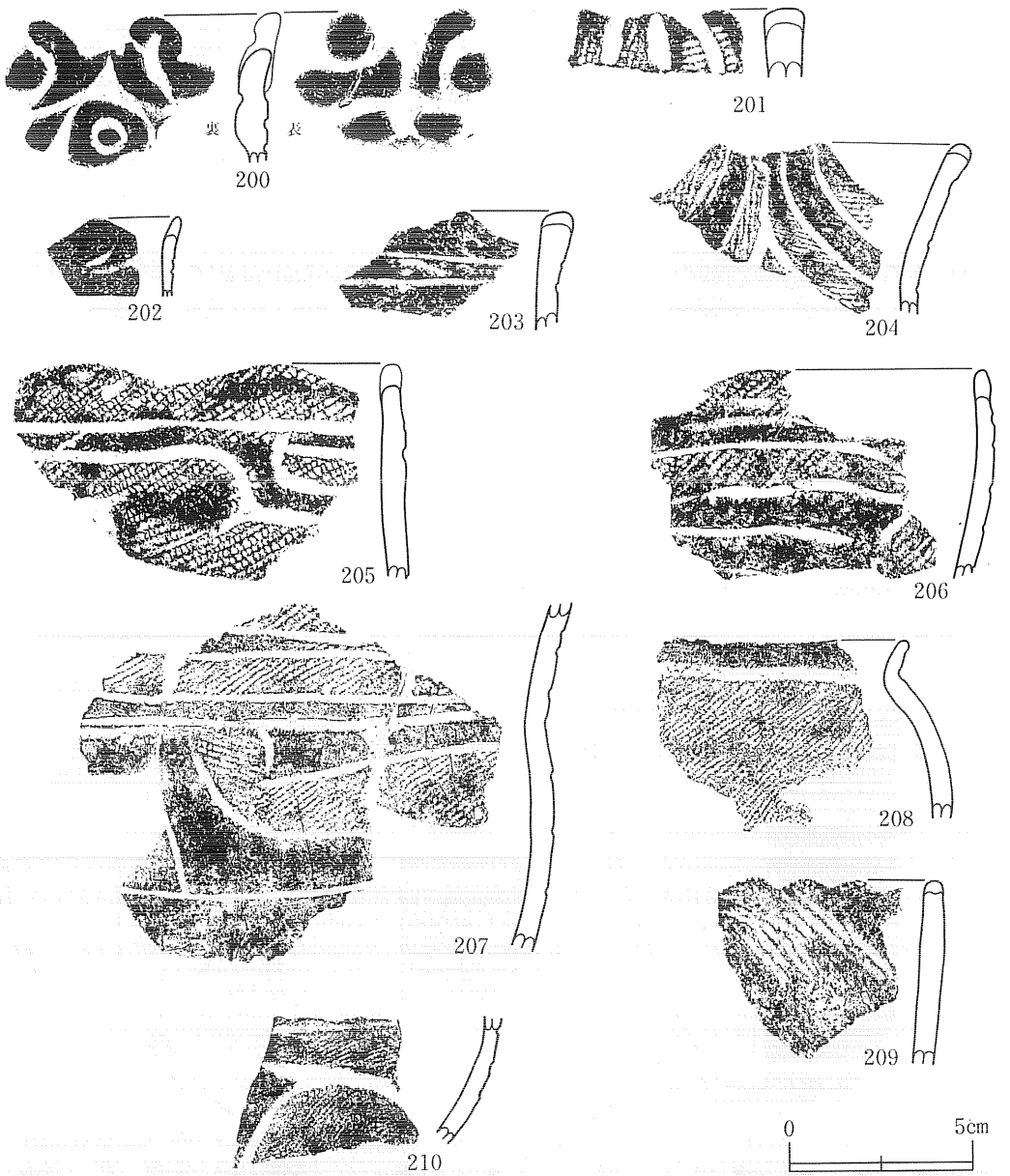

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 施文方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 181 | SK78 | | | | 9.5 | | | | | | ナデ | | |
| 182 | SK89 | | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 183 | SK89 | 下層 | 鉢 | F | ( 9.0) | | 6.0 | 横位沈線＋ミガキ | | | ミガキ | | |
| 184 | SK89 | 床直 | 壺 | | | | | 縄文(底面も全面) | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 185 | SK89 | 床直 | 台付鉢 | Ａ２ | 13.0 | 6.4 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 186 | SK89 | 床直 | 深鉢 | Ｅ２ | 17.2 | 9.0 | 25.2 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | | |
| 187 | SK89 | 床直 | 深鉢 | | | 9.4 | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | | |

第63図　SK78・89土坑出土土器



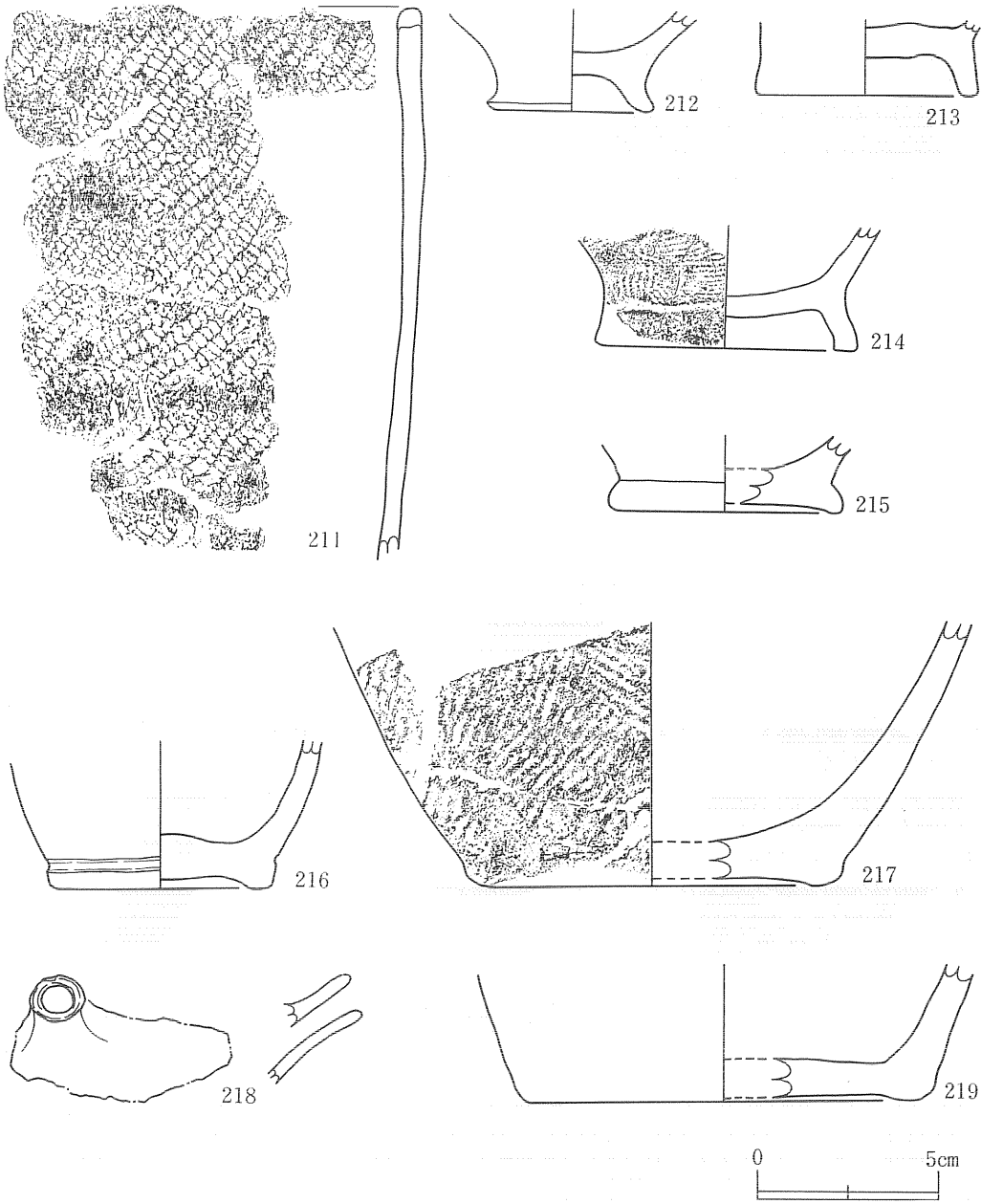

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 188 | SK99 | 埋土中 | | | | | | キザミ目文帯＋平行沈線 | | | ナデ | | |
| 189 | SK100 | | | | | | | キザミ目文帯 | | | ナデ | スス | |
| 190 | SK101 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 191 | SK103 | | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 斜 | ナデ | | スス |
| 192 | SK106 | 埋土中 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | 上ヨコナデ<br>下ケズリ | | |
| 193 | SK106 | 埋土中 | | | | | | ケズリ | | | ナデ | | |
| 194 | SK106 | 埋土中 | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | スス | スス |
| 195 | SK99 | 中位 | 深鉢 | Ｂ２ | 32.2 | 11.2 | 31.7 | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | スス |
| 196 | SK99 | 埋土中 | | | | 9.5 | | | | | ナデ | | |
| 197 | SK106 | 埋土中 | 壺 | | 9.6 | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 198 | SK106 | 埋土中 | 鉢 | | 10.0 | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 199 | SK106 | 埋土中 | 鉢 | | | 9.1 | | | | | ナデ | | |

第64図　SK99・100・101・103・106土坑出土土器



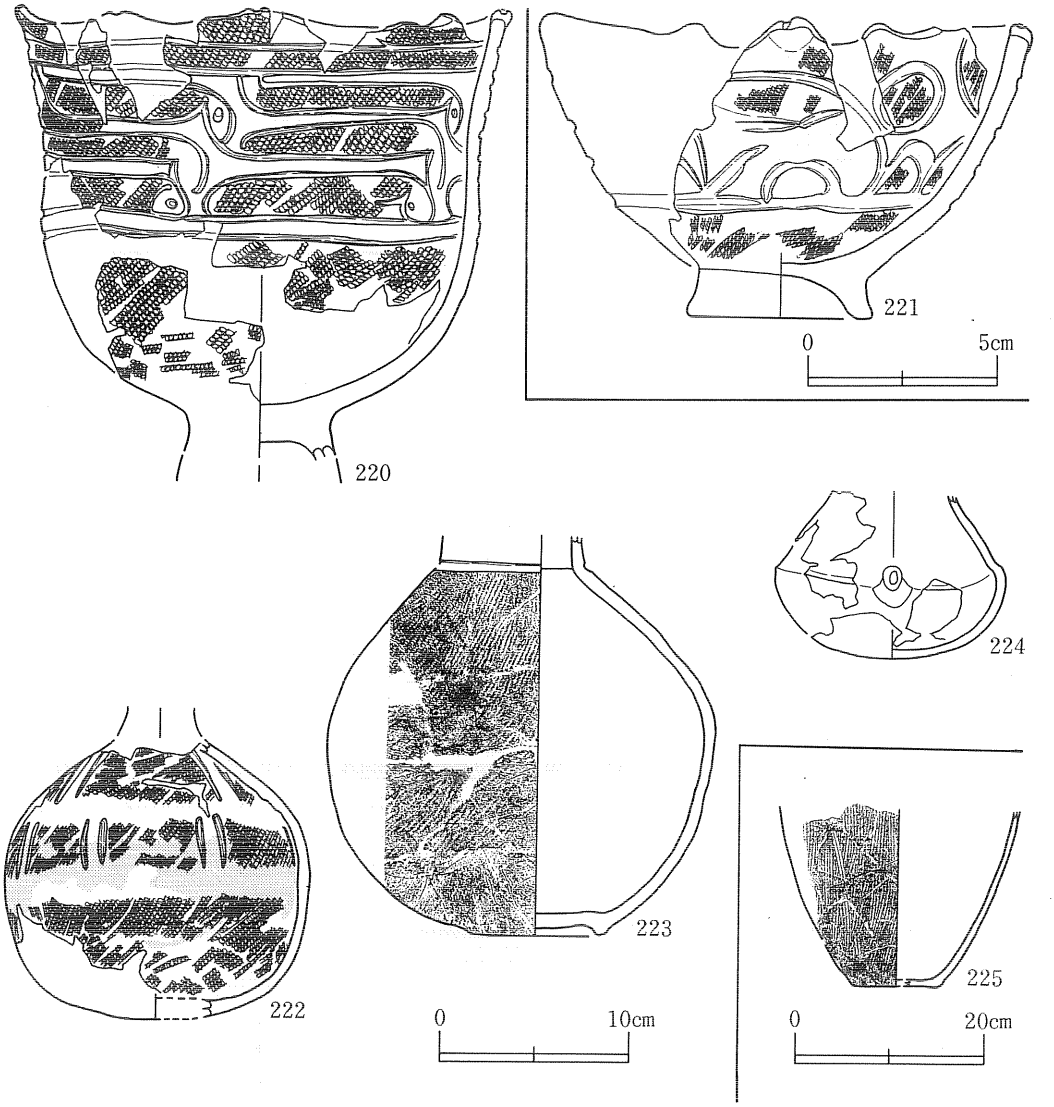

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 200 | SK105 | 上部 | | | | | | 2個一対のB突起＋玉抱三叉文 | | 不整 | ミガキ | ベンガラ | ベンガラ |
| 201 | SK105 | 上部 | | | | | | 頂部が波状の山形突起 | ＬＲ | | ナデ | | |
| 202 | SK105 | 上部 | | | | | | 山形突起＋玉抱弧状文 | | | ミガキ | ススス | ススス |
| 203 | SK105 | 上部 | | | | | | 山形突起＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | ススス |
| 204 | SK105 | 上部 | | | | | | 山形突起＋突起に沿う縄文帯と無文帯 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | ススス | ススス |
| 205 | SK105 | 上部 | 鉢 | | | | | 波状口縁＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 206 | SK105 | 上部 | 鉢 | | | | | 波状口縁＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 207 | SK105 | 上部 | 鉢 | | | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | ススス |
| 208 | SK105 | | 壺 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 209 | SK105 | | | | | | | 三叉文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | ベンガラ | |
| 210 | SK105 | 上部 | | | | | | 口唇部刺突＋縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |

第65図　SK105土坑出土土器(1)




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 211 | SK105 | 上部 | 深鉢 | | | | | 口唇部刺突＋縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 212 | SK105 | 上部 | 台付鉢 | | | 4.2 | | | | | ナデ | | ススス |
| 213 | SK105 | 上部 | 台付鉢 | | | 5.9 | | | | | ミガキ | | |
| 214 | SK105 | 上部 | 台付鉢 | | | 6.7 | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 215 | SK105 | 上部 | 鉢 | | | 6.5 | | (底面ケズリ) | | | ナデ | | |
| 216 | SK105 | 上部 | 鉢 | | | 6.1 | | 横位沈線 | | | ケズリ | | |
| 217 | SK105 | 上部 | 鉢 | | | 10.3 | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | | ススス |
| 218 | SK105 | 上部 | 注口 | | | | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 219 | SK105 | 上部 | 鉢 | | | (11.0) | | | | | ナデ | ススス | |

**第66図　SK105土坑出土土器(2)**



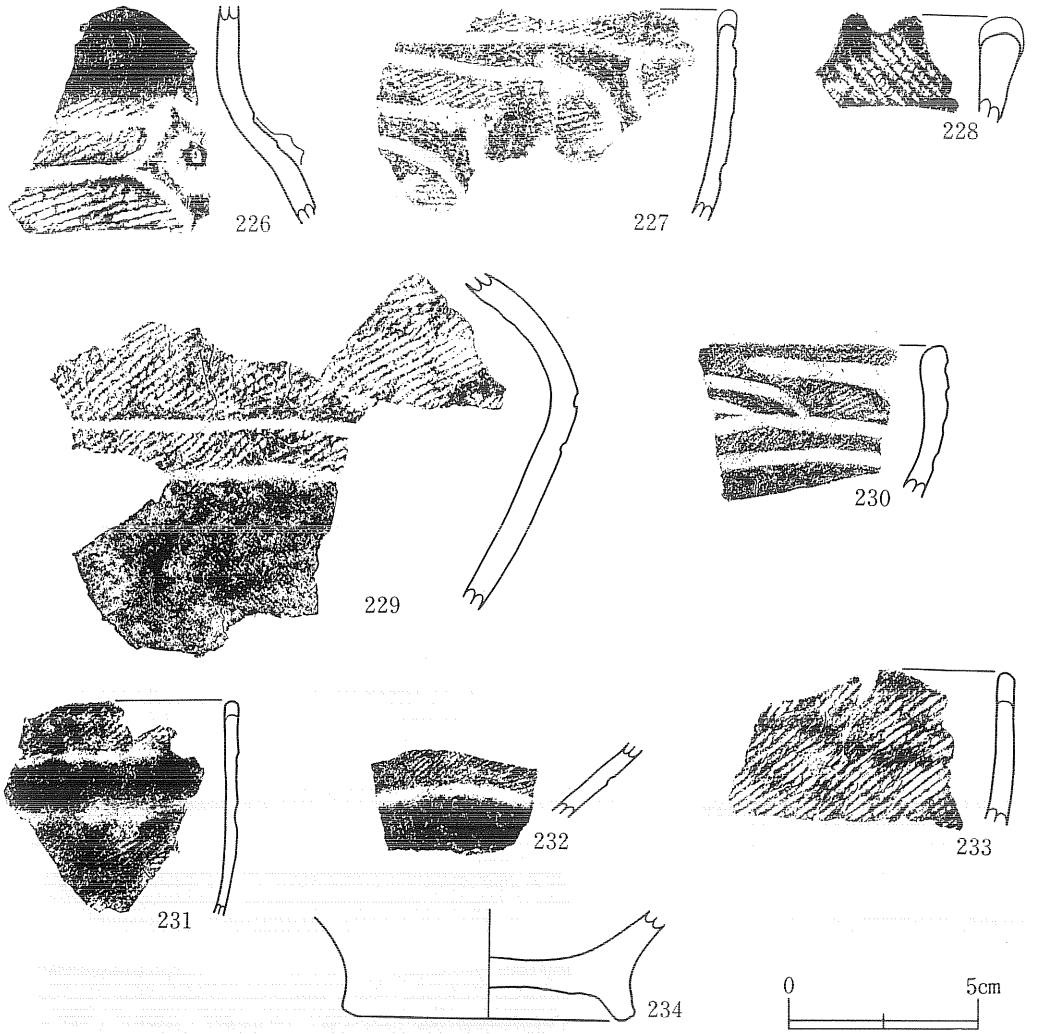

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 220 | SK105 | 下部 | 台付深鉢 | G | 25.3 | 7.4 | | 波状口縁＋玉抱き入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 221 | SK105 | 下部 | 台付深鉢 | Ａ１ | 13.0 | 4.5 | 8.0 | 円形文＋入組文＋弧線文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 222 | SK105 | 下部 | 壺 | Ｉ | | | | 2本一組の縦位沈線＋縄文＋無文帯 | ＬＲ | 不整 | 上ナデ<br>下ケズリ | ススス | |
| 223 | SK105 | 下部 | 壺 | Ｂ | | 7.2 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 224 | SK105 | 下部 | 注口 | Ｄ | | | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 225 | SK105 | 下部 | 鉢 | | | 9.4 | | 条痕文 | | | ナデ | ススス | ススス |

**第67図　SK105土坑出土土器(3)**

この上面も使用されたようである。

**ＳＤ152溝状遺構（第48・72図）**

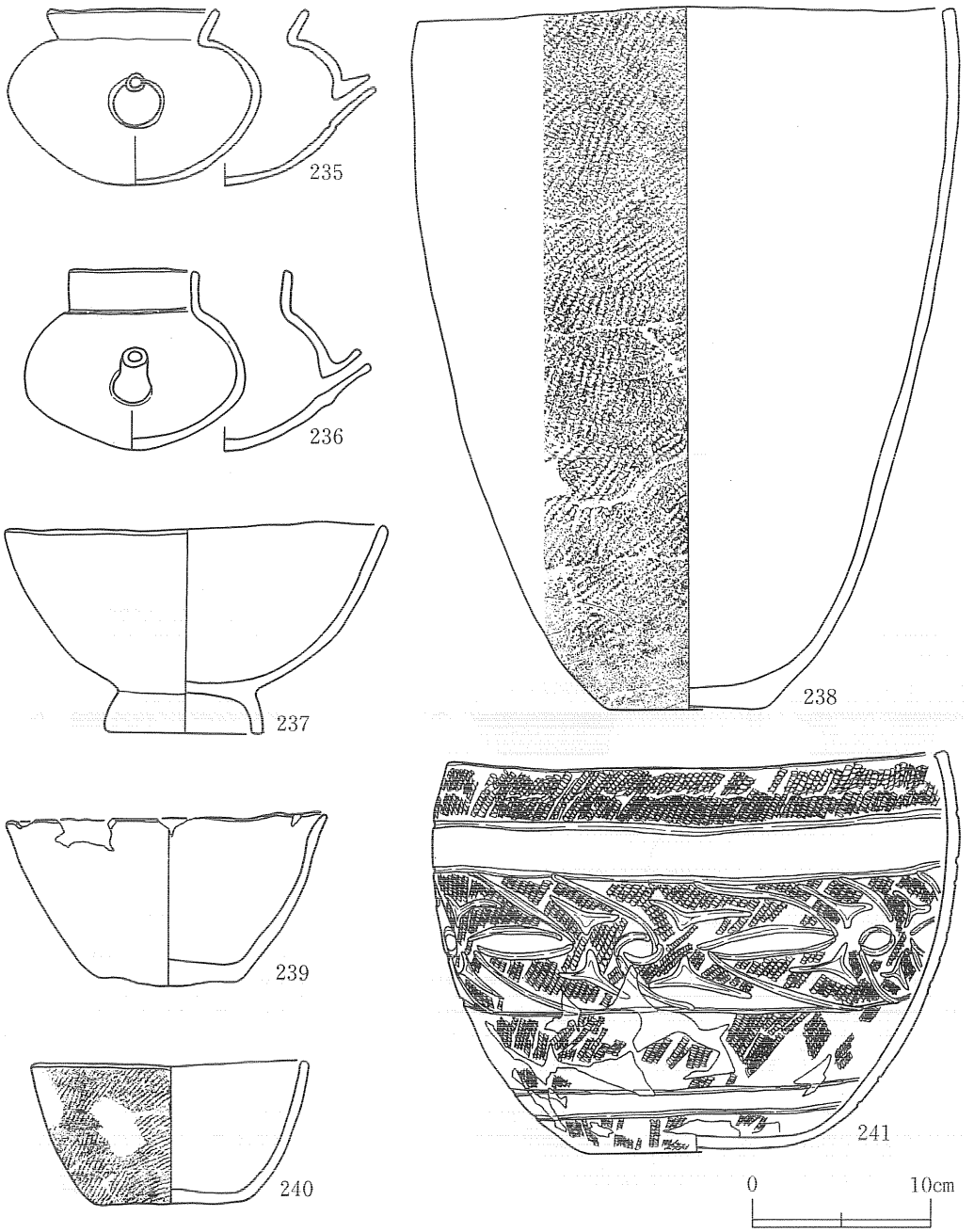
ＳＤ138溝状遺構の約２ｍ西側にある。埋土の状態、長軸方向はよく似ている。遺構検出面の地山面ではＳＤ138とは途切れているが、地山より１層上の最もしまりのある面では、連続




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 226 | SK105 | 下部 | 壺 | | | | | 菱形文内に突起＋縄文帯 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 227 | SK105 | 下部 | | | | | | 波状口縁＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 228 | SK105 | 下部 | | | | | | 頂部が２個一対の小突起となる山形突起 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 229 | SK105 | 下部 | 壺 | | | | | 平行沈線 | ＬＲ | 横 | ケズリ | | |
| 230 | SK105 | 下部 | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 231 | SK105 | 下部 | | | | | | 横位平行沈線＋無文帯 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 232 | SK105 | 下部 | | | | | | 縄文帯＋無文帯 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ベンガラ | |
| 233 | SK105 | 下部 | | | | | | 波状口縁＋縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 234 | SK105 | 下部 | | | | 7.5 | | | | | ケズリ | | |

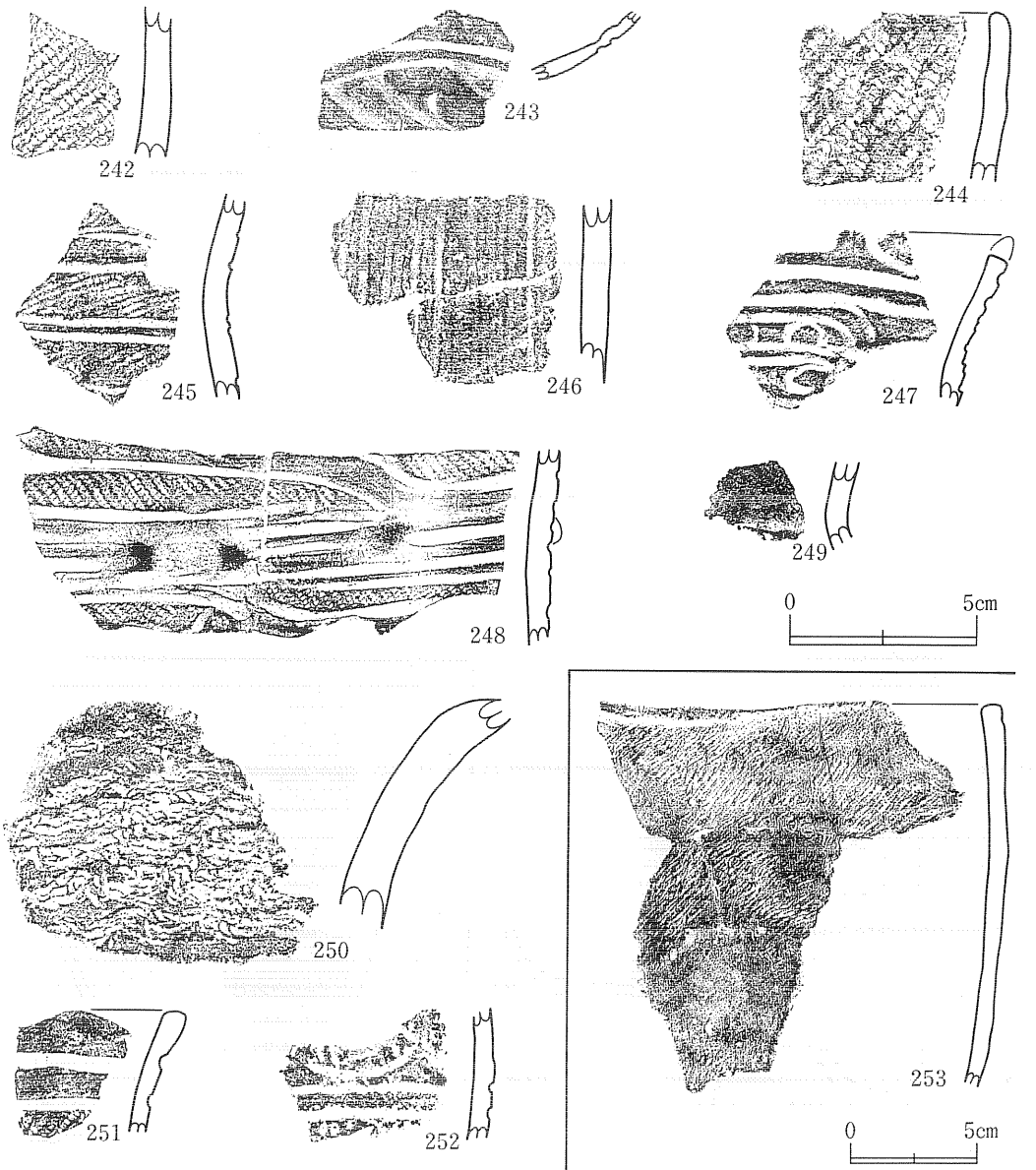
第68図　ＳＫ105土坑出土土器(4)

していた可能性もある。これらの溝状遺構は立地や形態、埋土の状態からみて水流のある溝、区画施設を建てる際の掘り方とは考えられない。あえて推測すれば斜面上部と台地上をつなぐ道路遺構の可能性もある。道路遺構とすれば、ＳＫ58土坑に付属して粘土や細粒砂を運搬するための通路だったのかもしれない。



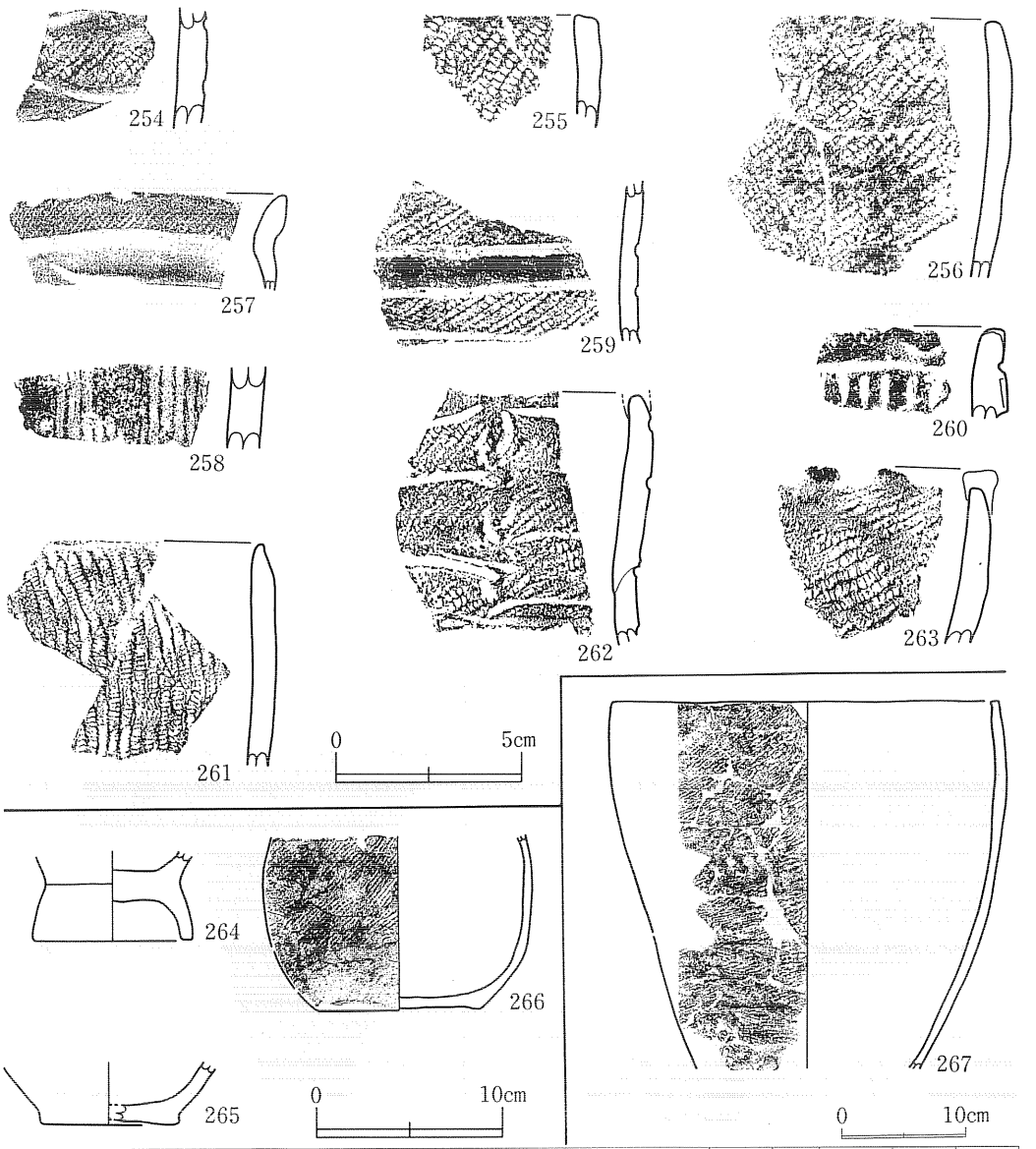

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 235 | SK109 | 241の中 | 注口 | C | 9.6 | | 10.0 | ミガキ | | | 上ミガキ下ナデ | | |
| 236 | SK109 | 床直 | 注口 | C | 7.3 | | 10.1 | ミガキ | | | 上ミガキ下ナデ | | |
| 237 | SK109 | 241の中 | 台付鉢 | C | 21.5 | 7.6 | 11.9 | ミガキ | | | | ススス | ススベンガラ |
| 238 | SK109 | 中位 | 深鉢 | B 2 | 30.2 | 9.0 | 39.7 | 縄文 | LR | 横・斜 | ナデ | ススス | |
| 239 | SK109 | 床直 | 浅鉢 | D | 18.0 | 7.9 | 9.9 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 240 | SK109 | 中位 | 鉢 | D 1 | 15.5 | 8.5 | 8.0 | 縄文(底面＋全面縄文) | LR | 横・斜 | ナデ | | |
| 241 | SK109 | 床直 | 鉢 | A | 28.1 | 11.8 | 22.2 | 縄文帯＋無文帯＋入組文と三叉文と入組状のレンズ状文のくりかえし＋縄文帯＋無文帯 | LR | | ナデ | ススス | |

第69図　SK109土坑出土土器



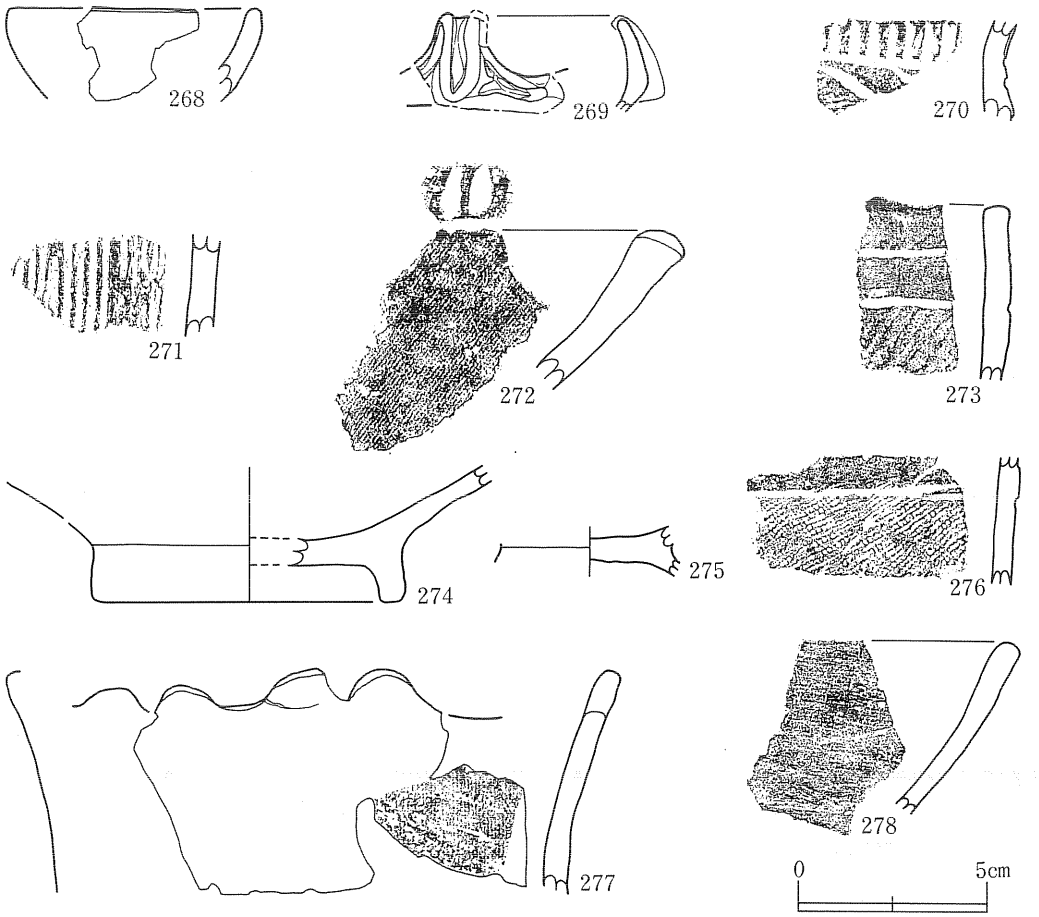

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 242 | SK108 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | ススス | |
| 243 | SK114 | | | | | | | 平行沈線＋入組文？ | | | ミガキ | ベンガラ | |
| 244 | SK114 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 245 | SK114 | | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 246 | SK114 | | | | | | | 条痕文 | | | ナデ | | |
| 247 | SK116 | | | | | | | B突起＋玉抱き三叉文 | | | ヨコナデ | | |
| 248 | SK118 | | | | | | | 入組三叉文＋2個一対の貼瘤 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 249 | SK117 | | | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 250 | SK117 | | 深鉢 | | | | | 綾絡文、繊維土器 | | | ミガキ | | |
| 251 | SK118 | | | | | | | 波状口縁＋無文帯＋縄文帯 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 252 | SK118 | | | | | | | 波線区画文内キザミ目充填 | | | ナデ | | |
| 253 | SK118 | | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |

**第70図　SK108・114・116・117・118土坑出土土器**




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 254 | SK124 | | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 255 | SK130 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 256 | SK132 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 257 | SK133 | | | | | | | 縄文帯＋無文帯(ミガキ) | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 258 | SK149 | | | | | | | 条痕文 | | | | | |
| 259 | SK137 | | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 260 | SK151 | | | | | | | 口唇部キザミ目＋平行沈線内キザミ目充填 | | | | | |
| 261 | SK151 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ多条 | 横 | ナデ | ススス | |
| 262 | SK151 | | | | | | | 三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 263 | SK151 | | | | | | | 口唇部にボタン条の突起＋縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 264 | SK151 | | | | | (7.2) | | | | | ナデ | | |
| 265 | SK151 | | 鉢 | | | (7.6) | | | | | ナデ | | |
| 266 | SK151 | | 鉢 | | | 8.8 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 267 | SK151 | | 深鉢 | B | 30.6 | | | 縄文 | ＬＲ | | ナデ | ススス | |

**第71図　SK124・130・132・133・137・149・151土坑出土土器**




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 268 | SK153 | | | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | ベンガラ |
| 269 | SK154 | | | | | | | U字状隆線貼付＋三叉文 | | | ミガキ | | |
| 270 | SK154 | | | | | | | キザミ目文帯＋沈線文 | | | ナデ | スス | |
| 271 | SK154 | | | | | | | 条痕文 | | | | | |
| 272 | SK155 | | | | | | | 頂部にキザミ目のある山形突起 | | | ミガキ | | |
| 273 | SK155 | | | | | | | 波状口縁＋縄文帯＋無文帯 | | | ナデ | | |
| 274 | SK155 | | 台付鉢 | | | 8.3 | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 275 | SK152 | | | | | 4.5 | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 276 | SK155 | | | | | | | 無文帯＋縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 277 | SD138 | | 鉢 | | 15.3 | | | B突起＋無文帯＋一部に縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | スス | スス |
| 278 | SD152 | | | | | | | (ナデ) | | | ヨコナデ | スス | スス |

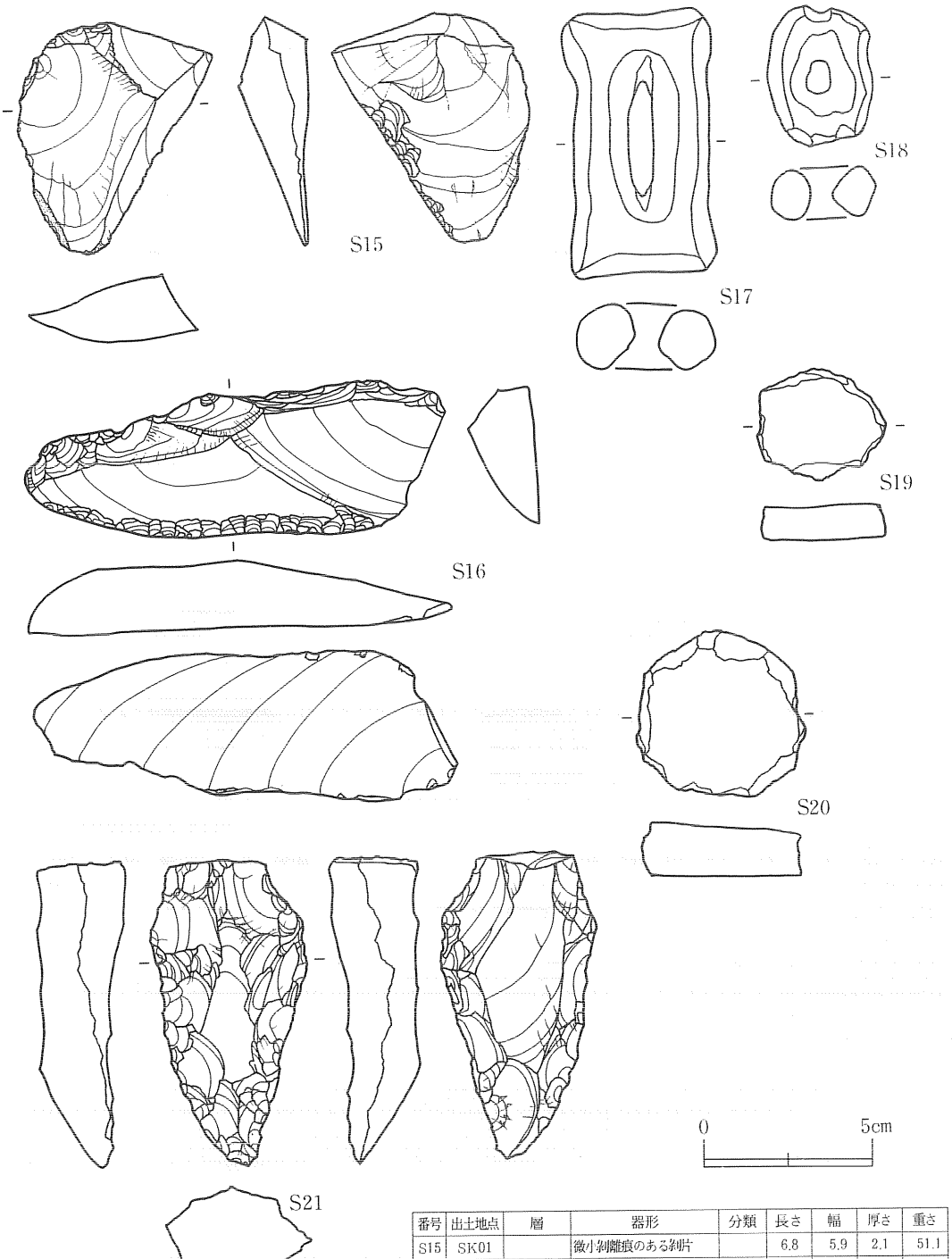
**第72図　SK152・153・154・155土坑、SD138・152溝状遺構出土土器**

## 4　焼土遺構

5箇所で検出した。

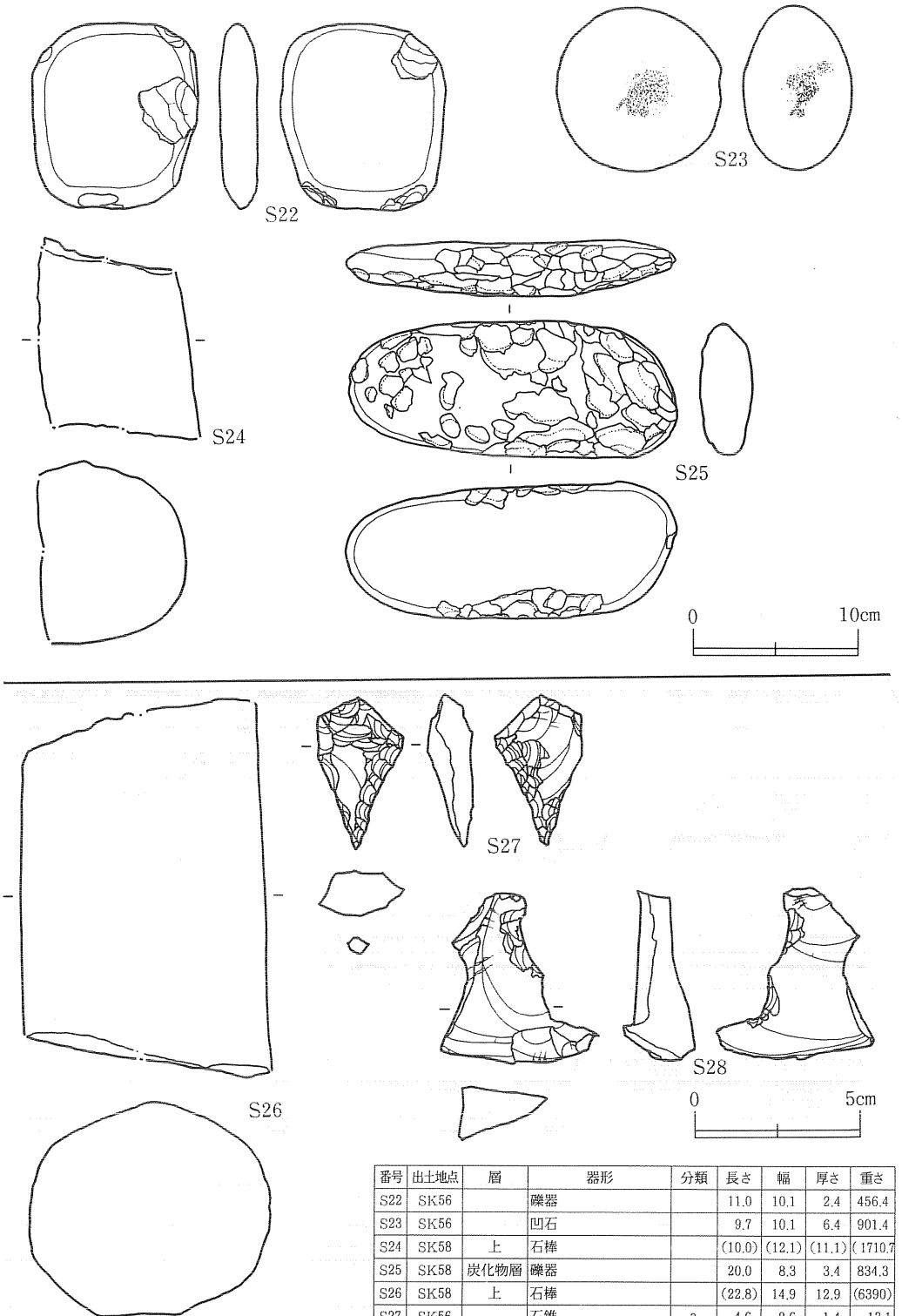
### ＳＮ０３焼土遺構（第77図）

調査区東側で検出した。撹乱によってほとんど原形をとどめておらず詳細は不明である。



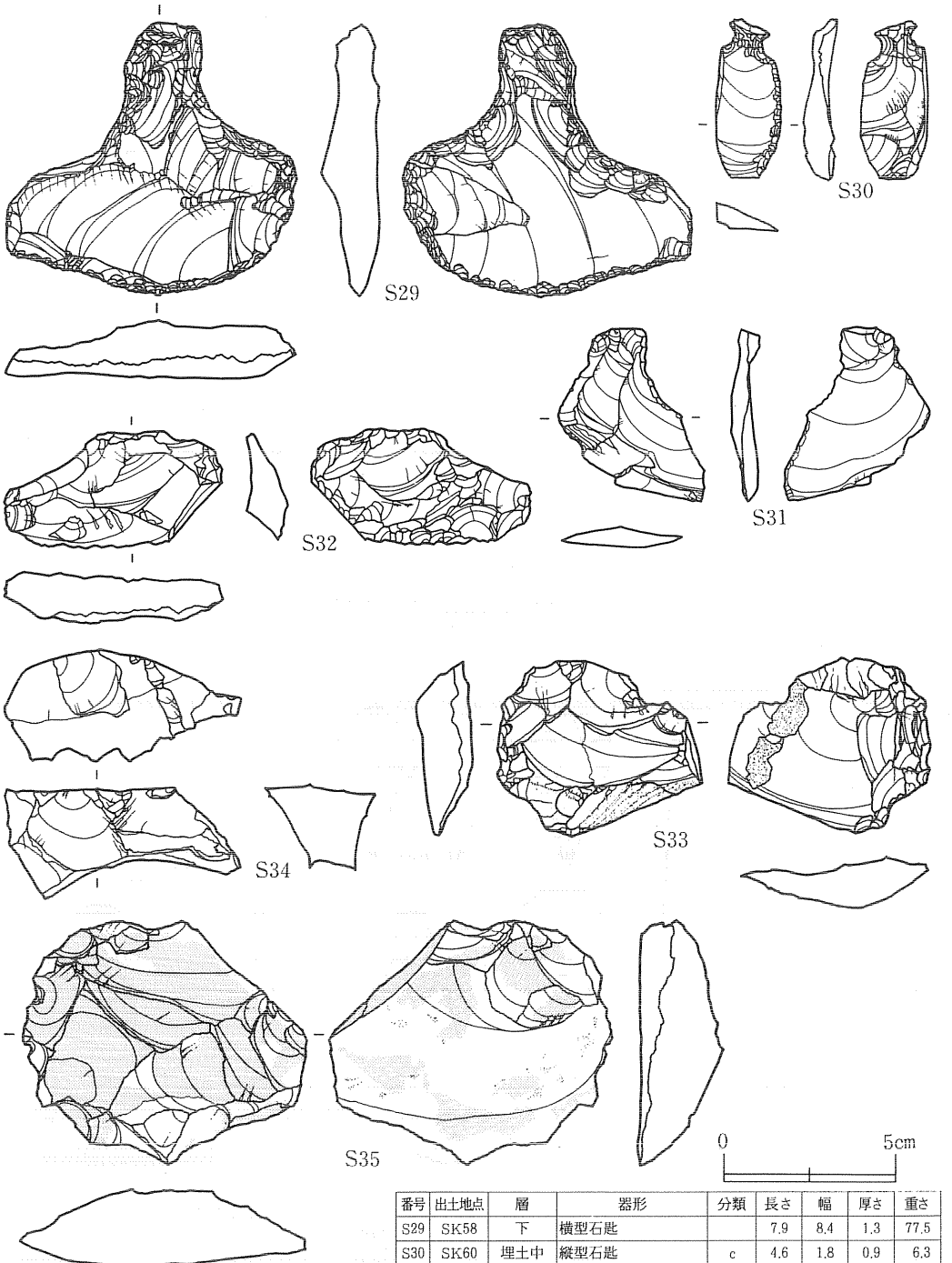

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S15 | SK01 | | 微小剥離痕のある剥片 | | 6.8 | 5.9 | 2.1 | 51.1 |
| S16 | SK01 | | 不定形石器 | | 4.4 | 12.5 | 2.0 | 88.8 |
| S17 | SK37 | 床直 | 有孔石製品 | | 7.9 | 4.4 | 1.7 | 74.8 |
| S18 | SK37 | 床直 | 有孔石製品 | | 4.2 | 3.1 | 1.2 | 20.2 |
| S19 | SK56 | 確認面 | 円盤状石製品 | | 3.3 | 3.8 | 1.1 | 21.0 |
| S20 | SK56 | 埋土中 | 円盤状石製品 | | 5.0 | 5.0 | 1.6 | 65.7 |
| S21 | SK56 | 埋土中 | 二次加工のある剥片 | c | 9.0 | 4.6 | 2.7 | 100.5 |

第73図　SK01・37・56土坑出土石器



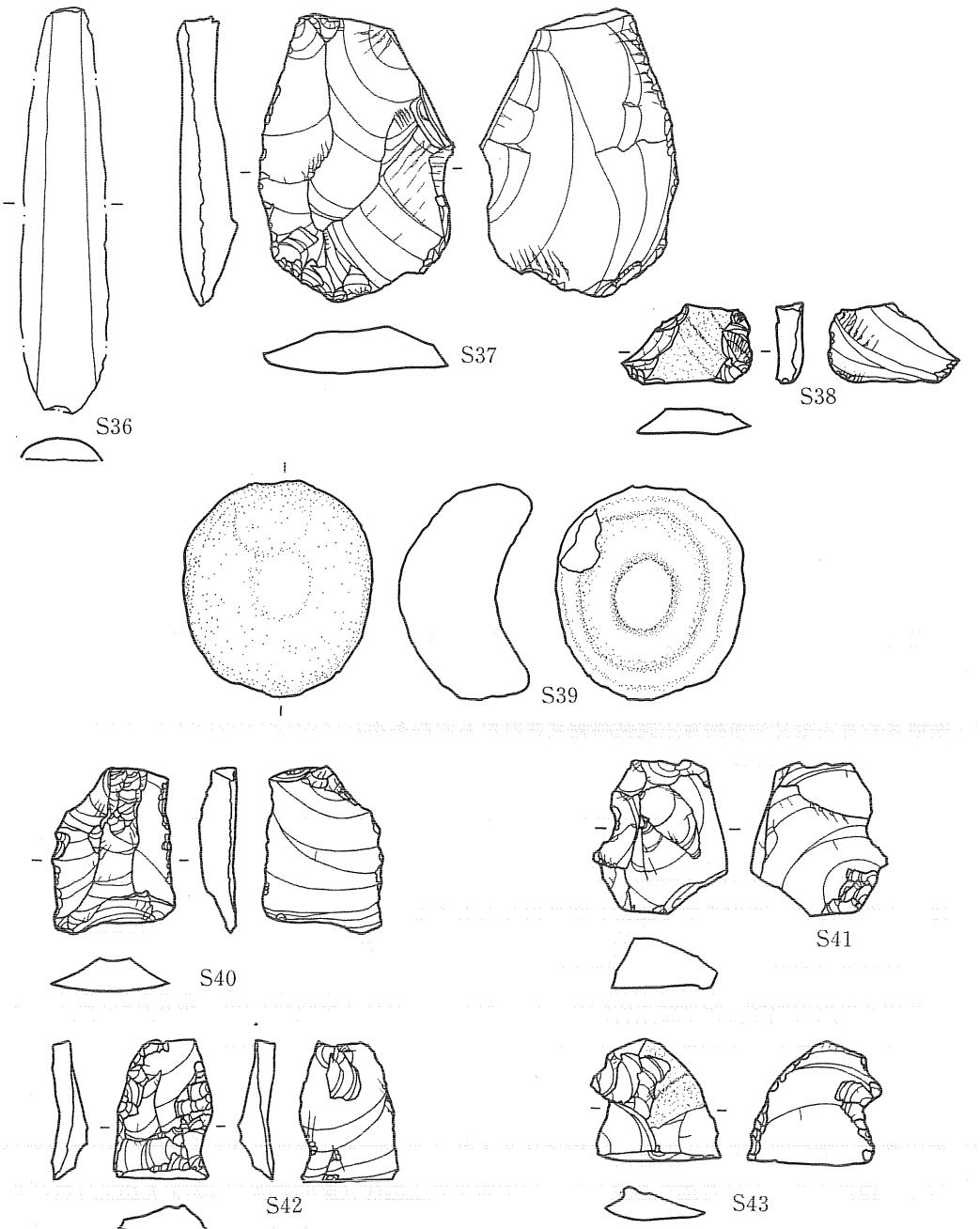

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S22 | SK56 | | 礫器 | | 11.0 | 10.1 | 2.4 | 456.4 |
| S23 | SK56 | | 凹石 | | 9.7 | 10.1 | 6.4 | 901.4 |
| S24 | SK58 | 上 | 石棒 | | (10.0) | (12.1) | (11.1) | (1710.7 |
| S25 | SK58 | 炭化物層 | 礫器 | | 20.0 | 8.3 | 3.4 | 834.3 |
| S26 | SK58 | 上 | 石棒 | | (22.8) | 14.9 | 12.9 | (6390) |
| S27 | SK56 | | 石錐 | a | 4.6 | 2.6 | 1.4 | 13.1 |
| S28 | SK58 | 上 | 不定形石器 | c | 5.2 | 4.8 | 2.2 | 24.8 |

第74図　SK56・58土坑出土石器




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S29 | SK58 | 下 | 横型石匙 | | 7.9 | 8.4 | 1.3 | 77.5 |
| S30 | SK60 | 埋土中 | 縦型石匙 | c | 4.6 | 1.8 | 0.9 | 6.3 |
| S31 | SK66 | | 横型石匙 | | 5.0 | 4.3 | 0.9 | 9.3 |
| S32 | SK105 | | 不定形石器 | a | 3.4 | 6.4 | 1.5 | 27.5 |
| S33 | SK105 | | 不定形石器 | b | 3.3 | 6.9 | 3.3 | 45.5 |
| S34 | SK105 | 埋土中 | 石核 | K | 5.0 | 6.0 | 1.6 | 39.7 |
| S35 | SK105 | 埋土中 | 二次加工のある剥片 | g | 7.1 | 8.3 | 2.5 | 114.3 |

第75図　SK58・60・66・105土坑出土石器




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S36 | SK105 | 上部 | 石剣 | | (11.4) | (2.5) | (0.6) | (25.2) |
| S37 | SK106 | 埋土中 | 不定形石器 | b | 8.1 | 5.5 | 1.6 | 61.4 |
| S38 | SK106 | 埋土中 | 不定形石器 | d | 2.2 | 3.7 | 0.8 | 6.1 |
| S39 | SK114 | 埋土中 | 石冠 | | 6.1 | 5.4 | 3.7 | 78.0 |
| S40 | SK151 | 埋土中 | 微小剥離痕のある剥片 | | 4.7 | 3.5 | 1.0 | 15.5 |
| S41 | SK151 | 埋土中 | 二次加工のある剥片 | f | 4.4 | 3.8 | 1.4 | 24.9 |
| S42 | SN129 | 焼土中 | 不定形石器 | h | 3.9 | 2.8 | 1.0 | 9.2 |
| S43 | SN129 | 焼土中 | 不定形石器 | h | 3.5 | 3.8 | 0.9 | 10.7 |

第76図　SK105・106・114・151土坑、SN129 焼土遺構出土石器

ＳＮ13焼土遺構（第26図）

浮石混じりの土に形成されており平安時代以降のものである。斜面下方に弧状に広がっているのは地形的要因による流出であろう。

ＳＮ91焼土遺構（第40図）

ＳＫ100土坑、ＳＸ62性格不明遺構と重複している。規模からみて相当強い火熱または長期にわたる使用によって形成されたと考えられる。検出面はⅣ層でＳＸ62性格不明遺構より新しく、ＳＫ100土坑より古い。

ＳＮ112（第77図）

調査区東側の急な斜面の中腹にある。ＮＲ51グリッドからＮＰ48グリッドにかけて延びる自然の大きな沢の埋土上に形成されていたものである。したがって、次が埋没しきった後のものである。

ＳＮ129（第77・78・79図、図版３）

ＮＦ51グリッドを中心としてⅣ層上の広い範囲に焼土が形成されている。焼土の上や周囲には地山土のブロックが多量に混じる黒褐色土が再堆積している部分がある。焼土中及び上面に焼土層が形成された４層中からは多量の遺物が出土した。土器は後期末～晩期初頭で、刻目の充填された入組文や玉抱き三叉文が施文されたものがある。

## ５　性格不明遺構

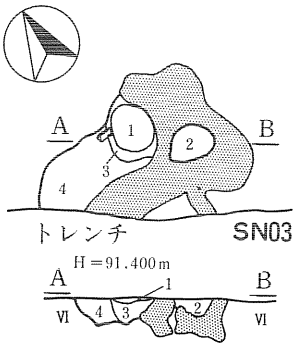
台地上の調査区中央部で２箇所検出した。複数の土坑や竪穴状の遺構が重複しているようであるが、明確なプランはつかめなかった。埋土中には多量の遺物が含まれ、完形土器や復元可能な土器も多い。凹地を捨て場として利用したものと思われる。

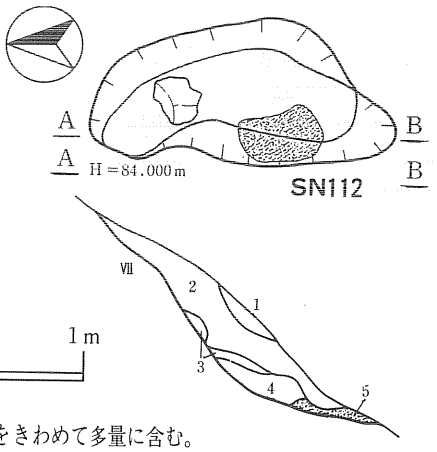
ＳＸ62（第80～88・91図、図版３）

Ｂ類土坑群の西側、台地縁辺の凸部の付け根部分にあり、東西約5.3ｍ、南北7.4ｍ以上の範囲で不整形の落ち込みが検出された。断面土層からはＳＫ105土坑も含め、少なくとも４基の土坑と３基の竪穴状遺構の重複があるようにもみえるが、詳細は不明である。埋土中にはきわめて多量の遺物が含まれており、主体をなす土器は晩期前葉（大洞Ｂ式）である。南側の竪穴状に一段低くなっている部分の底面からは中期末の土器片（第88図354～357）も出土したので、ＳＸ62は、中期末の竪穴住居跡によってできた凹部を利用した晩期の捨て場とも考えられる。

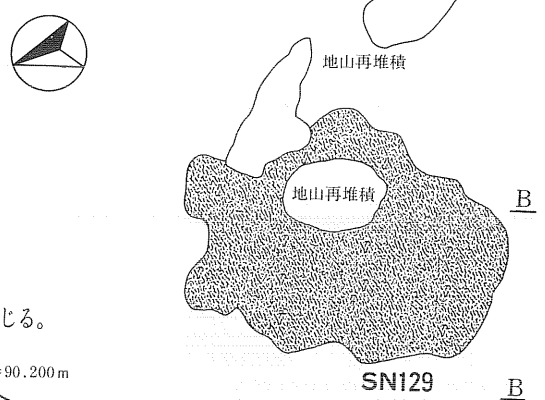
ＳＸ107（第81・89・90図、図版３）

調査区北端、ＳＩ95竪穴住居跡とＳＸ62性格不明遺構の間にあり、地山面では東西3.6ｍ以上の浅い竪穴状の落ち込みが重複している。埋土中から多量の遺物が出土した。主体は晩期前葉（大洞Ｂ式）である。

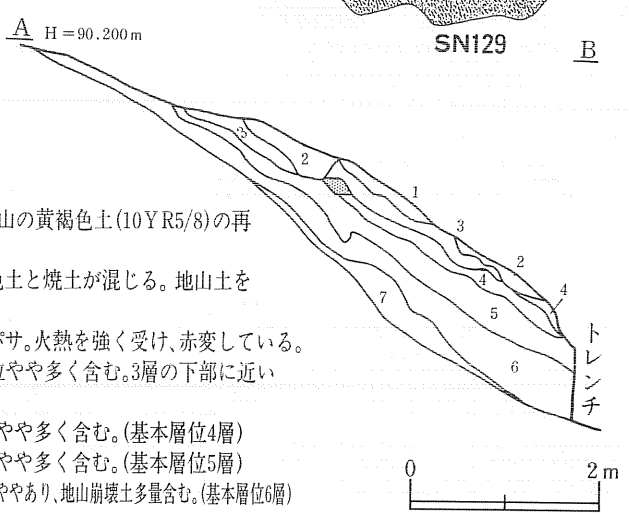



ＳＮ03
１.暗褐色土(10ＹR3/3)ややしまりあり、暗赤褐色焼土(5ＹR5/8)をきわめて多量に含む。
２.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりなし、焼土粒を少量含む。
３.黒褐色土(10ＹR3/2)ややしまりあり、焼土粒を微量含む。地山崩壊土をやや多く含む。
４.暗褐色土(10ＹR3/3)ややしまりあり、焼土粒を微量含む。



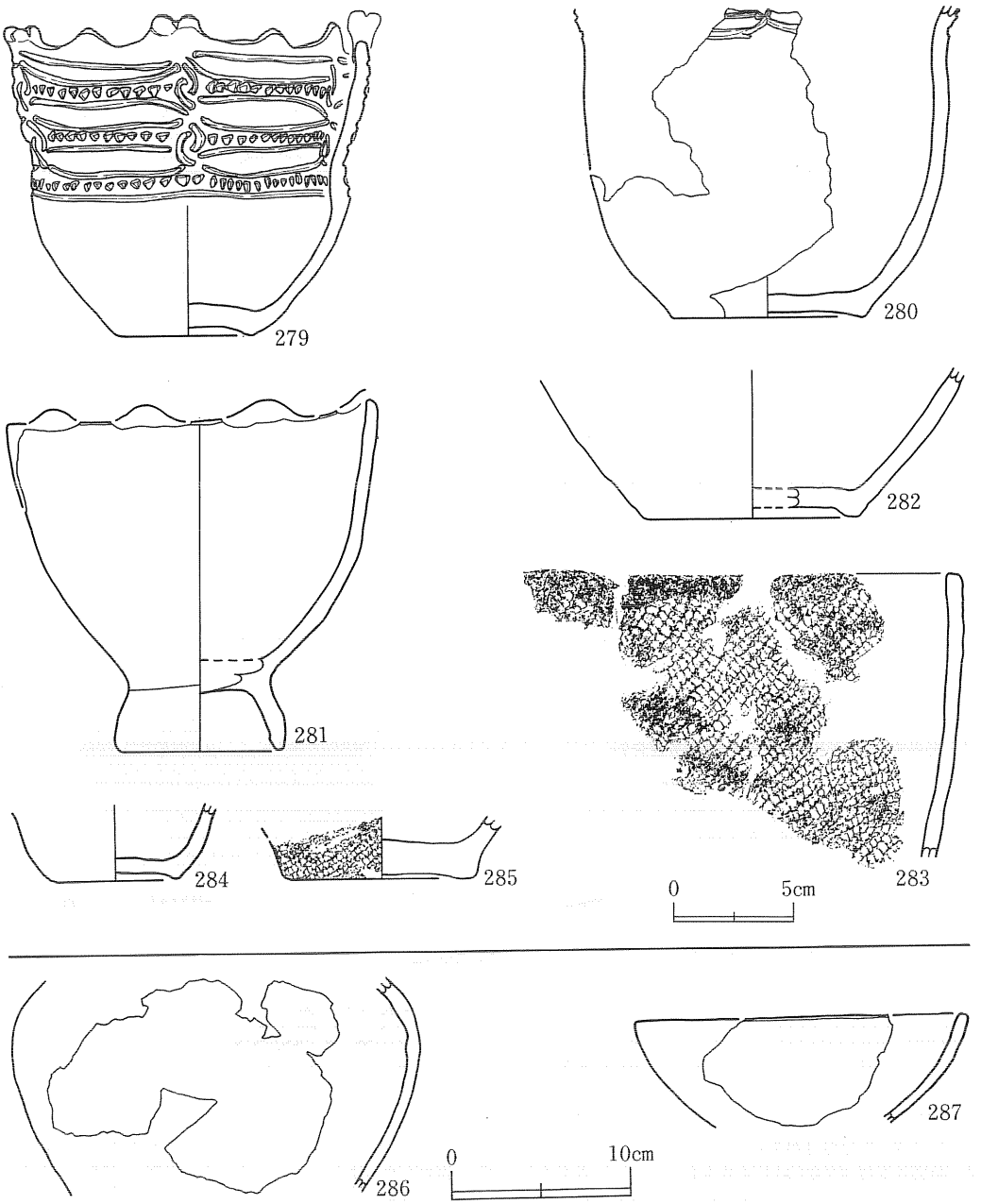

ＳＮ112
１.黒褐色土(10ＹR3/2)焼土粒多量含む。
２.黒褐色土(10ＹR3/2)黄褐色中砂多量含む。
３.黄褐色土(10ＹR5/6)黄褐色中砂層。
４.褐色土(10ＹR4/4)焼土小～中粒やや多く含む。
５.褐色土(10ＹR4/6)焼土を主体とした層。4層が混じる。




ＳＮ129
１.黒褐色土(10ＹR2/3)ややしまりあり、地山の黄褐色土(10ＹR5/8)の再堆積土を多量に含む。
２.極暗褐色土(7.5ＹR2/3)しまりあり、黒褐色土と焼土が混じる。地山土をやや多く含む部分がある。
３.明褐色土(7.5ＹR5/8)しまりあり、パサパサ。火熱を強く受け、赤変している。
４.黒色土(7.5ＹR1.7/1)しまりあり、地山粒やや多く含む。3層の下部に近い部分はやや赤変している。
５.黒褐色土(10ＹR2/2)しまりあり、地山粒やや多く含む。(基本層位4層)
６.暗褐色土(10ＹR3/4)しまりあり、地山粒やや多く含む。(基本層位5層)
７.にぶい黄褐色土(10ＹR5/4)漸移層。しまりあり、粘性ややあり、地山崩壊土多量含む。(基本層位6層)

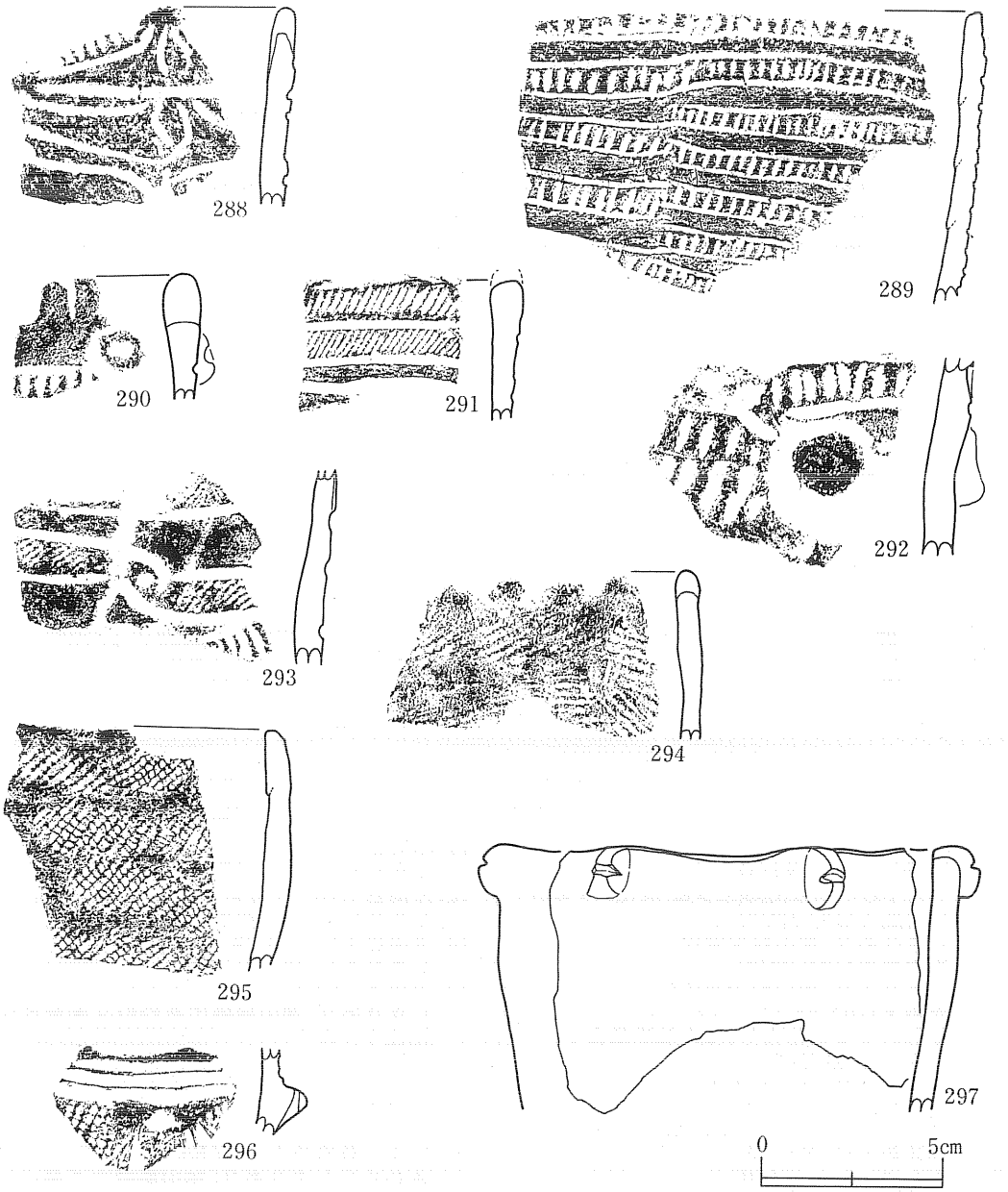
| 焼土遺構 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 厚さ(m) | 堆積の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SN03 | MP51 | VI | (不整円形) | G | × | × | 0.22 | 二次堆積 | | |
| SN112 | NP49・50 | VII | 楕円形 | G | 1.62×0.77 | 0.85×0.47 | 0.08 | | | |
| SN129 | NE51,NF51・52,NG51 | IV | 不整楕円形 | G | 3.63×2.50 | × | 0.62 | IV層中の焼土 | | 76・78・79 |

**第77図　SN03・112・129焼土遺構**



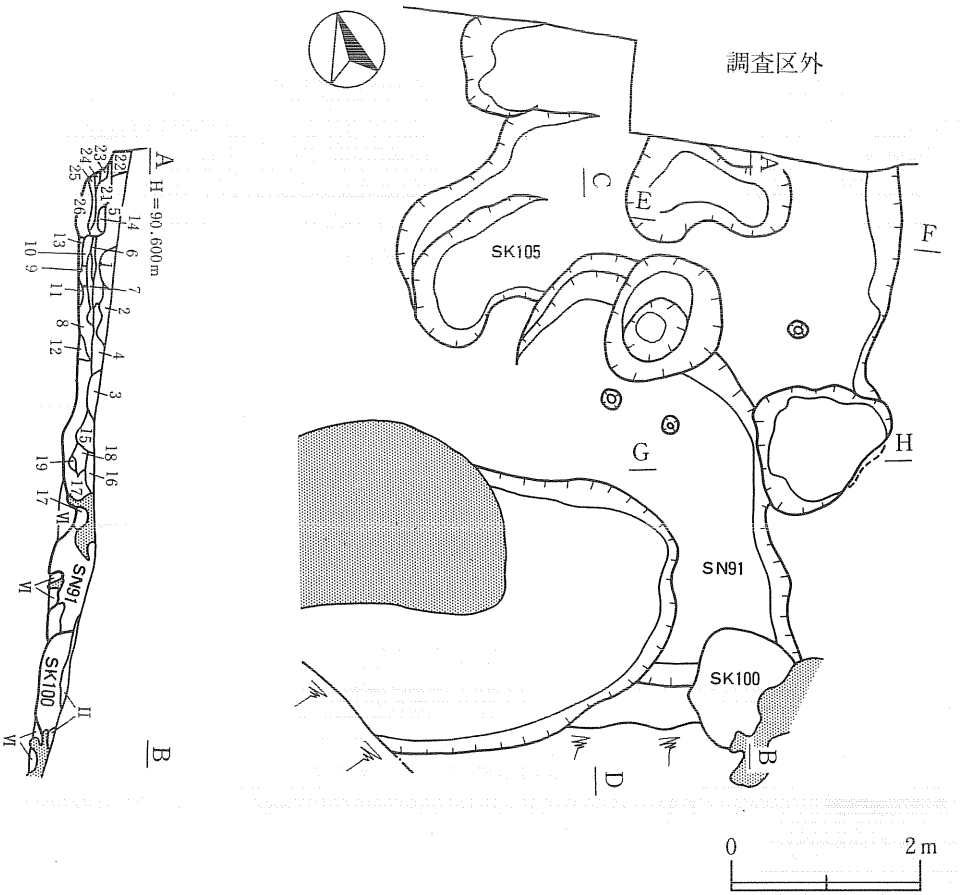

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 279 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | E | 15.7 | 5.6 | 13.4 | 頂部上面に十字のキザミの入る突起+小突起+入組三叉文内に刺突を充填+鎖状につながる弧線文 | | | 上ケズリ<br>下ナデ | ススス | |
| 280 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | E | | 8.0 | | ミガキ＋メガネ状沈線文 | | | ケズリ | | |
| 281 | SN129 | 焼土中 | 台付鉢 | E | (14.8) | 6.0 | 13.8 | 波状口縁＋ケズリ | | | ナデ | ススス | ススス |
| 282 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | 9.0 | | | | | ナデ | | |
| 283 | SN129 | 焼土中 | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 284 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | 5.4 | | | | | ケズリ | | |
| 285 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | 8.0 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 286 | SN129 | 焼土中 | 壺 | | | | | ミガキ | | | ヨコナデ | | |
| 287 | SN129 | 焼土中 | Ⅲ | | (18.6) | | | ミガキ | | | ミガキ | | |

**第78図　SN129焼土遺構出土土器(1)**




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 288 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | 突起+弧線文+入組文、口唇の一部にキザミ目 | | | ナデ | | |
| 289 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | 入組文状の帯状キザミ目文 | | | ナデ | | |
| 290 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | 頂部にキザミ目の入る突起+ボタン状の貼瘤+キザミ目文帯 | | | ナデ | | |
| 291 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | キザミ目文帯 | | | | | |
| 292 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | 入組三叉文状のキザミ目文帯+ボタン状の貼瘤 | | | ナデ | | |
| 293 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | 玉抱三叉文+キザミ目文帯 | | | ナデ | スス | |
| 294 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | 口唇部に連続突起+縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | スス | |
| 295 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | |
| 296 | SN129 | 焼土下 | 鉢 | | | | | 並行沈線+B突起+縄文 | ＬＲ | 斜 | ミガキ | | |
| 297 | SN129 | 焼土中 | 鉢 | | (13.8) | | | ミガキ+縦型のB突起 | | | ナデ | | |

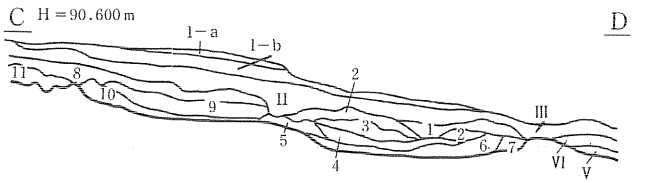
**第79図　SN129焼土遺構出土土器(2)**



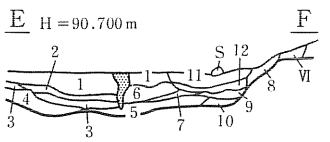

ＳＸ62（Ａ－Ｂ）

1．黒褐色土（10ＹＲ2/3）
　しまりあり、地山崩壊土多量、炭化物少量含む。
2．黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　しまりあり、地山粒少量含む。
3．黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　しまりあり、地山粒少量含む。
4．褐色土（10ＹＲ4/4）
　きわめてしまりあり、地山粒微量含む。
5．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
　しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
6．黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　ややしまりあり、地山粒微量、炭化物やや多く含む。
7．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
　きわめてしまりあり。
8．黒褐色土（10ＹＲ2/3）
　きわめてしまりあり、地山粒少量含む。
9．黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　きわめてしまりあり、地山粒少量含む。
10．暗褐色土（10ＹＲ3/3）
　きわめてしまりあり、地山粒やや多く含む。
11．暗褐色土（10ＹＲ3/3）
　きわめてしまりあり、地山崩壊土多量含む。
12．褐色土（10ＹＲ4/4）
　きわめてしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
13．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
　きわめてしまりあり、地山崩壊土やや多く、炭化物少量含む。
14．赤褐色土（5ＹＲ4/6）
　しまりあり、ベンガラを含む。
15．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
　しまりあり、地山崩壊土多量に含む。
16．黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　しまりあり、地山粒少量含む。
18．褐色土（10ＹＲ4/4）
　しまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む、粘性ややあり。
19．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
　しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
20．黄褐色土（10ＹＲ5/6）
　きわめてしまりあり、暗褐色土やや多く含む。
21．にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）
　きわめてしまりあり、地山崩壊土多量、炭化物少量含む。
22．黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
23．にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/4）
　きわめてしまりあり、赤褐色土（5ＹＲ4/6）のベンガラ含む。
24．黒色土（10ＹＲ2/1）
　しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
25．黄橙色土（10ＹＲ7/8）
　しまりあり、地山土、黒色土やや多く含む。
26．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
　きわめてしまりあり、地山崩壊土を多量に含む。

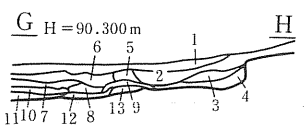
**第80図　ＳＸ62性格不明遺構**



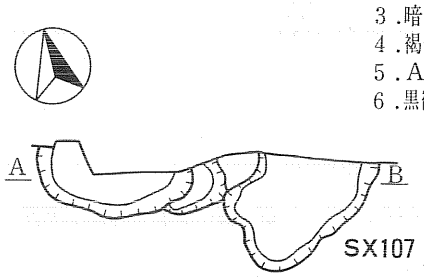

ＳＸ62（Ｃ－Ｄ）
１．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山粒少量含む。
２．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりあり、地山粒少量含む。
３．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
４．にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)しまりあり、地山粒やや多く、炭化物少量含む。
５．にぶい黄褐色土(10ＹＲ5/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土多量含む。
６．褐色土(10ＹＲ4/4)きわめてしまりあり、地山粒やや多く、炭化物少量含む。
７．褐色土(10ＹＲ4/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
８．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
９．暗褐色土(10ＹＲ3/3)きわめてしまりあり、地山粒やや多く、炭化物少量含む。
10．暗褐色土(10ＹＲ3/4)きわめてしまりあり、地山崩壊土多量含む。
11．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり、地山粒少量、炭化物少量含む。
12．黄褐色土(10ＹＲ5/6)きわめてしまりあり、地山土をきわめて多量含む。

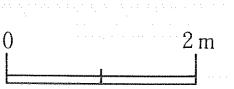



ＳＸ62（Ｅ－Ｆ）
１．Ａ－Ｂ断面の6層。
２．暗褐色土(10ＹＲ3/3)ややしまりあり、地山崩壊土炭化物、少量含む。
３．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山粒やや多く、炭化物少量含む。
４．黒褐色土(10ＹＲ2/3)ややしまりあり、地山崩壊土やや多く含む、やや砂状。
５．Ａ－Ｂ断面の26層。
６．Ａ－Ｂ断面の21層。
７．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山ブロックきわめて多量、炭化物微量含む。
８．にぶい黄褐色土(10ＹＲ4/3)しまりあり、地山崩壊土きわめて多量含む。
９．褐色土(10ＹＲ4/4)しまりあり、地山崩壊土多量、炭化物微量含む。
10．暗褐色土(10ＹＲ3/4)きわめてしまりあり、地山粒やや多く含む。
11．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり、地山土少量、炭化物微量含む。
12．暗褐色土(10ＹＲ3/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土をきわめて多量に含む。



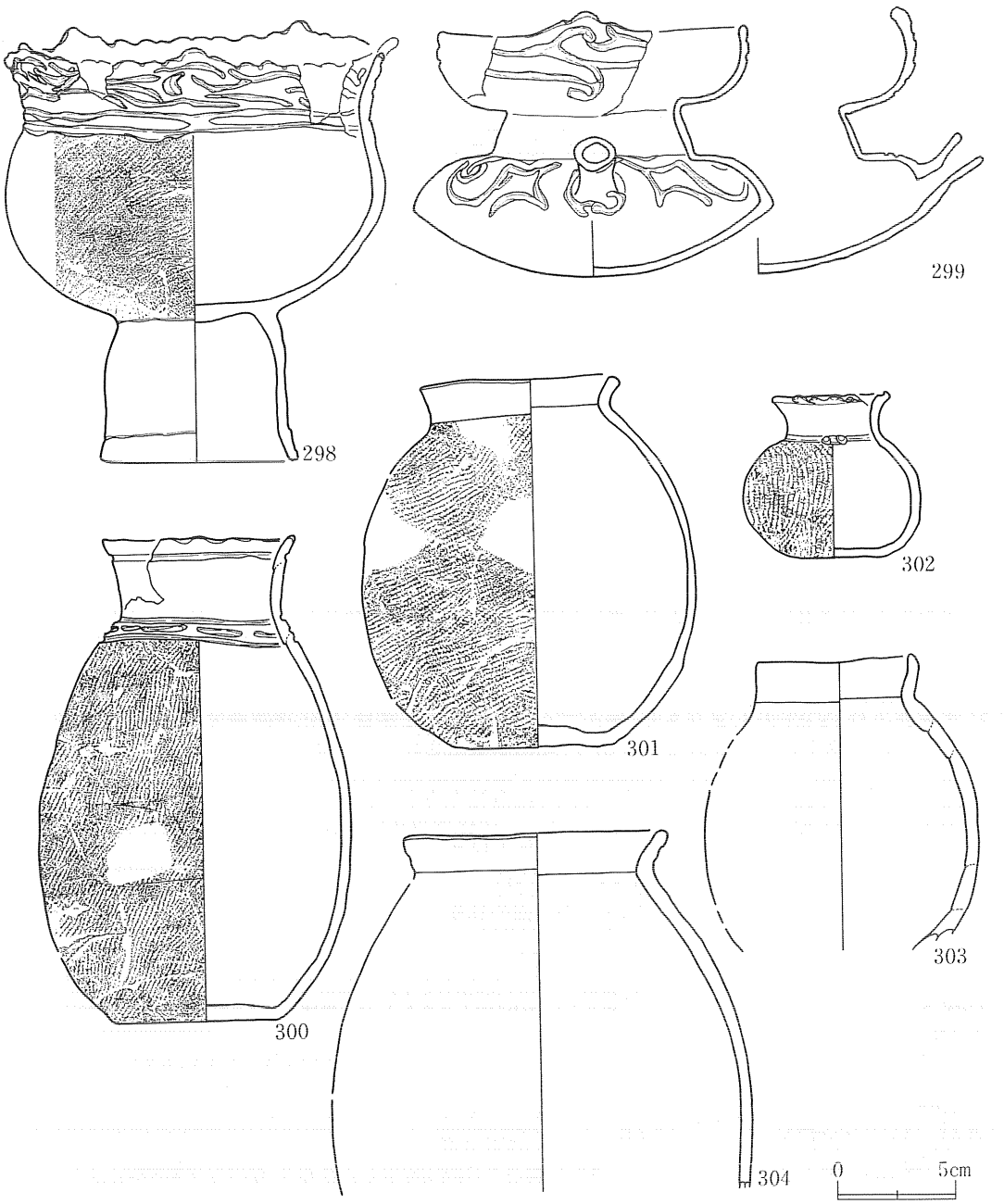

ＳＸ62（Ｇ－Ｈ）
１．Ａ－Ｂ断面の16層
２．黒褐色土(10ＹＲ2/3)きわめてしまりあり、地山崩壊土やや多く、炭化物微量含む。
３．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
４．褐色土(10ＹＲ4/6)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
５．Ａ－Ｂ断面の18層。
６．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり、地山崩壊土やや多く、炭化物小量含む。
７．黒褐色土(10ＹＲ2/3)しまりあり、地山粒少量、炭化物微量含む。
８．黒褐色土(10ＹＲ2/2)しまりあり、地山粒やや多く含む。
９．Ａ－Ｂ断面の19層。
10．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山粒少量含む。
11．暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまりあり、地山崩壊土多量含む。
12．黒褐色土(10ＹＲ3/2)しまりあり、地山崩壊土やや多く含む。
13．Ａ－Ｂ断面の20層。



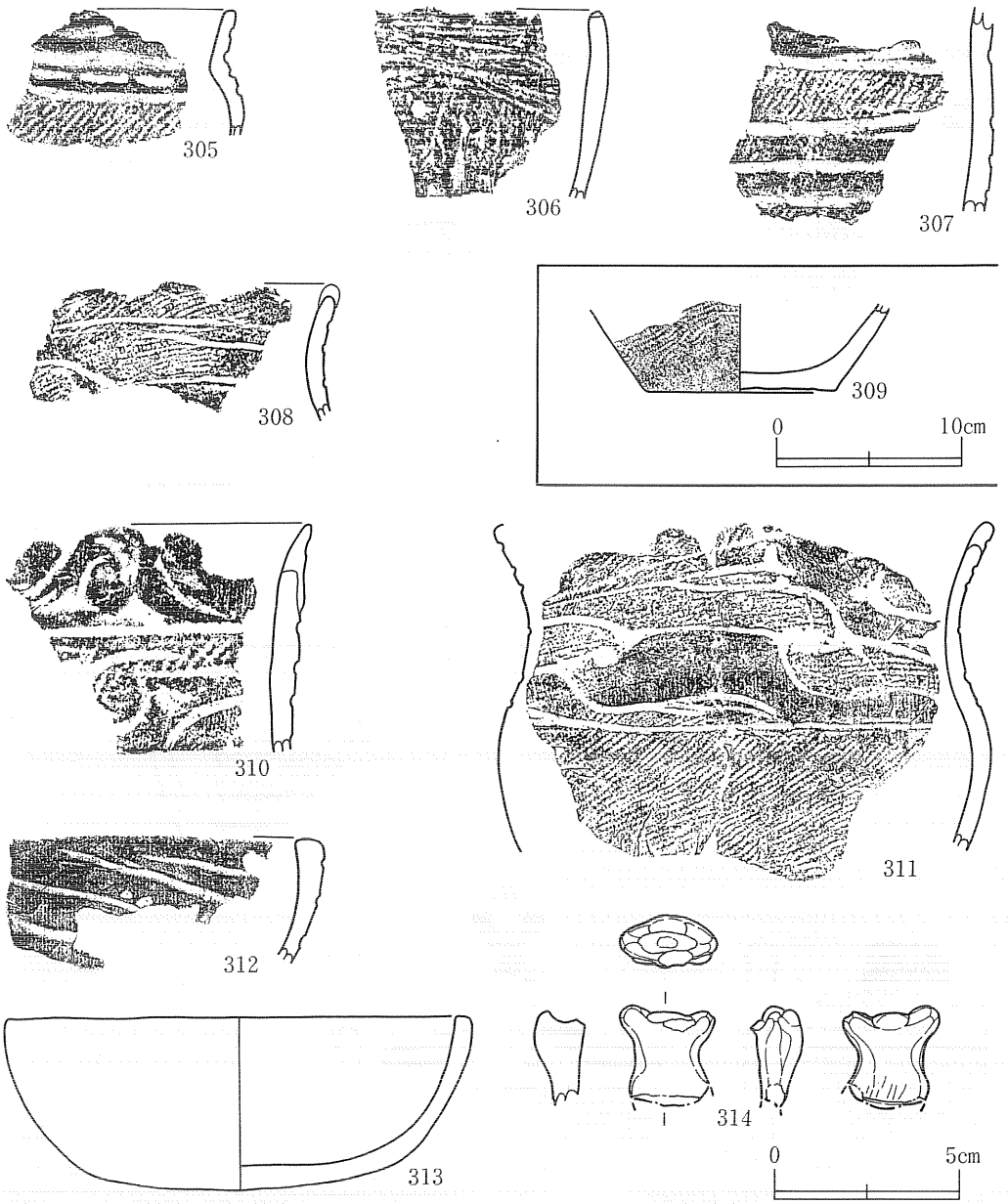

| 性格不明遺構 | 検出グリッド | 検出面 | 平面形 | 断面形 | 上端部径(m) | 下端部径(m) | 厚さ(m) | 堆積の状態 | 重複関係 | 遺物挿図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| SX62 | NC51・52、ND51・52 | Ⅴ | 不整形 | (E) | ×5.6 | ×4.9 | 0.58 | 一部人為堆積 | SX62→SK105 | 82～88・91 |
| SX107 | ND52、NE52 | Ⅶ | (不整楕円形) | (F) | ×3.63 | ×3.27 | 0.24 | | SX107→SI95A | 89・90 |

第81図　ＳＸ62・107性格不明遺構



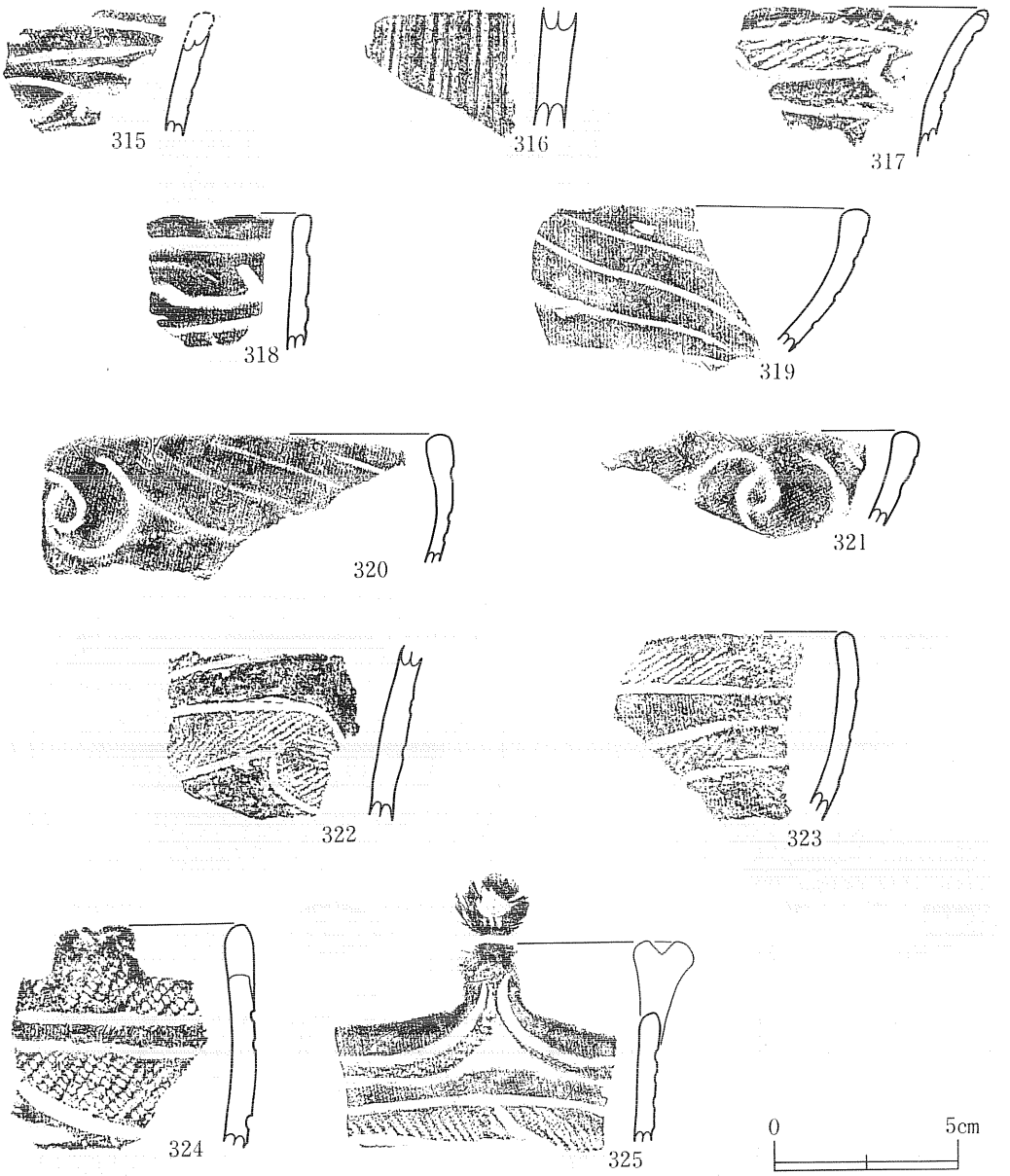

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 298 | SX62 | 埋土下部 | 台付鉢 | Ｈ３ | 16.8 | 7.3 | 18.7 | 波状口縁＋玉抱き状三叉文 | ＬＲ | 横 | 上ミガキ・下ナデ | ススス | ススス |
| 299 | SX62 | GH断面Ｊ層 | | Ｅ | (13.4) | | 11.3 | 三叉文＋菱形文 | | | 上ミガキ・下ナデ | | |
| 300 | SX62 | 埋土下部 | 壺 | Ｌ | 8.2 | 6.9 | 20.8 | 平行沈線内に短い沈線充填＋縄文 | ＬＲ | 横 | 上ミガキ・下ナデ | | |
| 301 | SX62 | 埋土下部 | 壺 | Ｄ１ | 8.5 | 6.4 | 15.7 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | | |
| 302 | SX62 | 埋土下部 | 壺 | Ｆ２ | 5.0 | 4.0 | 7.0 | 口唇B突起＋頸部B突起＋縄文 | | | 上ミガキ・下ナデ | | |
| 303 | SX62 | 埋土下部 | 壺 | Ｄ２ | 6.7 | | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 304 | SX62 | EF断面Ｉ層 | 壺 | Ｌ | 11.2 | | | ケズリ | | | ケズリ | | |

**第82図　ＳＸ62性格不明遺構出土土器(1)**



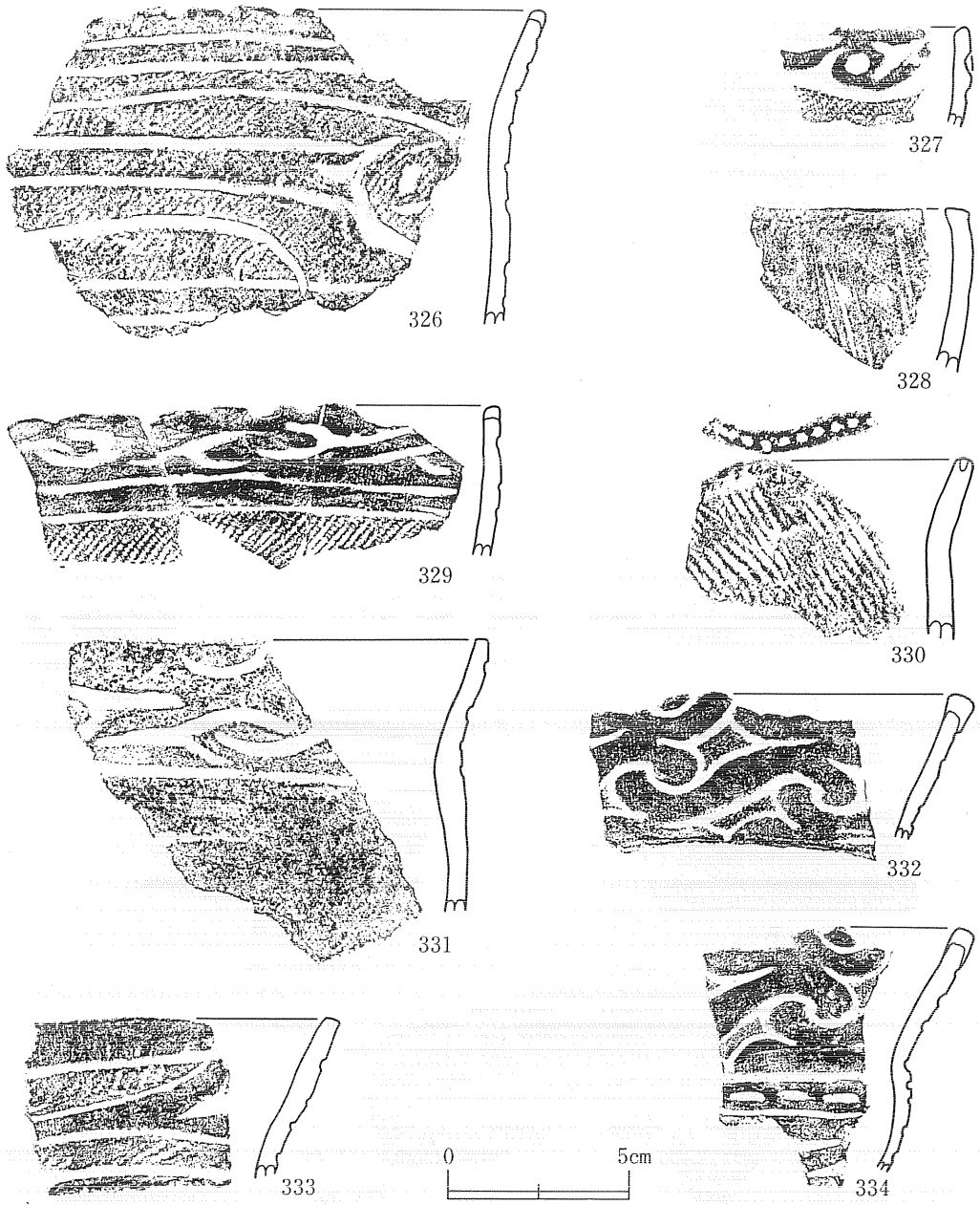

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 305 | SX62 | AB断面4層 | | | | | | 平行沈線内に短い沈線を充填 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 306 | SX62 | AB断面5層 | | | | | | 横位条痕文＋ケズリ | | | ナデ | ススス | ススス |
| 307 | SX62 | AB断面5層 | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | ススス | |
| 308 | SX62 | AB断面25層 | | | | | | 波状口縁＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 309 | SX62 | AB断面25層 | 鉢 | | | 10.5 | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 310 | SX62 | EF断面1層 | | | | | | 3個の頂部のある突起＋三叉文＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | ススス |
| 311 | SX62 | EF断面4層 | 鉢 | | (13.6) | | | 玉抱入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 312 | SX62 | AB断面2層 | | | | | | 斜位の平行沈線 | | | ミガキ | | |
| 313 | SX62 | 床直 | 鉢 | | 12.5 | 丸底 | 4.7 | 上部ナデ＋下部ケズリ | | | ナデ | | |
| 314 | SX62 | AB断面1層 | 土偶 | | | | | | | | | | |

**第83図　ＳＸ62性格不明遺構出土土器(2)**



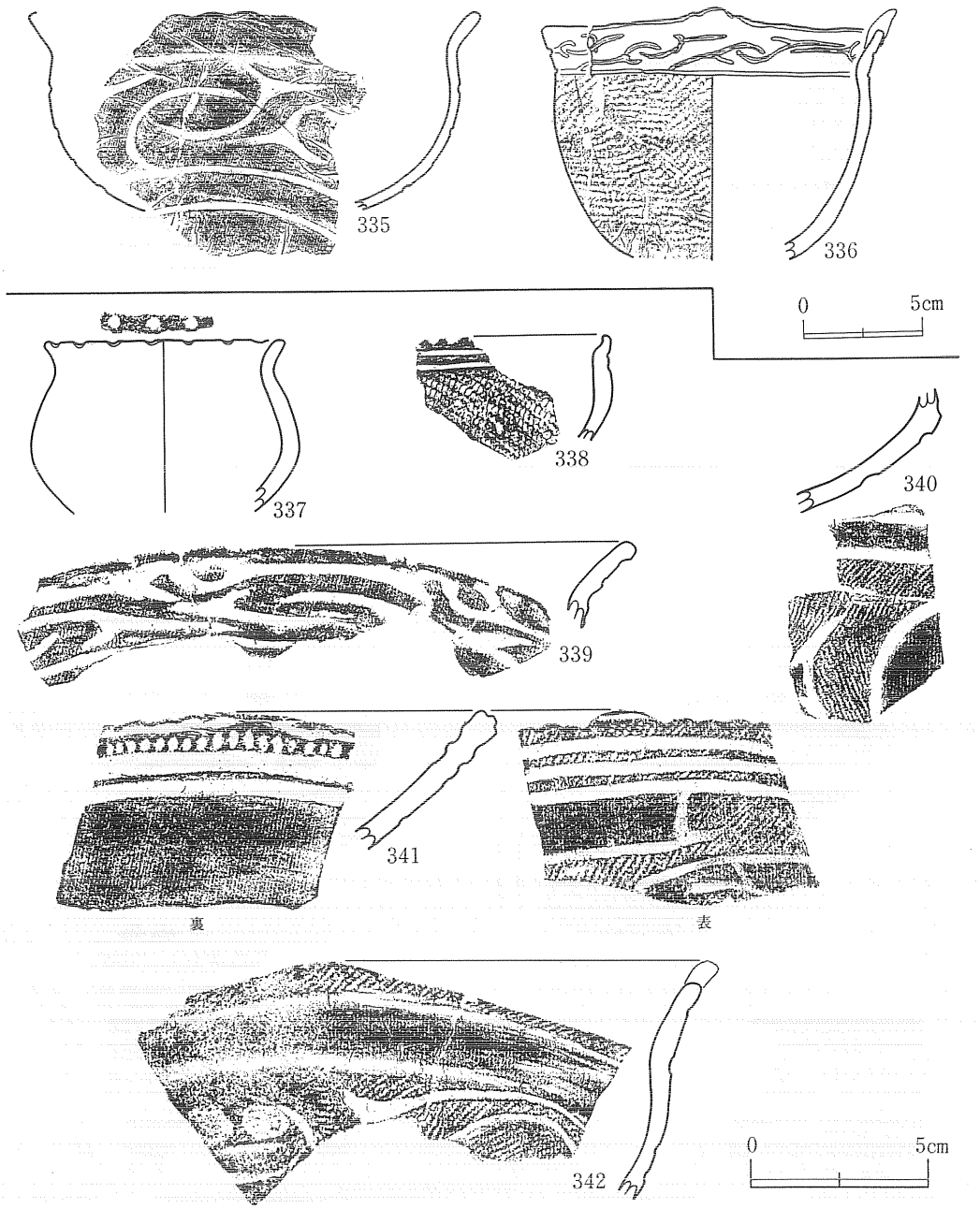

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 施文方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 315 | SX62 | GH断面1層 | | | | | | 入組三叉文 | | | ミガキ | スス | スス |
| 316 | SX62 | GH断面8層 | | | | | | 条痕文 | | | ナデ | | |
| 317 | SX62 | GH断面8層 | | | | | | 玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | | スス |
| 318 | SX62 | GH断面10層 | | | | | | 波状口縁＋入組三叉文 | | | ナデ | スス | スス |
| 319 | SX62 | GH断面11層 | Ⅲ | | | | | 斜位の平行沈線文 | | | ミガキ | | |
| 320 | SX62 | CD断面2層 | Ⅲ | | | | | 入組三叉文＋斜位の平行沈線文 | | | ミガキ | | |
| 321 | SX62 | CD断面8層 | Ⅲ | | | | | 入組三叉文 | | | ミガキ | | |
| 322 | SX62 | CD断面8層 | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 不整 | ナデ | スス | スス |
| 323 | SX62 | CD断面10層 | | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 324 | SX62 | 埋土下部 | | | | | | 山形突起＋入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ヨコナデ | スス | スス |
| 325 | SX62 | 埋土下部 | | | | | | 突起＋三叉文＋縄文帯 | ＬＲ | 横 | ミガキ | スス | |

**第84図　SX62性格不明遺構出土土器(3)**



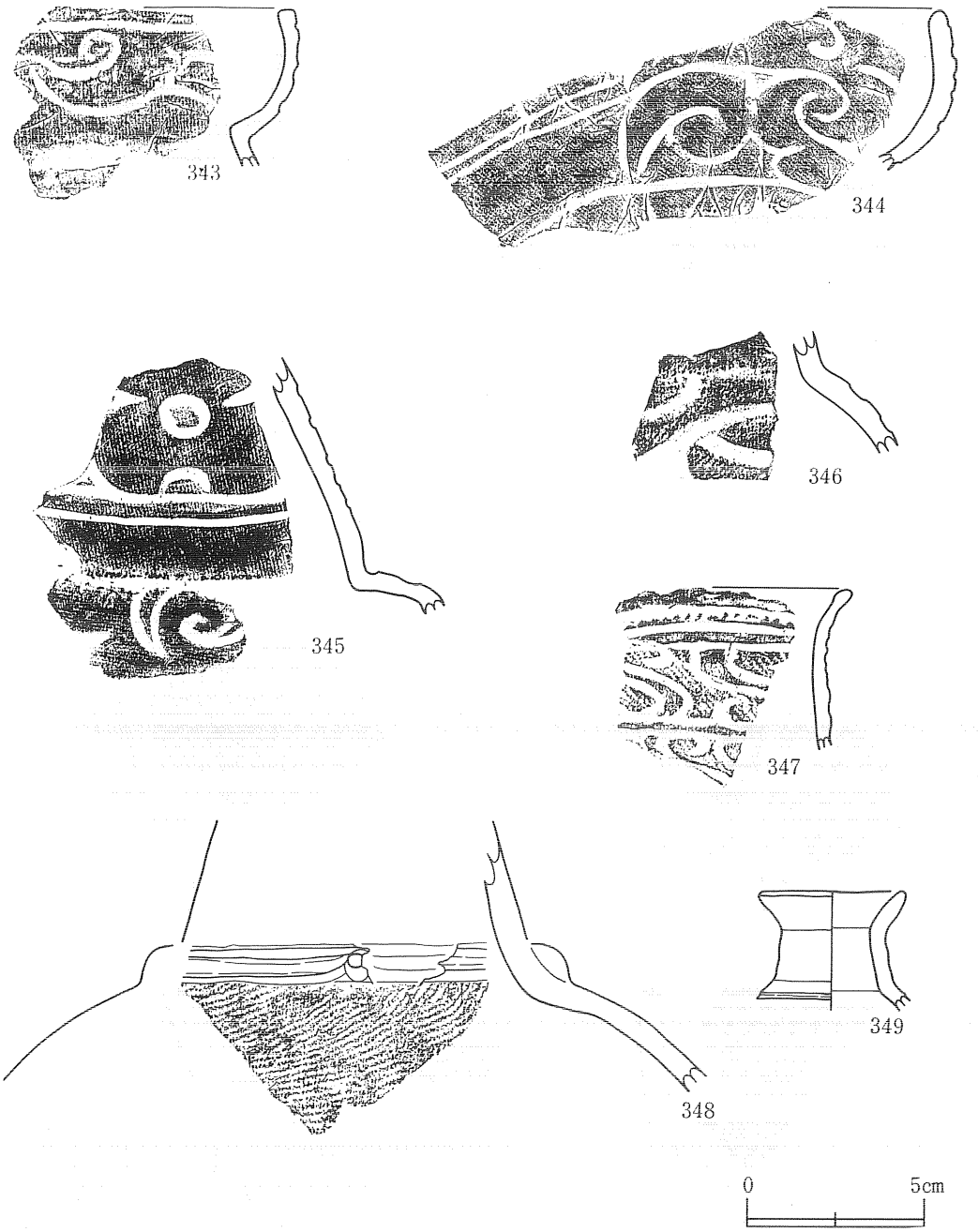

| 番号 | 出土地点 | 層 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 326 | SX62 | 埋土下部 | | | | | 玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 327 | SX62 | 埋土下部 | | | | | 玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 328 | SX62 | 埋土上部 | | | | | 条痕文 | | | | | |
| 329 | SX62 | 埋土下部 | | | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 330 | SX62 | 埋土下部 | | | | | 波状口縁＋口唇部に刺突 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 331 | SX62 | 埋土中 | | | | | 入組三叉文＋弧線文 | | | ナデ | ススス | |
| 332 | SX62 | 埋土中 | | | | | 口唇部B突起＋連結菱形文 | | | ミガキ | ススス | ススス |
| 333 | SX62 | 埋土上部 | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 横 | ナデ | | ススス |
| 334 | SX62 | 埋土上部 | | | | | 口唇部B突起＋連結菱形文＋平行沈線に内に短い沈線を充填 | | | ミガキ | ススス | ススス |

**第85図　SK62性格不明遺構出土土器(4)**



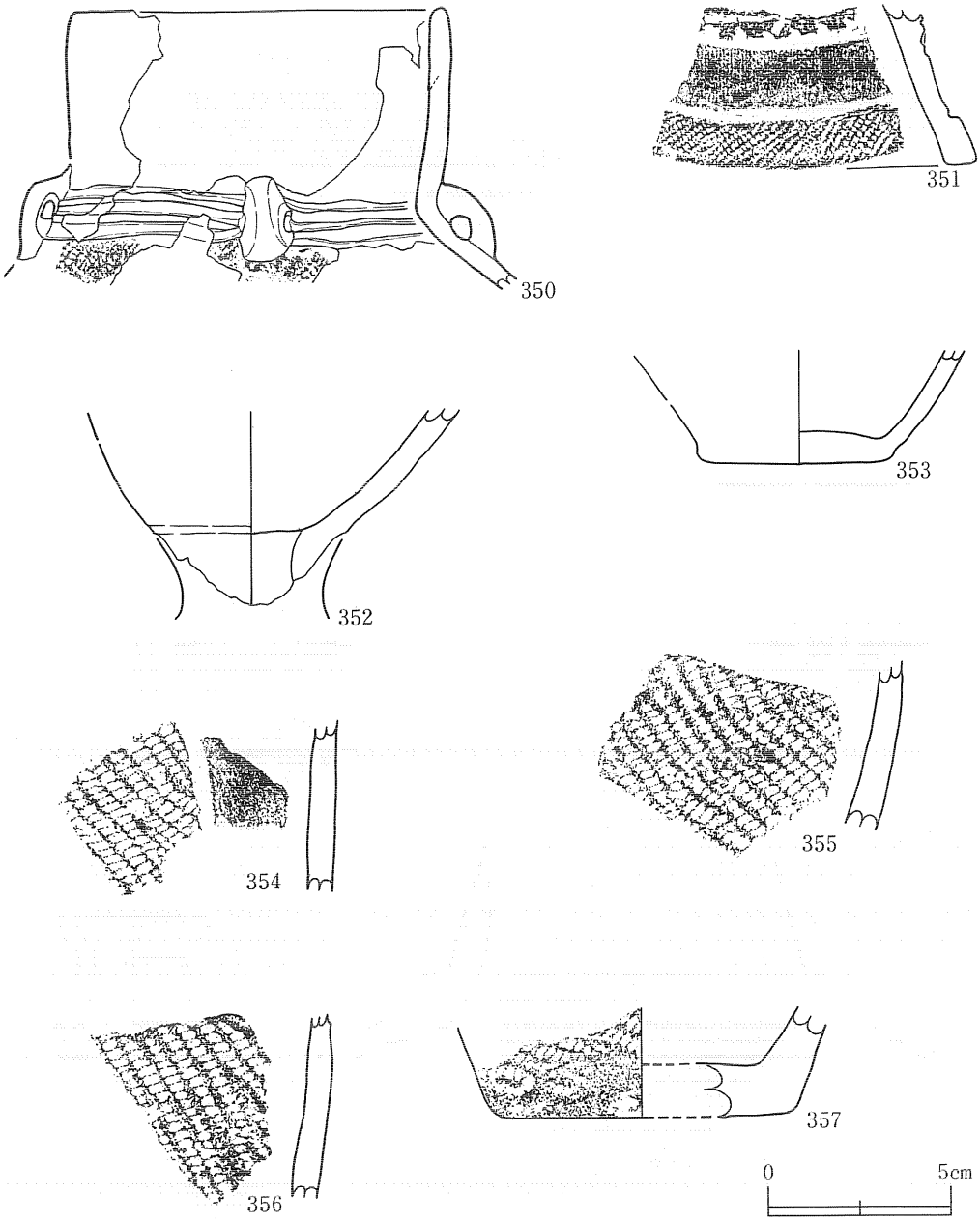

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 335 | SX62 | 埋土上部 | 鉢 | | (19.0) | | | 入組三叉文 | | | ミガキ | スス | |
| 336 | SX62 | 埋土中 | 鉢 | | (15.4) | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 不整 | ヨコナデ | スス | スス |
| 337 | SX62 | 埋土上部 | 鉢 | | ( 6.8) | | | 口唇部に刺突 | | | ナデ | | |
| 338 | SX62 | 埋土上部 | 鉢 | | | | | 口唇部にキザミ目＋平行沈線＋内面沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | スス | スス |
| 339 | SX62 | 埋土上部 | | | | | | 連結三叉文＋入組三叉文 | | | ミガキ | | |
| 340 | SX62 | 埋土上部 | 皿 | | | | | 雲形文？ | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 341 | SX62 | 埋土上部 | 皿 | | | | | 口唇部内面キザミ目文帯＋平行沈線<br>平行沈線＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 342 | SX62 | 埋土中 | 鉢 | | | | | 波状口縁＋入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |

**第86図　ＳＸ62性格不明遺構出土土器(5)**



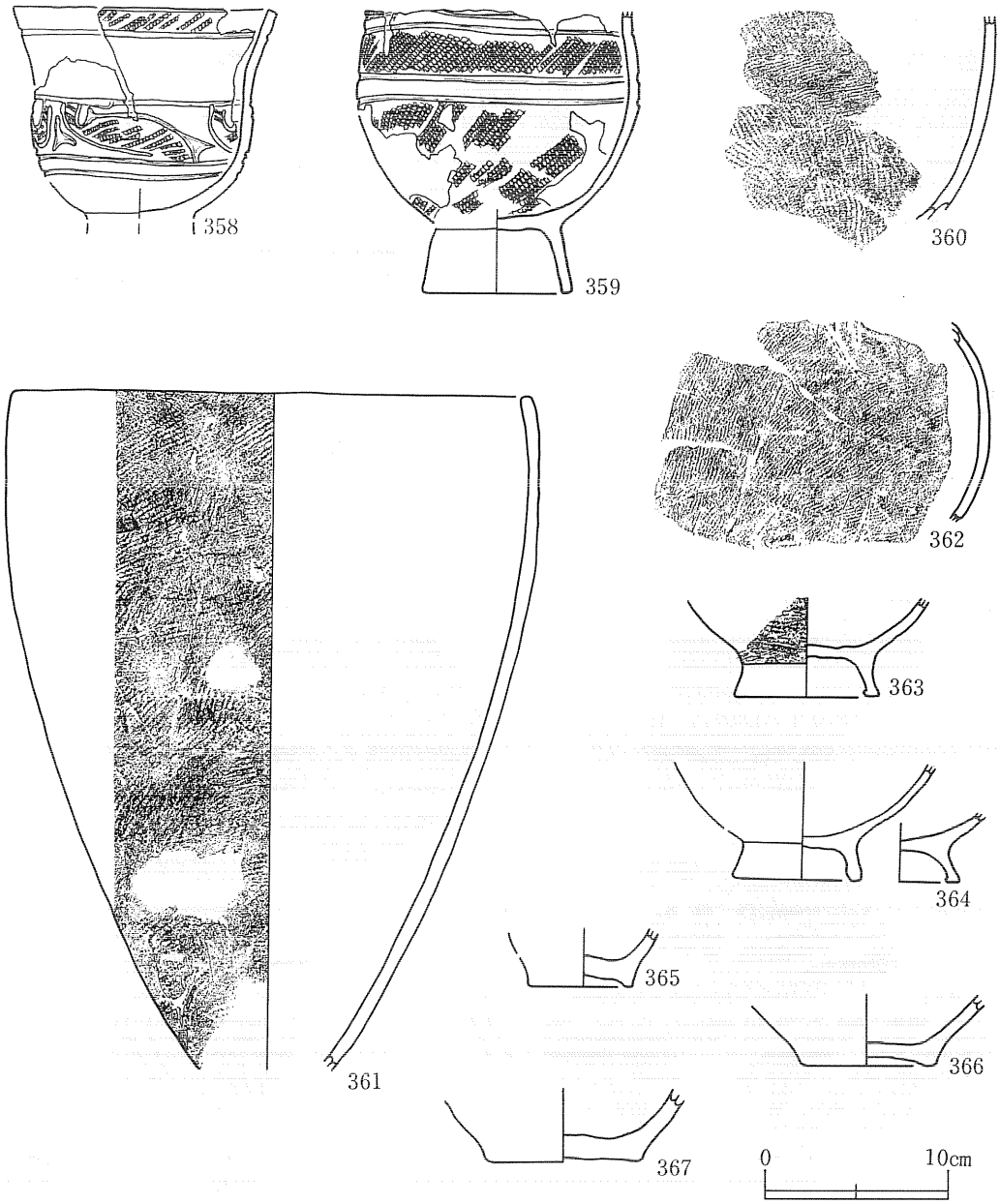

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 343 | SX62 | 埋土下部 | 注口 | | | | | 入組三叉文＋三叉文 | | | ミガキ | | |
| 344 | SX62 | 埋土下部 | 注口 | | | | | 入組三叉文＋三叉文 | | | ミガキ | | |
| 345 | SX62 | 埋土上部 | 注口 | | | | | 菱形文？＋円形文＋入組文 | | | ミガキ | | |
| 346 | SX62 | 埋土下部 | 壺 | | | | | 入組三叉文？ | ＬＲ | 不整 | ミガキ | 赤ウルシ | 赤ウルシ |
| 347 | SX62 | 埋土上部 | | | | | | 雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 348 | SX62 | 埋土上部 | 壺 | | | | | 平行隆線＋突起貼付 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 349 | SX62 | 埋土上部 | 壺 | | 4.0 | | | ミガキ | | | ミガキ | ベンガラ | ベンガラ |

**第87図　SX62性格不明遺構出土土器(6)**



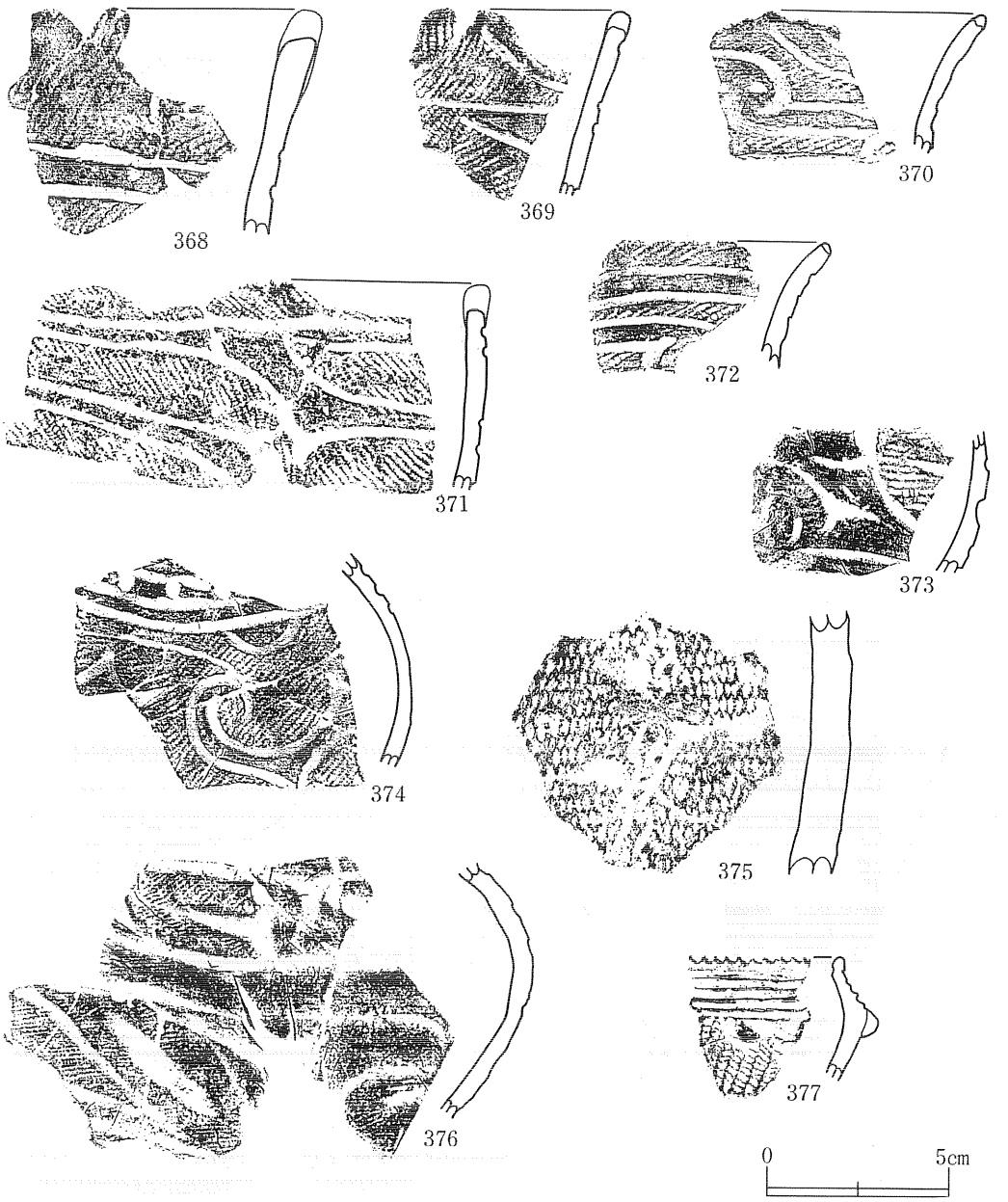

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 350 | SX62 | 埋土下部 | 壺 | | 10.2 | | | 平行隆線＋ブリッジ状の突起 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 351 | SX62 | 埋土上部 | 台 | | | | | 刺突列＋無文帯＋縄文帯 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 352 | SX62 | 埋土下部 | | | | | | ケズリ | | | ケズリ | | |
| 353 | SX62 | 埋土下部 | | | | 5.2 | | | | | ナデ | | |
| 354 | SX62 | 最下層 | 深鉢 | | | | | 沈線区画文内縄文 | ＬＲ | 縦 | ナデ | ススス | |
| 355 | SX62 | 最下層 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 縦 | ナデ | | |
| 356 | SX62 | 最下層 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 縦 | ナデ | ススス | |
| 357 | SX62 | 最下層 | 深鉢 | | | (8.0) | | 縄文 | ＬＲ | 縦 | ナデ | | |

**第88図　ＳＸ62性格不明遺構出土土器(7)**



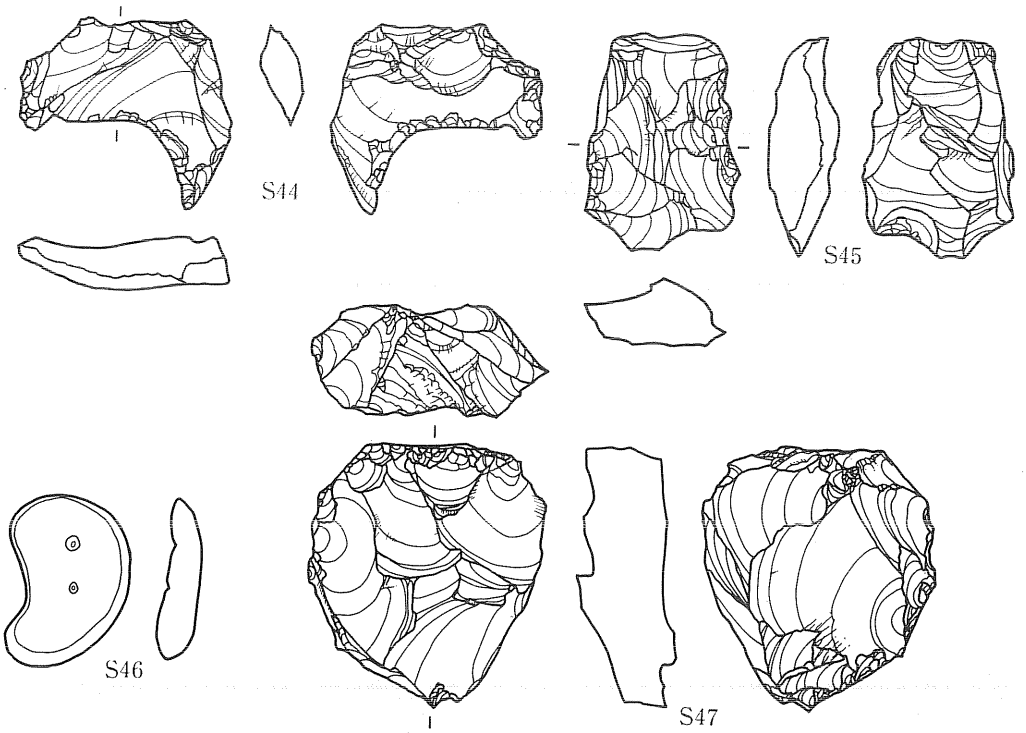

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 358 | SX107 | | 台付鉢 | F | 15.8 | | | 縄文帯＋入組三叉文＋三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | ススス |
| 359 | SX107 | | 台付鉢 | G | | (7.0) | | 無文帯＋縄文帯＋無文帯 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 360 | SX107 | | | | | | | 非結束羽状縄文(異種原体) | LR・RL | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 361 | SX107 | | 深鉢 | | 28.8 | | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 362 | SX107 | | | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 363 | SX107 | | 台付鉢 | | | (3.9) | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 364 | SX107 | | 台付鉢 | | | 6.2 | | 一部縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 365 | SX107 | | 鉢 | | | (2.7) | | 一部縄文 | ＬＲ | 斜 | ナデ | | |
| 366 | SX107 | | 鉢 | | | (3.7) | | | | | ナデ | | |
| 367 | SX107 | | 鉢 | | | (4.3) | | | | | ナデ | | |

**第89図　SX107性格不明遺構出土土器(1)**




| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 368 | SX107 | | | | | | | 頂部が二又になる山形突起+無文帯+縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 369 | SX107 | | | | | | | 頂部が二又になる山形突起+入組三叉文? | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 370 | SX107 | | | | | | | 玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 371 | SX107 | | 鉢 | | | | | 波状口縁+入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 372 | SX107 | | | | | | | 口唇部に刺突+入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 373 | SX107 | | | | | | | 玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 374 | SX107 | | 壺 | | | | | 平行沈線内刺突充填+入組文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 375 | SX107 | | 深鉢 | | | | | 多軸絡条体回転文、繊維土器 | | | | | |
| 376 | SX107 | | 壺 | | | | | 三叉文+入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 377 | SX107 | | 鉢 | | | | | 口唇部刺突+平行沈線+B突起 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |

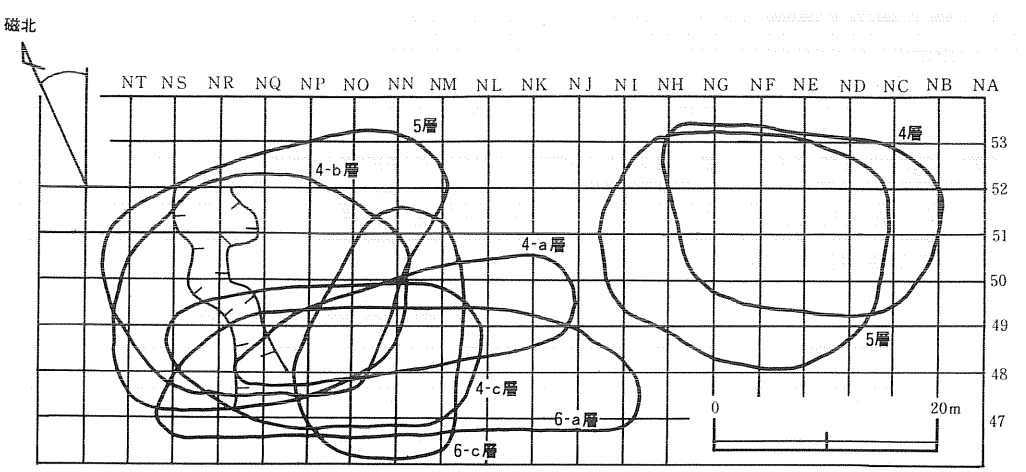
**第90図　SX107性格不明遺構出土土器(2)**




0　5cm

| 番号 | 出土地点 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S44 | SX62 | | 不定形石器 | c | 5.0 | 5.6 | 1.2 | 25.4 |
| S45 | SX62 | | 二次加工のある剥片 | d | 5.7 | 4.0 | 1.8 | 38.3 |
| S46 | SX62 | | 有孔石製品 | | 4.5 | 3.4 | 1.1 | 18.8 |
| S47 | SX62 | | 石核 | B－c | 7.0 | 6.2 | 2.7 | 121.6 |

**第91図　SX62性格不明遺構出土石器**




**第92図　捨て場各層範囲図**

## 第４節　遺構外出土遺物

遺構外からは土器・土製品90,094点、石器類5,155点が出土した。遺物は主に台地上と南側の斜面下の沖積地から出土した。斜面の遺物は台地上の平坦面からやや下までと、斜面下部に多く、最も傾斜の急な中位では比較的少ない。また、台地縁辺は波状に凹凸があって、凹部は堆積土が厚く多量の遺物が包含されているが、凸部は表土直下に地山漸移層があり、遺物包含層はほとんどない。特にＮＤラインからＮＩラインにかけての凹部と、ＮＭラインからＮＴラインにかけての凹部は、遺物が多く、逆にＮＩラインからＮＭラインの間の凸部では、ほとんど遺物が出土しなかった。この２箇所の遺物集中出土地点は、台地縁辺の凹部（沢目）に形成された「捨て場」と考えられる。

各「捨て場」の基本的な層位は、第６図に示した。大湯浮石層より下位に２～６層の縄文時代の遺物包含層が形成されている。層の番号は各地点毎につけたものである。ＮＦラインとＮＯラインの間の凸部は表土下の堆積土が薄く、層の連続性が確認できなかった。したがって、ＮＦラインの４層、５層は必ずしもＮＯラインの４層、５層と同一層ではなく、層相互の対応関係は判然としない。ＮＯラインとＮＭラインは対応関係が明らかである。地点別層位別遺物出土数は第93～95図に示すとおりである。

以下では、ＮＦラインを中心とする４層、５層の遺物包含層の広がりを捨て場１、ＮＯラインを中心とする４－ａ層～６－ｃ層の遺物包含層の広がりを捨て場２として層位毎に遺物を掲載し、１～２層（大湯浮石より上位の層）及び２箇所の捨て場範囲外から出土した遺物を一括して表土及び捨て場以外出土遺物としてその後に掲載する。

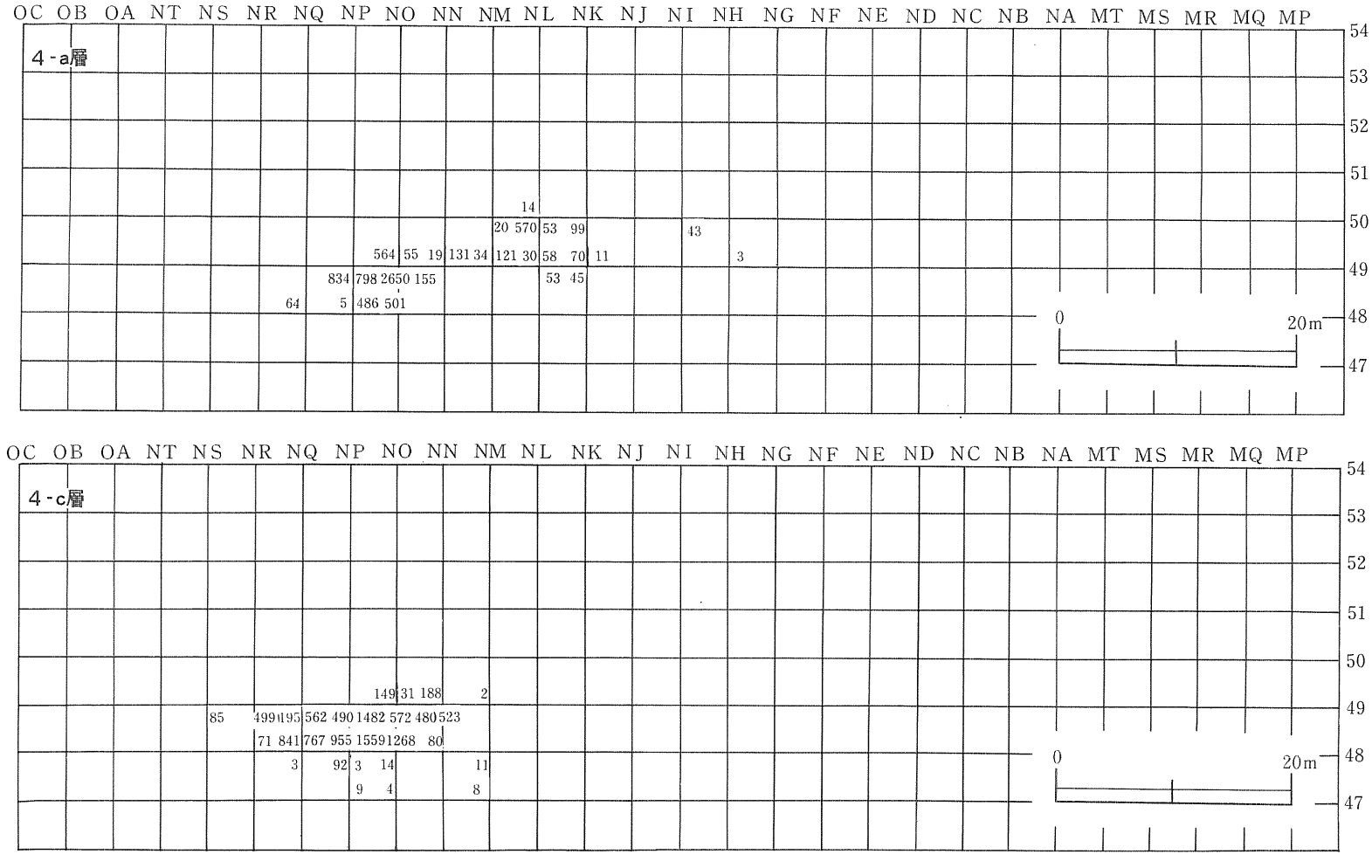
### １　捨て場出土遺物

#### 捨て場１

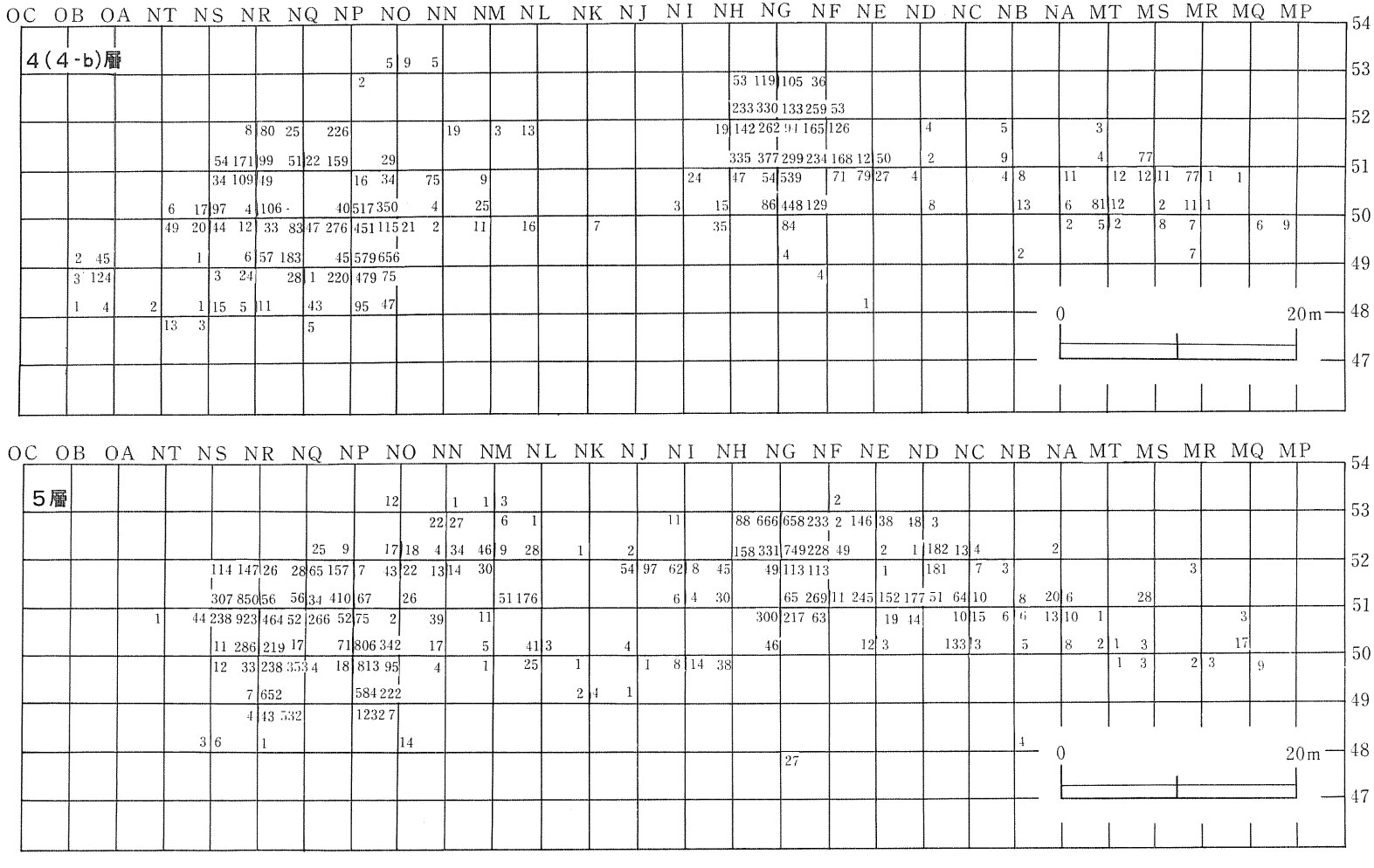
ＮＦラインを中心とし、台地縁辺部の凹部の急斜面に遺物が集中する。４層と５層に多量の遺物が包含されている。５層、４層とも遺物の集中する範囲はほぼ重なり、最も遺物の集中するのはＮＦ51・52、ＮＧ51・52グリッドである。４層より５層のほうが、やや広い範囲に比較的多くの遺物が分布する。

（１）土器・土製品

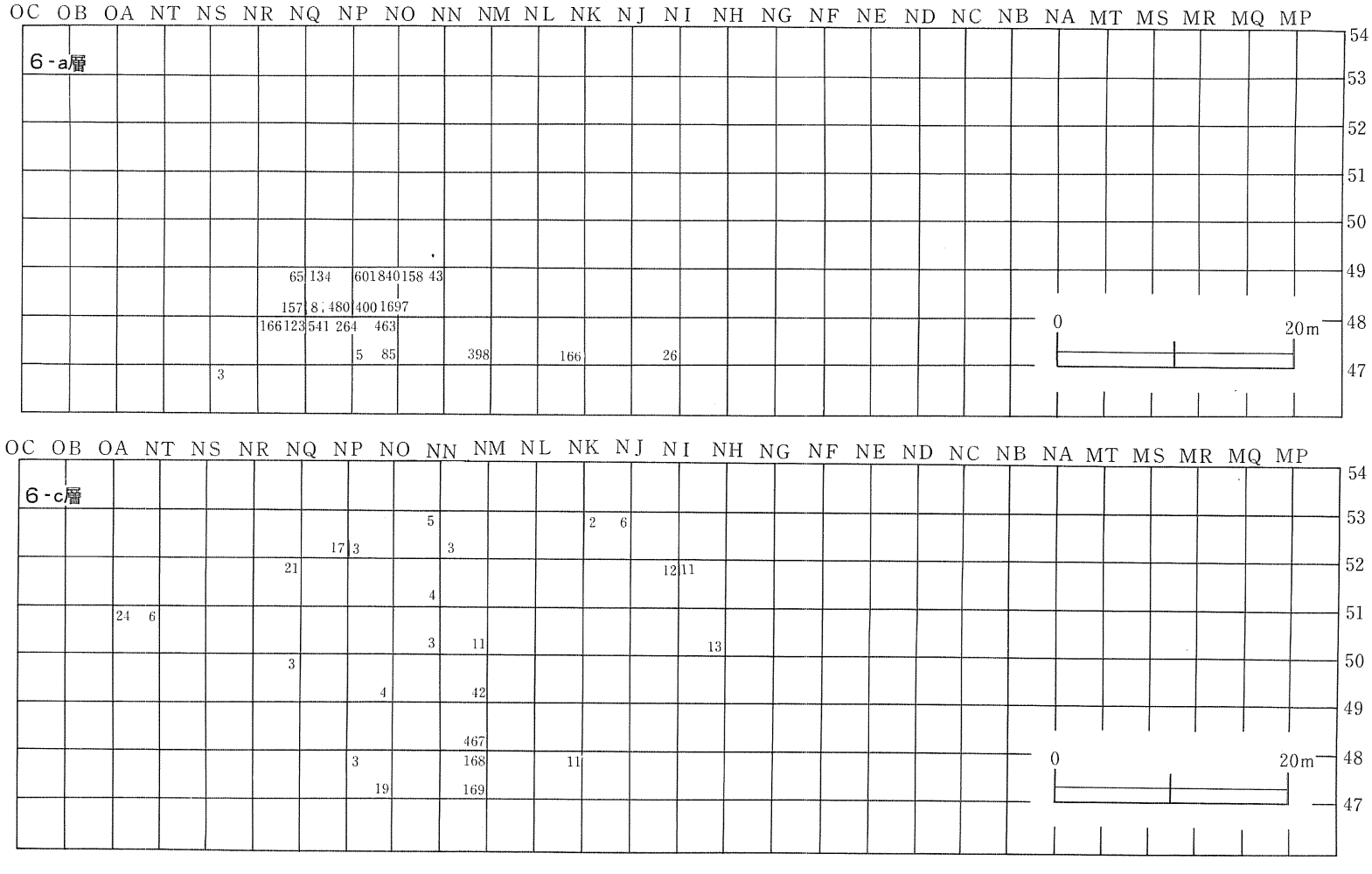
土器の出土量は捨て場２からすると圧倒的に少ない。完形・復元土器は深鉢・台付鉢・壺の３種類が出土（101図387～389）した。また、土器片は深鉢を主体とし鉢なども出土（第115～121図）している。土器の年代は、縄文後期末～晩期前半を中心としている。




第93図　地点別層位別遺物出土数図(1)




第94図　地点別層位別遺物出土数図(2)




第95図　地点別層位別遺物出土数図(3)

（２）石器

第４表に示すように、４層から436点、５層から429点とほぼ同数の石器類が出土した。石器の組成もほとんど類似し、大きな違いはない。ただ、５層で横型石匙の出土数が多いのが目を引く。

◎４層（第96・97図）

剥片石器と剥片で全体の86％を占め、礫石器は少ない。

Ｓ84は幅広の円基鏃で、捨て場２の５層と表土からも出土している（第151図Ｓ115、第166図Ｓ165）。Ｓ57は寸づまりの形態で、基部上端には剥離痕と敲打痕が著しい。Ｓ59は表裏両面の外、側面も磨られている。

◎５層（第98・99図）

４層と同様に剥片石器、剥片の比率が高く、全体の86％を占める。剥片石器の中では横型石匙が８点出土し、４層及び捨て場２の各層とは際立った違いをみせている。Ｓ64は表裏両面に丁寧な二次加工を施して整形している。これに対しＳ66、Ｓ67は周縁とつまみ部分にのみ二次加工を施す。Ｓ65はつまみの位置が、上辺の右側にかたよってつけられている。この形態の石匙は、Ｓ65の１点のみである。Ｓ61はｂ類の石鏃である。ｂ類はこの１点のみ出土した。Ｓ71は完形の石剣である。断面形が六角形に面取りされている。基部はやや細い。上端面と下端面は磨られておらず、敲打痕が残っている。Ｓ73は円礫の上部３分の１程のところに横位に溝を刻み、だるま形に成形している。裏面は全体が凹んでいる。正面観は第148図Ｓ100の石冠に類似するが、裏面が大きく凹むこと、表面に溝をめぐらすことによって上下を区画すること、気泡の多く入る石質の素材を用いていることが、第148図Ｓ101、第157図Ｓ162と共通する。稀に晩期の遺跡から出土するようで、「凹部のある石製品」（手代森遺跡）、「有溝石製品」（九年橋遺跡）等と報告されている例もある。

第172図Ｓ213は岩版の小破片であるが、捨て場１からは、この１点のみが出土した。

**捨て場２**

ＮＯラインを中心とし、段丘崖の縁辺部に形成された自然の深い沢目を含む斜面と台地下の沖積面に６枚の遺物包含層が重なる。この沢は台地上の調査区北端（ＮＲ51グリッド）で幅約７ｍ、地表面からの深さ約2.8ｍ、調査区斜面中腹（ＮＱ49グリッド）で幅約3.4ｍ、深さ約2.5ｍ、調査区南端（ＮＰ47グリッド）で幅約3.3ｍ、深さ約1.1ｍである。断面形はほぼＵ字形で底面の一部がＶ字形にえぐられている部分もある。台地上から斜面の肩にかけては二又に枝分かれしており、台地上の流路が、１本に集まって斜面を一筋に流れ下り、深く侵食したものと考えられる。沢の埋土は、地山のシラスと炭化物を含む黒褐色土が不規則な互層をなし、下部では鉄分の沈着によって固まった褐色の砂層及び小礫混じりの砂礫層が縞状に入る（図版11）。

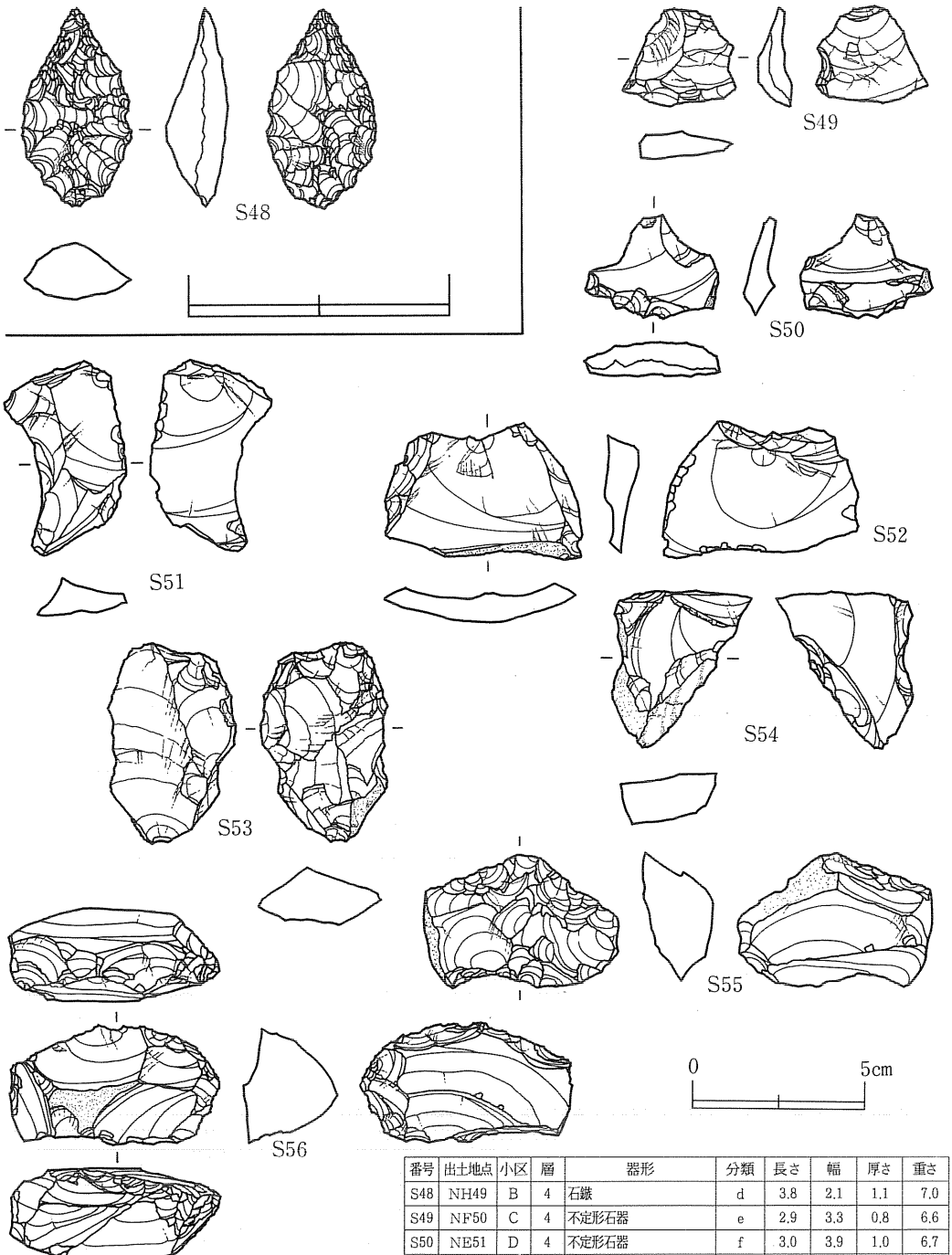
| 場所 | 層位 | 石器 剝片石器 石鏃 | 石槍 | 石錐 | 箆状石器 | トランシェ様石器 | ピエス・エスキーユ | 縦型石匙 | 横型石匙 | 不定形石器 | 微小剝離痕のある剝片 | 礫石器 石錘 | 磨製石斧 | 打製石斧 | 半円状偏平打製石器 | 礫器 | 砥石 | 擦石 | 磨石 | 凹石 | 敲打痕のある礫 | 石皿 | 石製品 石剣 | 石棒 | 独鈷石 | 刻線礫 | 岩版 | 有孔石製品 | 円盤状石製品 | 石冠 | 凹みのある石製品 | 二次加工のある剝片 | 剝片 | 石核 | 合計 | 礫 分割礫 | 有孔礫 | 有溝礫 | 円盤状礫 | 角柱状礫 | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 捨て場1 | 4 | 1 | 1 | 2 | | | 1 | 3 | 1 | 32 | 55 | | 2 | | | 1 | | 1 | 19 | 11 | | 2 | 1 | | | | 1 | | 14 | | | 15 | 252 | 9 | 424 | 2 | | | 4 | 6 | 436 |
| | 5 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 2 | 2 | 8 | 29 | 46 | | 1 | | | 1 | | | 24 | 12 | | 1 | 2 | | | | | | 9 | | 1 | 18 | 245 | 7 | 412 | 1 | | | 12 | 4 | 429 |
| | 小計 | 2 | 2 | 3 | | 1 | 3 | 5 | 9 | 61 | 101 | | 3 | | | 2 | | 1 | 43 | 23 | | 3 | 3 | | | | 1 | | 23 | | 1 | 33 | 497 | 16 | 836 | 3 | | | 16 | 10 | 865 |
| 捨て場2 | 4－a | | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | 22 | 36 | | 3 | | | | | | 27 | 18 | 1 | 4 | 1 | | | 1 | | | 34 | | | 9 | 145 | 10 | 316 | | | | 5 | 6 | 327 |
| | 4－c | | | | | | 1 | 3 | 1 | 33 | 27 | | 3 | 1 | | 3 | | 2 | 45 | 31 | 3 | 14 | 2 | | | | 4 | | 49 | 1 | 3 | 17 | 140 | 13 | 396 | 1 | 2 | | 13 | 6 | 418 |
| | 4－b | | 2 | 3 | 2 | | 1 | 2 | 2 | 32 | 43 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 21 | 16 | | 8 | | | | | 1 | | 44 | | | 12 | 181 | 8 | 382 | 1 | | 1 | 9 | 4 | 397 |
| | 5 | 1 | | | 3 | | 1 | 2 | 1 | 51 | 79 | 1 | 3 | 2 | | 3 | | | 32 | 28 | | 12 | 5 | | | | 11 | | 59 | | | 13 | 377 | 11 | 695 | 1 | 1 | 1 | 9 | 4 | 711 |
| | 6－a | 1 | | | | | 1 | 1 | | 19 | 30 | 1 | 3 | | | 3 | 1 | | 31 | 25 | 2 | 3 | 2 | 1 | | | 2 | | 31 | | 1 | 7 | 124 | 7 | 297 | | | | 5 | 12 | 314 |
| | 6－c | | | | | | | | | 5 | 5 | | 3 | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 6 | | | 2 | 4 | 2 | 31 | | 1 | | 3 | | 35 |
| | 小計 | 2 | 2 | 5 | 5 | | 5 | 9 | 5 | 162 | 220 | 2 | 16 | 4 | | 12 | 2 | 3 | 156 | 118 | 6 | 41 | 10 | 1 | | 1 | 18 | 1 | 223 | 1 | 4 | 60 | 971 | 51 | 2,117 | 3 | 4 | 2 | 44 | 32 | 2,202 |
| 表土及び捨て場以外 | | 5 | 5 | 4 | 2 | | 4 | 9 | 5 | 141 | 200 | 3 | 9 | 4 | 1 | 18 | 2 | 5 | 204 | 113 | 1 | 47 | 9 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 135 | | | 77 | 914 | 57 | 1,979 | 12 | 5 | | 67 | 25 | 2,088 |
| 合計 | | 9 | 9 | 12 | 7 | 1 | 12 | 23 | 19 | 364 | 521 | 5 | 28 | 8 | 1 | 32 | 4 | 8 | 403 | 254 | 7 | 91 | 22 | 1 | 1 | 3 | 21 | 2 | 381 | 1 | 5 | 170 | 2,382 | 124 | 4,632 | 18 | 9 | 2 | 127 | 67 | 5,155 |

第4表　層位別器種別石器類出土数一覧表

| 場所 | 層位 | 器種 / 分類 | 石鏃 | | | | | | 石槍 | | | | 石錐 | | | 篦状石器 | | | | | | | ピエス・エスキーユ | | | 縦型石匙 | | | | | | 不定型石器 | | | | | | | | | 磨製石斧 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | 計 | a | b | c | 計 | a | b | 計 | Aaイ | Acイ | Baイ | Bbウ | Bcア | Bdイ | 計 | a | b | 計 | a | b | c | d | 不明 | 計 | a | b | c | d | e | f | g | h | 計 | a | ab | b | bc | c | abc | 計 |
| 捨て場1 | 4 | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | 2 | | 2 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | 1 | | 3 | 6 | 4 | 3 | | 3 | 8 | 1 | 7 | 32 | | | | | 1 | 1 | 2 |
| | 5 | | | 1 | | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 1 | | 2 | 5 | 8 | 4 | | 3 | 5 | | 4 | 29 | | 1 | | | | | 1 |
| | 小計 | | | 1 | | 1 | | 2 | 1 | 1 | | 2 | 3 | | 3 | | | | | | | | 1 | 2 | 3 | | 1 | 3 | 2 | | 5 | 11 | 12 | 7 | | 6 | 13 | 1 | 11 | 61 | | 1 | | | 1 | 1 | 3 |
| 捨て場2 | 4－a | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 1 | 5 | 4 | 3 | | 2 | 6 | | 2 | 22 | 1 | | | 1 | | 1 | 3 |
| | 4－c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 2 | | 3 | 4 | 7 | 7 | | 3 | 9 | 1 | 2 | 33 | | 2 | 1 | | | | 3 |
| | 4－b | | | | | | | | | 2 | | 2 | 1 | 2 | 3 | | | | 1 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | | | | 2 | | 2 | 3 | 6 | 4 | 1 | 4 | 11 | 1 | 2 | 32 | | | | | | 1 | 1 |
| | 5 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | 1 | 3 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | 2 | 11 | 7 | 8 | 5 | 5 | 12 | | 3 | 51 | | | 2 | | 1 | | 3 |
| | 6－a | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | 5 | 2 | 2 | | 4 | 1 | 4 | 19 | 1 | 1 | | 1 | | | 3 |
| | 6－c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | | 5 | 1 | 1 | | | | 1 | 3 |
| | 小計 | | | | 1 | 1 | 2 | | 2 | | 2 | 3 | 2 | 5 | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 | 4 | 1 | 5 | 1 | | 3 | 5 | | 9 | 25 | 31 | 24 | 8 | 14 | 43 | 4 | 13 | 162 | 3 | 4 | 3 | 2 | 1 | 3 | 16 |
| 表土及び捨て場以外 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | 5 | 1 | 3 | 1 | 5 | 2 | 2 | 4 | 1 | 1 | | | | | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | | 3 | 2 | 1 | 9 | 22 | 34 | 15 | 8 | 18 | 30 | 4 | 10 | 141 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 9 |
| 合計 | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 9 | 2 | 6 | 1 | 9 | 8 | 4 | 12 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 7 | 8 | 4 | 12 | 4 | 1 | 9 | 8 | 1 | 23 | 58 | 77 | 46 | 16 | 38 | 86 | 9 | 34 | 364 | 5 | 7 | 4 | 3 | 4 | 5 | 28 |

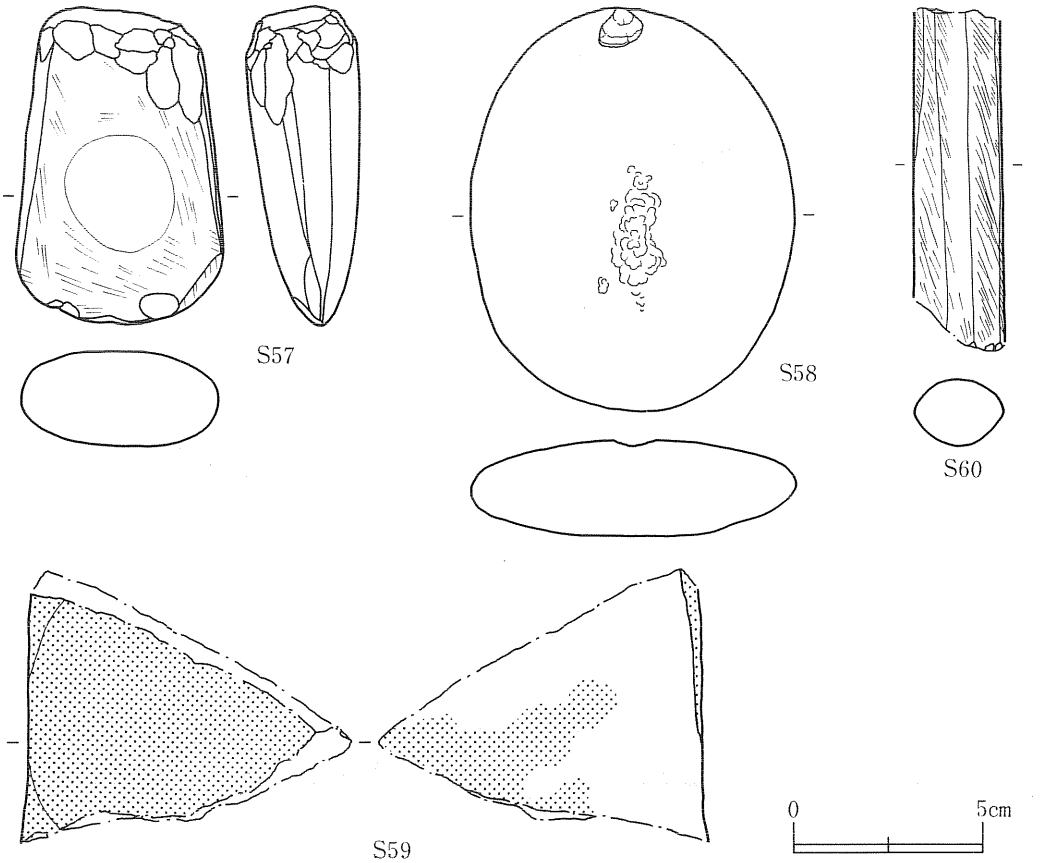
| 場所 | 層位 | 器種 / 分類 | 石皿 | | | | | | | | | | 岩版 | | | | | | | | | | 二次加工のある剥片 | | | | | | | | 石核 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | a' | b | b' | c | d | e | f | g | 計 | aア | aイ | aウ | aカ | bア | bエ | bオ | bカ | c | 計 | a | b | c | d | e | f | g | 計 | B-a | B-b | B-c | B-d | B-e | S-a | S-b | S-c | K | R | 計 |
| 捨て場1 | 4 | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | | | 1 | 6 | 5 | 15 | 1 | 3 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | 9 |
| | 5 | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | 1 | 8 | 6 | 18 | 1 | | 1 | 2 | | 1 | | | 2 | | 7 |
| | 小計 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | 3 | | | | | | | | 1 | | 1 | 3 | 3 | | | 2 | 14 | 11 | 33 | 2 | 3 | 3 | 2 | | 2 | 1 | 1 | 2 | | 16 |
| 捨て場2 | 4－a | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | | 4 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | 3 | 3 | 9 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 4 | | 1 | | 10 |
| | 4－c | | 7 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 3 | | 14 | 1 | | | 1 | 1 | | | | 1 | 4 | 1 | 2 | 3 | | | 7 | 4 | 17 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 3 | 1 | | 2 | 3 | 13 |
| | 4－b | | 4 | | 1 | | 1 | | | 2 | | 8 | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 3 | 6 | 12 | 3 | | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | 8 |
| | 5 | | 7 | 1 | 1 | | | | 1 | 2 | | 12 | 4 | 3 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 11 | 3 | | 2 | | | 4 | 4 | 13 | 1 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | | 1 | 1 | 11 |
| | 6－a | | 1 | | | | 1 | | | | 1 | 3 | | | | | | | | | 2 | 2 | 1 | | | | | 3 | 3 | 7 | | | 1 | | | 1 | | 1 | 2 | 2 | 7 |
| | 6－c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 2 | | | 1 | | 1 | | | | | | 2 |
| | 小計 | | 20 | 2 | 3 | | 3 | 2 | 2 | 8 | 1 | 41 | 5 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | | 3 | 18 | 7 | 3 | 7 | 2 | | 21 | 20 | 60 | 6 | 2 | 8 | 1 | 4 | 7 | 8 | 2 | 7 | 6 | 51 |
| 表土及び捨て場以外 | | | 4 | 2 | 3 | 1 | 5 | 15 | 5 | 12 | | 47 | 2 | | | | | | | | | 2 | 13 | 2 | 4 | 4 | 1 | 29 | 24 | 77 | 9 | 2 | 10 | 5 | 3 | 7 | 8 | 3 | 6 | 4 | 57 |
| 合計 | | | 24 | 4 | 6 | 1 | 8 | 18 | 8 | 21 | 1 | 91 | 7 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 21 | 23 | 8 | 11 | 6 | 3 | 64 | 55 | 170 | 17 | 7 | 21 | 8 | 7 | 16 | 17 | 6 | 15 | 10 | 124 |

第5表　分類別石器出土数表




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S48 | NH49 | B | 4 | 石鏃 | d | 3.8 | 2.1 | 1.1 | 7.0 |
| S49 | NF50 | C | 4 | 不定形石器 | e | 2.9 | 3.3 | 0.8 | 6.6 |
| S50 | NE51 | D | 4 | 不定形石器 | f | 3.0 | 3.9 | 1.0 | 6.7 |
| S51 | NP50 | C | 4 | 微小剥離痕のある剥片 | | 5.6 | 3.7 | 1.1 | 19.7 |
| S52 | NG51 | D | 4 | 微小剥離痕のある剥片 | | 4.0 | 5.7 | 1.1 | 23.6 |
| S53 | NE50 | B | 4 | 二次加工のある剥片 | b | 5.9 | 3.7 | 1.7 | 37.1 |
| S54 | NF50 | A | 4 | 二次加工のある剥片 | f | 4.6 | 4.0 | 1.5 | 25.8 |
| S55 | NG50 | B | 4 | 石核 | S－b | 3.9 | 5.7 | 2.0 | 45.9 |
| S56 | NG50 | B | 4 | 石核 | S－c | 2.7 | 6.1 | 2.7 | 58.7 |

**第96図　捨て場１（４層）出土石器(1)**




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S57 | NF51 | A | 4 | 磨製石器 | abc | ( 8.3) | 5.4 | 1.5 | (201.9) |
| S58 | NG51 | B | 4 | 凹石 | | 10.7 | 8.6 | (2.6) | 351.7 |
| S59 | NF50 | C | 4 | 石皿 | e | ( 7.3) | (8.3) | 1.3 | (118.9) |
| S60 | NF50 | D | 4 | 石剣 | | ( 9.1) | 2.5 | 1.9 | (66.9) |

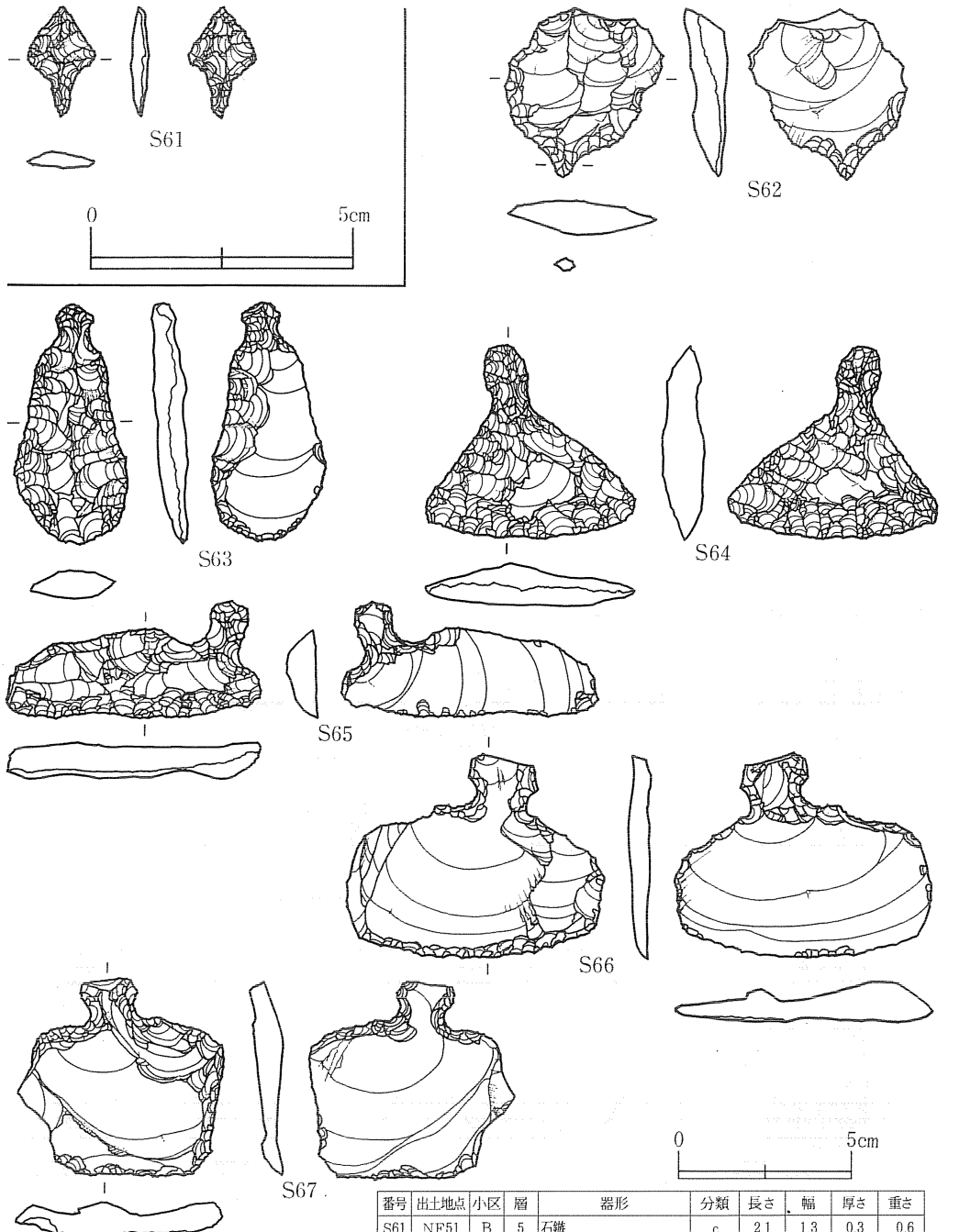
**第97図　捨て場１（４層）出土石器(2)**

遺物包含層は斜面下の沖積面及びそれに連続する斜面最下部と、沢を中心とする斜面中腹から台地縁辺部に形成されている。上位から４－ａ層、４－ｃ層、４－ｂ層、５層、６－ａ層、６－ｃ層で、その上を浮石粒を含む２層と表土層が覆っている。

４－ａ層は斜面の下部から沖積面にかけての東西に広い範囲になるが、遺物が最も集中するのはＮＯ48グリッドで、ＮＬ49グリッド付近でもややまとまって出土した。

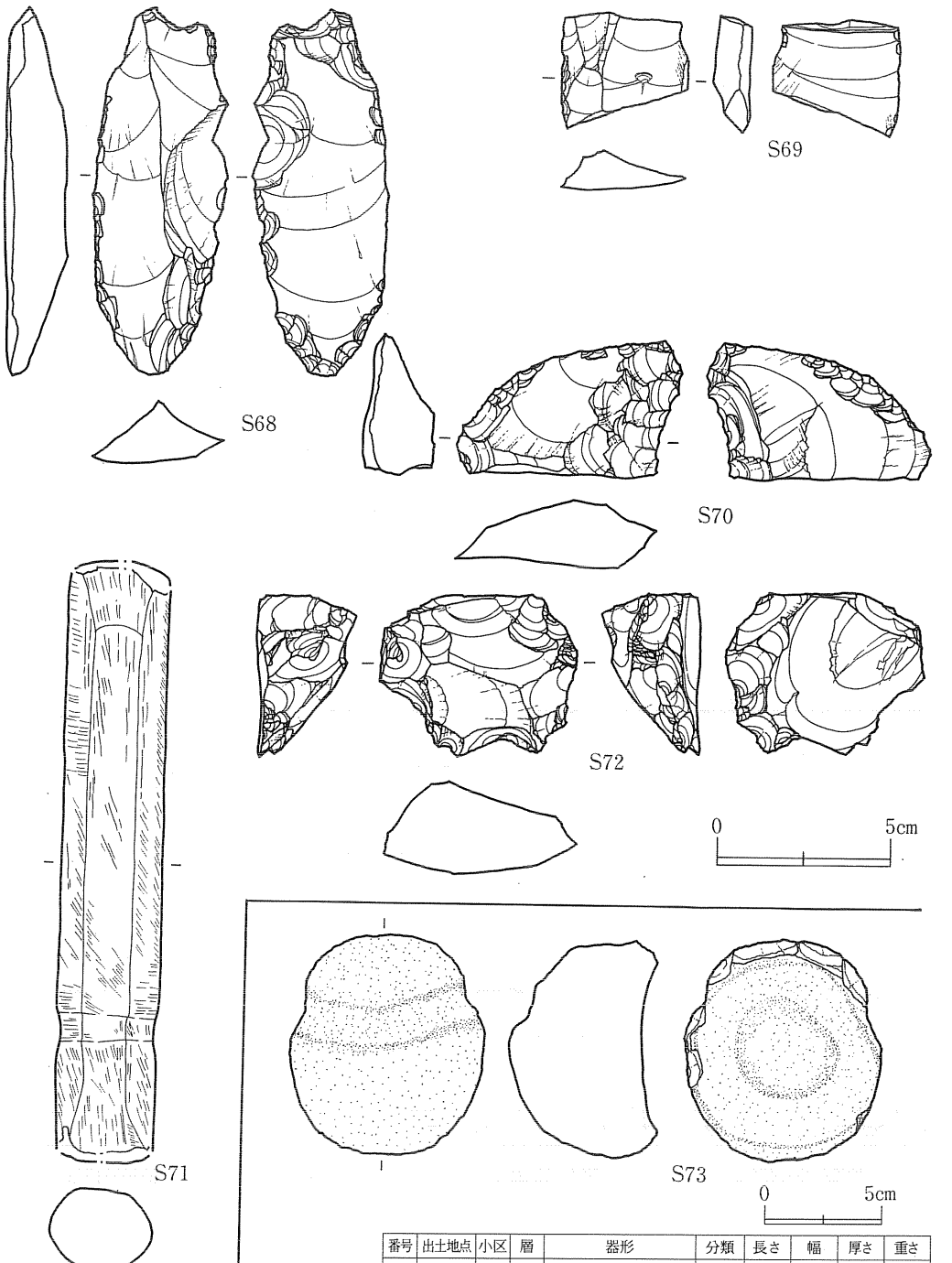
４－ｃ層は斜面の下部から沖積面にかけての東西に広い範囲に広がり、遺物が最も集中するのはＮＮ～ＮＱ48グリッドである。ＮＰ48グリッドの西側とＮＱ48グリッドは沢の下部で、沖積面への開口部にあたる。

４－ｂ層は５層とほぼ同じ範囲に広がり、遺物が最も集中するのはＮＯ48グリッドの北側半分からＮＯ50グリッドの南側半分の範囲である。４－ａ層、４－ｃ層にくらべて集中部がやや




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S61 | NF51 | B | 5 | 石鏃 | c | 2.1 | 1.3 | 0.3 | 0.6 |
| S62 | NF52 | C | 5 | 石錐 | a | 4.8 | 4.5 | 1.1 | 17.1 |
| S63 | NE50 | D | 5 | 縦型石匙 | b | 6.9 | 3.3 | 1.0 | 17.4 |
| S64 | NF52 | C | 5 | 横型石匙 | | 5.5 | 6.1 | 1.2 | 27.0 |
| S65 | NF52 | D | 5 | 横型石匙 | | 3.3 | 7.3 | 1.0 | 21.7 |
| S66 | NG52 | C | 5 | 横型石匙 | | 5.9 | 7.4 | 0.6 | 27.4 |
| S67 | NF52 | B | 5 | 横型石匙 | | 5.7 | 6.0 | 1.0 | 28.0 |

第98図　捨て場１（５層）出土石器(1)




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S68 | NE50 | D | 5 | 不定形石器 | a | 10.6 | 3.9 | 1.8 | 61.0 |
| S69 | NF52 | A | 5 | 不定形石器 | a | 3.4 | 3.7 | 1.1 | 13.0 |
| S70 | NF52 | D | 5 | 不定形石器 | b | 4.0 | 6.5 | 2.1 | 47.8 |
| S71 | NE52 | C | 5 | 石剣 | | 17.4 | 3.0 | 2.4 | 236.1 |
| S72 | NF52 | D | 5 | 石核 | B－b | 4.7 | 5.7 | 2.9 | 70.3 |
| S73 | NG52 | B | 5 | 凹みのある石製品 | | 9.5 | 8.4 | 6.4 | 568.0 |

**第99図　捨て場１（５層）出土石器(2)**

斜面中腹寄りにずれる。

５層は台地上から斜面全体にかけて広がる。遺物はＮＯ47・48・49グリッドと、ＮＲ51グリッドからＮＱ48グリッドにかけての沢に最も集中する。集中地点が沢にかかる点では４－ｂ層と共通するが、沢の埋土中から出土した遺物は５層が主である。

６－ａ層は、斜面下部に東西に広がり、遺物の最も集中するのはＮＯ47・48、ＮＰ47・48グリッドである。

６－ｃ層は地山漸移層に対応し、ＮＭ47、48グリッドのトレンチ中に最も遺物が多い。６－ａ層より上層にくらべて、遺物集中箇所がやや東側にかたよる。

（１）土器

捨て場２からは多量の遺物が出土した。このうち、土器はⅢ群土器が圧倒的に多い。第６表によって捨て場２の層別の土器組成比率を上位からみると以下のようになる。

４－ａ層では28点中、壺が９点（32.1％）を占める。４－ｃ層では鉢・台付鉢・壺で73点中、49点（67.1％）で、そのうち壺が23点（31.5％）を占めるが、鉢・台付鉢も26点（35.6％）と高率である。５層・６－ａ層では、壺の比率が相変わらず高いが、６－ａ層では、51点中、23点（45.1％）と非常に高率を示す。また、同じ６－ａ層で、注口土器の比率が、７点（13.7％）と高い。

以上をトータルでみると、壺は34％、鉢・台付鉢は28.6％で、全体の62.6％を占める。深鉢は9.7％で、浅鉢・台付浅鉢・皿・注口は5.8％～7.8％と比較的似たような数字であるが、香炉・ミニチュア土器は１％と極めて少なく、特殊な器形であることがわかる。

次に層毎の主な土器について概観してみる。４－ａ層からは香炉・ミニチュアを除く各種類が出土している。このうち397(第102図)は高台付浅鉢で胴部上半～口縁部には沈線間に刻目、口縁部は４単位の突起、台部には透かしが入る。400、401は雲形文を施文した皿である。397、400、401とも内外面を丁寧に仕上げている。この他、土偶（1024）・土面（1030）・腕輪(1047)が出土している。

４－ｃ層でも４－ａ層と同じように香炉・ミニチュアを除く各種類の土器が出土している。696～703(第126・127図)のように胴部上半から口縁部が「Ｓ」字状に外反し、帯状入組文が三叉状に咬み合うものや、上記と同じ器形であるが、410(第104図)のように「玉抱き三叉文」風の文様を施文する土器もある。これらの土器は後期最終末～晩期初頭に位置付けられる土器である。また416も似たような器形の台付鉢形土器（Ｈ２類）であるが、口頸部は三叉状入組文を施文し、口縁部は「Ｂ」突起と刻目が入る。さらに、雲形文を施文した皿（第105図429－Ｄ類）・短頸長胴壺（第106図446－Ｍ類）なども散見される。この他、無文の台付浅鉢・皿・壺・注口土器なども出土している。台付浅鉢426（第105図－Ｂ類）はＳＫ63で晩期前半の深鉢と共

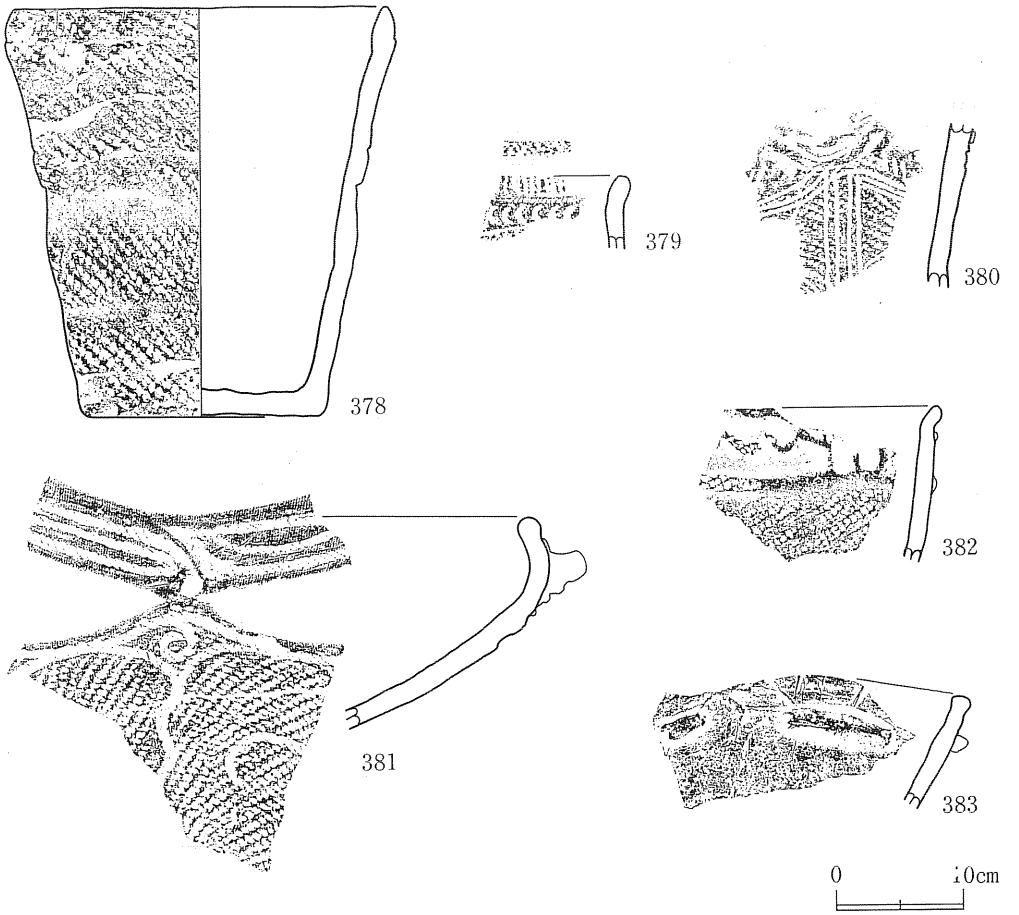
伴している台付浅鉢と同一器形であるが、426の方の台が薄手で外に開かず、真っすぐ立ち上がる台であることから、やや時期的に古いかも知れない。壺は数も多く大きさ・器形ともバラエティがある。433（Ｄ１類）・447（Ｌ類）のような大型のもの、438（Ｆ２類）のような中型のもの、430（Ａ２類）、436（Ｅ２類）、437（Ｆ２類）のような小型のものなどがある。430、434（Ａ１類）は比較的長い口頸部がまっすぐ立ち上がるのが特徴的であり、胎土や焼成からすれば、これらの中でも古い段階に属すると思われる。注口土器は448（Ｅ類）、449（Ａ類）のように後期末～晩期前葉のものが出土している。以上のように４－ｃ層からは後期末葉から晩期中葉の土器が出土している。この他、土偶２点（1021・1027）・土製品(1045)が出土している。

４－ｂ層からは、深鉢・鉢・台付浅鉢・壺・皿・ミニチュアなど各種の土器が出土している（第107図、第130～133）。完形・復原品ではＩ類とした、短かくまっすぐ立ち上がる口縁部で、口唇部に刻目を施した晩期中葉の深鉢（450）や、口縁部に４条の平行沈線、口唇部に刻目を施文し、口縁部には「Ａ」突起が４単位付くＩ類とした鉢（451）や、玉抱き三叉文を施文した台付き浅鉢（452－Ｄ類）がある。この他、皿と思われる四足土器（454－Ｈ類）やミニチュア土器（455）も出土している。破片資料では、帯状入組文を施文した深鉢(755～758）や、雲形文を施文した皿（787）も出土している。以上のように４－ｂ層からは後期末葉～晩期後葉の土器が出土している。

| 器種／層 | 深　鉢 | 鉢 | 台付鉢 | 浅　鉢 | 台付浅鉢 | 皿 | 壺 | 注　口 | その他（香炉・ミニチュア） | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ４－ａ | 2 (7.1) | 3 (10.7) | 3 (10.7) | 3 (10.7) | 3 (10.7) | 3 (10.7) | 9 (32.1) | 1 (3.6) | 1 (3.6) | 28 |
| ４－ｃ | 10(13.7) | 16(21.9) | 10(13.7) | 4 (5.5) | 4 (5.5) | 3 (4.1) | 23(31.5) | 3 (4.1) | 0 | 73 |
| ４－ｂ | 1 (10.0) | 1 (10.0) | 0 | 3 (30.0) | 2 (20.0) | 1 (10.0) | 1 (10.0) | 0 | 1 (10.0) | 10 |
| ５ | 5 (12.2) | 6 (14.6) | 7 (17.1) | 1 (2.4) | 2 (4.9) | 4 (9.3) | 13(31.7) | 3 (7.3) | 0 | 41 |
| ６－ａ | 2 (3.9) | 6 (11.8) | 6 (11.8) | 2 (3.9) | 4 (7.8) | 1 (2.0) | 23(45.1) | 7 (13.7) | 0 | 51 |
| ６－ｃ | 0 | 0 | 1 (33.3) | 0 | 1 (33.3) | 0 | 1 (33.3) | 0 | 0 | 3 |
| 合　計 | 20 | 32 | 27 | 13 | 16 | 12 | 70 | 14 | 2 | 206 |
| 各器形毎の比率(%) | 9.7 | 15.5 | 13.1 | 6.3 | 7.8 | 5.8 | 34.0 | 6.8 | 1.0 | |

※⅓以上に復原できた資料の集計(点数)　※(　)内は層毎の比率（%）

**第６表　捨て場２　層別土器組成表**

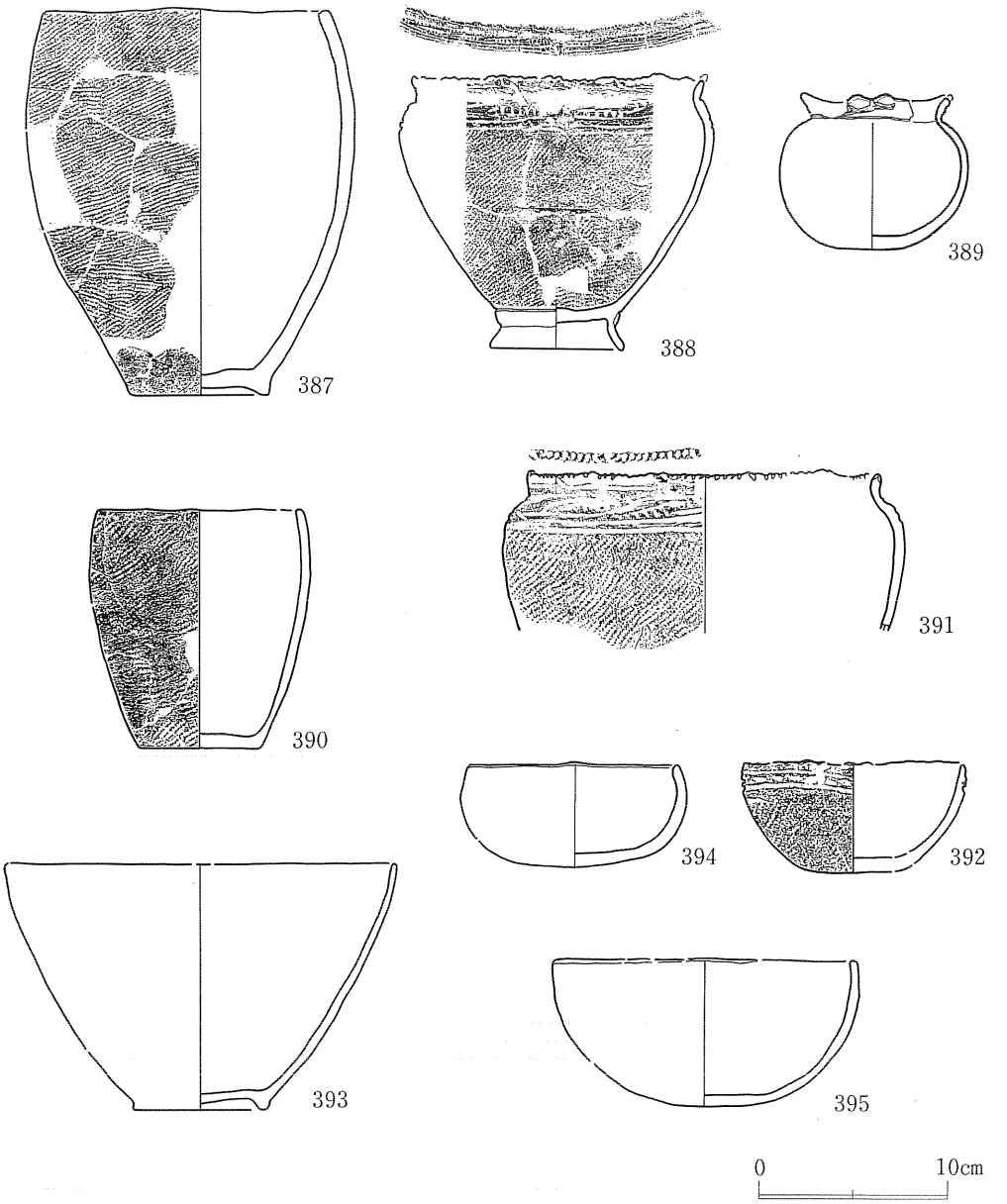



| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 378 | NO49 | A | 1-b | 深鉢 | A | | | | 縄文 | RLR | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 379 | NO49 | D | 4-b | 深鉢 | B | | | | R側面圧痕→瓜形文 | RL | 横 | | | |
| 380 | NO49 | A | 1-b | | C | | | | 縄文→3～4条の平行沈線 | R | 横 | | | |
| 381 | NO49 | B | 5 | 浅鉢 | D | | | | 口縁・隆線に沿う縄文の圧痕 | RL | 縦 | | | |
| 382 | NR51 | D | 5 | 深鉢 | E | | | | 地文縄文、山形と直線の隆線 | LR | 横 | ミガキ・ナデ | | |
| 383 | NN49 | A | 2 | 深鉢 | F | | | | 地文無文、粘土紐貼付 | | | ミガキ | | |

**第100図　出土Ⅱ群土器**

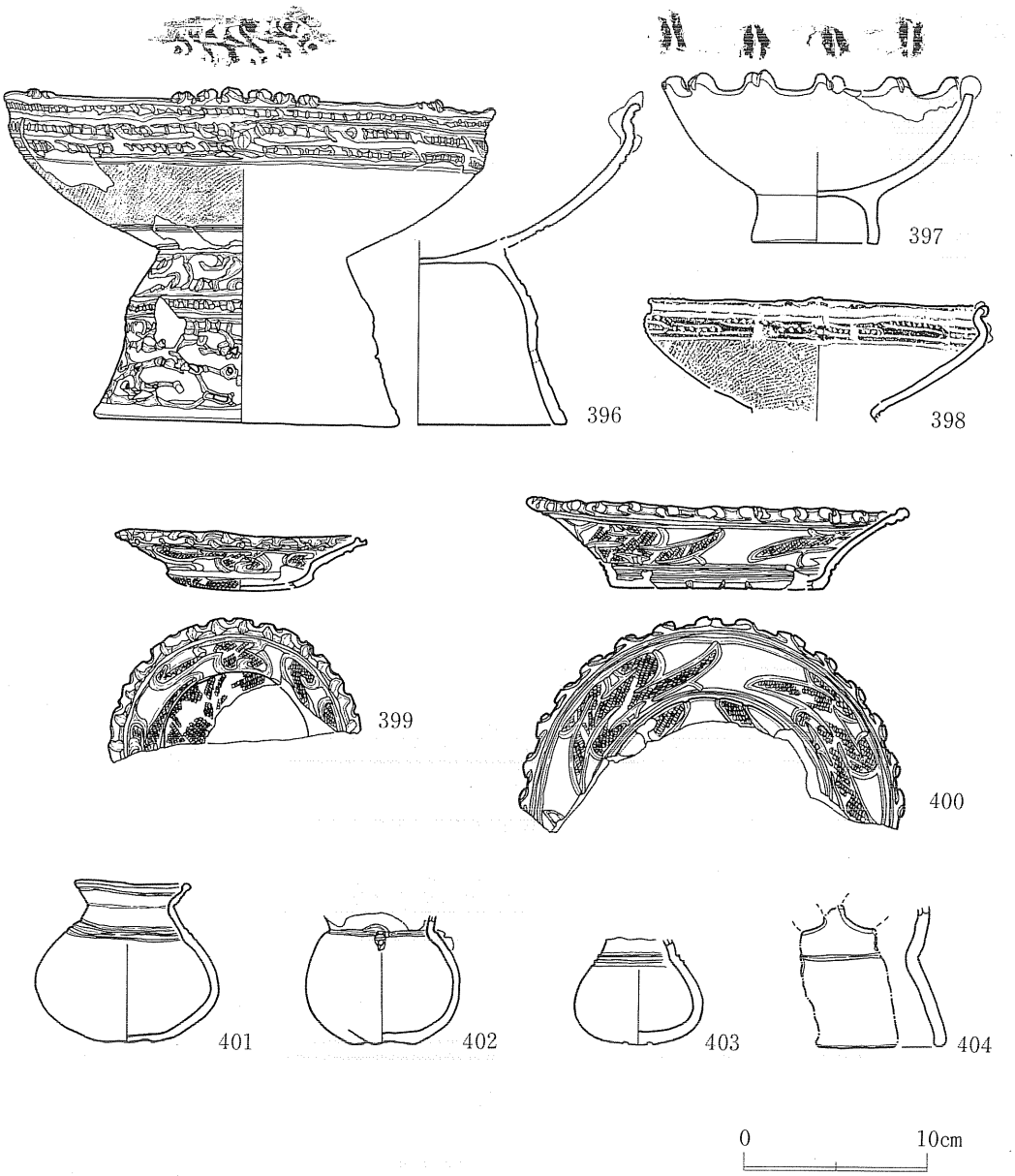
５層からはミニチュア、香炉を除く各種の土器が出土しているが、壺が多くしかも赤色塗彩されたものがほとんどで、大・小のバラエティがあり、三叉状入組文を施文した土器が多い。皿の中では470（第108図－Ｈ類）のように４足のものも見られる。注口土器は478～480（第109図）などがあり、それぞれＤ・Ｅ・Ｆ類に分類したもので晩期前葉～中葉という変遷が考えられる。この他、土偶(1023)・円盤状土製品(1031)・耳飾り(1037)・腕輪(1053・1054)が出土している。

６－ａ層では４－ｃ層と同じように多くの土器が出土し、器形もミニチュア・香炉を除く各種があり、バラエティに富む（第110～113・138～144図）。488は鉢（Ｅ類）で、口縁部の平行沈線間に４つの刻目帯を有し、そのうち１つの刻目帯にボタン状貼付文を２箇１対施文する



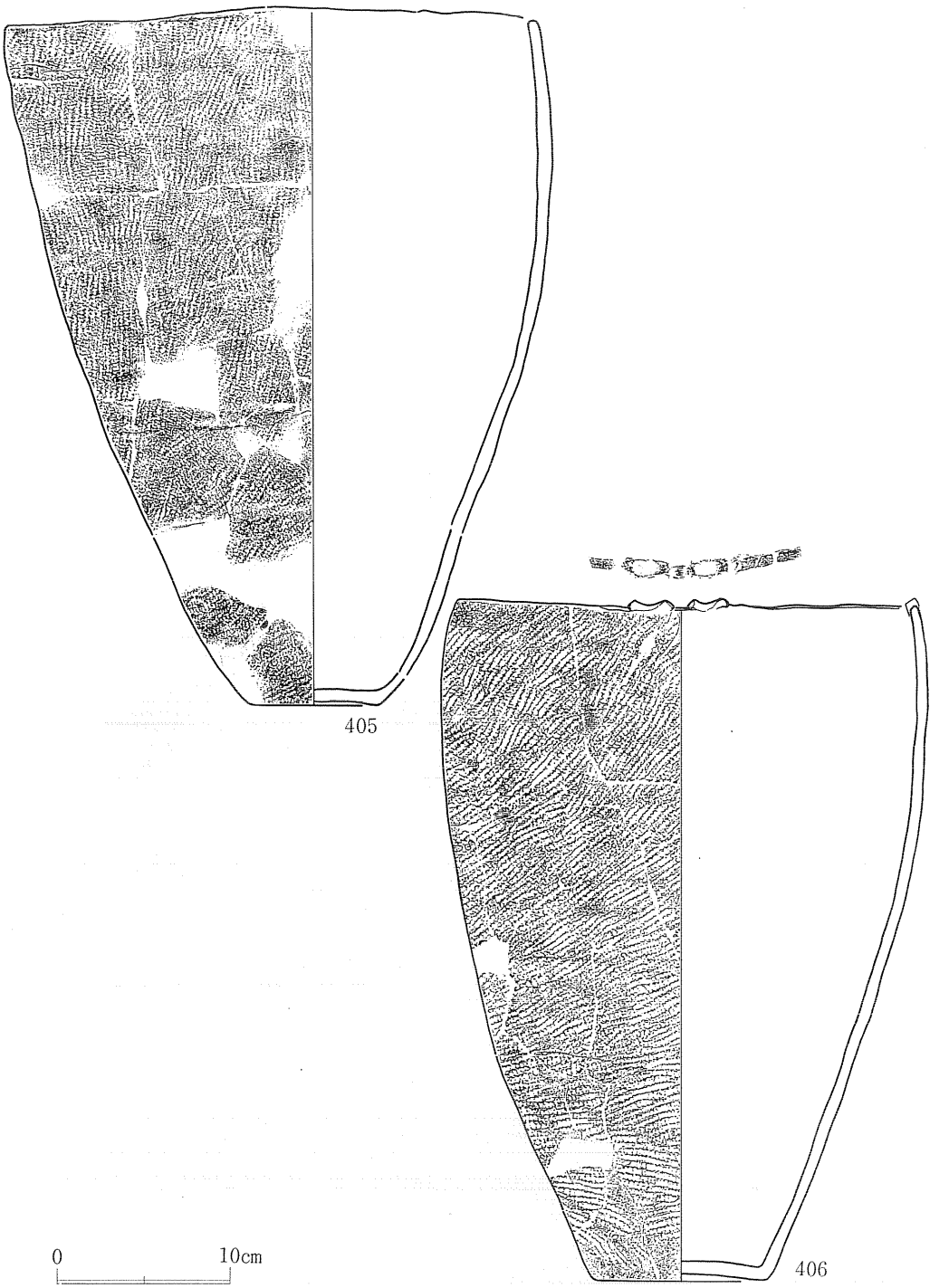

| 番号 | 出土地点 | 区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 387 | NF52 | D | 5 | 深鉢 | C 1 | 18.5 | 5.1 | 20.8 | 縄文 | L R | 横・斜 | ミガキ | ススス | |
| 388 | NQ48 | B | 5 | 台付鉢 | J | 15.3 | 6.6 | 12.5 | 縄文＋平行沈線＋刻目 | L R | 横 | | ススス | ススス |
| 389 | NE53 | C | 5 | 壺 | H | | 丸底 | 8.3 | 2箇1対の突起 | | | ミガキ | | |
| 390 | NO48 | A | 4-a | 深鉢 | D 2 | (11.2) | 6.6 | 12.7 | 縄文 | L R | 横 | ミガキ・ナデ | | |
| 391 | NP48 | B | 4-a<br>4-c | 深鉢 | J | 19.2 | × | ( 8.6) | 羊歯状文、口縁は刻目・「B」突起 | L R | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 392 | NO48 | D | 4-a | 鉢 | C | 12.0 | 5.4 | 6.1 | 縄文＋平行沈線＋列点文 | L R | 横 | ミガキ | | |
| 393 | NO48 | B | 4-a | 台付鉢 | C | × | 6.6 | 13.1 | | | | ミガキ | | |
| 394 | NO49 | D | 4-a | 浅鉢 | A | 11.8 | 丸底 | 5.8 | | | | ミガキ | | |
| 395 | NO48 | | 4-a | 浅鉢 | B | (14.9) | 丸底 | 7.8 | | | | ミガキ | | |

**第101図　捨て場1　５層，捨て場２　４-a層出土Ⅲ群土器(1)**



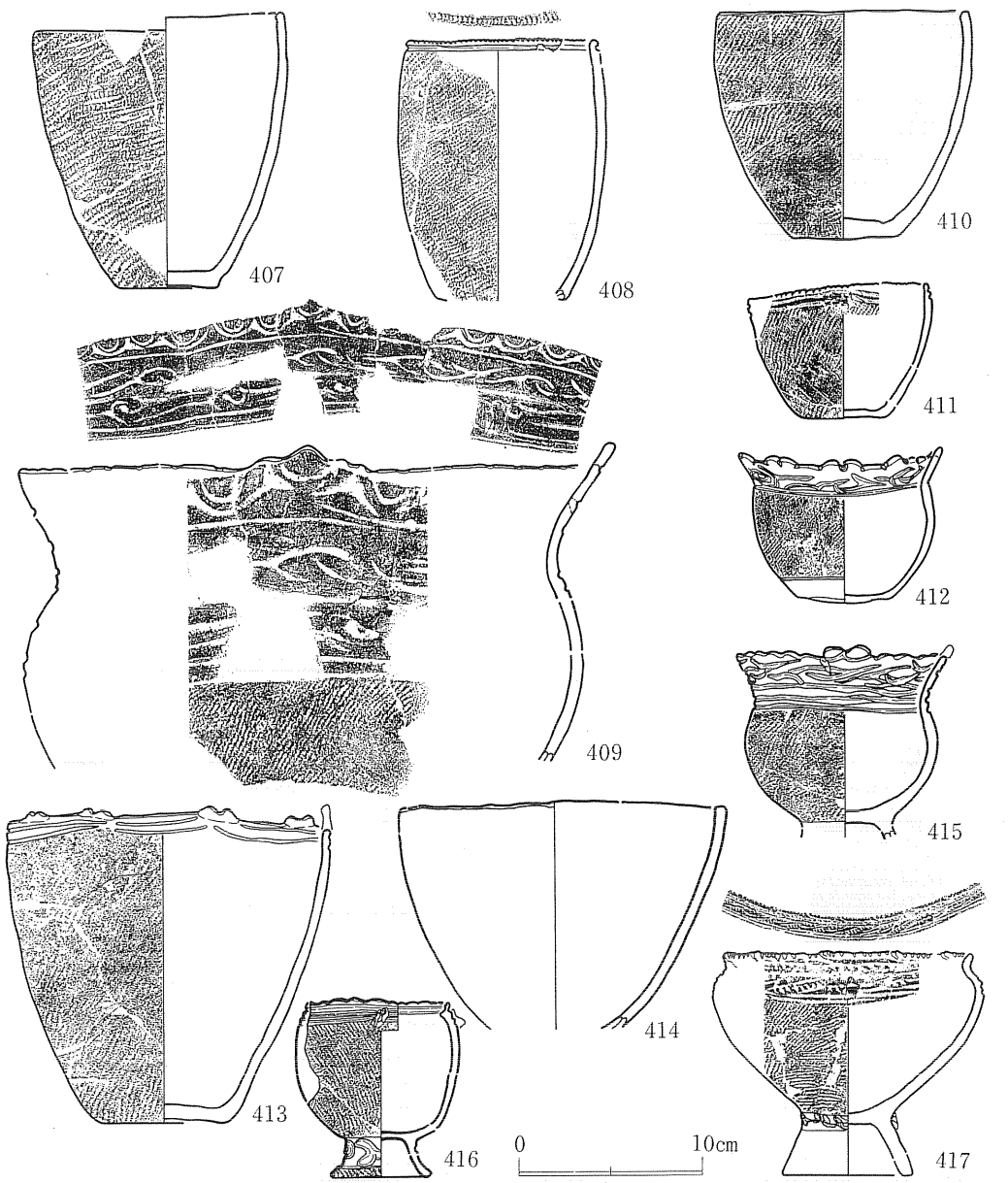

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 396 | NO48 | A-1<br>C-4 | 4-c<br>4-e | 台付鉢 | E | 26.8 | 10.2 | 18.4 | 2箇所単位のB突起、山形6箇所対B突起+刺突列+羊歯状文、台ネガ文様+刻目+入組状の透し | LR | 横 | ミガキ | | |
| 397 | NO48 | B | 4-a | 台付鉢 | C | 17.4 | 6.8 | 9.1 | 刻目のある突起列11個? | | | ミガキ | | |
| 398 | NP48<br>NO48 | B<br>B | 4-a | 台付鉢 | E | 18.8 | × | ( 6.1) | 羊歯状文 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 399 | NO48 | B | 4-a | 皿 | E 2 | (13.7) | × | ( 3.0) | 雲形文、口縁に刻目 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 400 | NP48 | B | 4-a | 皿 | E 1 | 20.2 | (11.4) | 4.9 | 雲形文、口縁に刻目 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 401 | NM49 | A | 4-a | 壺 | G 3 | 6.2 | 2.5 | 8.8 | 平行沈線文 | | | ミガキ | | |
| 402 | NO48 | B | 4-a | 壺 | H | × | 4足 | ( 7.4) | 沈線→貼瘤 | | | ミガキ | 黒色研磨 | |
| 403 | NP48 | B | 4-a | 壺 | K | × | 1.5 | (5.7) | 平行沈線 | | | ミガキ | 赤色塗彩 | |
| 404 | NP48 | | 4-a | 脚(?) | | | | | 透し部に赤色塗彩 | | | ナデ | | |

**第102図　捨て場２　４-a層出土Ⅲ群土器(2)**



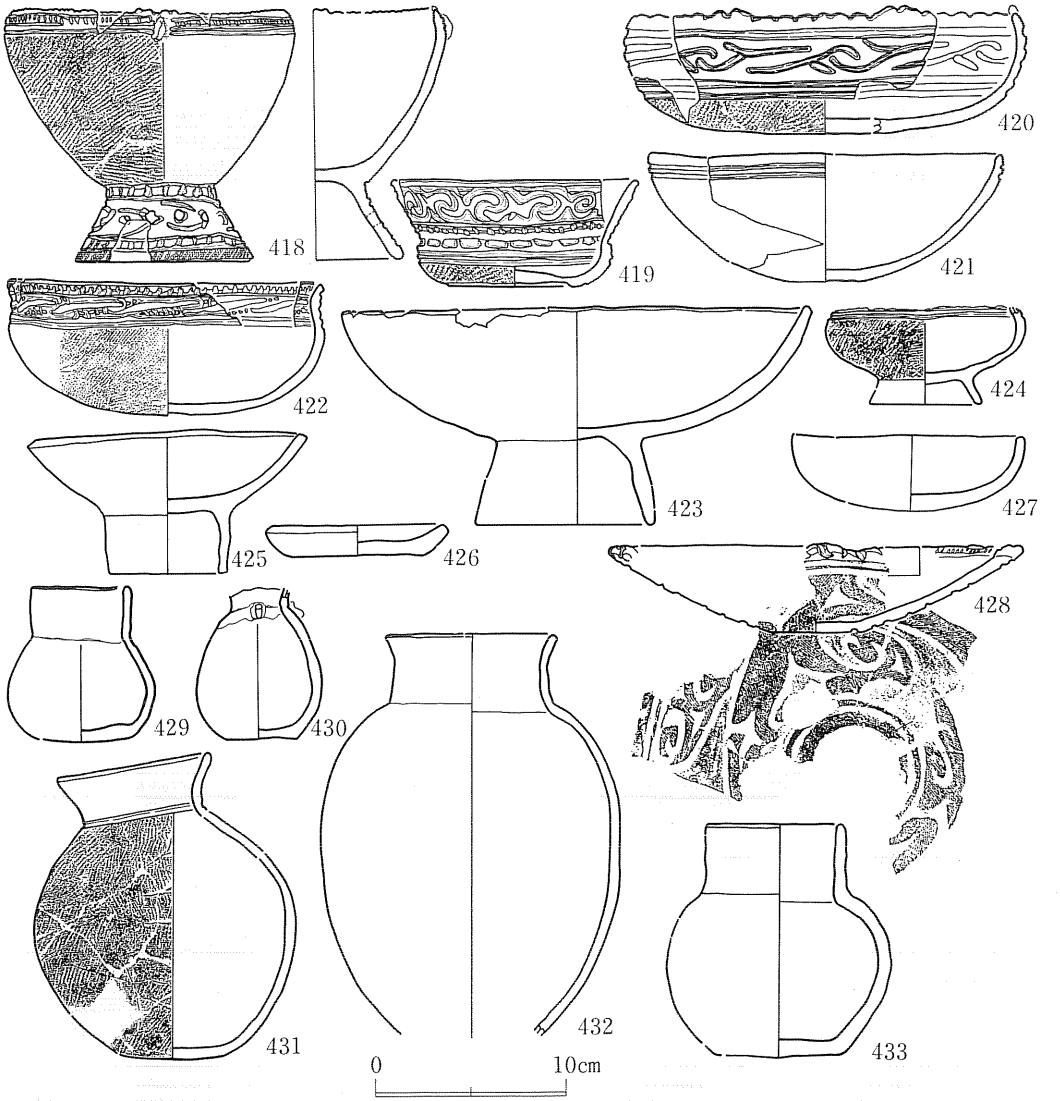

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 405 | NQ48 | A | 4-c | 深鉢 | D 2 | 31.2 | 7.7 | 40.7 | 縄文 | L R | 不整 | ナデ | ススス | ススス |
| 406 | NO48 | A | 4-c | 深鉢 | B 1 | 27.8 | 10.4 | 39.9 | 縄文、口縁部に2箇1対の「B」突起 | L R | 不整 | ナデ | ススス | |

第103図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ群土器(1)



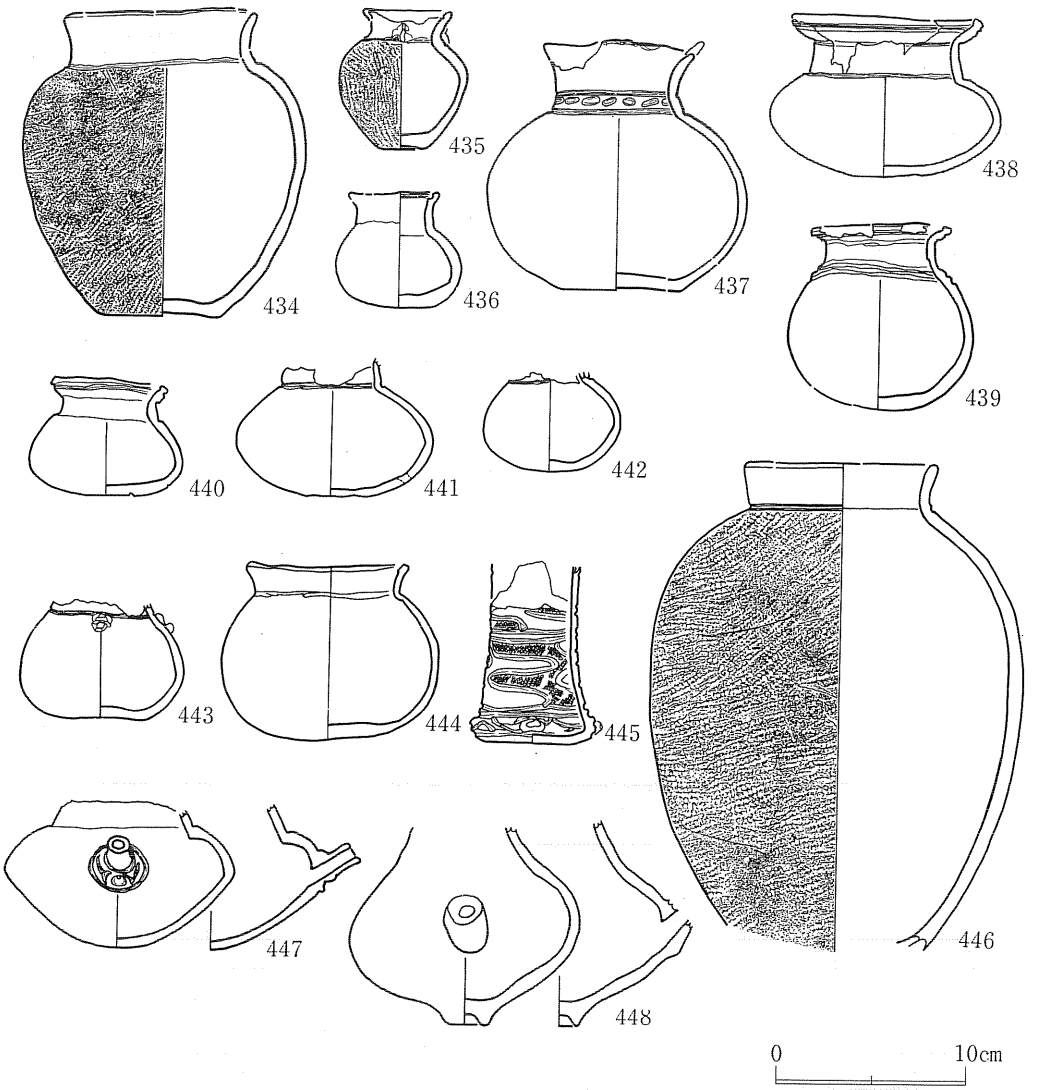

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 407 | NO48 | C | 4-c | 深鉢 | D 2 | (12.2) | 5.2 | 15.0 | 縄文 | L R | 横 | ミガキ | ススス | |
| 408 | NO48 | C | 4-c | 深鉢 | E 2 | (10.0) | (7.6) | (14.1) | 平行沈線、口唇部に刻目 | L R | 横 | ミガキ | | |
| 409 | NQ48<br>NQ49 | D<br>C | 6-a<br>5-c | 深鉢 | H | 33.6 | — | (17.3) | 口縁部小波状＋弧状文＋三叉状入組文 | L R | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 410 | NP48 | C | 4-c | 鉢 | A | 13.5 | 5.2 | 12.4 | 縄文 | L R | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 411 | NO48 | C | 4-c | 鉢 | C | 9.1 | 4.6 | 7.2 | 口唇部刻目、平行沈線文に貼瘤 | L R | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 412 | NQ48 | A | 4-c | 鉢 | G | 10.0 | 4.9 | 8.4 | 9単位の「B」突起、三叉状入組文 | L R | 横 | ミガキ・ナデ | ススス | ススス |
| 413 | NO48 | A | 4-c | 鉢 | H | 18.0 | 7.1 | 17.0 | 6単位の「B」突起、平行沈線文 | L R | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 414 | NO48 | D | 4-c | 台付鉢 | C | (19.3) | — | (12.3) | ミガキ | | | ナデ | | |
| 415 | NO48 | C | 4-c | 台付鉢 | H 2 | 11.9 | 5.9 | ( 9.5) | 小波状口縁、三叉状入組文 | L R | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 416 | NN48 | D<br>B | 4-c | 台付鉢 | I | ( 8.0) | 4.0 | 9.4 | 小波状口縁、平行沈線＋貼瘤 | L R | 縦 | ミガキ | | |
| 417 | NQ48 | A | 4-c | 台付鉢 | J | (15.4) | 5.5 | 12.2 | 12単位の「B」突起と刻目、羊歯状文 | L R | 横 | ミガキ・ナデ | ススス | ススス |

第104図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ群土器(2)



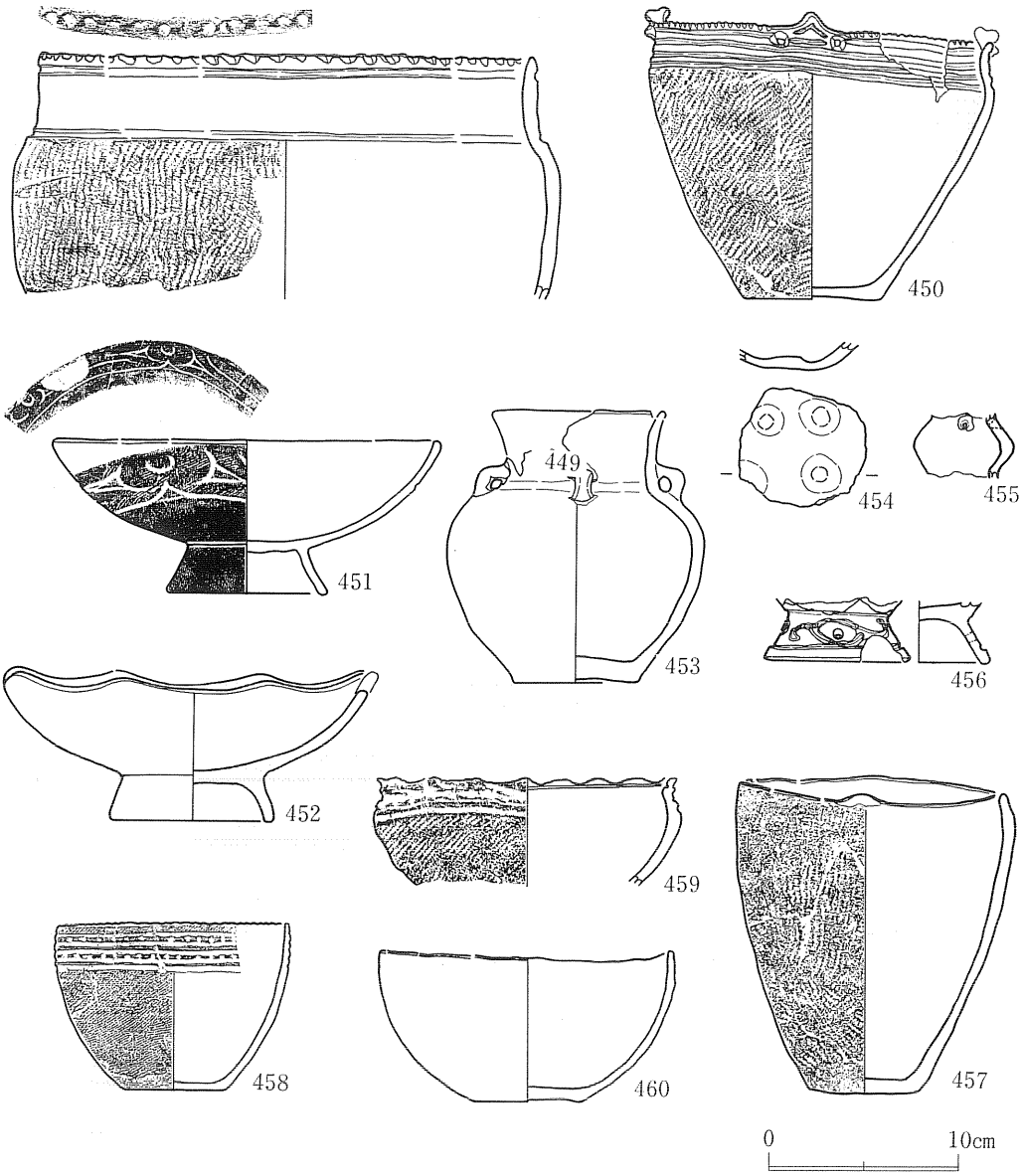

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 418 | NQ48 | D | 4-c | 台付鉢 | K | 14.3 | 5.6 | 13.4 | 口唇部刻目、平行沈線＋刺突、台に刻目と透し | ＬＲ | 不整 | ミガキ | ススス | ススス |
| 419 | NO48 | A | 4-c | 浅鉢 | G | (13.0) | 6.0 | 5.6 | 入組文＋列点文＋平行沈線 | ＬＲ | 縦 | ミガキ | | |
| 420 | NO48 | B | 4-c | 浅鉢 | A | (19.8) | － | ( 6.7) | 小波状口縁、平行沈線＋三叉状入組文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 421 | NO48 | C | 4-c | 浅鉢 | Ｅ２ | 20.4 | 3.7 | 6.8 | 平行沈線 | | | ミガキ(内外) | | |
| 422 | NO48 | C | 4-c | 浅鉢 | F | 16.3 | 2.4 | 7.2 | 刺突文＋羊歯状文 | ＬＲ | 不整 | | | |
| 423 | NO48 | D | 4-c | 台付浅鉢 | D | 24.8 | 7.8 | 11.3 | | | | ミガキ | | |
| 424 | NO48 | A | 4-c | 台付浅鉢 | E | － | 5.5 | ( 5.1) | 平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 縦 | ミガキ | 1部漆? | ススス? |
| 425 | NP48 | B | 4-c | 台付浅鉢 | B | 14.6 | 6.7 | 7.4 | ミガキ | | | | | |
| 426 | NP48 | D | 4-c | Ⅲ | F | 9.2 | 8.2 | 1.6 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 427 | NQ48 | A | 4-c | Ⅲ | B | (12.4) | 丸底 | 3.9 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 428 | NO48 | C | 4-c | Ⅲ | D | (19.0) | (4.4) | 5.2 | 刻目＋平行沈線＋雲形文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | 赤漆か | 赤漆か |
| 429 | NP48 | D | 4-c | 壺 | Ａ１ | ( 5.0) | 丸底 | 8.2 | | | | ナデ | | |
| 430 | NP48 | D | 4-c | 壺 | Ｃ１ | － | 3.6 | ( 8.1) | 貼瘤 | | | | | |
| 431 | NQ48 | B | 4-c | 壺 | Ｄ１ | 8.2 | 5.4 | 16.2 | 縄文、内外面赤色顔料付着 | ＬＲ | 不整 | ナデ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 432 | NP48 | C | 4-c | 壺 | Ｄ１ | ( 8.8) | － | (21.2) | | | | ミガキ(内外) | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 433 | NO48 | B | 4-c | 壺 | Ａ１ | ( 6.4) | 6.6 | 12.3 | | | | ナデ | | |

**第105図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ群土器(3)**



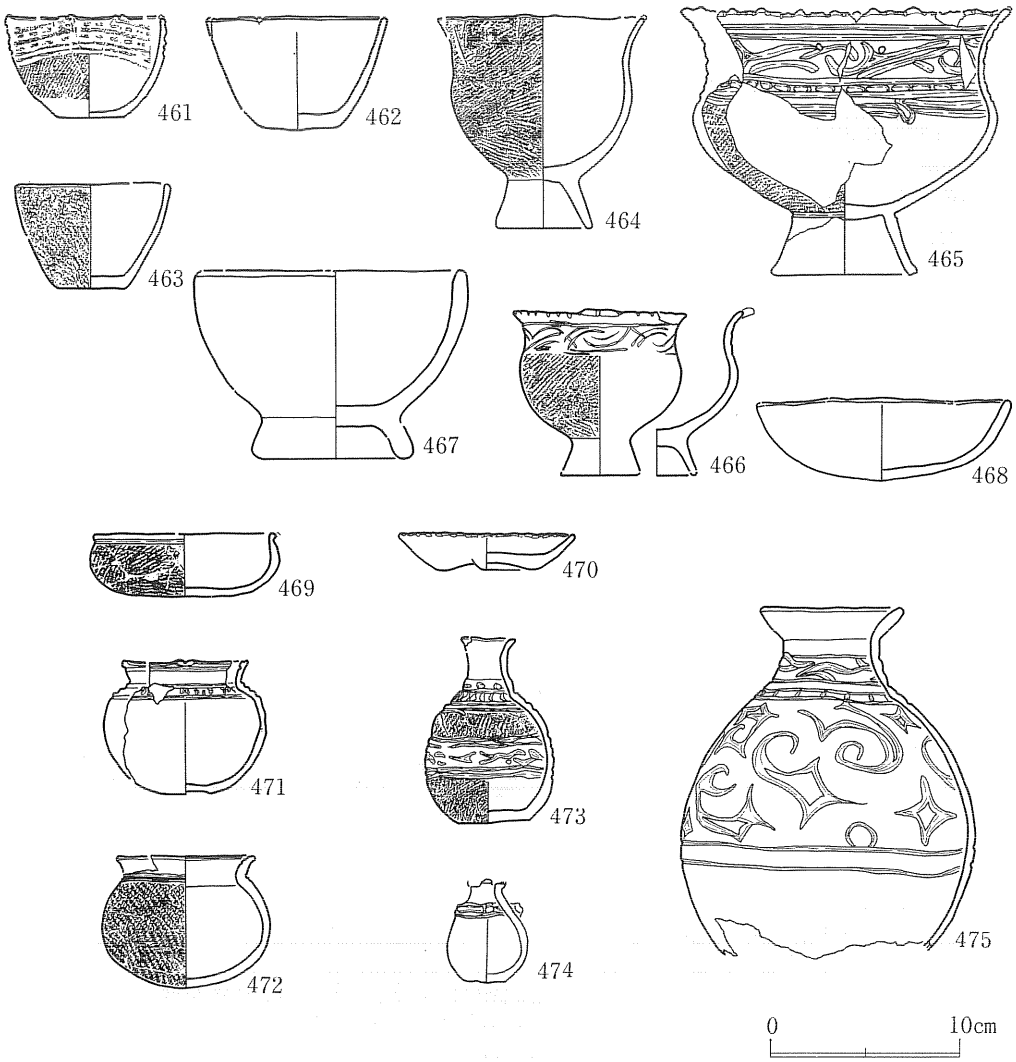

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 434 | NQ48 | D | 4-c | 壺 | E 1 | (9.3) | 5.7 | 16.4 | 縄文、口縁部に指の整形痕あり | L R | 縦 | ミガキ | | |
| 435 | NO48 | C | 4-c | 壺 | E 2 | (5.1) | 2.4 | 7.3 | 口縁部無文で把手(貼瘤)？＋縄文 | L R | 不整 | ナデ | | |
| 436 | NO48 | D | 4-c | 壺 | F 2 | (4.0) | 丸底 | 5.1 | 口縁部内面に1条の沈線 | | | | | |
| 437 | NQ48 | D | 中位砂 | 壺 | F 2 | (8.7) | (6.8) | 13.1 | 平行沈線→列点文 | | | | | |
| 438 | NO48 | C | 4-c | 壺 | G 1 | (9.3) | 3.8 | 8.4 | 平行沈線、ミガキ | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 上半赤色 下半黒色 |
| 439 | NP48 | | 4-c | 壺 | G 2 | 7.2 | 3.3 | 9.9 | 〃　、〃 | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 440 | NP47 | B | 4-c | 壺 | G 2 | 5.6 | 2.6 | 6.2 | 〃　、〃 | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 441 | NO48 | C | 4-c | 壺 | G | － | 3.0 | ( 6.9) | ミガキ、1部剥落 | | | ミガキ | | |
| 442 | NO48 | D | 4-c | 壺 | H | － | 丸底 | ( 5.2) | 部分的に剥落 | | | ナデ | | |
| 443 | NO48 | A | 4-c | 壺 | G | － | 4.1 | ( 6.3) | 貼瘤 | | | ナデ | | |
| 444 | NO48 | A | 4-c | 壺 | H | 8.0 | 丸底 | 9.4 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 445 | NP47 | B | 4-c | 壺 | M | － | 5.6 | ( 9.6) | 雲形文 | L R | 横 | ナデ | | |
| 446 | NO48 | C | 4-c | 壺 | L | 9.9 | － | (25.8) | 縄文 | L R | 不整 | ミガキ | | |
| 447 | NO48 | C | 4-c | 注口 | E | － | 丸底 | ( 7.7) | 無文、注口部は三叉状入組文 | | | ミガキ | | |
| 448 | NO48 | B | 4-c | 注口 | A | － | 1.9 | (10.3) | ミガキ | | | ナデ | | |

**第106図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ群土器(4)**



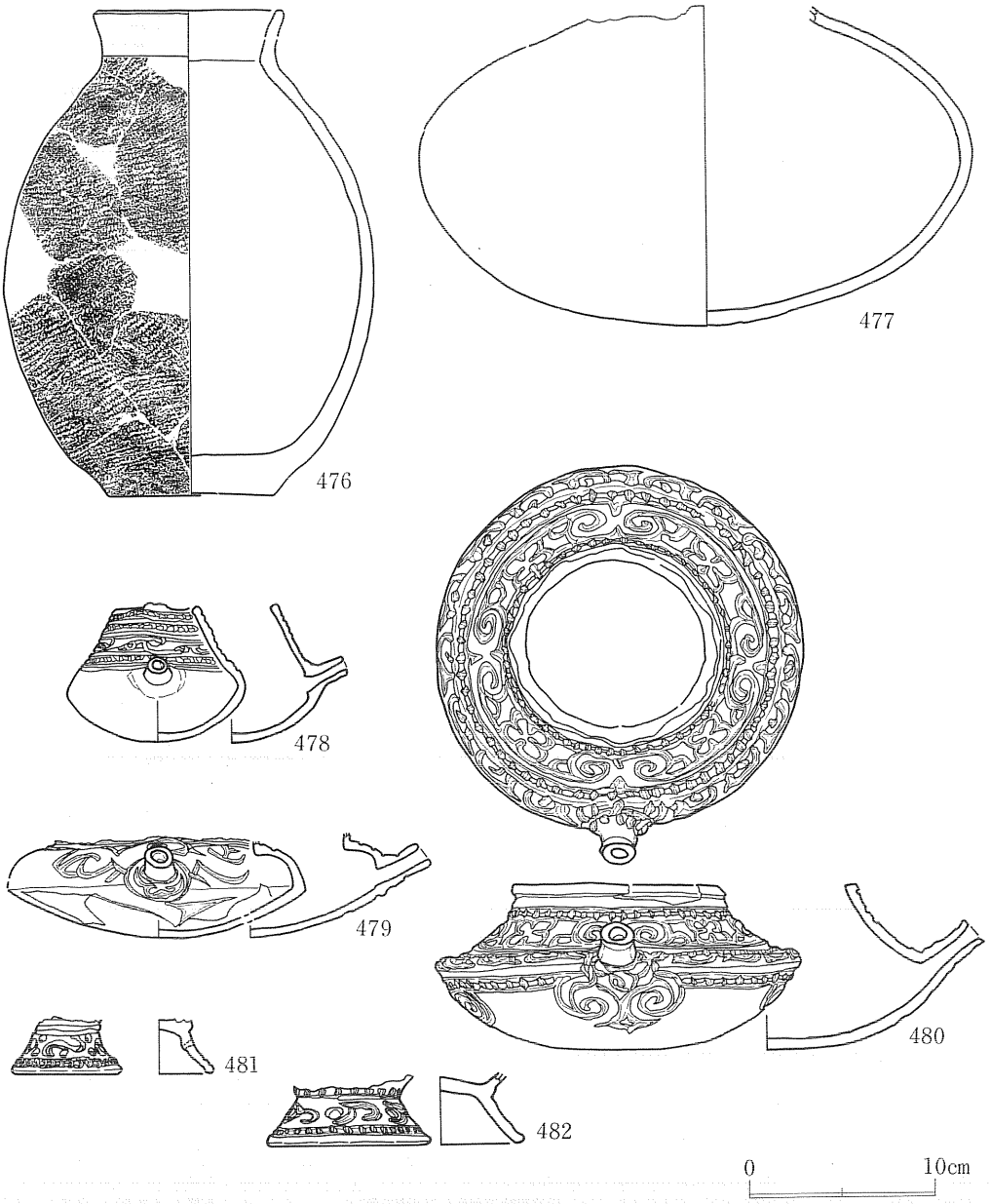

| 番号 | 出土地点 | 区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 449 | NQ51 | C | 4-b | 深鉢 | I | 27.0 | － | (12.8) | 口縁部刻目＋平行沈線間無文＋縄文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 450 | NQ51<br>NQ50 | C<br>B | 4-b<br>5 | 鉢 | I | 19.6 | 7.2 | 15.4 | 4単位の「A」突起＋刻目、平行沈線＋粘土紐貼付 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | スス |
| 451 | NO49 | D | 4-b | 台付鉢 | D | (20.6) | 6.5 | 8.2 | 入組文、ミガキ | | | ミガキ | | |
| 452 | NG51 | C | 4-b | 台付鉢 | D | 206 | 7.5 | 8.0 | 波状口縁、ミガキ | | | ミガキ | | |
| 453 | NO49 | D | 4-b | 壺 | E 1 | ( 9.0) | 6.4 | 14.5 | 4単位の橋状把手、ミガキ | | | ナデ | | |
| 454 | NR50 | B | 4-b | 皿 | H | － | 4足 | ( 1.3) | 4足 | | | 指ナデ | | |
| 455 | NO48 | B | 4-b | ミニチュア | | － | － | ( 3.2) | ミガキ、1箇所に穴アキ | | | | | |
| 456 | NO49 | D | 4-b | 台 | | | | ( 3.4) | 透かし | | | | | |
| 457 | ND50<br>ND51 | C | 5 | 深鉢 | D 2 | 14.9 | 5.8 | 16.8 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | | | |
| 458 | NQ48 | A | 4c<br>5 | 鉢 | C | (12.6) | 5.4 | 9.0 | 平行沈線→列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 459 | NQ48 | B | 5 | 台付鉢 | J | 13.6 | － | (5.8) | 小波状口縁、平行沈線 | | | | | |
| 460 | NQ50 | C | 5 | 浅鉢 | C | 15.2 | 5.7 | 8.0 | ミガキ | | | ミガキ | ススか黒漆 | 赤色彩 |

第107図　捨て場２　４-b層，５層出土Ⅲ群土器(1)



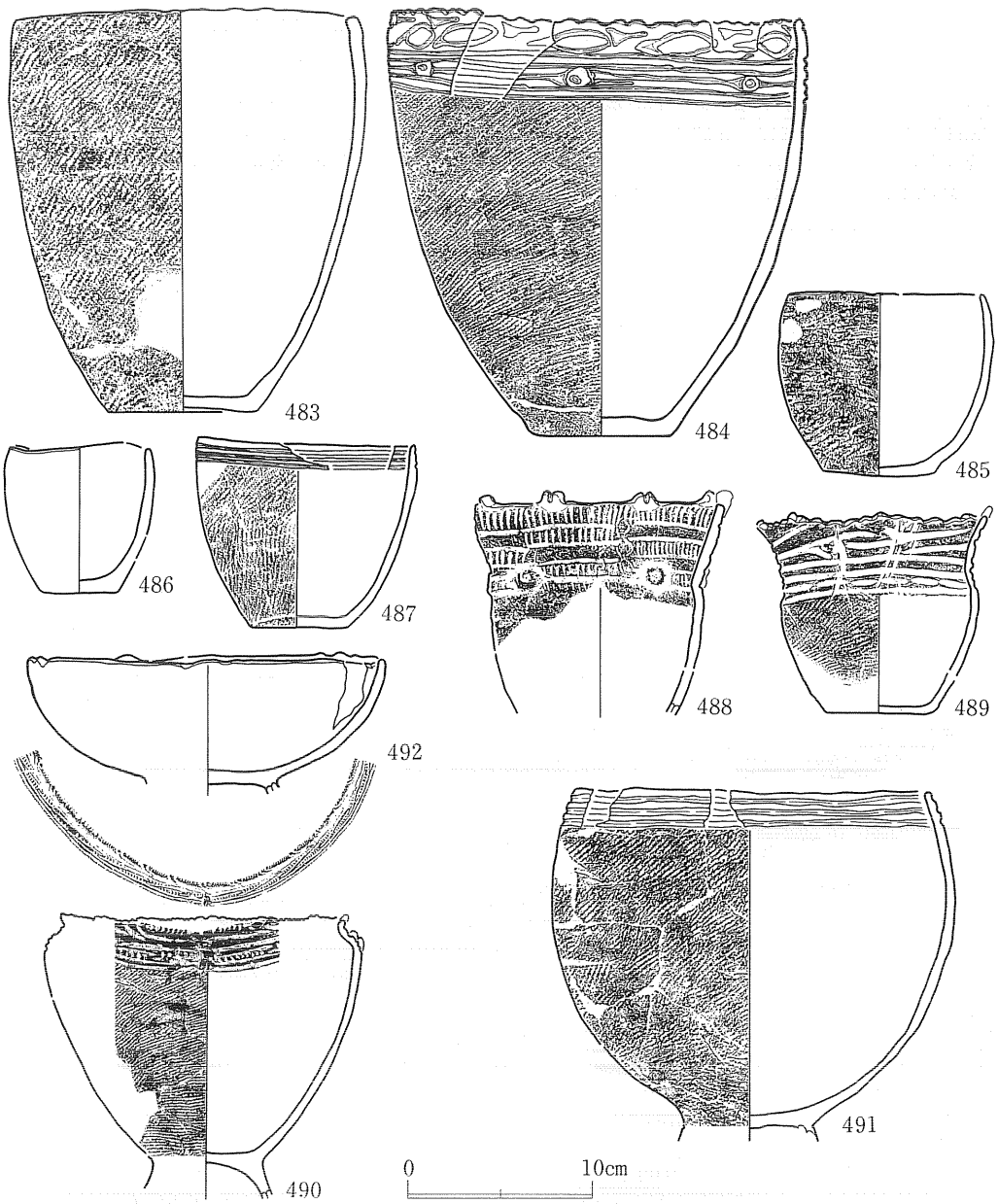

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 461 | NQ50 | A | 5 | 鉢 | C | 8.4 | 3.6 | 5.1 | 「B」突起、刻目列＋平行沈線＋無文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 462 | NQ50 | C | 5 | 鉢 | D１ | 8.9 | 4.2 | 6.0 | ナデ | | | ミガキ | | |
| 463 | NP50 | A | 5 | 鉢 | D１ | 7.2 | 3.4 | 5.5 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 464 | NR50 | B | 5 | 台付鉢 | G | (11.0) | 3.8 | 11.0 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | スス | スス |
| 465 | NQ50 | C | 5 | 台付鉢 | Ｈ２ | 17.4 | 6.5 | 14.1 | 小波状口縁、平行沈線→三叉状入組文・列点文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | スス | スス |
| 466 | NO49 | A | 5 | 台付鉢 | G | (10.3) | 3.1 | ( 8.5) | 口縁部刻目、三叉状入組文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | スス | スス |
| 467 | NQ48 | B | 5 | 台付鉢 | C | (15.3) | 7.2 | 10.2 | ミガキ | | | ミガキ・ナデ | | スス |
| 468 | NO48 | A | 5 | 皿 | B | 13.0 | 丸底 | 4.4 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 469 | NO48 | A | 5 | 皿 | C | ( 9.5) | (7.6) | 3.3 | 沈線 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 470 | NR50 | B | 5 | 皿 | Ｈ | ( 9.4) | 4足 | 1.0 | 口縁部は刻目、4足 | | | | | |
| 471 | NO48 | A | 5 | 壺 | Ｈ | ( 6.6) | (2.5) | 7.0 | 「B」突起＋平行沈線＋羊歯状文＋ミガキ | | | ミガキ | | |
| 472 | NO48 | A | 5 | 壺 | Ｈ | 7.2 | 丸底 | 7.0 | 無文＋沈線＋縄文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | | |
| 473 | NR50 | A | 5 | 壺 | J | ( 2.7) | 3.7 | 9.9 | 列点文＋平行沈線＋縄文＋入組文＋平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ? | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 474 | NO49 | D | 5 | 壺 | K | － | 2.0 | ( 5.4) | 平行沈線→把手、ミガキ | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 475 | NR50 | B | 5 | 壺 | J | 7.5 | － | (18.5) | 平行沈線→三叉状入組文 | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |

**第108図　捨て場２　５層出土Ⅲ群土器(2)**



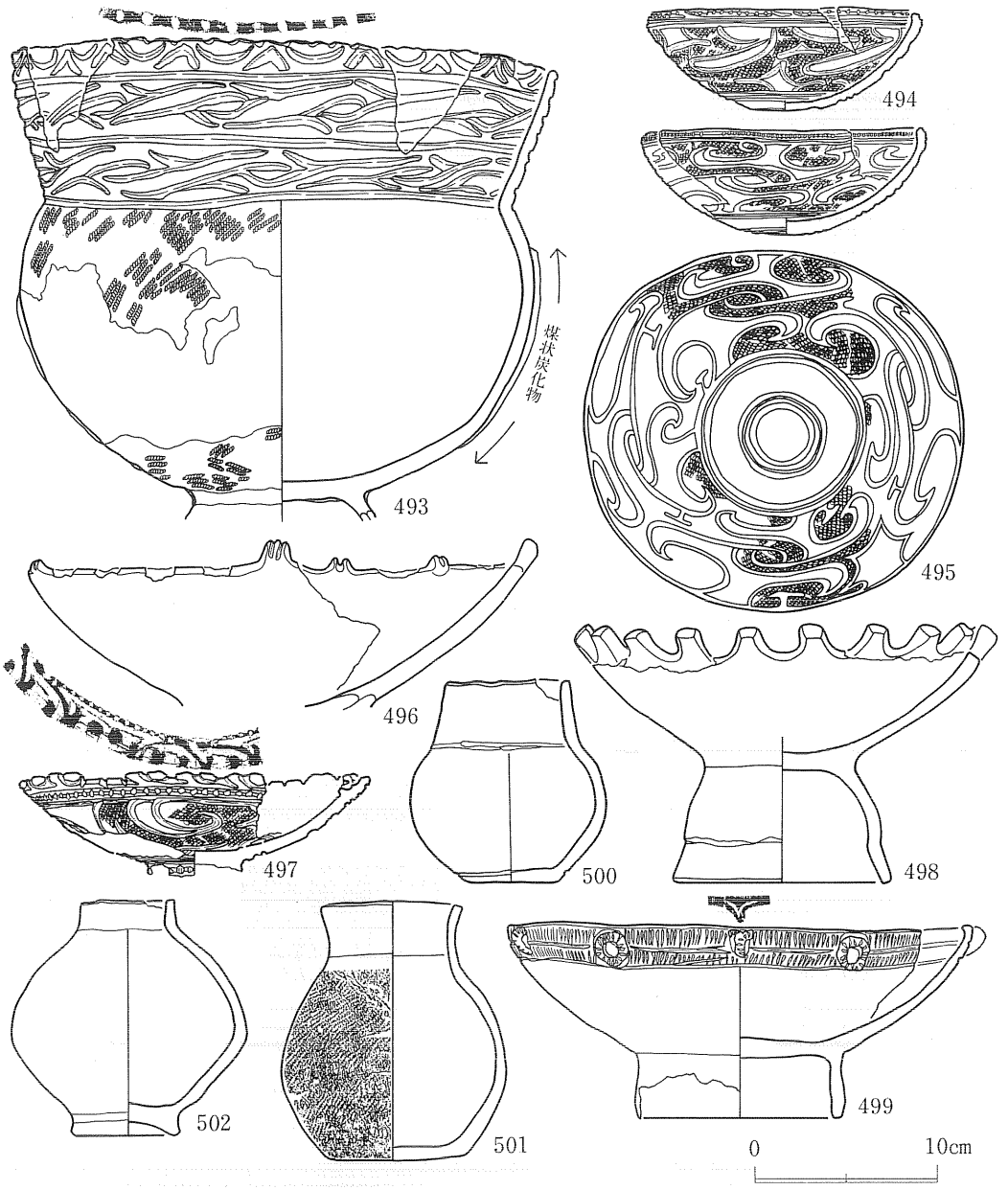

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 476 | NQ49 | C | 5 | 壺 | D 1 | － | 9.0 | 26.4 | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 477 | NO49 | C | 5 | 壺 | G | － | 4.1 | (17.2) | | ＬＲ | 不整 | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 478 | NR50 | B | 5 | 注口 | D | 4.3 | 丸底 | 7.5 | 「B」突起(?)＋羊歯状文＋無文 | | | ナデ | | |
| 479 | NP51 | D | 5 | 注口 | E | － | 丸底 | ( 5.5) | 三叉状入組文 | | | ナデ | | |
| 480 | NO48 | A | 5 | 注口 | F | 11.1 | 丸底 | 9.0 | 沈線→唐草風入組文・刻目 | | | ミガキ | 1部化粧土 | |
| 481 | NO49 | A | 5 | 台 | | | | ( 3.1) | 透し入り | | | ミガキ | | |
| 482 | NO48 | A | 5 | 台 | | | | ( 3.7) | 透し風彫去 | | | ミガキ | | |

**第109図　捨て場２　５層出土Ⅲ群土器(3)**



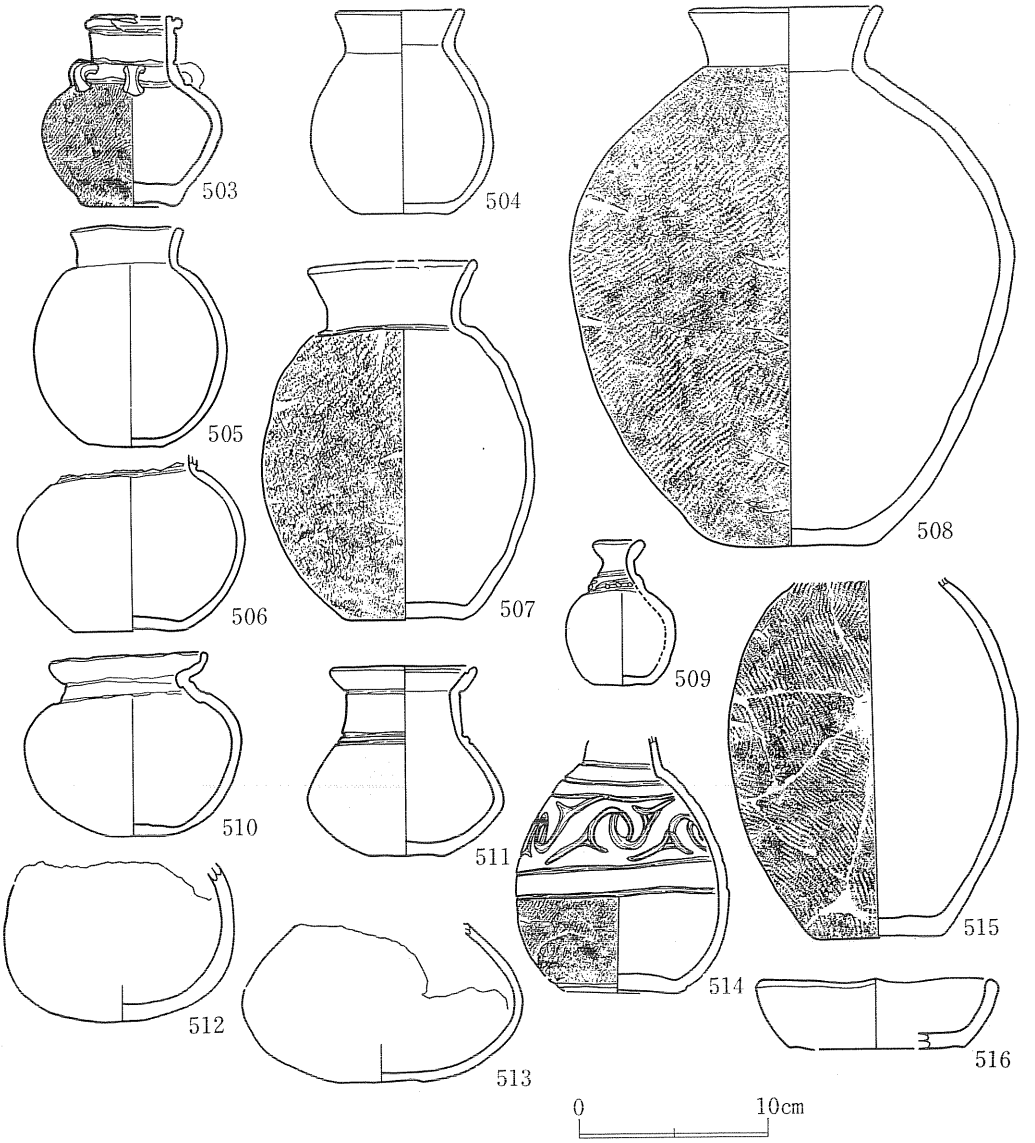

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 483 | NP48 | D | 6-a | 深鉢 | D２ | 18.6 | 8.3 | 21.6 | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 484 | NQ48 | D | 下位砂 | 深鉢 | D２ | 22.8 | 7.7 | 23.3 | 小波状口縁、三叉入組文＋玉抱三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 485 | NP48 | D | 6-a | 鉢 | A | (10.9) | 6.0 | 9.9 | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | ススス | ススス |
| 486 | NO48 | D | 6-a | 鉢 | Ｂ１ | 8.7 | 4.5 | 8.5 | ミガキ | | | ミガキ | ススス | |
| 487 | NQ47 | A | 6-a | 鉢 | C | 11.8 | 5.6 | 10.5 | 平行沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 488 | NO48 | D | 6-a | 鉢 | E | 14.0 | － | (12.1) | 6単位の突起、刻目帯→ボタン状貼付文 | | | ミガキ | | |
| 489 | NP47 | A | 6-a | 鉢 | G | 12.8 | 5.7 | 11.4 | 三叉文入組文＋列点文?＋縄文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | ススス |
| 490 | NP47 | B | 6-a | 台付鉢 | J | 15.3 | 6.0 | (15.2) | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | ススス |
| 491 | NP47 | B | 6-a | 台付鉢 | L | 19.5 | 7.0 | 19.2 | 平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 492 | NQ48 | D | 下位砂 | 台付鉢 | D | 19.1 | 7.3 | ( 7.1) | 小波状口縁、ミガキ | | | ミガキ | ススス | ススス |

**第110図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(1)**



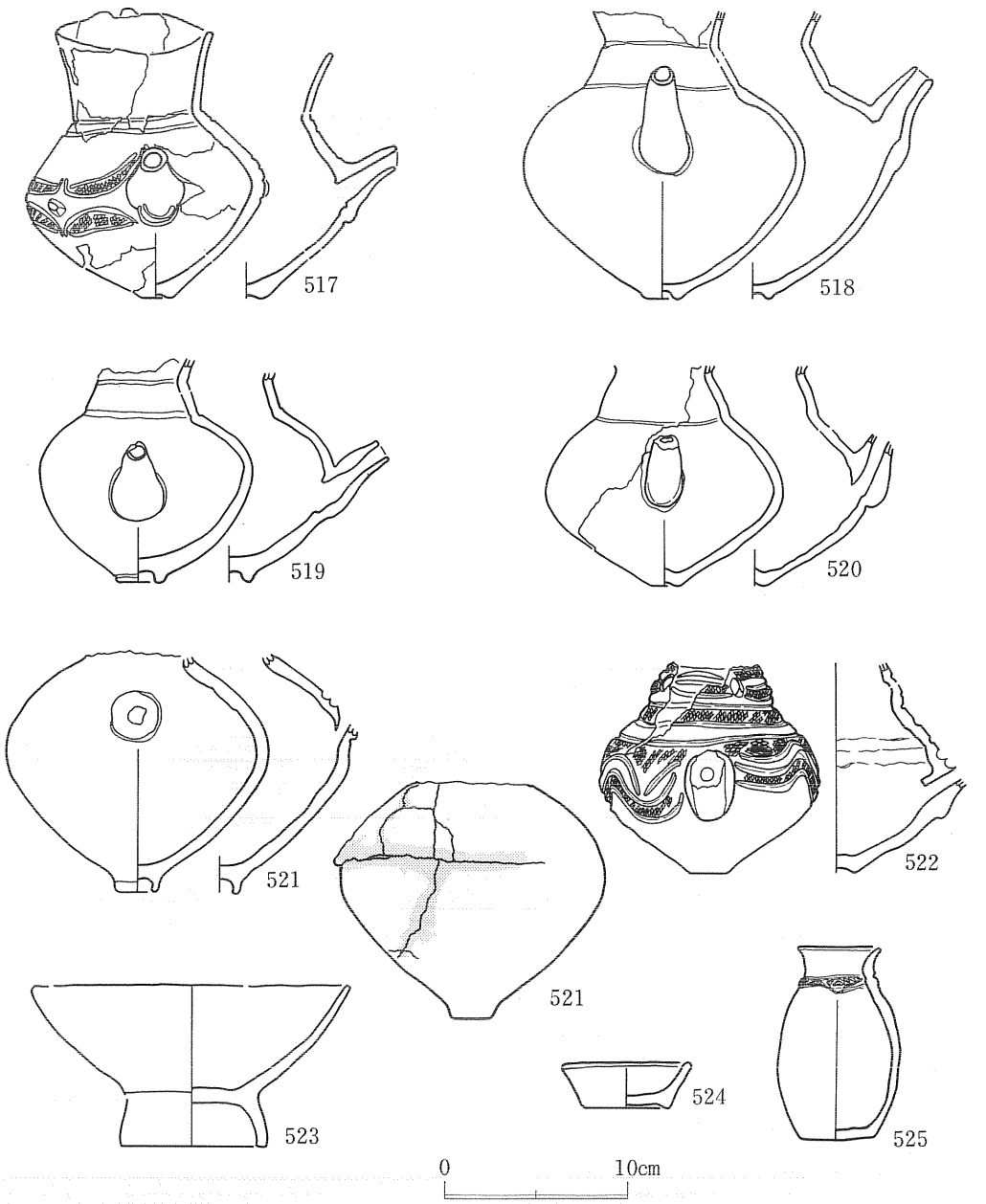

| 番号 | 出土地点 | 区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 493 | NM47 | D | 4-c・6-a | 台付鉢 | H 1 | 29.9 | 9.4 | (26.3) | 口縁部に刻目、三叉状入組文 | L R | 横 | ミガキ | 泥・ススス | ススス |
| 494 | NO47 | D | 6-a | 浅鉢 | E 1 | 14.2 | 3.9 | 5.5 | 口縁部刺突、入組文＋三叉状彫去 | L R | 横 | ミガキ | | |
| 495 | NO48 | D | 6-a | 浅鉢 | E 1 | 15.0 | 2.9 | 5.9 | 口縁部、刻目 胴部雲形文 | L R | 横 | ミガキ | | |
| 496 | NO48 | C | 6-a | 台付鉢 | A | (28.8) | (10.8) | ( 9.1) | 突起に刻目、ミガキ、ナデ | | | ナデ | | |
| 497 | NP47 | B | 6-a | 台付鉢 | D | 18.6 | 5.3 | ( 5.4) | 平行沈線→刻目、雲形文 | L R | 横 | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 498 | NO48 | D | 6-a | 台付鉢 | A | (24.0) | 8.0 | 14.2 | 山形突起、ミガキ | | | | | |
| 499 | NO48 | B | 6-a | 台付鉢 | A | 27.0 | 11.5 | 10.9 | 口縁部に刻目帯→ドーナツ状貼付文 | | | ミガキ | | |
| 500 | NN48 | B | 6-a | 壺 | A 2 | ( 6.8) | 4.7 | 11.2 | ミガキ＋ナデ | | | ナデ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 501 | NO48 | A | 6-a | 壺 | C 1 | 7.7 | 7.6 | 14.3 | 無文＋縄文 | L R | 縦 | ナデ | | |
| 502 | NO47 | A | 6-a | 台付壺 | B | ( 4.8) | ( 5.0) | 13.0 | ミガキ | | | ミガキ | | |

**第111図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(2)**



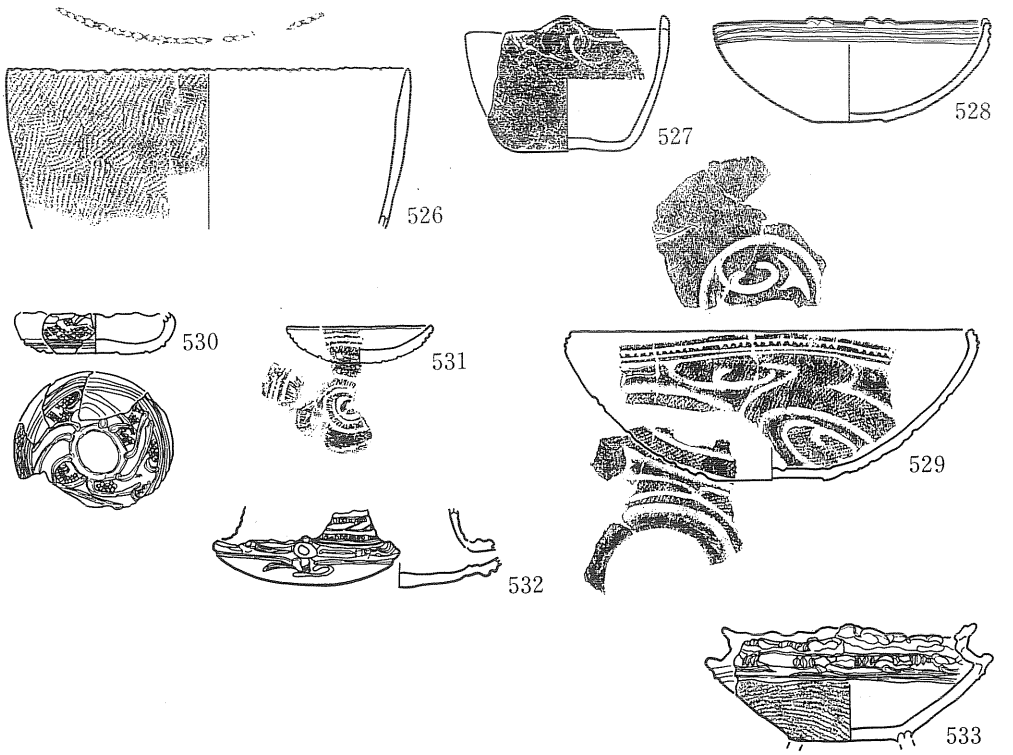

| 番号 | 出土地点 | 区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 503 | NO47 | A | 6-a | 壺 | B | ( 5.4) | 4.8 | 10.1 | 平行沈線、平行線と6単位の把手 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 504 | NO48 | A | 6-a | 壺 | Ｃ２ | 6.4 | 5.1 | 10.8 | ミガキ | | | ナデ | | |
| 505 | NP47 | A | 6-a | 壺 | Ｆ１ | 5.6 | 3.8 | 11.7 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 506 | NO48 | D | 6-a | 壺 | F | － | 5.6 | ( 9.1) | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 507 | NQ47 | B | 6-a | 壺 | Ｄ１ | ( 7.5) | 6.1 | 19.0 | 無文＋縄文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 508 | NO48 | C | 6-a | 壺 | Ｄ１ | 9.7 | 8.8 | 28.5 | 無文＋縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 509 | NO48 | A | 6-a | 壺 | J | ( 1.9) | 3.0 | 7.7 | 頸部に平行沈線と羊歯状文 | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 510 | NQ47 | B | 6-a | 壺 | Ｇ３ | 8.0 | 3.0 | 9.7 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 511 | NP47 | B | 6-a | 壺 | Ｇ１ | 7.5 | 3.7 | (10.0) | 頸部に平行沈線、ミガキ | | | ナデ | 赤色塗彩 | － |
| 512 | NQ48 | D | 6-a | 壺 | I | － | 丸底 | ( 8.4) | ナデ | | | ナデ | | |
| 513 | NP48 | D | 6-a | 壺 | G | － | 4.4 | ( 8.3) | ミガキ | | | ミガキ | 赤色塗彩 | － |
| 514 | NQ47・49 | B | 6-a | 壺 | J | － | 6.0 | (13.5) | 平行沈線→三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | | 赤漆? | 赤漆? |
| 515 | NQ47 | B | 6-a | 壺 | L | － | 7.0 | (19.0) | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | | |
| 516 | NO48 | D | 6-a | Ⅲ | I | (12.0) | (9.0) | ( 3.7) | ミガキ | | | ミガキ | | |

**第112図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(3)**




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 517 | NN48 | A | 6-a | 注口 | B | ( 8.4) | 1.6 | 15.4 | 頸部に平行沈線,胴部にレンズ状文+無文部に刷毛 | L | 横 | ミガキ | ススス | |
| 518 | NN48 | A | 6-a | 注口 | A | － | 1.6 | (15.8.) | ミガキ | | | ナデ | | |
| 519 | NO48 | B | 6-a | 注口 | A | － | 2.2 | (12.4) | ミガキ | | | ナデ | | |
| 520 | NO47 | B | 6-a | 注口 | A | － | 1.3 | (12.1) | | | | | | |
| 521 | NO47 | B | 6-a | 注口 | A | － | 2.2 | (13.4) | ミガキ(アスファルトでヒビの補修) | | | ナデ | | |
| 522 | NQ48 | D | 6-a | 注口 | A | － | 1.9 | (11.6) | 弧状・平行沈線→充填縄文 | L R | 横縦 | | | |
| 523 | NM47・48 | D | 6-B | 台付鉢 | B | 17.4 | － | 9.4 | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 524 | 捨場２ | | 4-C | 皿 | J | 6.9 | 4.6 | 2.5 | ミガキ(成田精好氏採集品) | | | ミガキ | | |
| 525 | 捨場２ | | 4-C | 壺 | L | 4.3 | 4.1 | 11.6 | 頸部に羊歯状文(成田精好氏採集品) | | | | | |

**第113図　捨て場２　６-a層(4)，６-c層出土Ⅲ群土器**

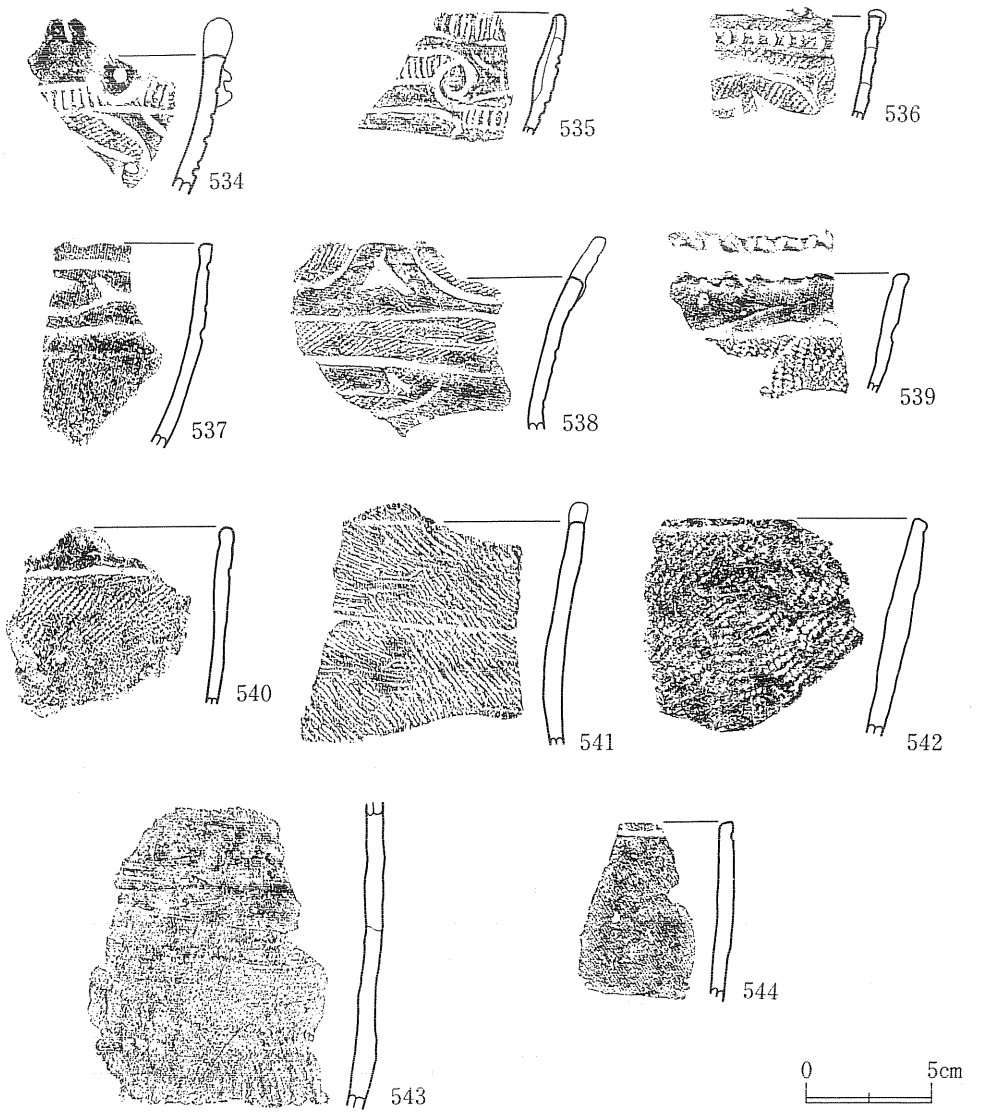



0　10cm

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 526 | NF50 | CA | 1-b | 深鉢 | D | 21.2 | － | (8.3) | 縄文、口唇部に刻目 | ＬＲ | 不整 | ナデ | | |
| 527 | NN49 | C | 1-b | 鉢 | Ｄ２ | 9.8 | 3.4 | 7.0 | 波状口縁、波頂部に円形文? | | | ナデ | | |
| 528 | NO48 | C | 2 | 浅鉢 | Ｅ２ | 14.6 | 4.0 | 5.4 | 2箇1対の「B」突起、平行沈線 | | | ミガキ | 化粧土? | 化粧土? |
| 529 | 不明(台風のため) | | | 浅鉢 | Ｅ１ | 21.2 | 5.6 | 7.9 | 口縁部平行沈線＋刻目・胴・内底面雲形文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 530 | NC52 | D | 2 | 皿 | C | － | 5.2 | (2.1) | 口縁刻目、外面雲形文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 531 | NF51 | D | 2 | 皿 | G | － | － | 2.0 | 渦巻状の沈線が刻目帯と無文帯のくり返し | | | | | |
| 532 | NO49 | D | 2 | 注口 | F | － | 丸底 | (4.0) | 羊歯縄文と入組文 | | | | | |
| 533 | NO49 | D | 2 | 香炉 | | 14.2 | 6.0 | (6.1) | 体部上半は刻目と2箇1対の大円孔 | | | | | |

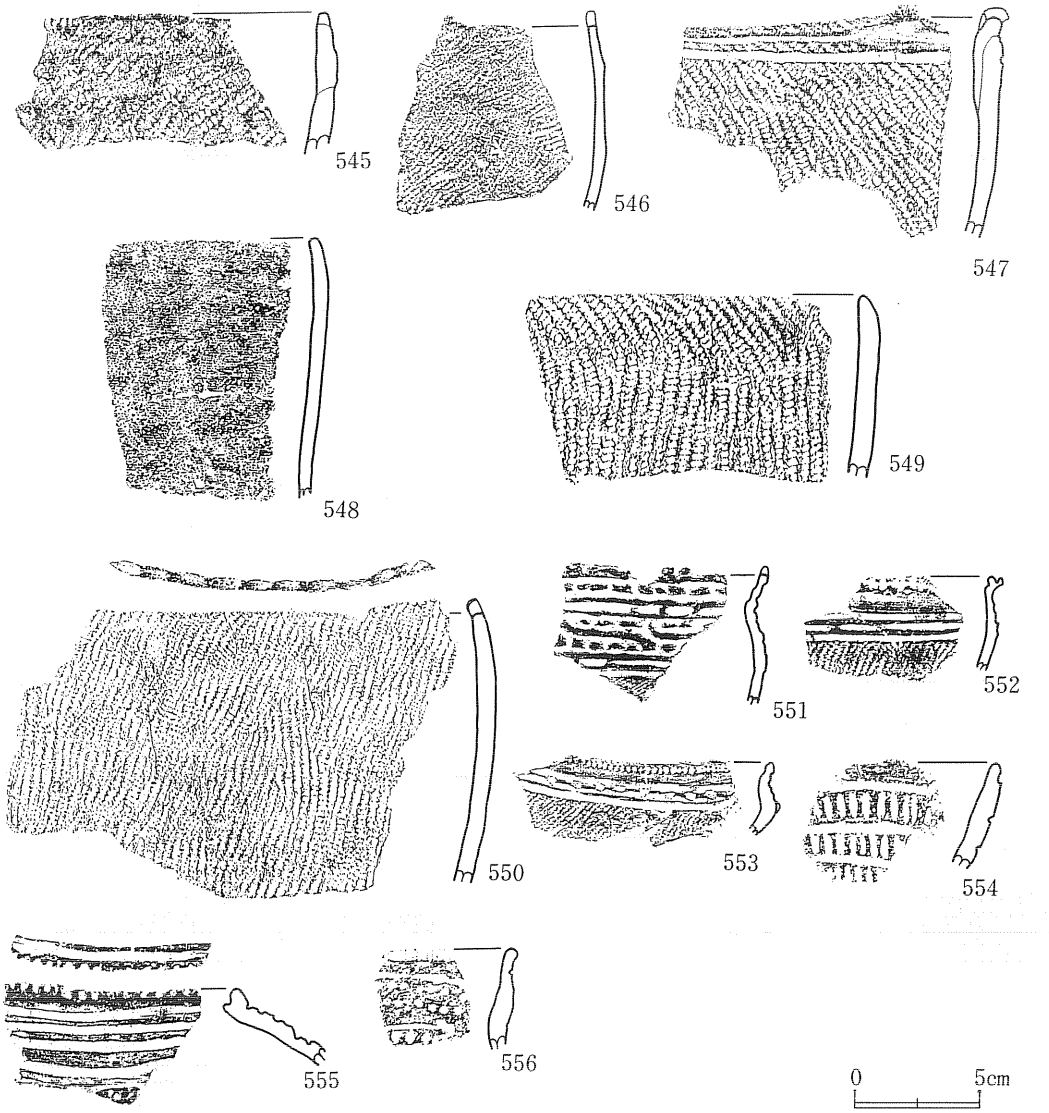
**第114図　遺構外出土Ⅲ群土器**

後期後半の土器である。499は台付浅鉢（Ａ類）で、488と同じく、口縁部に平行沈線で区画する刻目帯を有する。483・484はいずれも深鉢（Ｄ２類）で、484の口縁部には玉抱き三叉文が施文される。487（鉢－Ｃ類）、491（台付鉢－Ｌ類）は地文が縄文で、口縁部に３条の平行沈線が施文される平口縁の土器である。493は台付鉢（Ｈ１類）で、口頸部が、大きく屈曲して外反し、三叉状入組文が施文される。胴部に泥が厚く塗られ、表面には煤が付着している。494・495は浅鉢で雲形文を施文する丁寧な作りの土器である。この層中でも壺の出土比率が高く、赤色塗彩の土器も多い。４－ｃ層でも出土したが、500、502のように口頸部がほぼ真っすぐ立ち上がり、古い方に属すると思われる壺も出土している。517～522は注口土器で、丸底風の底部に小さな台が付くもので、いずれも後期後葉に属するものある。521は胴部の割れ目をアス



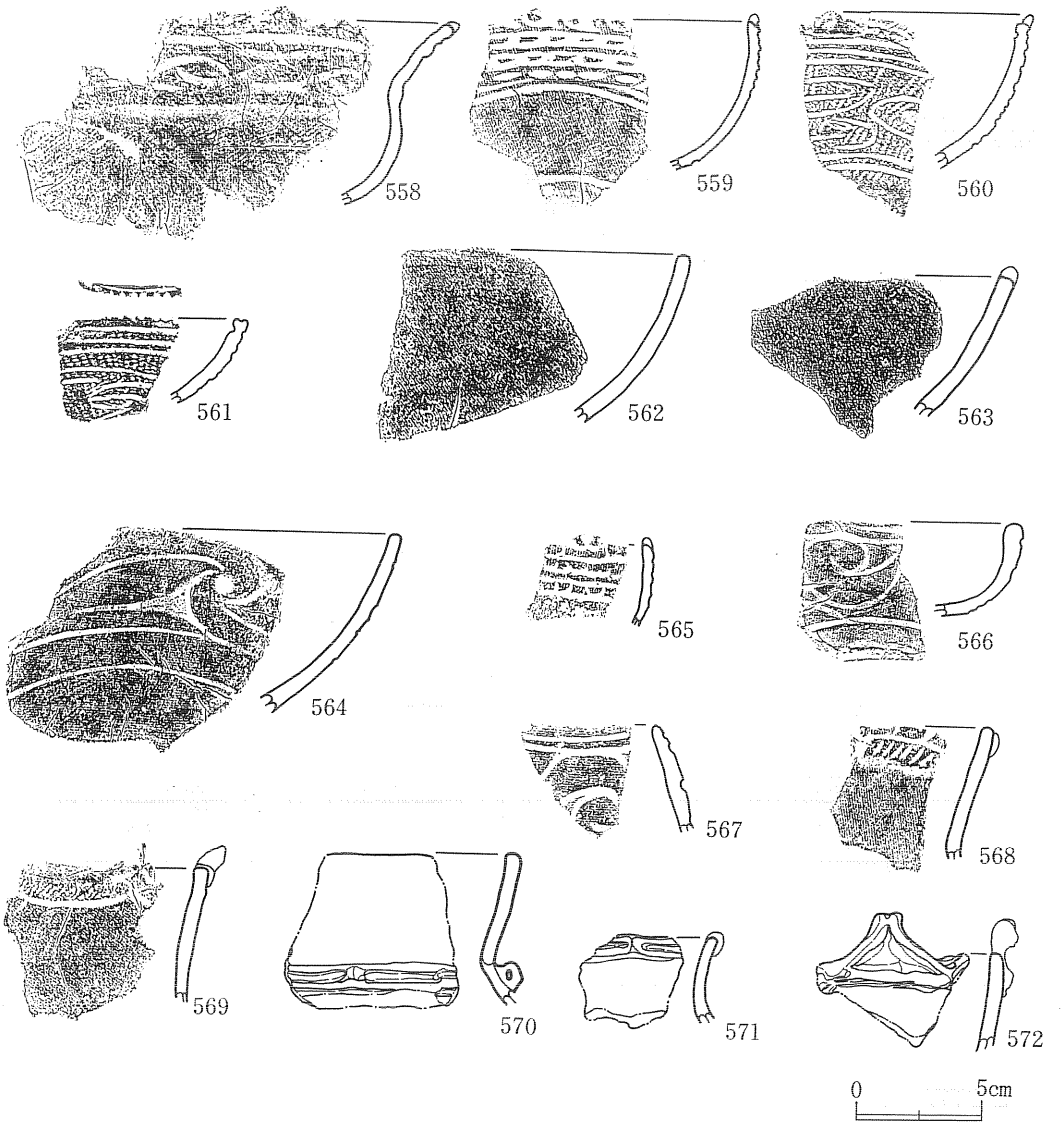

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 534 | NG52 | C | 4 | 深鉢 | | | | | 山形突起に刻み＋無文＋刻目帯＋入組帯縄文 | ＲＬ | 横 | | ススス | |
| 535 | NG51 | D | 4 | 深鉢 | | | | | 刻目帯＋入組状の刻目帯 | | | ミガキ | | |
| 536 | NF51 | D | 4 | 深鉢 | | | | | 口縁小突起に刻み＋刻目帯＋入組帯縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 537 | NF？ | | 4 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | | | | ススス | ススス |
| 538 | NC51 | C-A | 4 | 深鉢 | | | | | 波状口縁で波頂部下に三叉状彫去,無文＋縄文＋平行沈線＋三叉文？ | ＲＬ | 縦 | ナデ | | |
| 539 | NF50 | D | 4 | 深鉢 | | | | | 口縁に刻目＋無文＋縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | |
| 540 | NG51 | C | 4 | 深鉢 | | | | | 山形突起＋無文＋沈線＋縄文 | ＲＬ | 横 | | | |
| 541 | NF50 | 不明 | 不明 | 深鉢 | | | | | 山形突起に刻目＋縄文＋ナデ | Ｒ | 横 | ナデ | | |
| 542 | NG51 | B | 4 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 不整 | ナデ | ススス | |
| 543 | NF52 | A | 4 | 深鉢 | | | | | ミガキ＋ナデ | | | ナデ | | |
| 544 | NG50 | D | 4 | 深鉢 | | | | | ミガキ＋口縁部に沈線 | | | ナデ | | |

**第115図　捨て場1　４層出土Ⅲ群土器(1)**



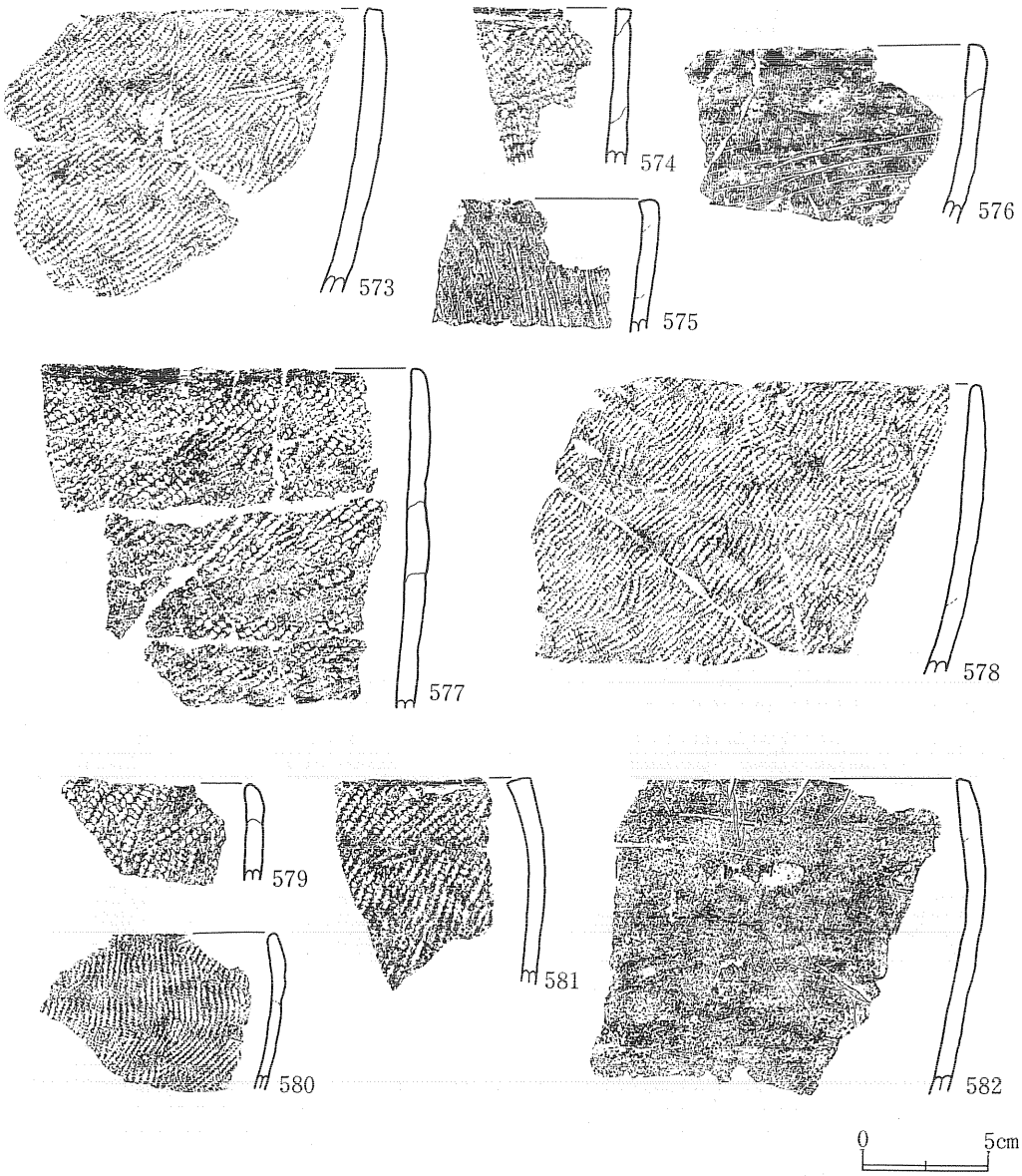

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 545 | ND50 | A | 4 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 546 | NG51 | C | 4 | 深鉢 | | | | | 山形突起＋縄文 | ＬＲ | 横 | | ススス | ススス |
| 547 | NG50 | A | 4 | 深鉢 | | | | | 山形突起＋縄文＋平行沈線 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | |
| 548 | NG52 | D | 4 | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | ナデ | ススス | |
| 549 | NF51 | C | 4 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 横・斜 | ナデ | | |
| 550 | NG51 | C | 4 | 深鉢 | | | | | 波状口縁、縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 551 | NG51 | D | 4 | 鉢 | | | | | 「B」突起、刻目＋列点文＋羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 552 | NF50 | C | 4 | 鉢 | | | | | 口唇部に沈線＋刻み、無文＋平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | ススス |
| 553 | NF50 | D | 4 | 鉢 | | | | | 口唇部に刻み、列点文＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 554 | NF51 | D | 4 | 鉢 | | | | | 刻目帯 | | | | | |
| 555 | NG51 | C | 4 | 鉢 | | | | | 口唇に刻目、口縁に平行沈線 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 556 | NG52 | D | 4 | 鉢 | | | | | 列点文＋平行沈線＋刻目 | | | ナデ | ススス | |
| 557 | NG52 | C | 4 | 鉢 | | | | | 平行沈線＋入組文・貼瘤 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |

**第116図　捨て場1　４層出土Ⅲ群土器(2)**



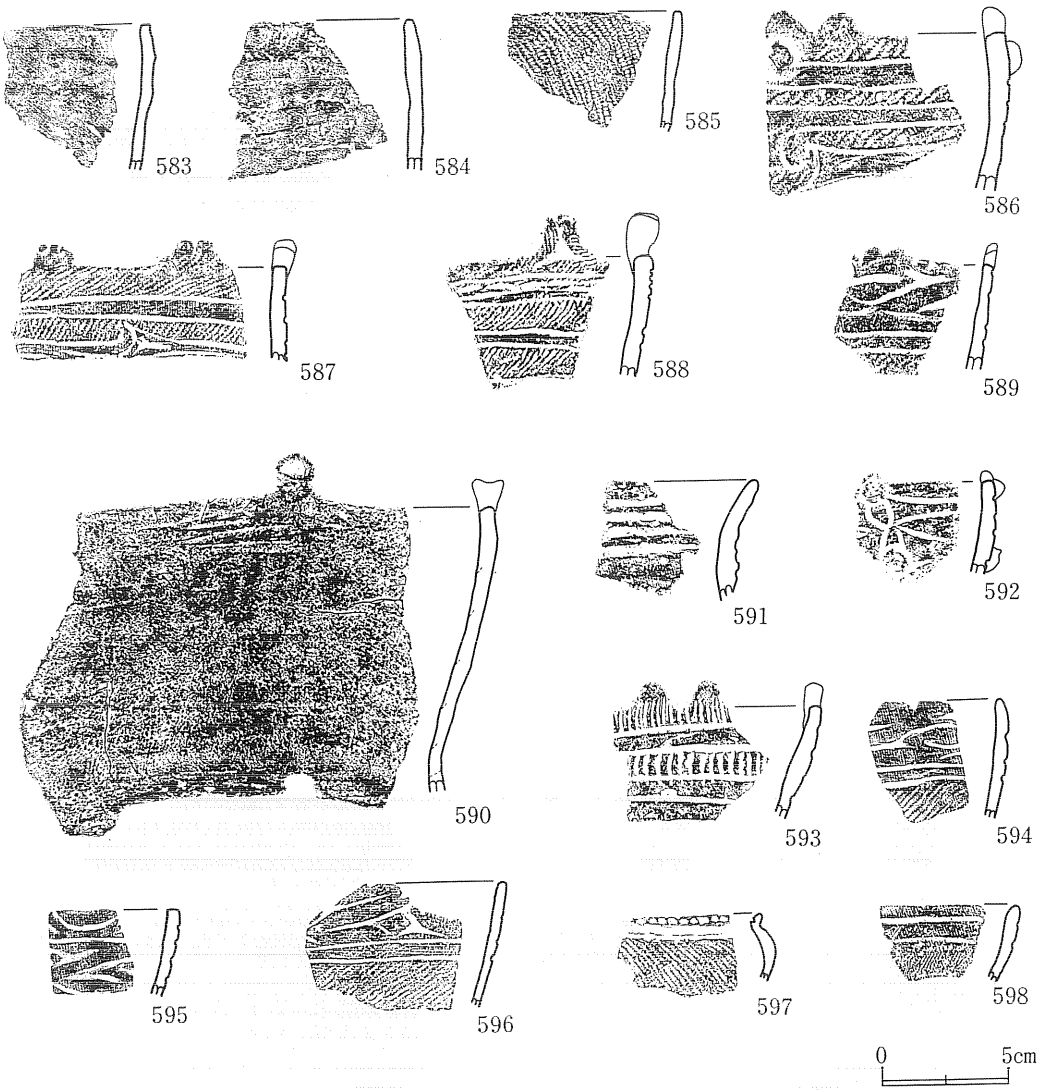

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 558 | NC51 | C-A | 4 | 鉢 | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | | ススス | |
| 559 | NF50 | C | 4 | 鉢 | | | | | 「B」突起、羊歯状文＋列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 560 | NF52 | D | 4 | 浅鉢・皿 | | | | | 「B」突起、縄文＋平行沈線＋雲形文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 561 | NF51 | B | 4 | 浅鉢・皿 | | | | | 口縁刻み、縄文＋平行沈線＋入組文 | ＬＲ | 縦 | ナデ | | |
| 562 | NF52 | C | | 浅鉢・皿 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 563 | NE51 | C | 4 | 浅鉢・皿 | | | | | 小波状口縁、ミガキ | | | ミガキ | | |
| 564 | NG51 | D | 4 | 浅鉢・皿 | | | | | 玉抱き三叉文 | | | ミガキ | | |
| 565 | NG51 | D | 4 | 壺・注口 | | | | | 列点文「B」突起 | | | | ススス | |
| 566 | NC51 | C-A | 4 | 壺・注口 | | | | | 入組三叉文 | | | ミガキ | | |
| 567 | NC51 | A-A | 4 | 壺・注口 | | | | | 入組三叉文？ | | | ミガキ | | |
| 568 | NF52 | A | 4 | 壺・注口 | | | | | 刻目帯＋無文（ミガキ） | | | ナデ | | |
| 569 | NF51 | A | 4 | 壺・注口 | | | | | 山形突起＋縄文＋ミガキ | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 570 | NH50 | A | 4 | 壺・注口 | | | | | 口頸部に粘土紐貼付→橋状把手 | | | | | |
| 571 | NF51 | C | 4 | 壺・注口 | | | | | | | | | | |
| 572 | NF51 | B | 4 | 壺・注口 | | | | | 山形突起・三文彫去＋無文 | | | ミガキ | | |

**第117図　捨て場1　４層出土Ⅲ群土器(3)**



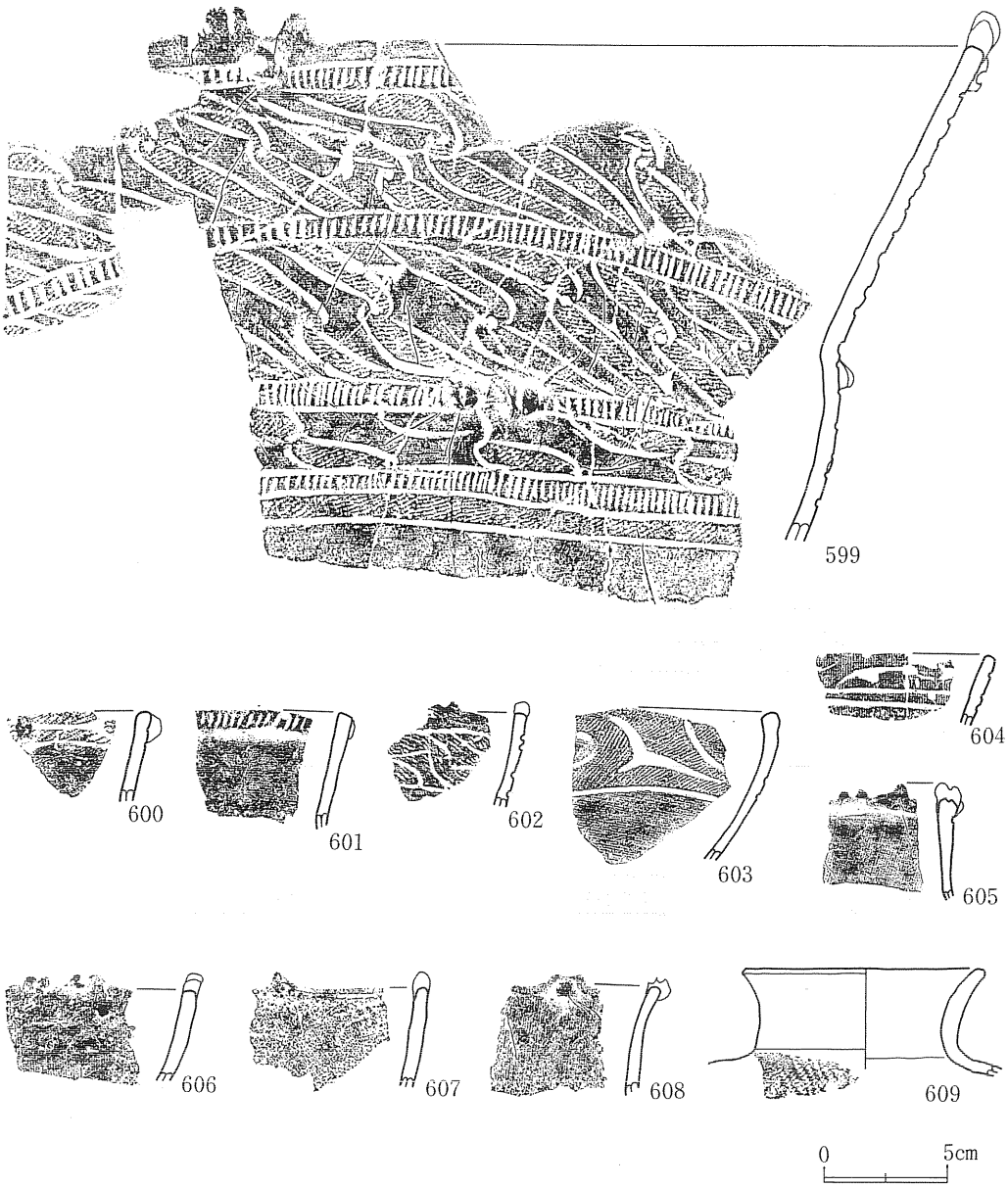

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 573 | NF51 | D | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 574 | NF52 | C | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 575 | NF52 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 条痕文 | | | | | |
| 576 | NH51 | | 5 | 深鉢 | | | | | ミガキ＋ナデ | | | ミガキ | | |
| 577 | ND52 | C-D | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 578 | NF51 | D | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 579 | NG52 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 580 | NF52 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 581 | NG50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 582 | NF52 | A | 5 | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | ススス | |

**第118図　捨て場1　５層出土Ⅲ群土器(1)**



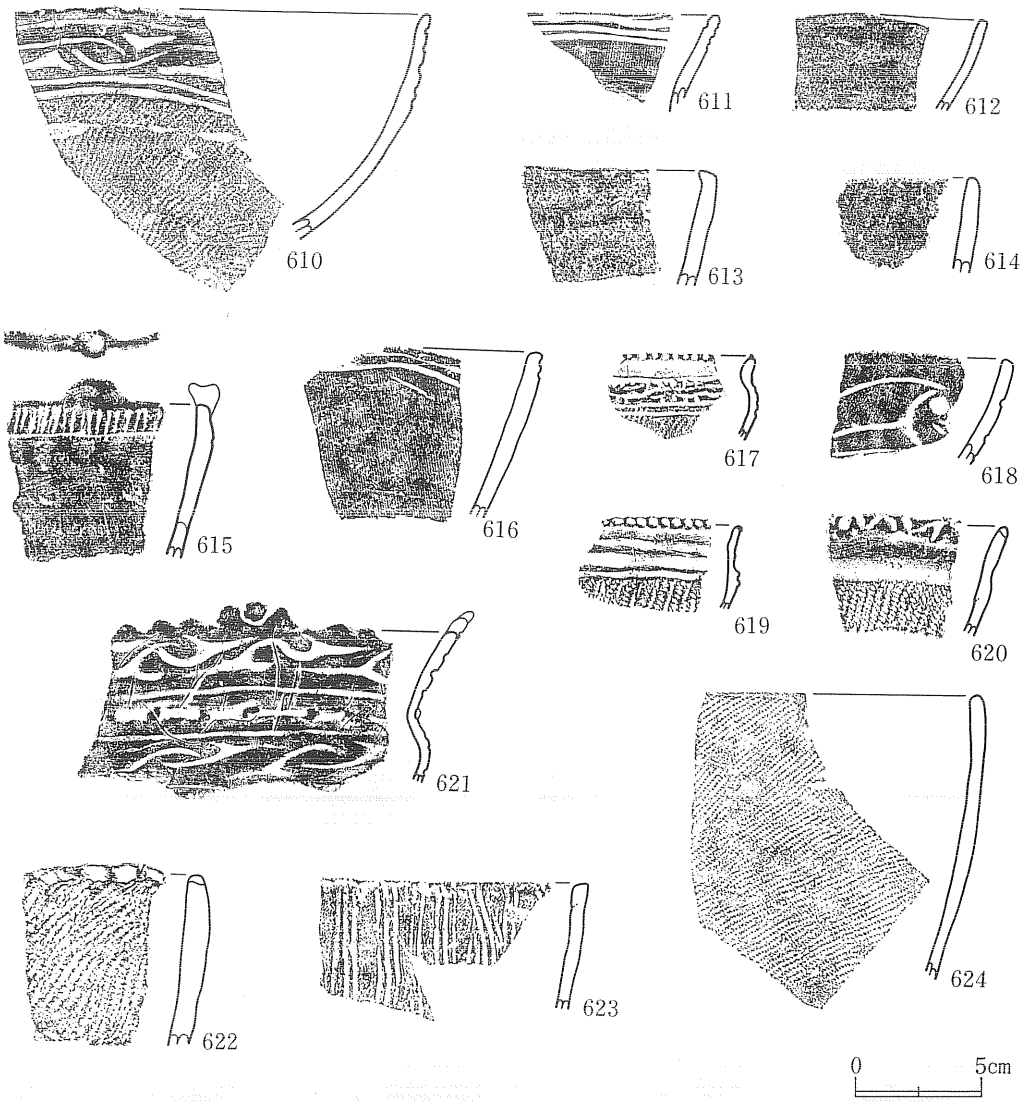

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 583 | NG52 | B | 5 | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | ナデ | スス | |
| 584 | NG52 | D | 5 | 深鉢 | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 585 | NF51 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 横 | | | |
| 586 | NF52 | C | 5 | 深鉢 | | | | | 山形突起、貼瘤＋入組帯状文 | ＲＬ | 横 | ナデ | スス | |
| 587 | NG50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 山形突起に刻み、三叉状入組文 | | | | | |
| 588 | NG50 | AB | 5 | 深鉢 | | | | | 山形突起に刻み・三叉状削去、平行沈線に列点文→無文→縄文 | Ｒ | 縦 | ナデ | | |
| 589 | NF52 | C | 5 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | | | | スス | スス |
| 590 | NG51 | B | 5 | 深鉢 | | | | | ミガキ＋ナデ | | | ナデ | スス | スス |
| 591 | NE50 | D | 5 | 深鉢 | | | | | 平行沈線文 | | | | | |
| 592 | NF50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 縦位のレンズ状文(？) | | | | | |
| 593 | NG50 | AB | 5 | 深鉢 | | | | | 山形突起、平行沈線＋無文＋刻目 | | | ナデ | | |
| 594 | ND51 | C | 5 | 壺・注口 | | | | | 三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 595 | ND51 | D | 5 | 壺・注口 | | | | | 三叉状入組文 | | | ミガキ | スス | |
| 596 | ND51 | C | 5 | 壺・注口 | | | | | 三叉状入組文 | ミガキ | | | 赤色塗彩 | |
| 597 | NF50 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | 口縁に刻目 | ＲＬ | 横 | | | |
| 598 | NF50 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | 平行沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |

**第119図　捨て場1　５層出土Ⅲ群土器(2)**



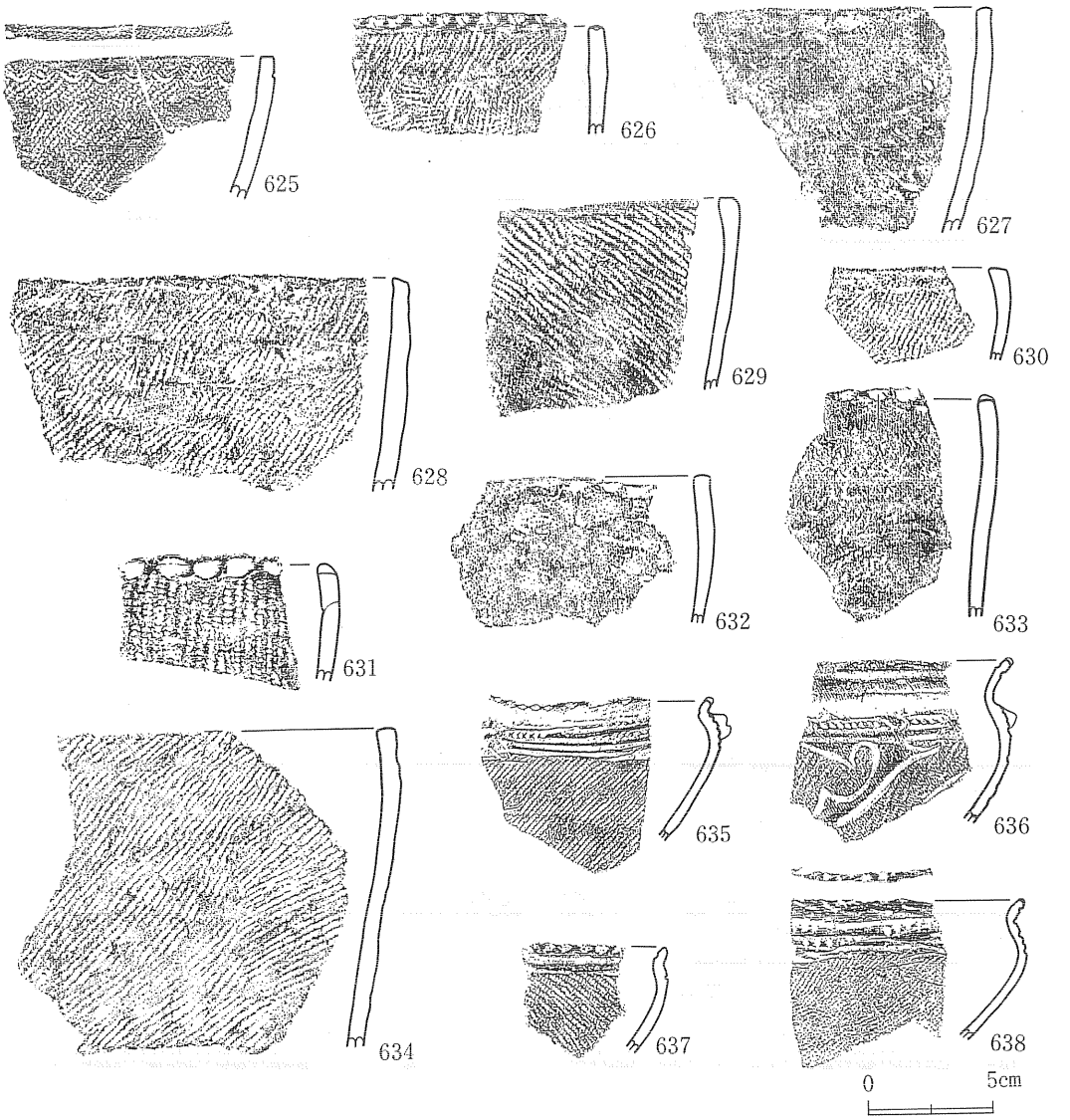

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 599 | NF52 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 突起下は刻目帯＋玉抱き三叉文風の入組帯状文のくり返し | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 600 | NG52 | C | 5 | 壺・注口 | | | | | 沈線→粘土粒貼付 | | | | | |
| 601 | NF52 | C | 5 | 壺・注口 | | | | | 口唇部に刻目帯、その下無文 | | | | | |
| 602 | NG52 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | 入組文 | | | ミガキ | ススス | |
| 603 | 不明 | | | 壺・注口 | | | | | 入組三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 604 | 不明 | | | 壺・注口 | | | | | 入組三叉文(？)＋平行沈線 | | | ミガキ | | |
| 605 | NG50 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | 口縁部山形突起・「B」突起、無文 | | | ミガキ | | |
| 606 | NG52 | | | 壺・注口 | | | | | 口縁部山形突起に刻み | | | ミガキ | ススス | |
| 607 | NC50 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | 口縁部山形突起 | | | | ススス | ススス |
| 608 | 不明 | | | 壺・注口 | | | | | 口縁部山形突起 | | | | | |
| 609 | NE51 | C | 5 | 壺 | | | | | 無文＋縄文 | ＲＬ | 横 | | | |

**第120図　捨て場1　５層出土Ⅲ群土器(3)**



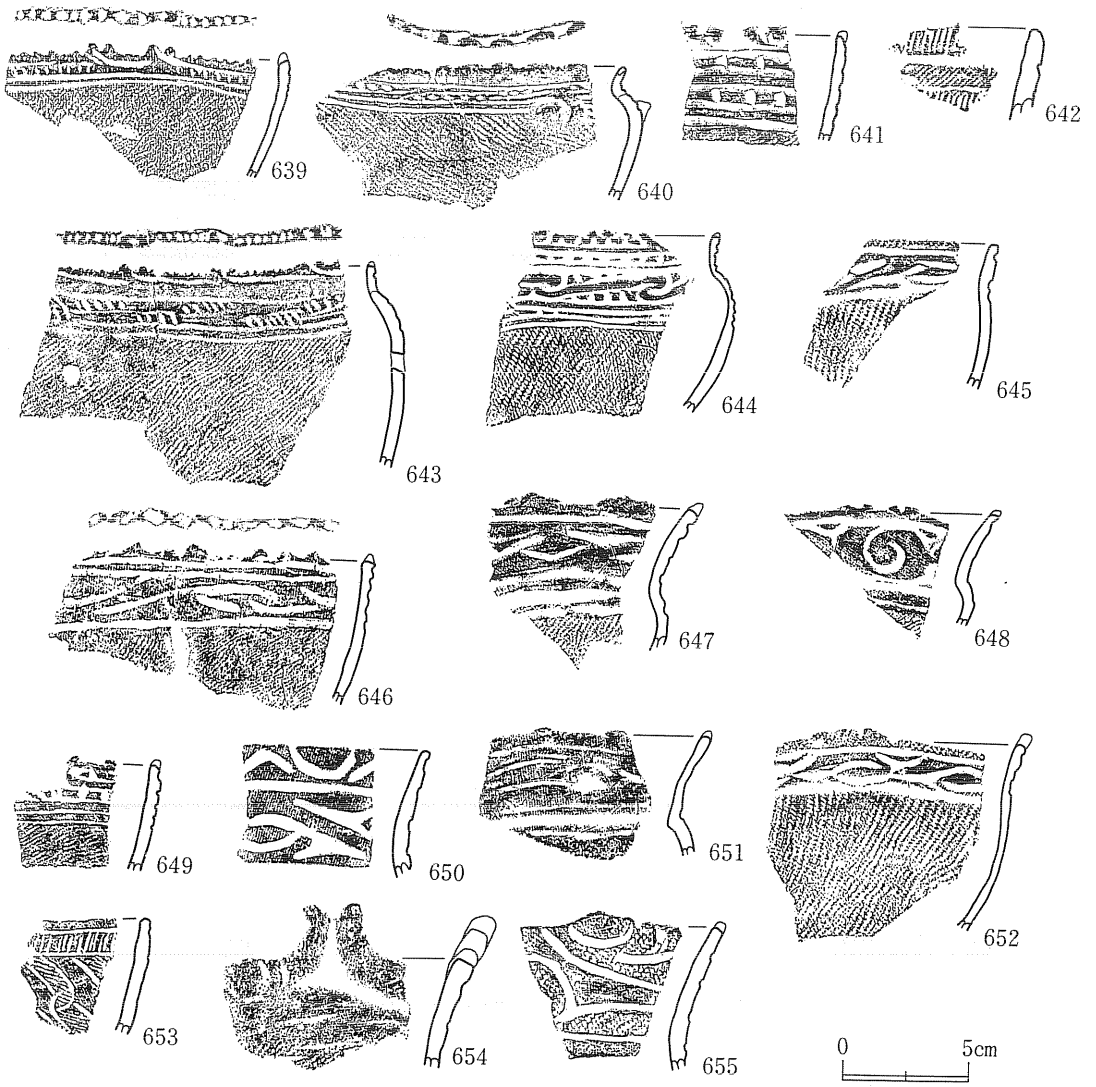

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 610 | ND50 | C | 5 | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 611 | NO51 | B | 5 | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 平行沈線 | | | ミガキ | | |
| 612 | NF52 | B | 5 | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 613 | NF52 | B | 5 | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ミガキ | | | | | |
| 614 | NF52 | C | 5 | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 615 | NG52 | C | 5 | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 口縁に突起、その下に刻目帯 | | | ナデ | スス | |
| 616 | ND52 | D-A | 5 | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 平行沈線文＋ミガキ | | | ミガキ | | |
| 617 | ND51 | D | 5 | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＲＬ | 横 | | スス | スス |
| 618 | NF | | 5 | 鉢 | | | | | 玉抱き三叉文 | | | ミガキ | | |
| 619 | NF52 | C | 5 | 鉢 | | | | | 口縁部に刻目、その下平行沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | スス | スス |
| 620 | NF47 | A | 5 | 鉢 | | | | | 口縁部に山形状沈線＋無文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 621 | NC51 | C | 5 | 鉢 | | | | | 山形突起、三叉文＋列点文＋三叉文 | | | | スス | スス |
| 622 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 口縁部刻目＋縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 623 | NL49 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 条痕文 | | | ナデ | | |
| 624 | NO49 | D | 4-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | スス | スス |

第121図　捨て場1　５層(4)・捨て場２　４-a層出土Ⅲ群土器(1)



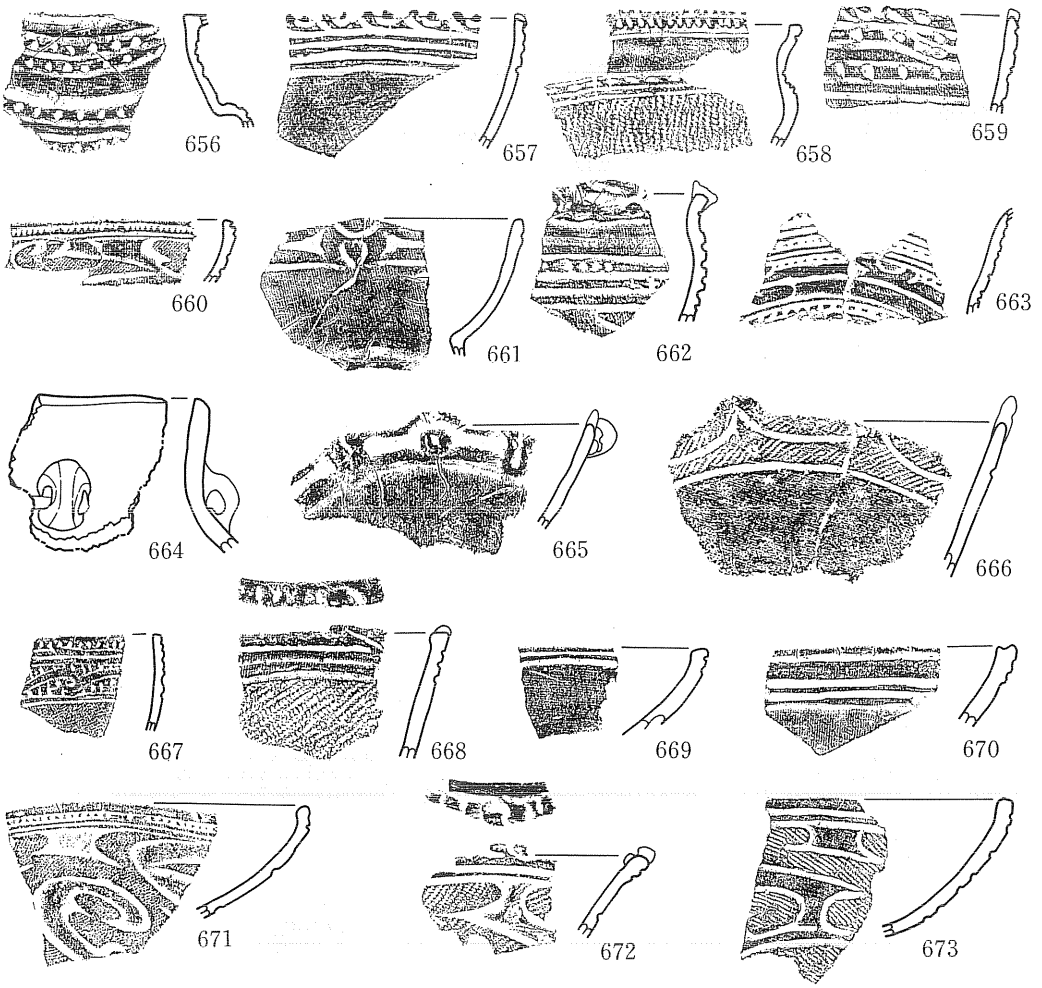

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 調整方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 625 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 縄文＋綾絡文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 626 | NO49 | D | 4-a | 深鉢 | | | | | 口唇部刻目、縄文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | ススス | |
| 627 | NO48 | | 4-a | 深鉢 | | | | | ナデ | | | ナデ | ススス | |
| 628 | NO48 | C | | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 629 | NO49 | D | 4-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 630 | NO | | 4-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 631 | NO | | 4-a | 深鉢 | | | | | 口唇部刻目 | ＬＲ | 斜 | ナデ | ススス | ススス |
| 632 | NO48 | C | 4-a | 深鉢 | | | | | 無文 | | | ナデ | ススス | |
| 633 | NO | | 4-a | 深鉢 | | | | | 口唇部に刻目、ミガキ | | | ナデ | ススス | |
| 634 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | Ｌ | 横 | ナデ | ススス | |
| 635 | NO | | 4-a | 深鉢 | | | | | 羊歯状文、「B」突起 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 636 | NK49 | D | 4-a | 鉢 | | | | | 刻目帯＋入組帯状文 | | | | | |
| 637 | NP48 | B | 4-a | 鉢 | | | | | 口唇部に刻目、無文＋縄文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 638 | NP48 | B | 4-a | 鉢 | | | | | 羊歯状文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |

第122図　捨て場２　４-a層出土Ⅲ群土器(2)



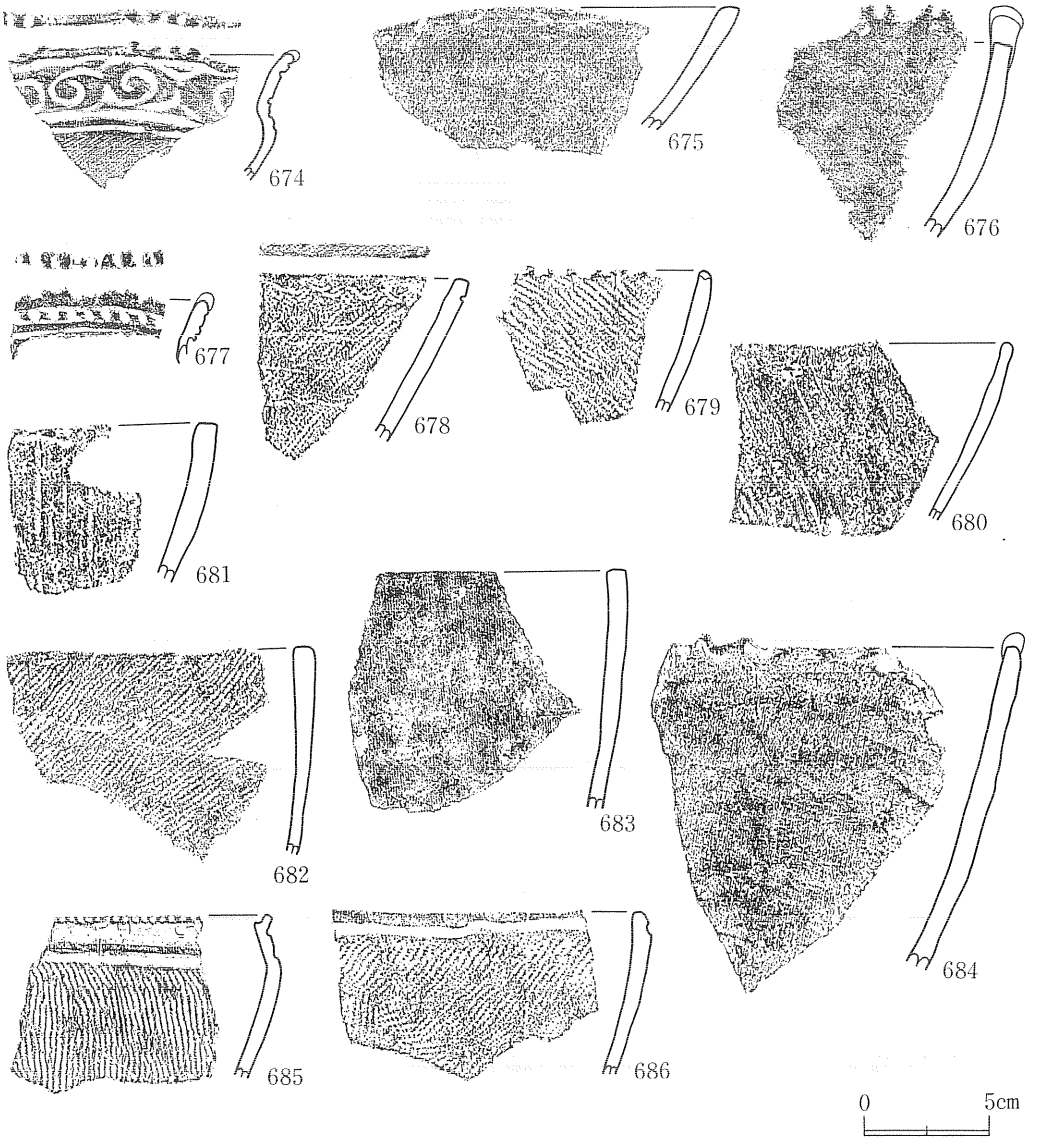

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 調整方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 639 | NO | | 4-a | 鉢 | | | | | 「B」突起、羊歯状文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 640 | NO48 | C | 4-a | 鉢 | | | | | 羊歯状文＋縄文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | | |
| 641 | NO | | 4-a | 鉢 | | | | | 列点文、「B」突起 | | | ミガキ | ススス | |
| 642 | NN49 | A | 4-a | 鉢 | | | | | 平行沈線に刻目＋縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 643 | NO48 | C | 4-a | 鉢 | | | | | 羊歯状文＋縄文 | ＬＲ | 横 | | ススス | |
| 644 | NO | | 4-a | 鉢 | | | | | 羊歯状文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 645 | NN48 | A | 4-a | 鉢 | | | | | 三叉状入組文(？)＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 646 | NO48 | | 4-a | 鉢 | | | | | 三叉状入組文＋縄文 | Ｒ | 横 | ミガキ | | |
| 647 | NK48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 648 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 649 | NO | | 4-a | 深鉢 | | | | | 羊歯状文＋平行沈線＋縄文 | Ｌ | 横 | ミガキ | | |
| 650 | NO49 | D | 4-a | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | | | ミガキ | | |
| 651 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文(？) | | | | | |
| 652 | KN48 | A | 4-a | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | | | | | |
| 653 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 刻目帯＋入組帯状文 | Ｒ | 横 | | | |
| 654 | NO49 | D | 4-a | 深鉢 | | | | | 山形口縁＋三叉状彫去、平行沈線 | | | | ススス | ススス |
| 655 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |

**第123図　捨て場２　４-a層出土Ⅲ群土器(3)**



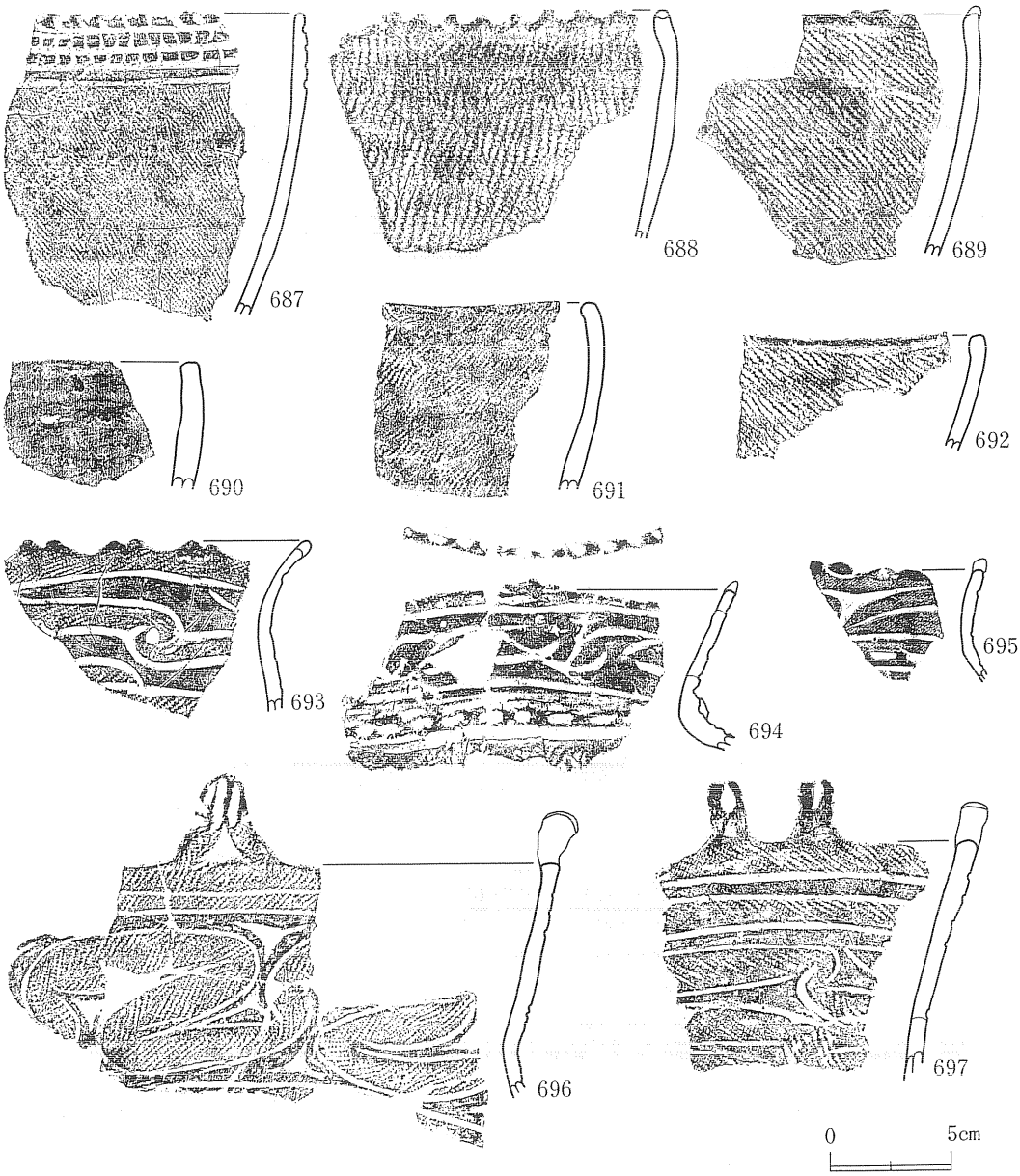

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 656 | NO | | 4-a | 壺・注口 | | | | | 列点文＋無文＋刻目 | | | ナデ | | |
| 657 | NO48 | D | 4-a | 壺・注口 | | | | | 平行沈線文 | | | ミガキ | | |
| 658 | NL49 | B | 4-a | 壺・注口 | | | | | 刻目＋沈線＋無文＋列点文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 659 | NO | | 4-a | 壺・注口 | | | | | | | | ミガキ | ススス | |
| 660 | NO | | 4-a | 壺・注口 | | | | | 雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 661 | NN49 | | 4-a | 壺・注口 | | | | | 三叉状入組文、黒色研磨 | | | ミガキ | | |
| 662 | NP48 | B | 4-a | 壺・注口 | | | | | 列点文＋平行沈線文 | | | ミガキ | | ススス |
| 663 | ND48 | D | 4-a | 壺・注口 | | | | | 列点文＋平行沈線文 | | | ナデ | | |
| 664 | NO48 | B | 4-a | 壺・注口 | | | | | 無文＋橋状把手 | | | ナデ | | |
| 665 | NO48 | B | 4-a | 壺・注口 | | | | | | | | ナデ | | |
| 666 | NN48 | A | 4-a | 壺・注口 | | | | | 弧状沈線文＋無文 | | | | | |
| 667 | NO48 | D | 4-a | 浅鉢・皿 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 668 | NO48 | D | 4-a | 浅鉢・皿 | | | | | 平行沈線文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 669 | NK48 | A | 4-a | 浅鉢・皿 | | | | | 平行沈線文＋無文 | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 670 | NK49 | A | 4-a | 浅鉢・皿 | | | | | 平行沈線文＋無文 | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 671 | NN49 | D | 4-a | 浅鉢・皿 | | | | | 列点文＋雲形文 | ＬＲ | 横 | ナデ | 赤色塗彩 | |
| 672 | NO48 | B | 4-a | 浅鉢・皿 | | | | | 雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 673 | NM49 | C | 4-a | 浅鉢・皿 | | | | | 唐草風入組文 | | | ミガキ | | |

**第124図　捨て場２　４-a層出土Ⅲ群土器(4)**



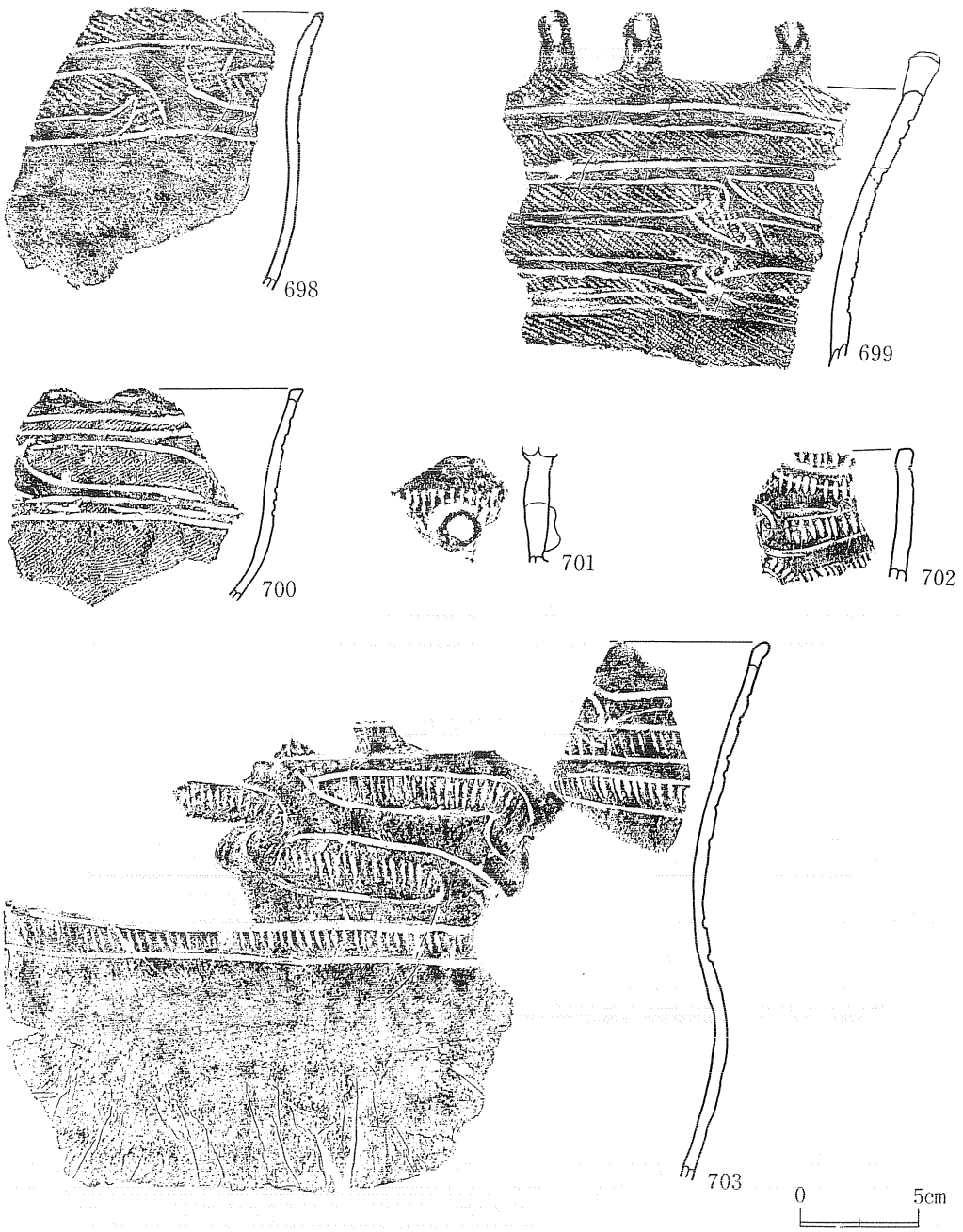

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 674 | NO48 | B | 4-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 唐草風入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 675 | NO48 | A | 4-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 無文(ナデ) | | | ナデ | | |
| 676 | NO48 | B | 4-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 無文(ナデ) | | | ナデ | | |
| 677 | NO48 | | 4-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 「Ｂ」突起、刺突列 | | | ナデ | | |
| 678 | NO48 | B | 4 | 深鉢 | | | | | 綾絡文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 679 | NP48 | C | 4-c | 深鉢 | | | | | 口縁部刻み、縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | スス | |
| 680 | NO48 | C | 4-c | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | | スス | スス |
| 681 | NO48 | A | 4-c | 深鉢 | | | | | 条痕文 | | | ナデ | | |
| 682 | NO48 | B | 4-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | スス | |
| 683 | NP48 | B | 4-c | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | ナデ | スス | |
| 684 | NO48 | D | 4-c | 深鉢 | | | | | 山形状の突起(？)に刻み、ケズリ | | | ナデ | | |
| 685 | NO48 | C | 4-c | 深鉢 | | | | | 口唇に刻目＋沈線 | ＬＲ | 横 | ナデ | | スス |
| 686 | NO48 | A | 4-c | 深鉢 | | | | | 縄文＋1条の沈線 | ＬＲ | 横 | ナデ | スス | スス |

**第125図　捨て場２　４-a層(5)・４-c層出土Ⅲ群土器(1)**



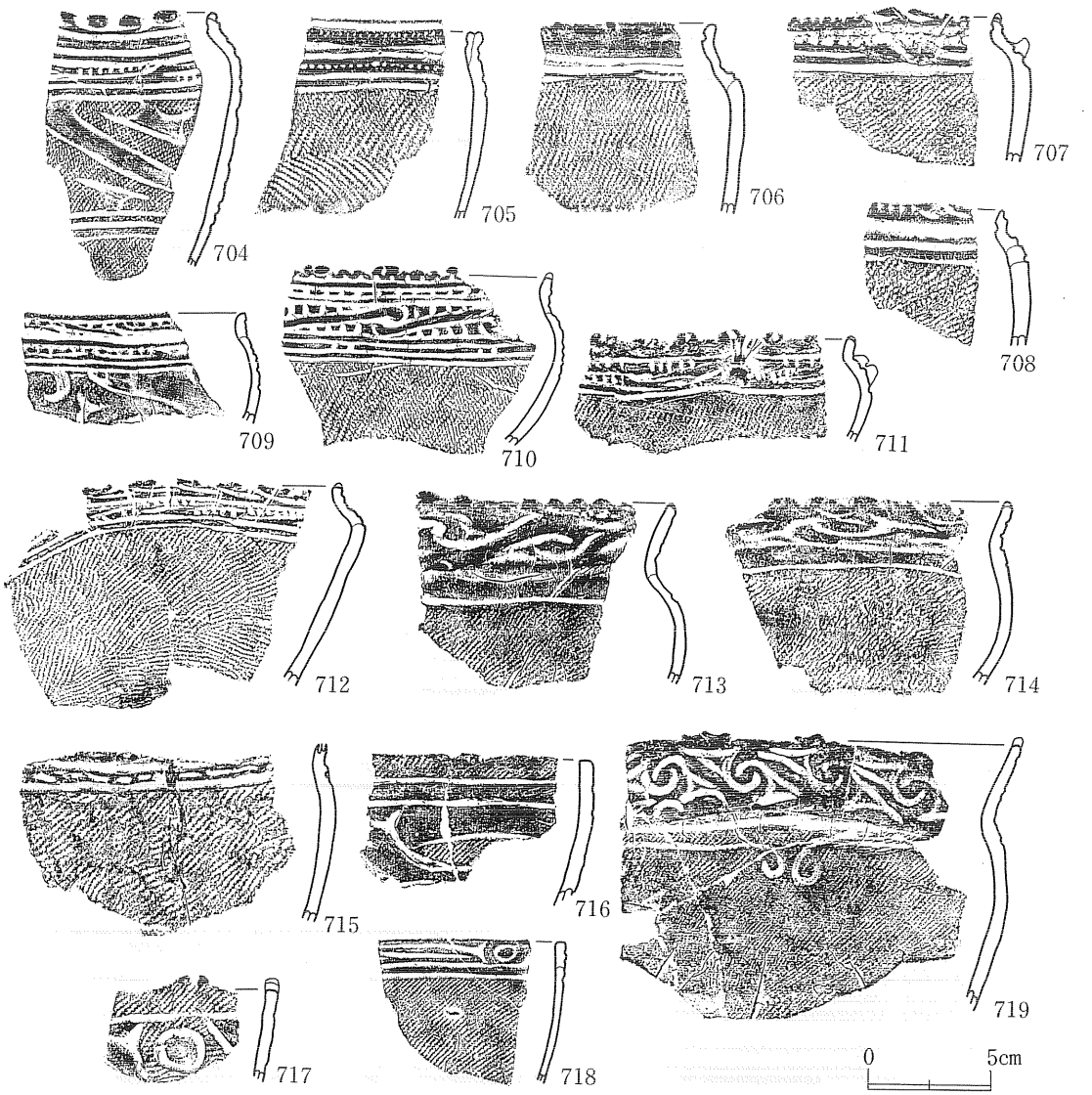

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 圧痕方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 687 | NO48 | C | 4-c | 深鉢 | | | | | 列点文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 688 | NO48 | C | 4-c | 深鉢 | | | | | 小波状口縁、縄文 | ＬＲ | 斜 | | ススス | |
| 689 | NO48 | B | 4-c | 深鉢 | | | | | 「B」突起、縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | |
| 690 | NM47 | B | 4-c | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 691 | NO48 | B | 4-c | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 692 | NO48 | D | 4-c | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 横 | | | |
| 693 | NP48 | A | 4-c | 深鉢 | | | | | 玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | | ススス | ススス |
| 694 | NO48 | C | 4-c | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文＋列点文 | | | ミガキ | | |
| 695 | NO48 | D | 4-c | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | | | ミガキ | | |
| 696 | NO48 | D | 4-c | 深鉢 | | | | | 山形口縁、入組帯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 697 | NO48 | D | 4-c | 深鉢 | | | | | 山形口縁、入組帯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |

第126図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ群土器(2)



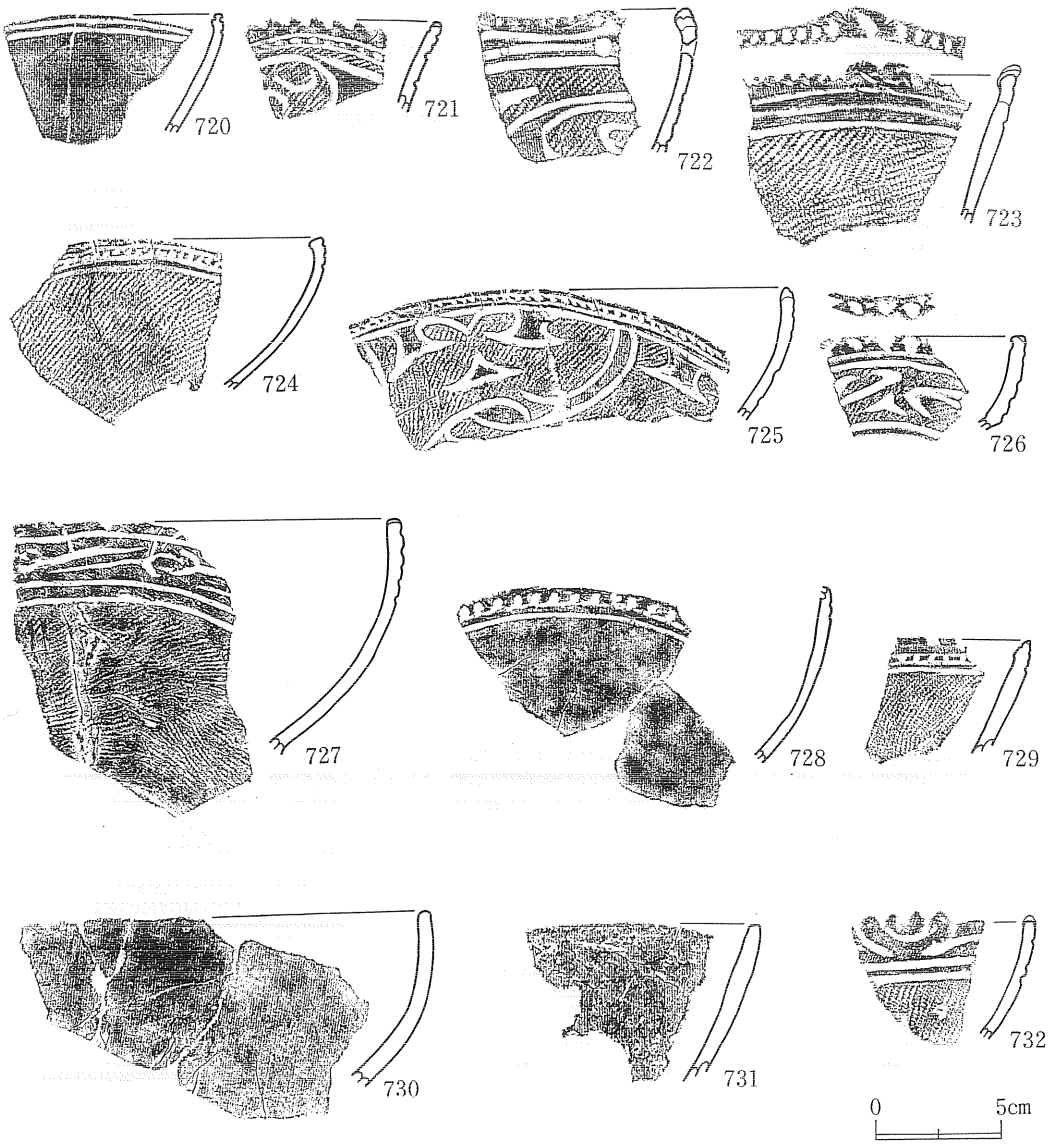

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 698 | NO48 | A | 4-c | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | RL | 横 | ナデ | | スス |
| 699 | NO48 | A | 4-c | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | RL | 横 | ナデ | 赤色彩 | 赤色彩・スス |
| 700 | NQ48 | B | 4-c | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | LR | 横 | ミガキ | スス | |
| 701 | NM51 | C | 4-c | 深鉢 | | | | | 刻目帯＋ボタン状貼付文 | | | | | |
| 702 | NP48 | B | 4-c | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | | | ナデ | スス | |
| 703 | NN48 | A | 4-c | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | | | ナデ | スス | |

**第127図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ群土器(3)**



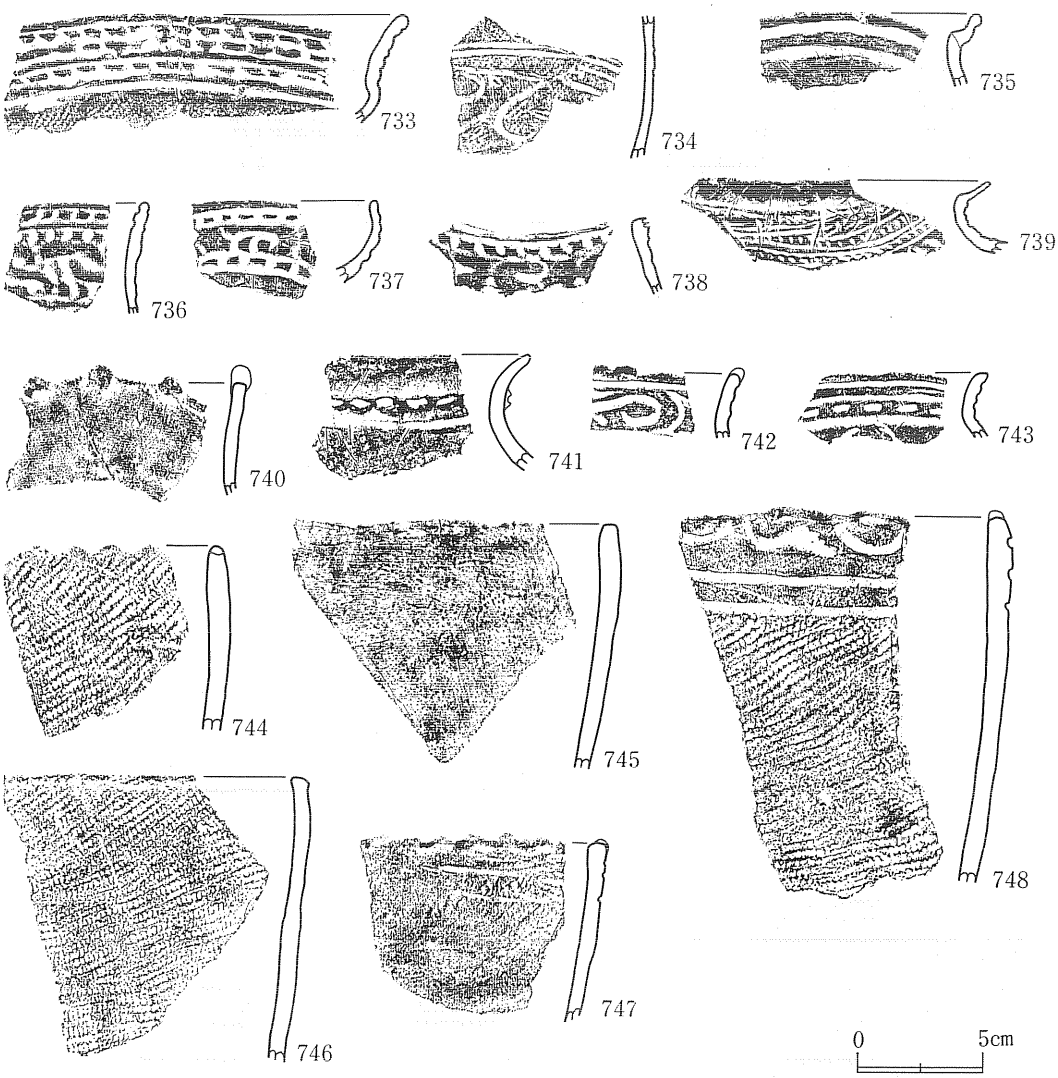

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 704 | NO48 | A | 4-c | 鉢 | | | | | 羊歯状文＋雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 705 | NM47 | B | 4-c | 鉢 | | | | | 平行沈線＋刺突文＋羽状縄文 | LR-RLの結束 | 横 | ミガキ | | |
| 706 | NM47 | D | 4-c | 鉢 | | | | | 平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ? | ススス | ススス |
| 707 | NP48 | C | 4-c | 鉢 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 708 | NP48 | C | 4-c | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ? | | ススス |
| 709 | NQ48 | D | 4-c | 鉢 | | | | | 羊歯状文＋三叉文 | | | ミガキ | | |
| 710 | NO48 | C | 4-c | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 711 | NP48 | C | 4-c | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 712 | NP48 | B | 4-c | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 713 | NP48 | C | 4-c | 鉢 | | | | | 三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 714 | NN48 | B | 4-c | 鉢 | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線 | Ｌ | 横 | | | |
| 715 | NO48 | B | 4-c | 鉢 | | | | | 平行沈線文＋列点文 | Ｌ | 横 | ナデ | ススス | |
| 716 | NQ48 | A | 4-c | 鉢 | | | | | 三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 717 | NO48 | A | 4-c | 鉢 | | | | | 玉抱き三叉文 | Ｌ | 横 | ミガキ | | ススス |
| 718 | NO48 | A | 4-c | 鉢 | | | | | 玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 719 | NO48 | B | 4-c | 鉢 | | | | | 唐草風入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |

第128図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ群土器(4)



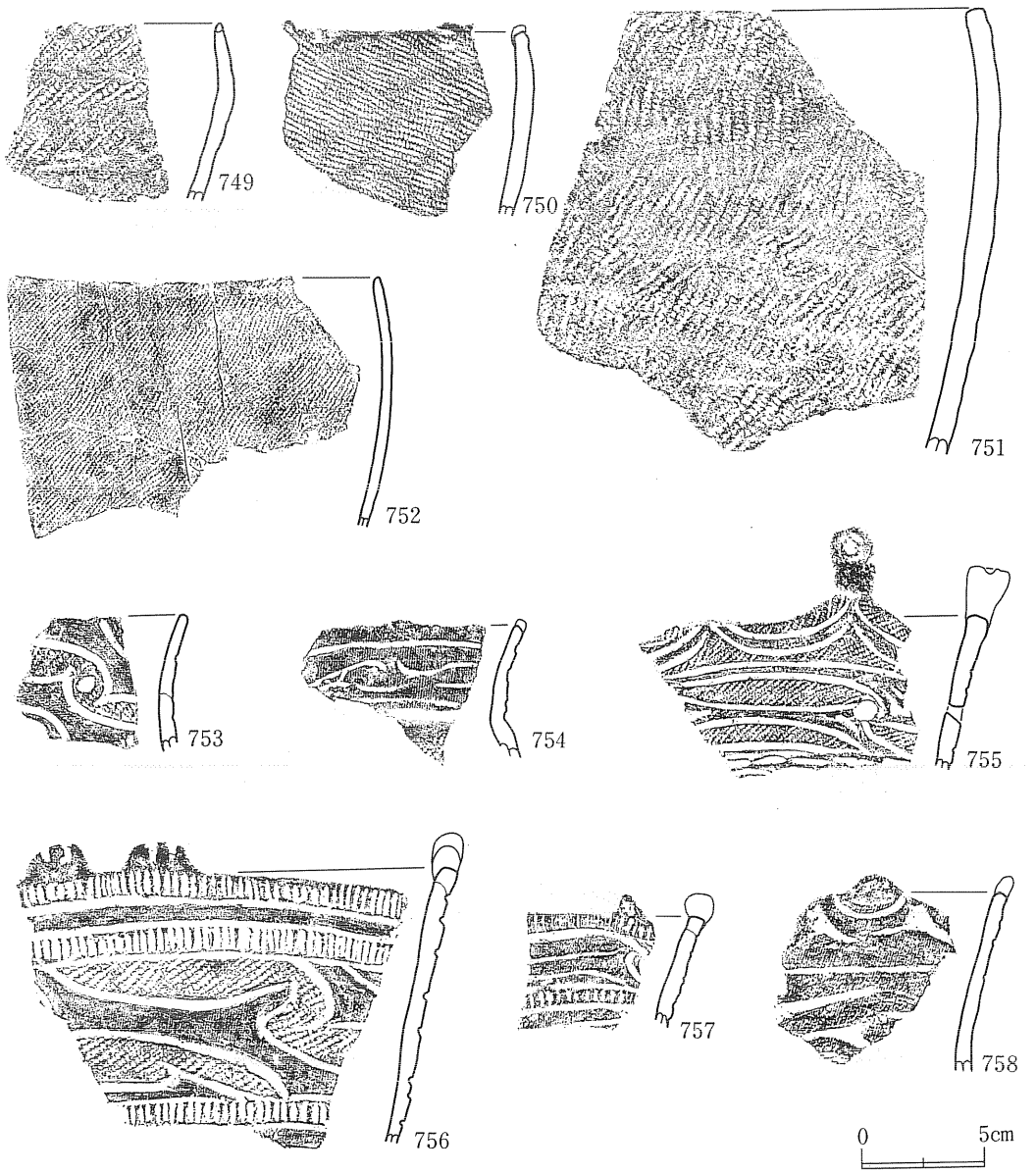

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 720 | NO48 | B | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 平行沈線＋ミガキ | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 721 | NP48 | D | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 列点文＋雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 722 | NO48 | C | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 刻目＋入組帯状文(？) | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 723 | NP48 | B | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 刻目＋平行沈線 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 724 | NP47 | B | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 725 | NO48 | B | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 刻目＋雲形文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 726 | NO48 | B | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 刻目＋雲形文 | ？ | ？ | ミガキ | | |
| 727 | NO48 | C | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線 | Ｒ | 不整 | ミガキ | | |
| 728 | NO48 | C | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 口唇部刻目 | | | ミガキ | | |
| 729 | NO47 | B | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 口唇部刻目 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 730 | NO48 | B | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 731 | NO48 | D | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 732 | NP48 | | 4-c | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |

**第129図　捨て場２　４-c層出土Ⅲ土器(5)**



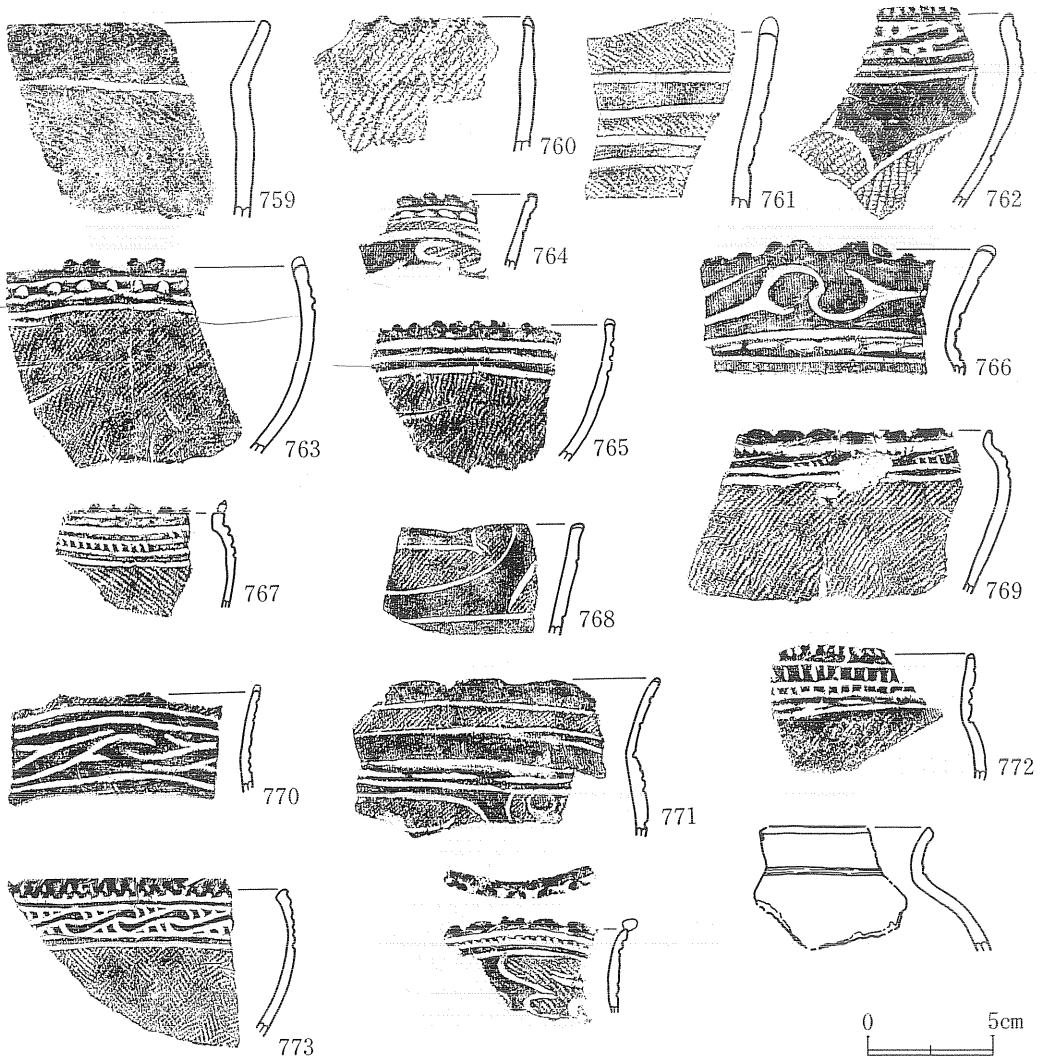

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 733 | NP48 | C | 4-c | 壺注・口 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 734 | NP48 | D | 4-c | 壺注・口 | | | | | 雲形文(？) | Ｌ | 横 | | | |
| 735 | NO48 | C | 4-c | 壺注・口 | | | | | 平行沈線文(赤色研磨) | | | ミガキ | | |
| 736 | NO48 | D | 4-c | 壺注・口 | | | | | | | | ミガキ | | |
| 737 | NO48 | C | 4-c | 壺注・口 | | | | | | | | ミガキ | | |
| 738 | NM47 | D | 4-c | 壺注・口 | | | | | | | | | | |
| 739 | NO48 | B | 4-c | 壺注・口 | | | | | 羊歯状文 | | | ミガキ | | |
| 740 | NO48 | B | 4-c | 壺注・口 | | | | | 無文(ミガキ) | | | ミガキ | | |
| 741 | NP48 | D | 4-c | 壺注・口 | | | | | 列点文 | | | ミガキ | | |
| 742 | NO48 | A | 4-c | 壺注・口 | | | | | | | | ミガキ | | |
| 743 | NP48 | C | 4-c | 壺注・口 | | | | | 平行沈線＋列点文 | | | ミガキ | | |
| 744 | NR51 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | 小波状口縁、縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 745 | NR51 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | ナデ | ススス | |
| 746 | NQ49 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | 弧線文＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 747 | NO48 | A | 4-b | 深鉢 | | | | | 縄文＋ナデ | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 748 | NQ49 | C | 4-b | 深鉢 | | | | | 口唇部に刻目、ミガキ | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |

**第130図　捨て場２　４-c層(6)・４-b層出土Ⅲ群土器(1)**



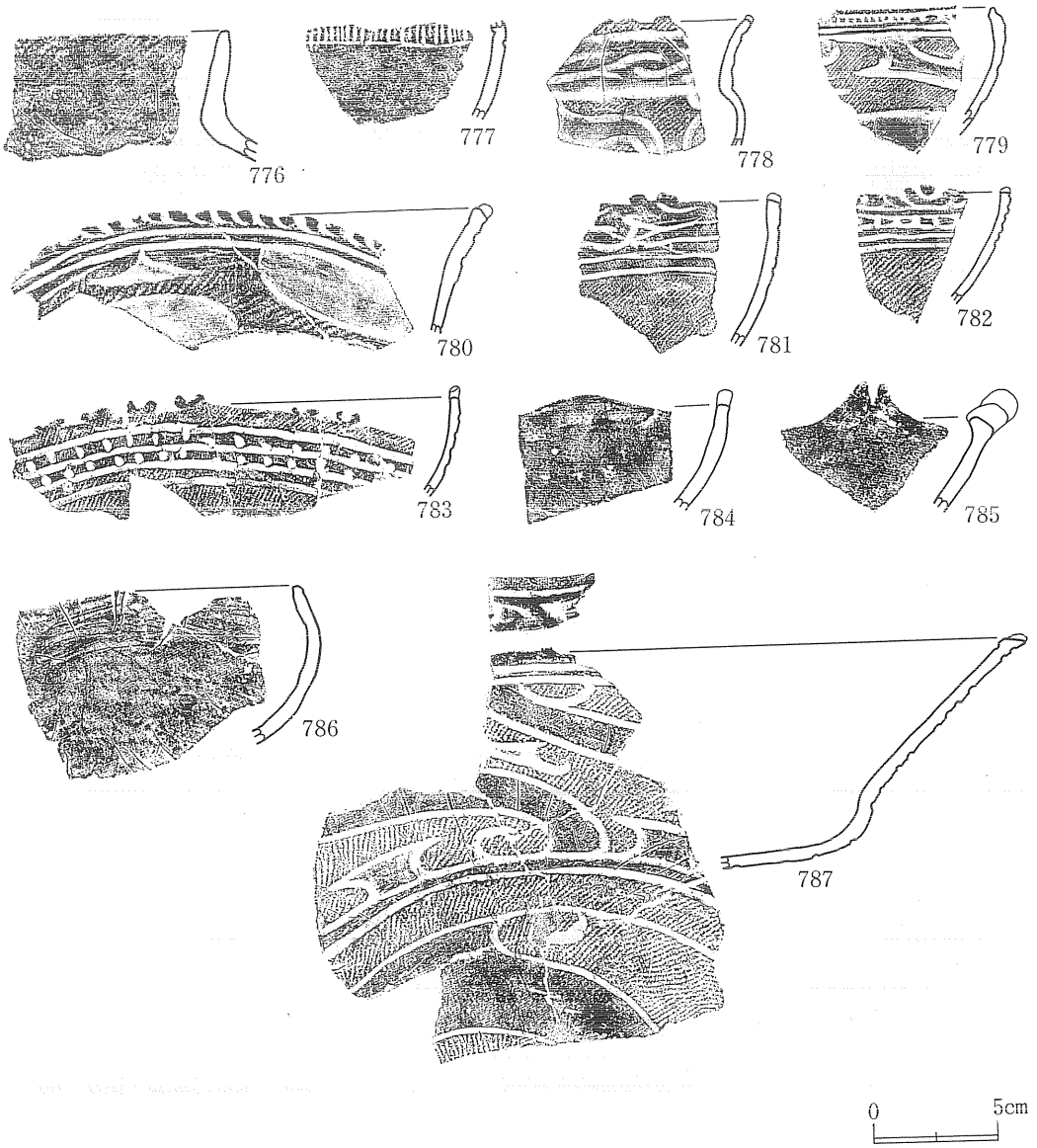

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 749 | MO50 | C | 4-b | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 750 | NQ50 | C | 4-b | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススス | |
| 751 | NP48 | B | 4-b | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 752 | NP50 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | ススス |
| 753 | NO50 | C | 4-b | 深鉢 | | | | | 玉抱き三叉文 | | | ミガキ | ススス | ススス |
| 754 | NO49 | A | 4-b | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | | | ミガキ | ススス | |
| 755 | NO49 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | 小波状口縁、入組帯状文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | ススス |
| 756 | NO50 | C | 4-b | 深鉢 | | | | | 刻目帯＋入組帯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 757 | NO49 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | 刻目帯＋入組帯状文 | | | ？ | ススス | ススス |
| 758 | NQ49 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | 弧線文＋三叉状入組文 | | | ミガキ | ススス | ススス |

**第131図　捨て場２　４-b層出土Ⅲ群土器(2)**



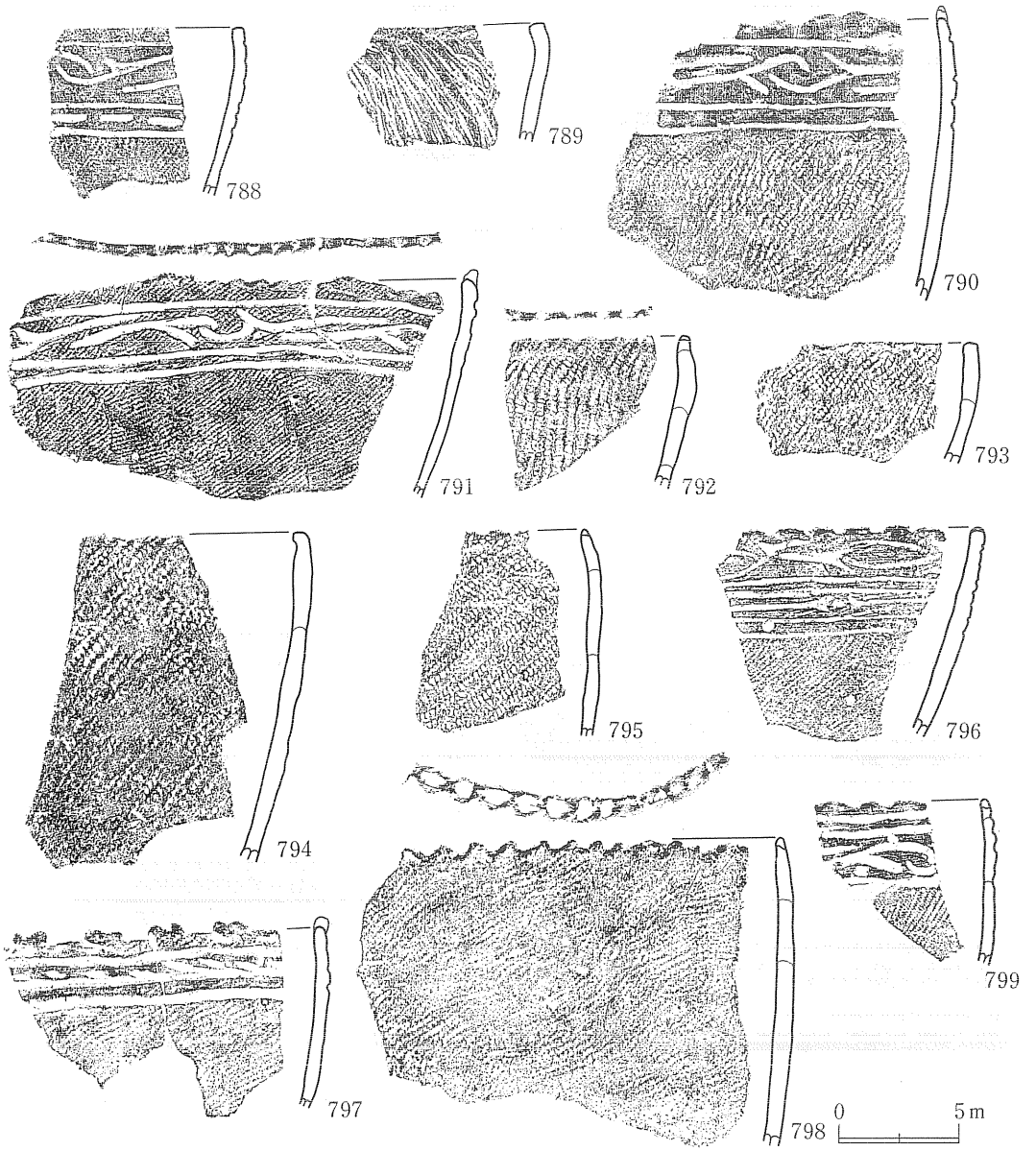

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 759 | NO49 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | | ? | ? | | スス | スス |
| 760 | NO49 | D | 4-b | 深鉢 | | | | | | LR | 横 | | スス | |
| 761 | NO50 | C | 4-b | 深鉢 | | | | | 平行沈線 | RL | 横 | ミガキ | スス | |
| 762 | NO49 | | 4-b | 鉢 | | | | | (赤色研磨) | LR | 横 | ミガキ | | |
| 763 | NO50 | C | 4-b | 鉢 | | | | | 2ヶ1対の「B」突起、列点文 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 764 | NP48 | B | 4-b | 鉢 | | | | | 平行沈線文 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 765 | NO49 | C | 4-b | 鉢 | | | | | | LR | 横 | ? | スス | スス |
| 766 | NO50 | C | 4-b | 鉢 | | | | | 三叉状入組文＋列点文 | | | ミガキ | スス | スス |
| 767 | NQ49 | A | 4-b | 鉢 | | | | | 平行沈線＋刻目 | RL | 横 | ミガキ | スス | スス |
| 768 | NO50 | D | 4-b | 鉢 | | | | | 入組帯状文(？) | LR | 横 | ミガキ | | |
| 769 | － | | | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | LR | 横 | ミガキ | スス | スス |
| 770 | NO49 | C | 4-b | 鉢 | | | | | 三叉状入組文 | LR | 横 | ミガキ | スス | スス |
| 771 | NO49 | D | 4-b | 鉢 | | | | | 玉抱き三叉文 | LR | 横 | ミガキ | スス | スス |
| 772 | NO50 | C | 4-b | 壺注・口 | | | | | 刻目帯 | LR | 横 | | | |
| 773 | NO49 | | 4-b | 壺注・口 | | | | | 羊歯状文 | L？ | 横？ | ミガキ | | |
| 774 | NO49 | C | 4-b | 壺注・口 | | | | | 刻目＋雲形文 | RL | 横 | | | |
| 775 | NO49 | A | 4-b | 壺注・口 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |

第132図　捨て場２　４-b層出土Ⅲ群土器(3)



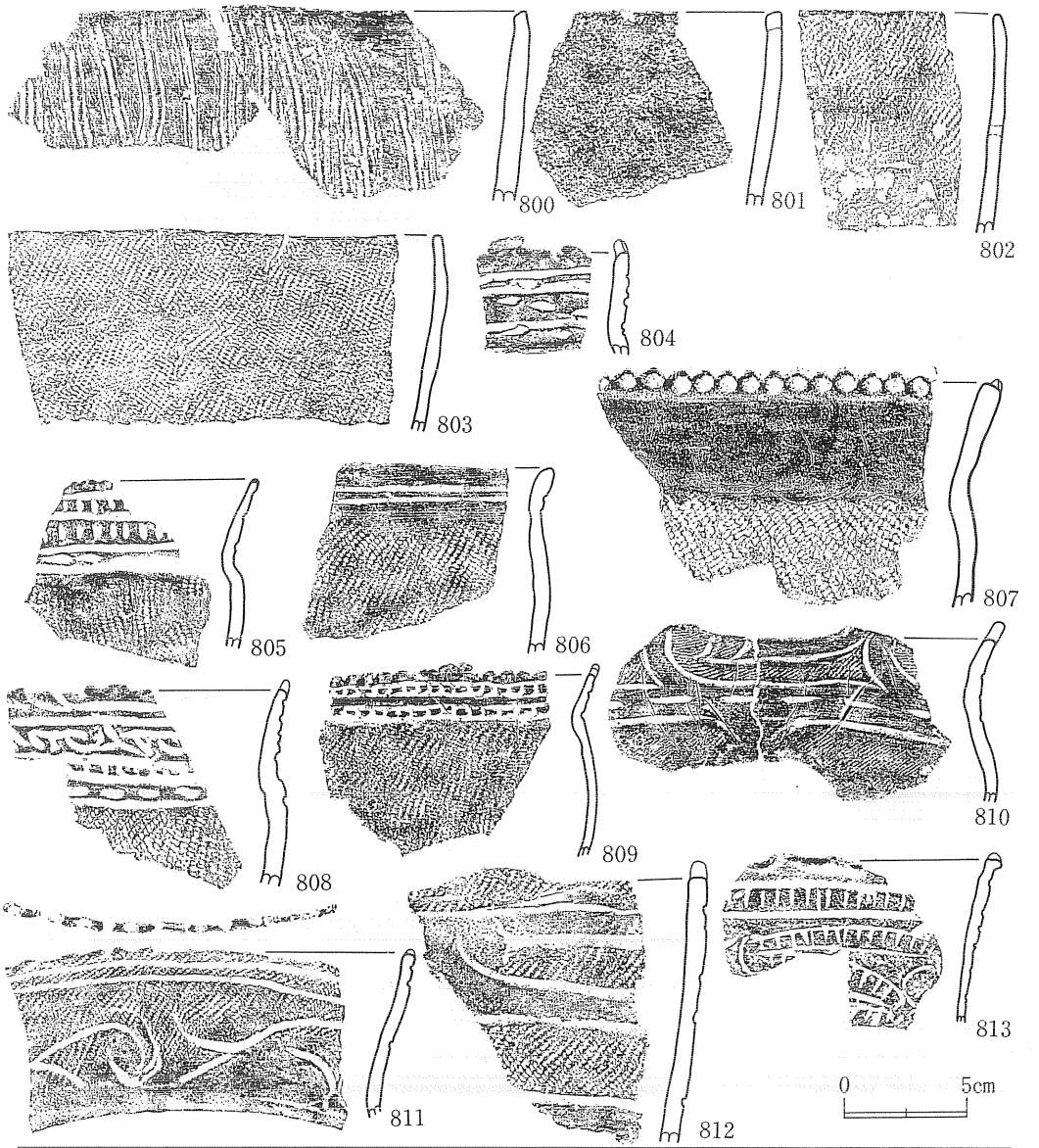

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 776 | NO48 | D | 4-b | 壺・注口 | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 777 | NO49 | D | 4-b | 壺・注口 | | | | | 刻目帯 | | | ナデ | | |
| 778 | NP51 | D | 4-b | 壺・注口 | | | | | 三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 779 | NO48 | A | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | 三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 780 | NP48 | B | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | 雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 781 | NP48 | B | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 782 | NP49 | B | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | 弧線文＋刻目＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 783 | NO49 | D | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 784 | NO49 | C | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 785 | NO49 | B | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 786 | NO50 | C | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 787 | NO49 | D | 4-b | 浅鉢・皿 | | | | | 雲形文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |

**第133図　捨て場２　４-b層出土Ⅲ群土器(4)**



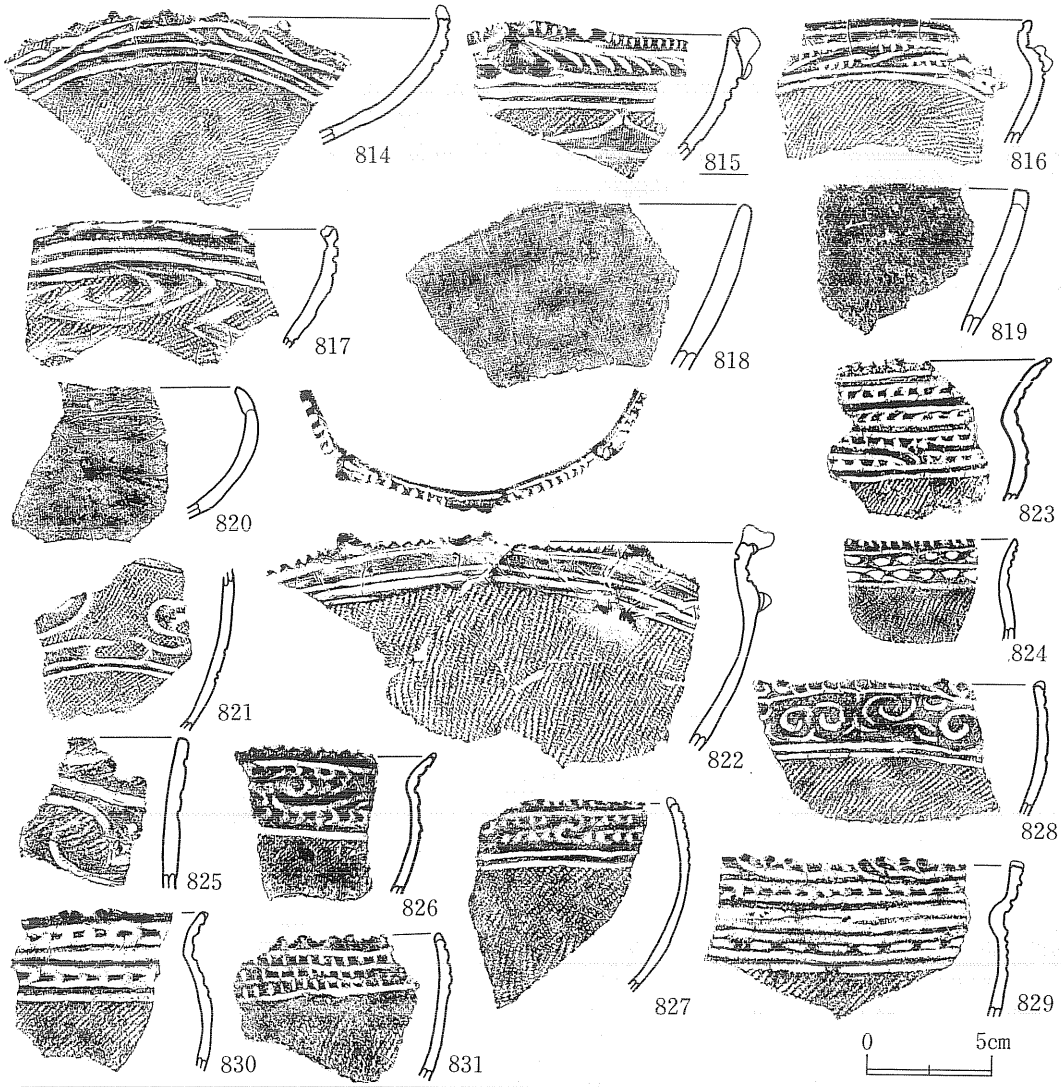

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器種 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 788 | NP50 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文＋列点文 | ＬＲ | 横 | ? | ススス | ススス |
| 789 | NP50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 条痕文 | | | ナデ | | |
| 790 | NR50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | | ススス | ススス |
| 791 | NQ50 | C | 5 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | ? | ススス | ススス |
| 792 | NR50 | A | 5 | 深鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 793 | NR50 | A | 5 | 深鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 794 | NR50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 795 | NO48 | A | 5 | 深鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 796 | NQ49 | C | 5 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文＋玉抱き三叉文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 797 | NO50 | C | 5 | 深鉢 | | | | | 「B」突起、列点文 | ＬＲ | 横 | | ススス | |
| 798 | NR50 | A | 5 | 深鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 799 | NO48 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |

第134図　捨て場２　５層出土Ⅲ群土器(1)



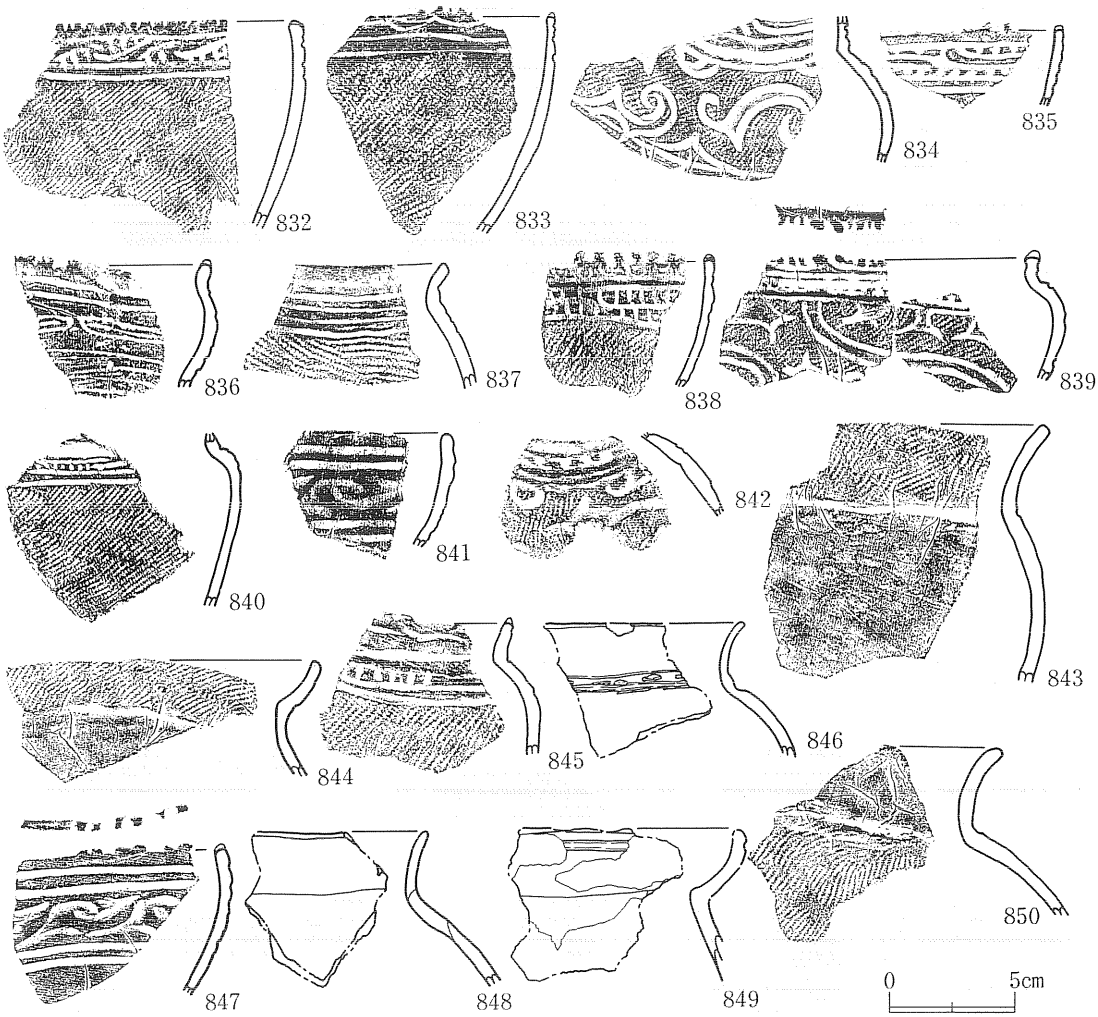

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 800 | NO50 | D | 5 | 深鉢 | | | | | 条痕文 | | | ナデ | | |
| 801 | NO52 | D | 5 | 深鉢 | | | | | 無文 | | | ナデ | | |
| 802 | NO48 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 803 | NO49 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 804 | NR50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 列点文 | | | | | |
| 805 | NR50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 刻目帯 | ＬＲ | 斜 | ミガキ | ススス | ススス |
| 806 | NO50 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 平行沈線 | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 807 | NR50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 口唇部に刺突列、無文＋縄文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 808 | NR49 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文(？)＋刻目帯＋列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 809 | NR50 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 刻目帯 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 810 | NQ50 | B | 5 | 深鉢 | | | | | 帯状入組文＋列点文 | Ｌ | 横 | ？ | ススス | ススス |
| 811 | NQ50 | A | 5 | 深鉢 | | | | | 平行沈線＋三叉状入組文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 812 | NR51 | D | 5 | 深鉢 | | | | | 帯状入組文 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 813 | NO50 | D | 5 | 深鉢 | | | | | | | | ナデ | ススス | |

**第135図　捨て場２　５層出土Ⅲ群土器(2)**



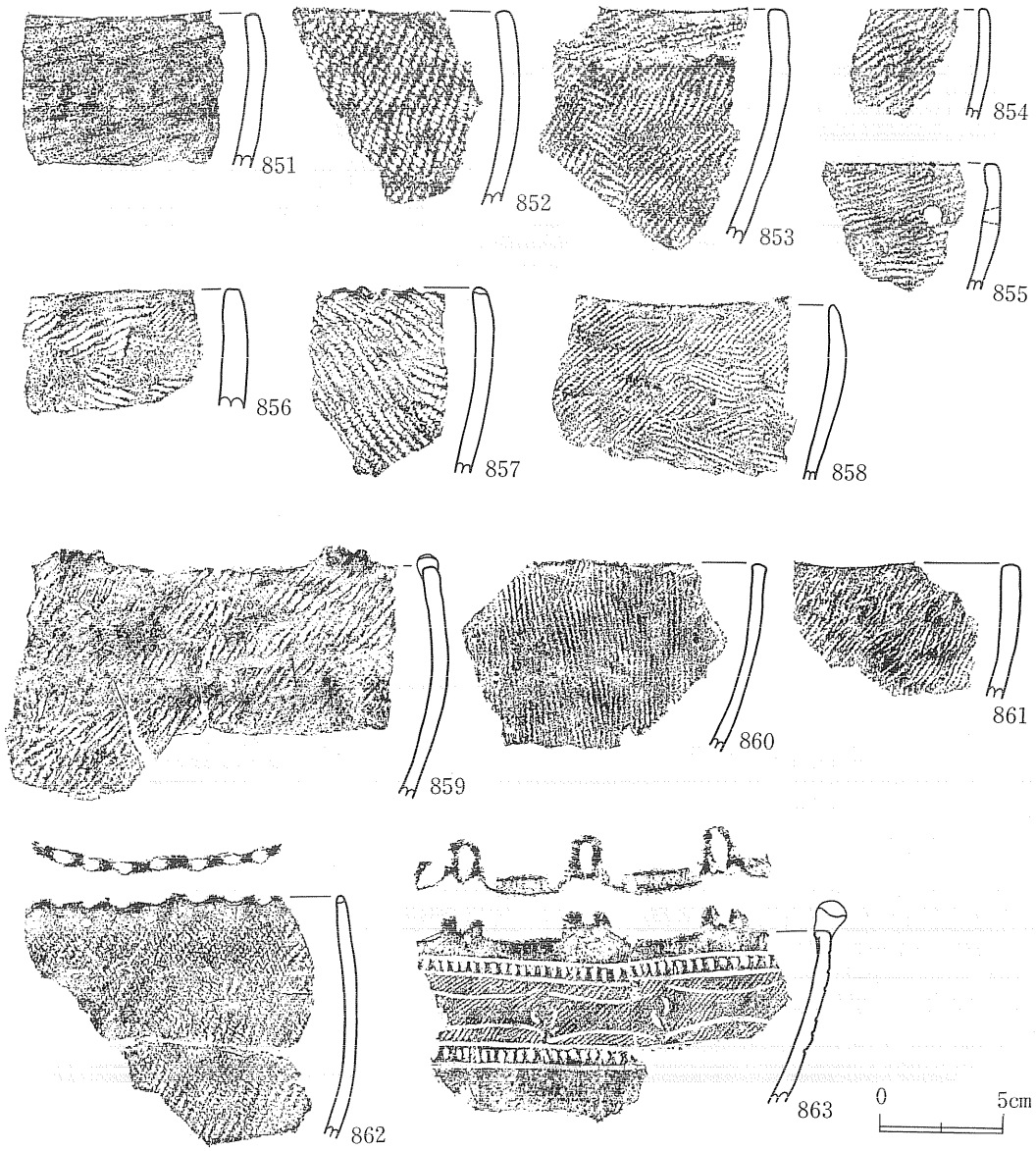

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 施文方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 814 | NP50 | B | 5 | 浅鉢 | | | | | 三叉状入組文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 815 | NR51 | A | 5 | 浅鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 816 | NO49 | A | 5 | 浅鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 817 | NO49 | A | 5 | 浅鉢 | | | | | 平行沈線＋雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | 黒漆？ | 黒漆？ |
| 818 | NQ49 | B | 5 | 浅鉢 | | | | | | | | ミガキ | | |
| 819 | NN51 | A | 5 | 浅鉢 | | | | | | | | ナデ | | |
| 820 | NN49 | A | 5 | 浅鉢 | | | | | | | | ナデ | | |
| 821 | NO49 | D | 5 | 浅鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 822 | NR51 | D | 5 | 浅鉢 | | | | | 口唇部に刻目、平行沈線＋粘土粒貼付 | ＬＲ | 斜 | ミガキ | ススス | |
| 823 | NO49 | A | 5 | 浅鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ？ | ススス | |
| 824 | NR50 | B | 5 | 浅鉢 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | ？ | ススス | ススス |
| 825 | NM51 | B | 5 | 浅鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ？ | | |
| 826 | NR51 | D | 5 | 浅鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ？ | ススス | ススス |
| 827 | NR51 | D | 5 | 浅鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ？ | ススス | ススス |
| 828 | NR51 | D | 5 | 浅鉢 | | | | | 唐草風入組文＋平行沈線 | ＬＲ | 横 | ？ | ススス | ススス |
| 829 | NP51 | B | 5 | 浅鉢 | | | | | | | | ？ | | |
| 830 | NO50 | C | 5 | 浅鉢 | | | | | 刻目帯 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 831 | NR50 | B | 5 | 浅鉢 | | | | | 刻目帯 | | | ナデ | ススス | |

**第136図　捨て場２　５層出土Ⅲ群土器(3)**



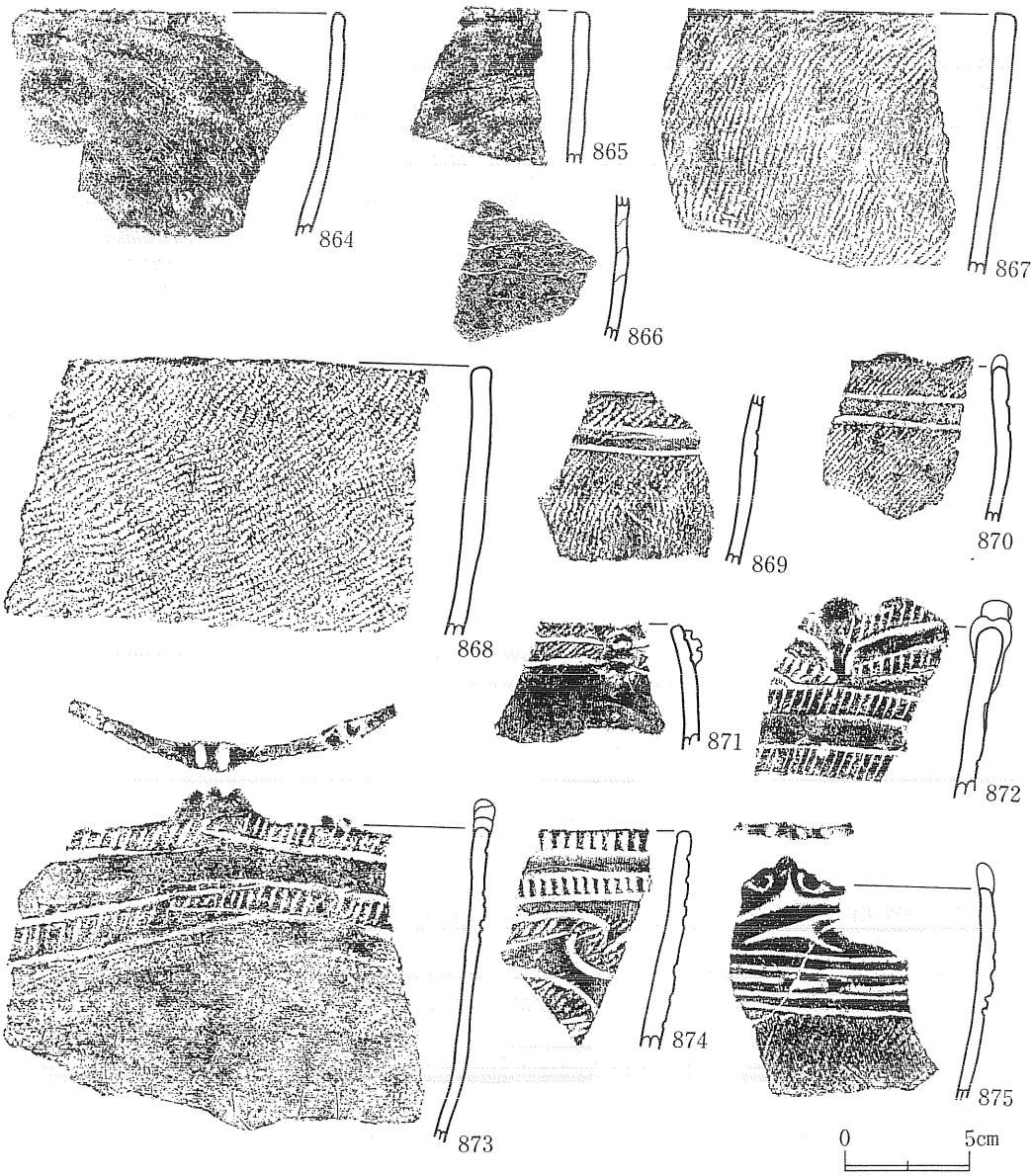

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 832 | NQ48 | D | 5 | 浅鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 833 | NO49 | A | 5 | 浅鉢 | | | | | 平行沈線 | ＬＲ | 横 | | ススス | ススス |
| 834 | NR50 | D | 5 | 壺・注口 | | | | | | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 835 | NR50 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | 羊歯状文 | | | ミガキ | 赤色彩 | |
| 836 | NM52 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | | | | ナデ | ススス | |
| 837 | NR50 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | 平行沈線間は無文 | ＬＲ | 縦 | ナデ | | |
| 838 | NO48 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | 刻目帯 | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 839 | NQ49 | D | 5 | 壺・注口 | | | | | | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 840 | | | 5 | 壺・注口 | | | | | 羊歯状文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 841 | NR51 | C | 5 | 壺・注口 | | | | | 平行沈線＋三叉状入組文 | | | | | |
| 842 | NN56 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | | ＬＲ? | 不整? | | | |
| 843 | NP50 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | | ＬＲ | 不整 | ナデ | | |
| 844 | NR50 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | | ＬＲ | 不整 | ミガキ | | |
| 845 | NO48 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | | ＬＲ | 横 | ナデ | | ススス |
| 846 | NP51 | B | 5 | 壺・注口 | | | | | | | | ミガキ | | |
| 847 | NR50 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | 口唇部は刻目、三叉状入組文 | | | ミガキ | | |
| 848 | NO49 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | ナデ | | | | | |
| 849 | NO48 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 850 | NO49 | A | 5 | 壺・注口 | | | | | ミガキ＋縄文 | ＬＲ | 横 | | | |

**第137図　捨て場２　５層出土Ⅲ群土器(4)**



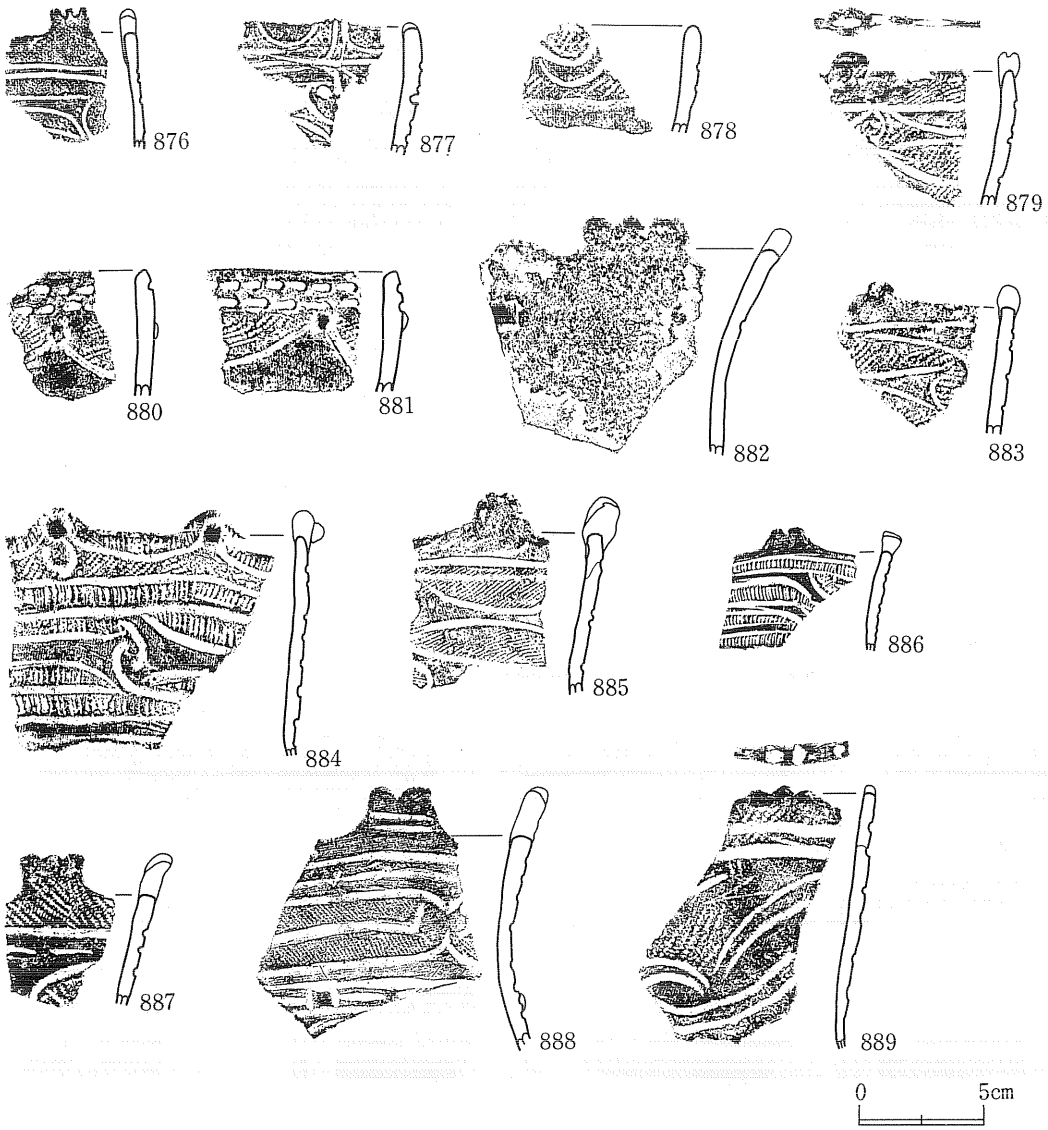

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 施方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 851 | NO48 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | スス | |
| 852 | NO47 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | スス | |
| 853 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | スス | |
| 854 | NP47 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | スス | |
| 855 | NP47 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | スス | |
| 856 | NO48 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | Ｌ | 横 | | | |
| 857 | NR47 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | | |
| 858 | NO48 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 不整 | ミガキ | | スス |
| 859 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 小波状口縁 | Ｌ | 横 | ナデ | スス | スス |
| 860 | NO47 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | | ＲＬ | 斜 | ナデ | スス | |
| 861 | NO48 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ナデ | | |
| 862 | NO48 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | 口唇部に刻目 | ＬＲ | 横 | ミガキ | スス | スス |
| 863 | NM47 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 小波状口縁、刻目帯間に三叉文風の沈線区画 | ＬＲ | 横 | ナデ | スス | スス |

**第138図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(1)**



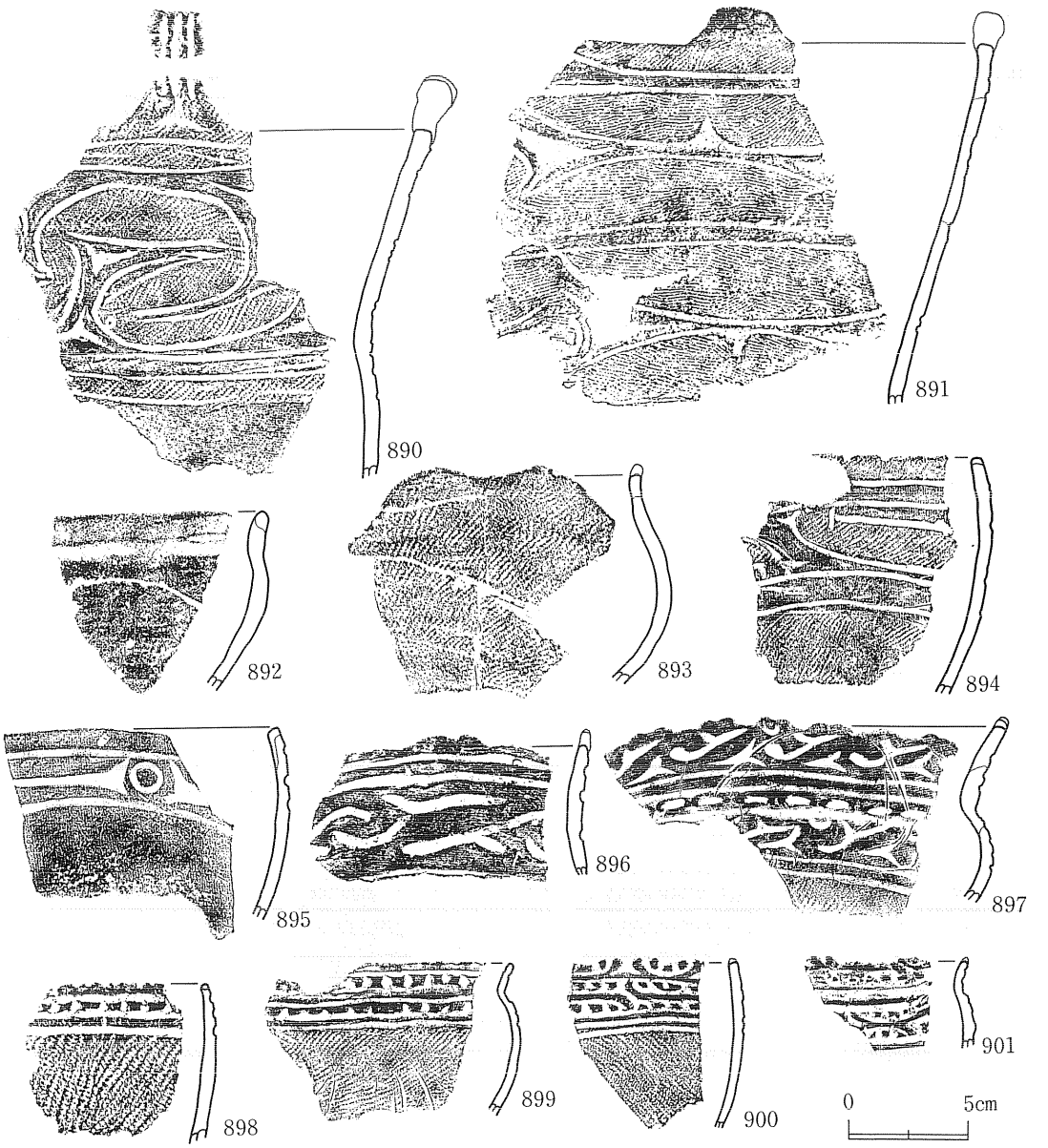

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 864 | NO48 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | ミガキ→ナデ | | | ミガキ | ススス | |
| 865 | NO48 | C | 6-a | 深鉢 | | | | | ミガキ→ナデ | | | | | |
| 866 | NP48 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | 粘土紐痕残る。製塩土器？ | | | ナデ | ススス | |
| 867 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | L | 横 | ナデ | | |
| 868 | NO48 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | 縄文 | LR | 横 | | ススス | |
| 869 | NO47 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 平行沈線＋縄文 | L | 横 | ナデ | | |
| 870 | NO48 | C | 6-a | 深鉢 | | | | | 平行沈線＋縄文 | LR | 横 | ？ | ススス | ススス |
| 871 | NP48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 平行沈線＋無文 | LR | 横 | | ススス | |
| 872 | NO48 | C | 6-a | 深鉢 | | | | | 刻目＋無文のくり返し | | | ナデ | ススス | |
| 873 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 刻目帯＋無文のくり返し | | | ナデ | ススス | ススス |
| 874 | NO48 | C | 6-a | 深鉢 | | | | | 刻目＋入組帯状文 | L | 横 | | ススス | |
| 875 | NQ47 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | 三叉状入組文 | L | 横 | | ススス | ススス |

**第139図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(2)**



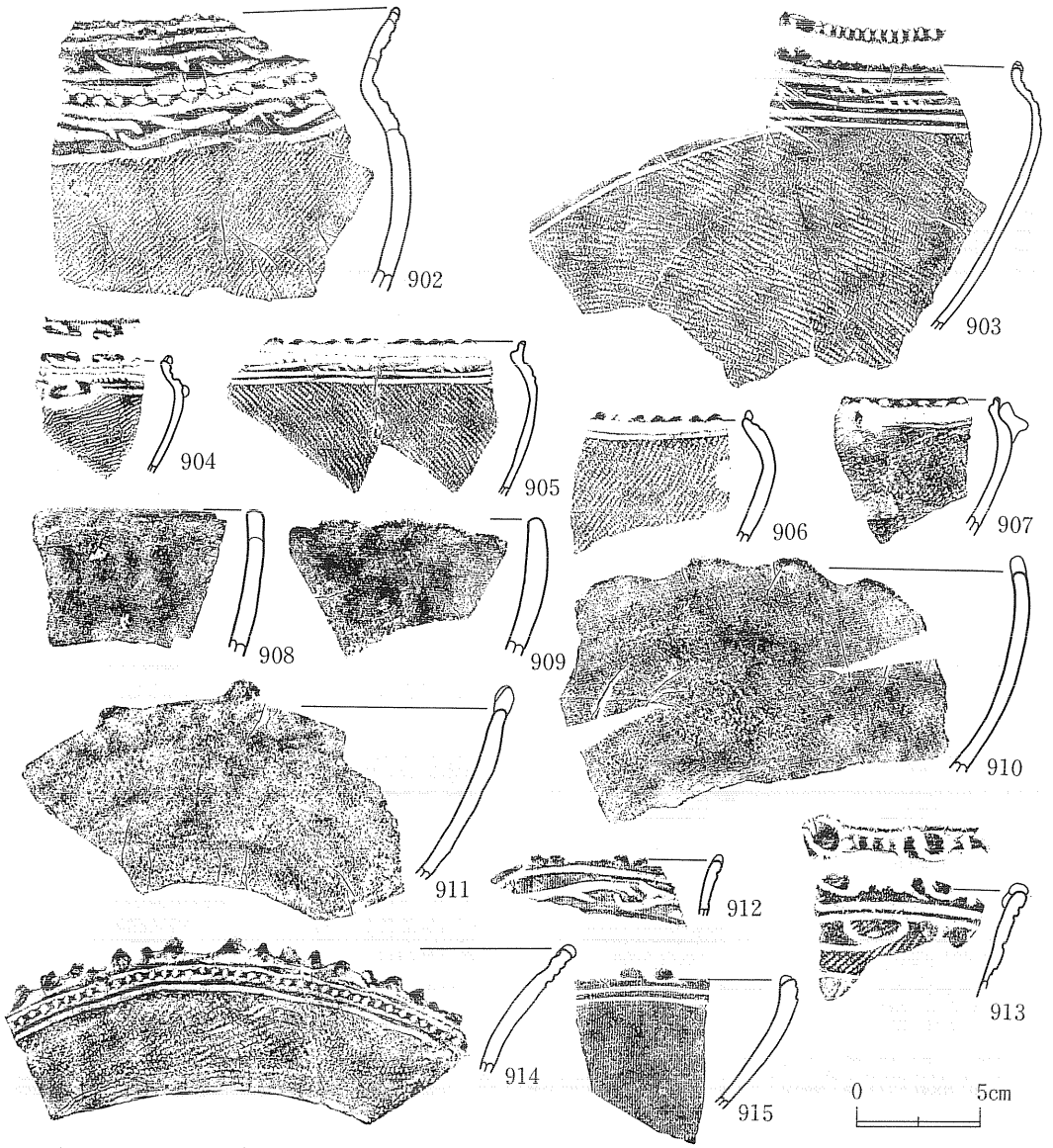

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 876 | NO47 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 平行沈線＋三叉状入組文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 877 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 平行沈線＋三叉状入組文 | | | ミガキ | ススス | |
| 878 | NK47 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | | ? | ? | ナデ | ススス | |
| 879 | NP47 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ナデ | ススス | |
| 880 | NP48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | | ススス | |
| 881 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | | ススス | |
| 882 | NO48 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 外面にススが厚さ３ミリほど付着 | ? | ? | ミガキ | ススス | ススス |
| 883 | NO48 | C | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | ＬＲ | 横 | ? | ススス | |
| 884 | NQ48 | B | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 885 | NK47 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | Ｌ | 横 | ナデ | | |
| 886 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | | | ミガキ | ススス | ススス |
| 887 | NP48 | A | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | ＲＬ | 横 | | ススス | ススス |
| 888 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 889 | NO48 | D | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | Ｒ？ | 横？ | ミガキ | ススス | |

**第140図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(3)**



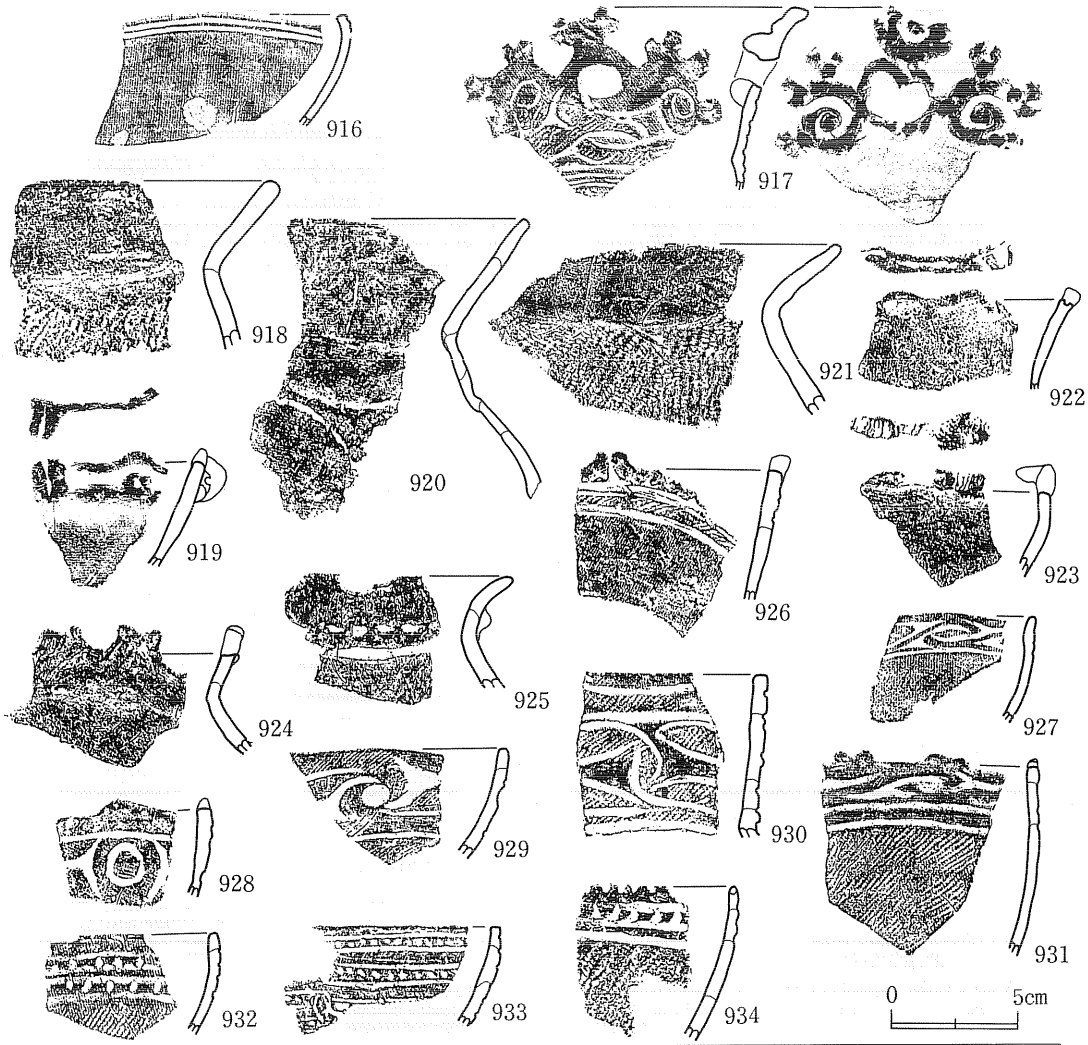

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 890 | NO48 | － | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | ＬＲ | 不整 | ミガキ | ススス | ススス |
| 891 | NO48 | － | 6-a | 深鉢 | | | | | 入組帯状文 | ＬＲ | 不整 | ナデ | ススス | 赤色塗彩 |
| 892 | NP48 | Ｄ | 6-a | 鉢 | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 893 | NO48 | Ｂ | 6-a | 鉢 | | | | | 縄文 | ＬＲ | 横 | | | |
| 894 | NP48 | Ｄ | 6-a | 鉢 | | | | | 入組帯状文 | Ｌ | 横 | ミガキ | | ススス |
| 895 | NQ48 | Ｄ | 6-a | 鉢 | | | | | 玉抱き三叉文 | | | ミガキ | | |
| 896 | NQ47 | Ｄ | 6-a | 鉢 | | | | | 平行沈線＋三叉状入組文 | | | ミガキ | ススス | ススス |
| 897 | ND48 | Ａ | 6-a | 鉢 | | | | | 平行沈線 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 898 | NP43 | Ａ | 6-a | 鉢 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | | ススス | ススス |
| 899 | NP48 | Ｄ | 6-a | 鉢 | | | | | 列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 900 | NO | | 6-a | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 901 | NP47 | Ａ | 6-a | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | | | ？ | ススス | ススス |

**第141図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(4)**



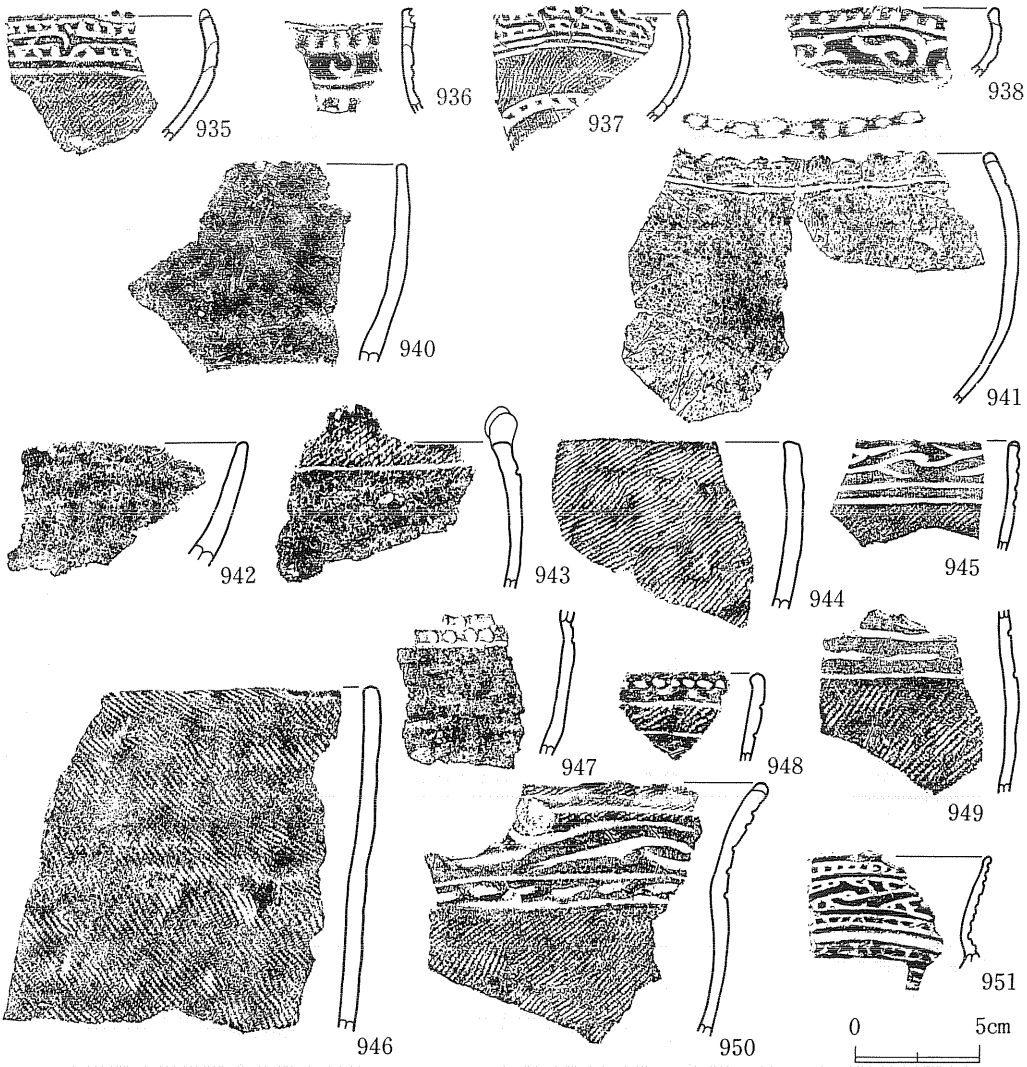

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 902 | NO47 | A | 6-c | 鉢 | | | | | 平行沈線＋三叉状入組＋列点文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | |
| 903 | NP48 | D | 6-a | 鉢 | | | | | 口唇部は刻目、羊歯状文 | ＲＬ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 904 | NP47 | A | 6-a | 鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 905 | NP47 | B | 6-a | 鉢 | | | | | 羊歯状文 | ＲＬ | 横 | ？ | ススス | ススス |
| 906 | NO47 | D | 6-a | 鉢 | | | | | | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 907 | NO48 | A | 6-a | 鉢 | | | | | | ？ | ？ | ミガキ | ススス | |
| 908 | NO | | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 909 | NO | | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ミガキ、小波状口縁 | | | ミガキ | | |
| 910 | NQ48 | D | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ミガキ、小波状口縁 | | | ミガキ | ススス | |
| 911 | NM47 | D | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | ミガキ、小波状口縁 | | | ナデ | | |
| 912 | NP47 | A | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 三叉状入組文 | | | ミガキ | | |
| 913 | NP48 | A | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 「B」突起、雲形文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 914 | NP48 | A | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 刻目列、小波状口縁 | ＲＬ | 不整 | ミガキ | | |
| 915 | NO48 | A | 6-a | 浅鉢・Ⅲ | | | | | 「B」突起、平行沈線＋ミガキ | | | ミガキ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |

第142図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(5)




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 916 | NK47 | D | 6-a | 浅鉢・皿 | | | | | 平行沈線＋ミガキ | | | ナデ | 赤色塗彩 | 赤色塗彩 |
| 917 | NP48 | D | 6-a | 浅鉢・皿 | | | | | 把手(？)、透し(円孔)、三叉状彫去、三叉文 | L | 横 | ミガキ | | |
| 918 | NO48 | C | 6-a | 壺・注口 | | | | | ナデ＋縄文 | L | 横 | ナデ | | |
| 919 | NO48 | | 6-a | 壺・注口 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 920 | NO47 | B | 6-a | 壺・注口 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 921 | NO47 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | ナデ＋縄文 | LR | 横 | | | |
| 922 | NO48 | B | 6-a | 壺・注口 | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 923 | ND48 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 924 | NM47 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | ミガキ | | | ナデ | | |
| 925 | NO47 | B | 6-a | 壺・注口 | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 926 | NO48 | B | 6-a | 壺・注口 | | | | | ミガキ | | | ミガキ | | |
| 927 | NO48 | C | 6-a | 壺・注口 | | | | | 三叉文＋縄文 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 928 | NP48 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | 三叉文 | | | | ススス | |
| 929 | NP48 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | 三叉文 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 930 | NO48 | C | 6-a | 壺・注口 | | | | | 入組帯状文、下端にアスファルト付着 | LR | 横 | | ススス | |
| 931 | NQ47 | A | 6-a | 壺・注口 | | | | | 玉抱き三叉文(？) | LR | 横 | ミガキ | ススス | ススス |
| 932 | NK47 | B | 6-a | 壺・注口 | | | | | 列点文 | LR | 横 | ミガキ | | |
| 933 | NO48 | C | 6-a | 壺・注口 | | | | | 列点文 | | | ナデ | | |
| 934 | NP47 | A | 6-b | 壺・注口 | | | | | 列点文 | LR | 横 | ナデ | ススス | ススス |

**第143図　捨て場２　６-a層出土Ⅲ群土器(6)**




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 口径 | 底径 | 器高 | 文　　様 | 縄文原体 | 回転方向 | 内面の調整 | 付着物(外) | 付着物(内) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 935 | NP48 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | 「B」突起、羊歯状文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 936 | NP48 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | 「B」突起、羊歯状文 | | | ナデ | | |
| 937 | NP47 | A | 6-a | 壺・注口 | | | | | 「B」突起、羊歯状文＋平行沈線＋縄文＋刻目 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 938 | NO | | 6-a | 壺・注口 | | | | | 入組三叉文 | | | ミガキ | | |
| 940 | NM48 | D | 6-c | 鉢 | | | | | ナデ | | | ナデ | ススー | |
| 941 | NM47 | D | 6-a | 鉢 | | | | | 口縁部に刻み、ナデ＋沈線 | | | ナデ | | |
| 942 | NM48 | D | 6-c | 壺・注口 | | | | | ナデ | | | ナデ | | |
| 943 | NM48 | D | 6-c | 深鉢 | | | | | 山形突起に刻み、縄文＋沈線＋ミガキ | Ｌ | 横 | ナデ | | ススー |
| 944 | NM48 | D | 6-c | 鉢？ | | | | | 縄文 | Ｌ | 横 | ミガキ | ススー | |
| 945 | NM48 | D | 6-a | 壺・注口 | | | | | 三叉状入組文＋平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススー | ススー |
| 946 | NM48 | D | 6-c | 深鉢 | | | | | 縄文 | ＲＬ | 横 | ナデ | ススー | |
| 947 | NM48 | D | 6-c | 深鉢 | | | | | 列点文＋ナデ | | | ナデ | | |
| 948 | NM48 | D | 6-c | 鉢？ | | | | | 列点文＋平行沈線＋縄文 | Ｌ | 横 | | | |
| 949 | NM48 | D | 6-c | 鉢？ | | | | | 平行沈線＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | | |
| 950 | NM48 | D | 6-c | 深鉢 | | | | | 波状口縁、平行沈線＋三叉状入組文＋縄文 | ＬＲ | 横 | ミガキ | ススー | ススー |
| 951 | NM48 | D | 6-c | 深鉢 | | | | | 羊歯状文 | | | ミガキ | | |

**第144図　捨て場２　６-a(7)、６-ｃ層出土Ⅲ群土器**

ファルトで補修している。

523は台付鉢（Ｂ類）で、同一器形の土器はＳＫ63から、晩期初めの深鉢とともに、出土している。以上のように６－ａ層からは後期後半～晩期中葉までの土器が出土している。この他、土偶(1022・1026)・円盤状土製品(1032・1033)・腕輪(1051・1052)が出土している。

（２）石器

各層毎の器種別出土数は第４表に示した。調査区内から出土した石器類の39％（2,202点）がこの捨て場に集中する。

層別の出土数では、５層が最も多く、次いで４－ｃ層と４－ｂ層、さらに４－ａ層と続き、６－ｃ層はわずかに31点である。礫を除いた石器2,117点のうち46％は剥片で、石器と石核は1,146点である。

捨て場１と比べて、横型石匙、微小剥離痕のある剥片、２次加工のある剥片、剥片の比率は低く、凹石、石皿、岩版、円盤状石製品の比率が高い。また、出土量は少ないが、石錘、打製石斧、砥石、敲打痕のある礫などは捨て場１では出土せず、捨て場２でのみ出土している。すなわち、捨て場１出土石器は剥片石器、剥片が多く、捨て場２では、礫石器類が比較的多く出土したといえる。特に岩版や円盤状石製品がきわだって多い。このような、石器の出土状況は、２つの捨て場が形成されるに至る背景が異なることに由来するものと考えられる。

捨て場２の中でも器種別、層位別の出土状況には多少の偏りが認められる。以下に各層毎の石器の特徴と層別に比較した特徴を記す。

◎４－ａ層（第145図）

Ｓ74は錐部の先端が欠落している。表裏面ともにつまみ部から錐部までアスファルトが付着している。アスファルトの付着した石錐はこの１点のみである。

この層からは打製石斧、礫器、砥石、擦石が１点も出土せず捨て場２の他の層と異なる。石皿も４点で特に多いわけではない。Ｓ81は、盤状の大礫のごく一部のみを使用している。

Ｓ78は棒状の円礫の全面に縦方向の刻線がある。刻線礫は捨て場２ではこの１点のみ出土した。

◎４－ｃ層（第146～148図）

磨石、凹石、石皿、岩版、円盤状石製品の比率が高い。微小剥離痕のある剥片、剥片の比率は低い。この層は捨て場２の石器組成の特徴が顕著である。

石皿は14点出土したが、半数が明瞭な土手のあるａ類である。完形品はない。Ｓ90の表面中央部は、平滑に研磨されている。Ｓ92は表裏両面に凹部がある。Ｓ94は、主に側面にベンガラが付着している。ベンガラを磨りつぶす際に用いられたものであろう。岩版は、図示した４点が出土した。いずれも小片で、泥岩製である。Ｓ101は外形が三角形に近く、厚みがやや薄い。

捨て場１の５層出土の第99図Ｓ73よりも捨て場２の６－ａ層出土の第157図Ｓ162に近い形態である。

◎４－ｂ層（第149・150図）

５層とともに、捨て場２の各層の中では剥片石器、剥片の比率が比較的高い。石皿と円盤状石製品も多い。Ｓ105はつまみ部が長く、この部分にアスファルトが付着している。不定形石器はｆ類が最も多い。Ｓ107はｈ類で、表面右側にｃ類、末端側にｂ類の刃部が作出されている。磨製石斧は１点（Ｓ108）のみ出土した。刃部から基部まで縦に欠損部分がある。刃部も使用による剥離痕が著しい。Ｓ112は土手をつくり出さず、中央部のみが凹む形態で、４－ｃ層出土のＳ91などと同類である。Ｓ114は４－ｂ層から他の遺物と共に出土した。自然石であるが特異な形態で、他にこのような礫はなく、縄文時代の人々が採集し、使用したものと考えられるので遺物として掲載した。

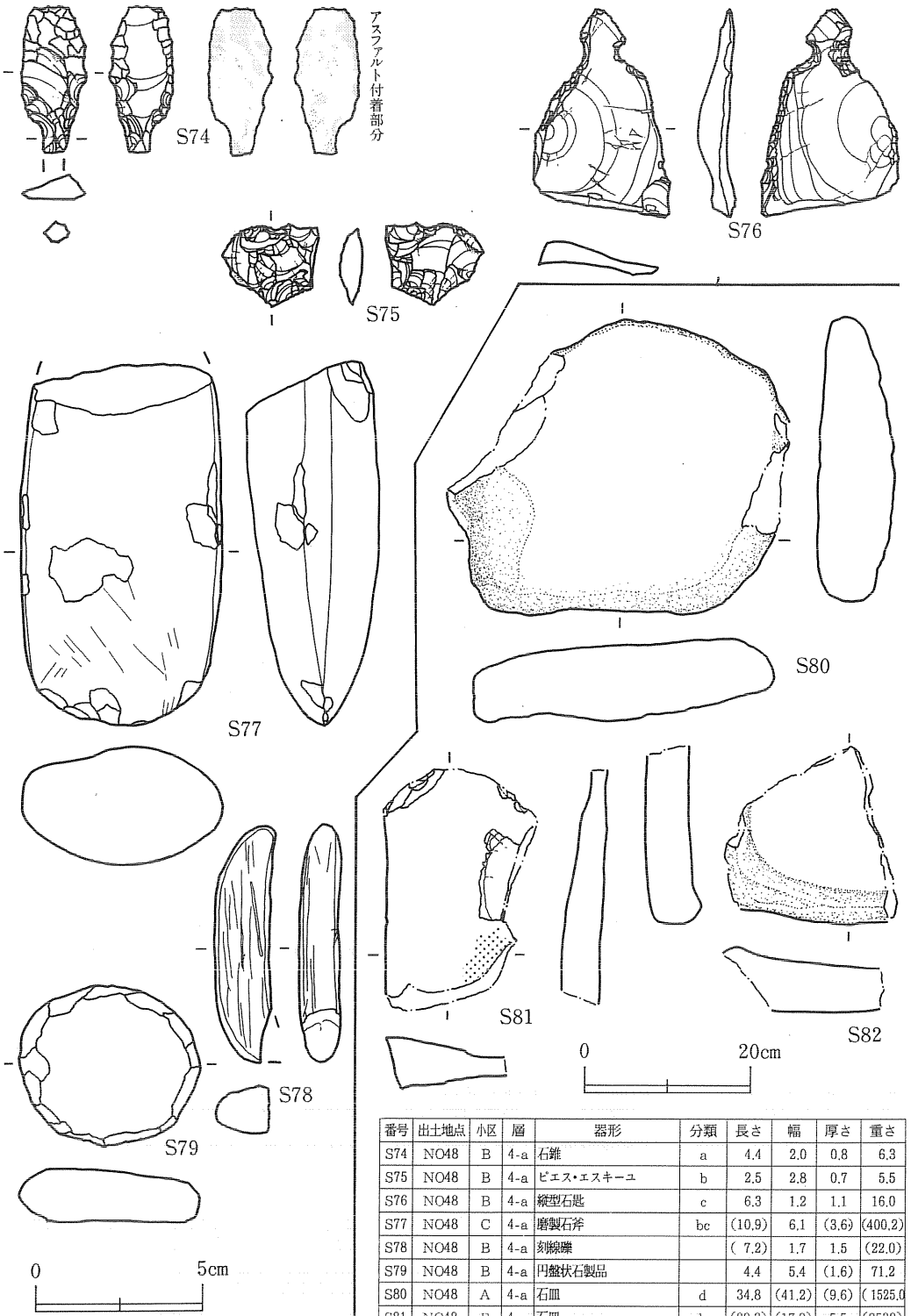
◎５層（第151～155図）

４－ｂ層と同様に剥片石器、剥片が捨て場２の中では比較的多く出土した。また、石皿、石剣、岩版、円盤状石製品も多く、特に岩版は、全出土数の半数が５層出土である。不定形石器は、ａ類とｆ類が多い。Ｓ120は図の下側に、Ｓ122は上側に刃部がある。他の側縁にも二次加工が施されている。Ｓ131はバチ形の打製石斧で、基部のくびれ部は両側とも磨滅している。柄に装着して使用したものであろう。Ｓ133は大型の石皿で本来は土手が全周するものであろう。裏面の一部も整形のためか平滑に磨られている。岩版はＳ141が砂岩製の他はすべて軟質の泥岩製である。Ｓ141、Ｓ142、Ｓ143は完形である。Ｓ144、Ｓ145、Ｓ146は同一個体と思われるが、接合しない。Ｓ141は側面を面取りし、楕円形に仕上げられている。表裏両面とも刻線のみである。Ｓ143は左右非対称で、下部になるほど厚く、出土した岩版の中では、特異である。Ｓ145の表面は上部の中心坑から垂下する中心線を軸として左右対称に渦巻文様が描かれていたものと推測される。Ｓ137、Ｓ139、Ｓ140も渦巻文が主モチーフと思われる。Ｓ147も表面は中心線を軸として左右対称に近い文様構成であるが、入組文の組み合わせ方向が左右とも同一で、完全な対称とはなっていない。裏面は中心を軸とする点対称の文様構成である。入組文、菱形文は晩期初頭の精製土器の文様と共通する。Ｓ136は、石英の自然礫である。４－ｂ層出土のＳ114と同様に特異な形態で、縄文時代の人々に採集されたものであろう。

◎６－ａ層（第156・157図）

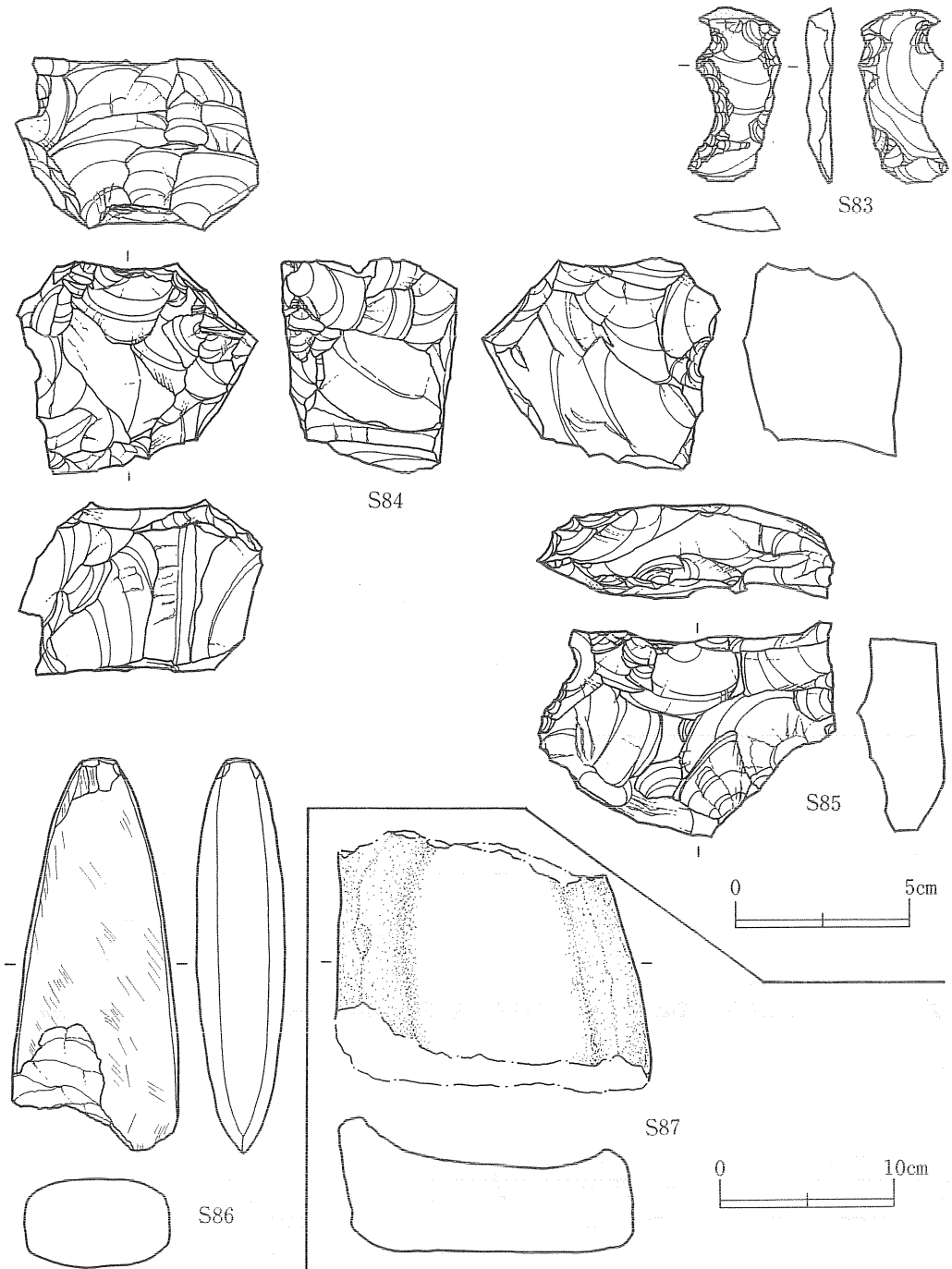
剥片石器、剥片が比較的少なく、磨石、凹石、円盤状石製品が多いのは、４－ｃ層とやや共通する。しかし、石皿は３点しか出土せず、４－ｃ層、４－ｂ層、５層とは大きく異なっている。岩版は２点とも刻線による文様がない。

Ｓ156は中高石皿である。周囲の土手は一部のみ残存し、それから推測すれば、上面は長さ



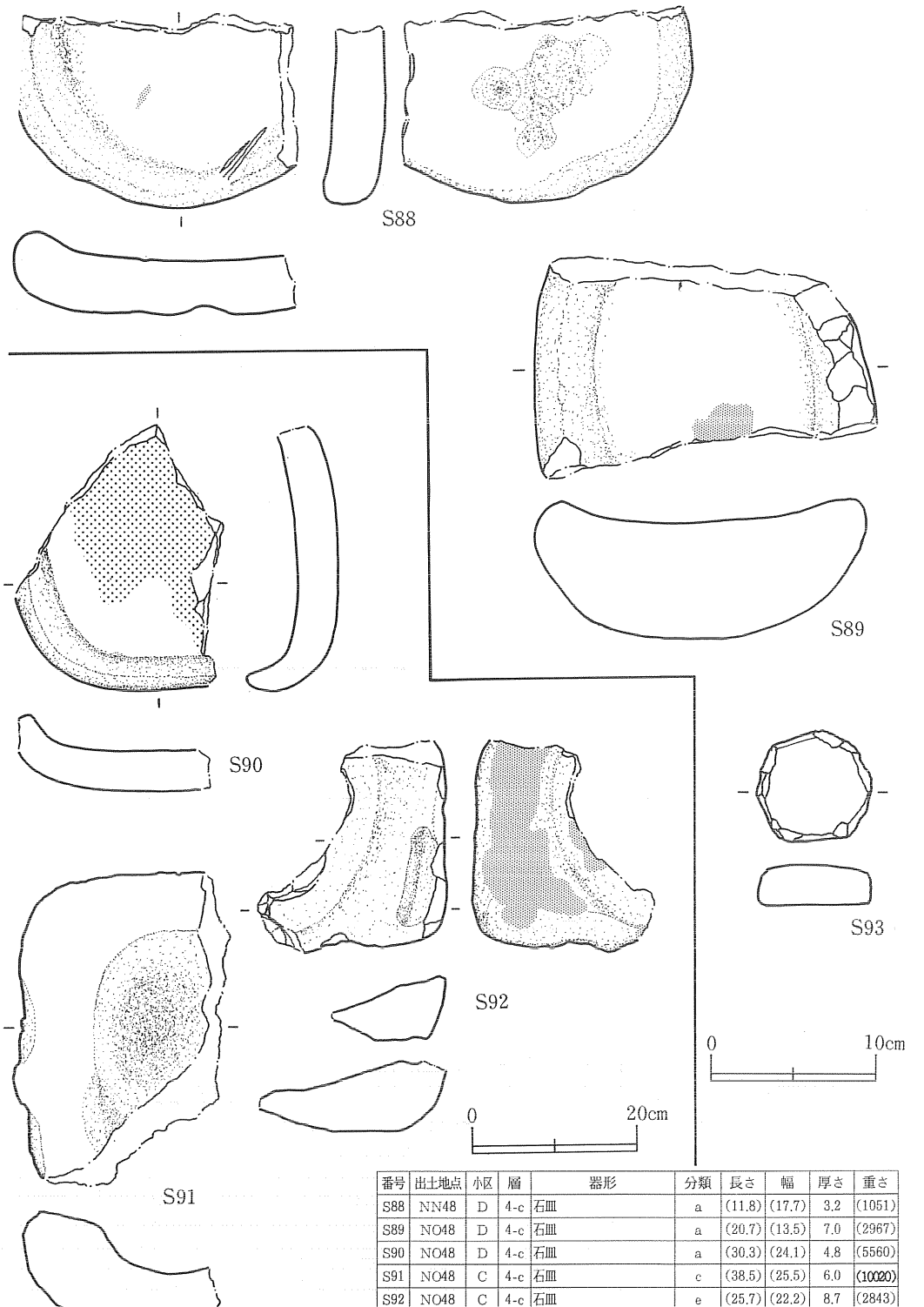

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S74 | NO48 | B | 4-a | 石錐 | a | 4.4 | 2.0 | 0.8 | 6.3 |
| S75 | NO48 | B | 4-a | ピエス・エスキーユ | b | 2.5 | 2.8 | 0.7 | 5.5 |
| S76 | NO48 | B | 4-a | 縦型石匙 | c | 6.3 | 1.2 | 1.1 | 16.0 |
| S77 | NO48 | C | 4-a | 磨製石斧 | bc | (10.9) | 6.1 | (3.6) | (400.2) |
| S78 | NO48 | B | 4-a | 刻線礫 | | ( 7.2) | 1.7 | 1.5 | (22.0) |
| S79 | NO48 | B | 4-a | 円盤状石製品 | | 4.4 | 5.4 | (1.6) | 71.2 |
| S80 | NO48 | A | 4-a | 石皿 | d | 34.8 | (41.2) | (9.6) | ( 1525.0 |
| S81 | NO48 | B | 4-a | 石皿 | b | (29.3) | (17.9) | 5.5 | (2538) |
| S82 | NP48 | B | 4-a | 石皿 | a | (20.2) | 21.5 | 7.8 | (3319) |

**第145図　捨て場２（４-a層）出土石器**



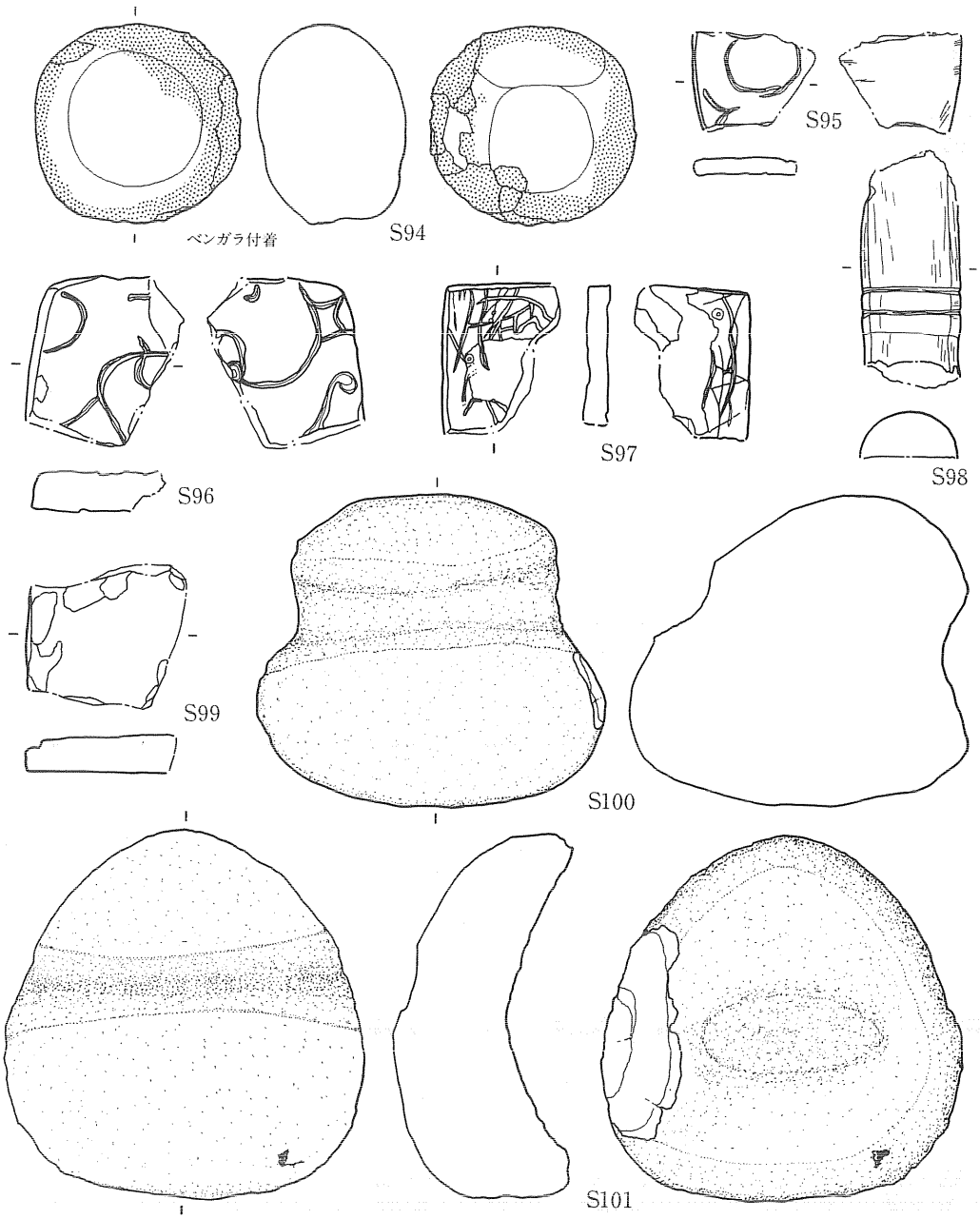

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S83 | NO48 | A | 4-c | 縦型石匙 | c | 5.0 | 2.7 | 0.8 | 9.1 |
| S84 | NO48 | D | 4-c | 石核 | R | 6.1 | 6.9 | 6.0 | 230.4 |
| S85 | NN48 | B | 4-c | 石核 | B-b | 8.5 | 6.2 | 2.7 | 135.2 |
| S86 | NP48 | C | 4-c | 磨製石斧 | abc | (11.3) | ( 4.8) | (2.5) | (204.0) |
| S87 | NO48 | C | 4-c | 石皿 | a | (14.4) | 18.0 | (4.9) | 2405 |

第146図　捨て場２（４-c層）出土石器(1)



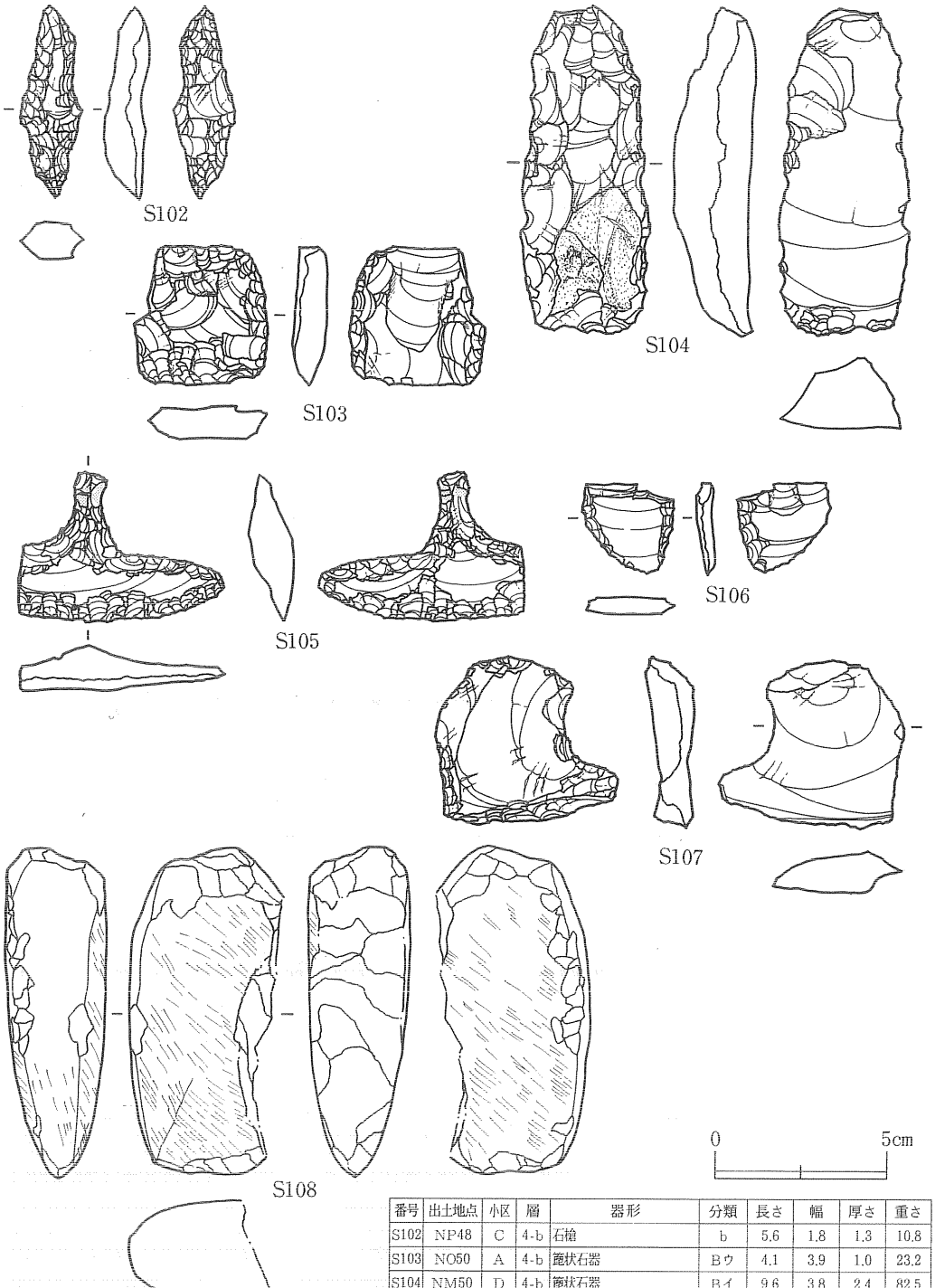

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S88 | NN48 | D | 4-c | 石皿 | a | (11.8) | (17.7) | 3.2 | (1051) |
| S89 | NO48 | D | 4-c | 石皿 | a | (20.7) | (13.5) | 7.0 | (2967) |
| S90 | NO48 | D | 4-c | 石皿 | a | (30.3) | (24.1) | 4.8 | (5560) |
| S91 | NO48 | C | 4-c | 石皿 | c | (38.5) | (25.5) | 6.0 | (10020) |
| S92 | NO48 | C | 4-c | 石皿 | e | (25.7) | (22.2) | 8.7 | (2843) |
| S93 | NO48 | C | 4-c | 円盤状石製品 | | 6.7 | 7.0 | (2.6) | 214.6 |

**第147図　捨て場２(４-c層)出土石器(2)**



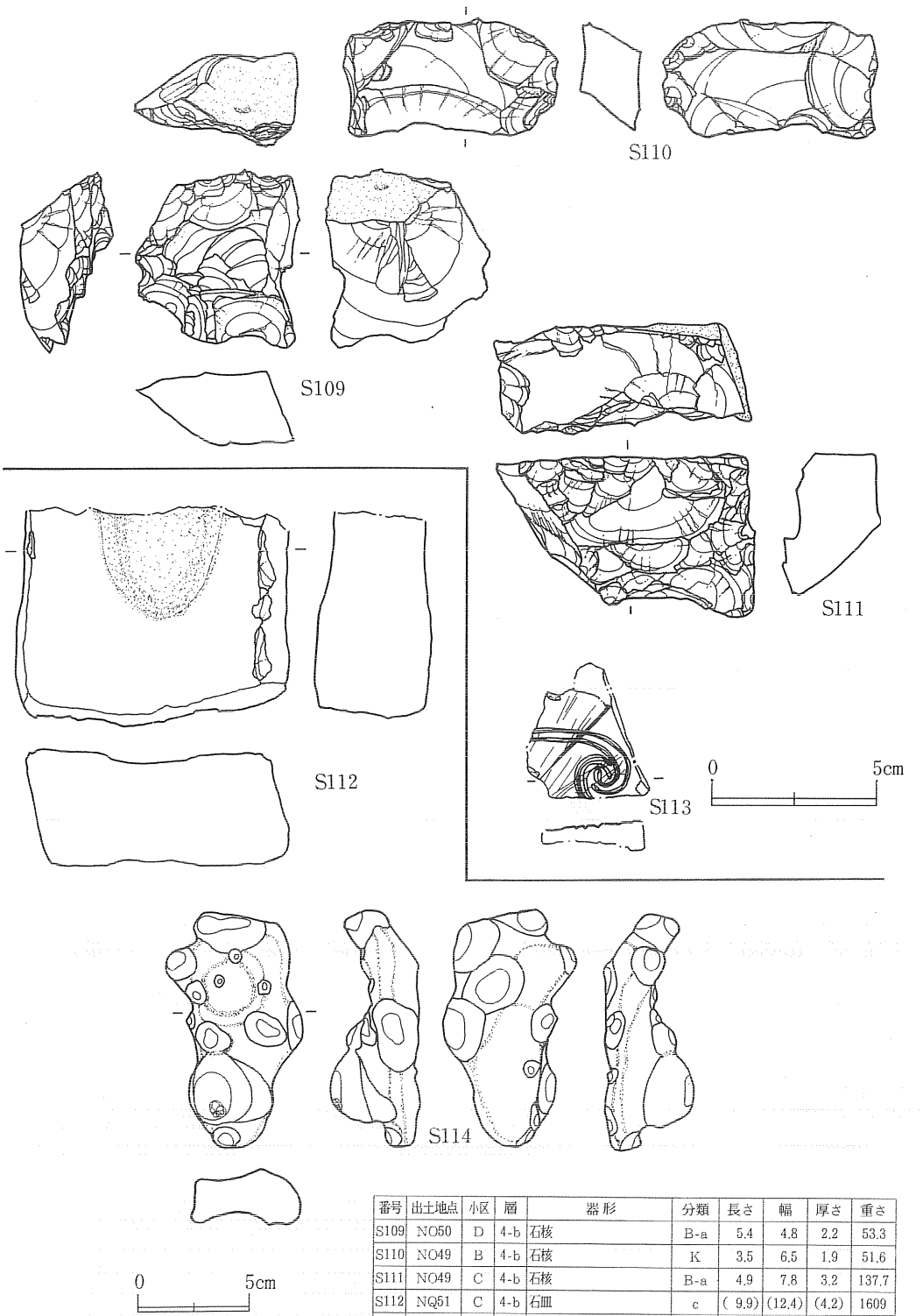

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S94 | NO48 | C | 4-c | 磨石 | | 5.5 | (5.7) | 4.1 | (197.1) |
| S95 | NO48 | D | 4-c | 岩版 | bア | ( 2.8) | (3.4) | (0.5) | ( 3.4) |
| S96 | NO48 | C | 4-c | 岩版 | aア | ( 5.2) | (4.4) | 1.1 | (15.6) |
| S97 | NN48 | A | 4-c | 岩版 | aア | 4.3 | (3.2) | 0.7 | ( 9.8) |
| S98 | NQ48 | | 4-c | 石剣 | | ( 6.6) | 2.9 | (1.3) | (33.7) |
| S99 | NO48 | D | 4-c | 岩版 | c | ( 4.1) | (4.5) | 1.1 | (21.5) |
| S100 | NP48 | C | 4-c | 石冠 | | 8.3 | 7.4 | 9.4 | 1040.1 |
| S101 | NP48 | | 4-c | 凹みのある石製品 | | 10.2 | 9.1 | 2.6 | 512.0 |

**第148図　捨て場２(４-c層)出土石器(3)**



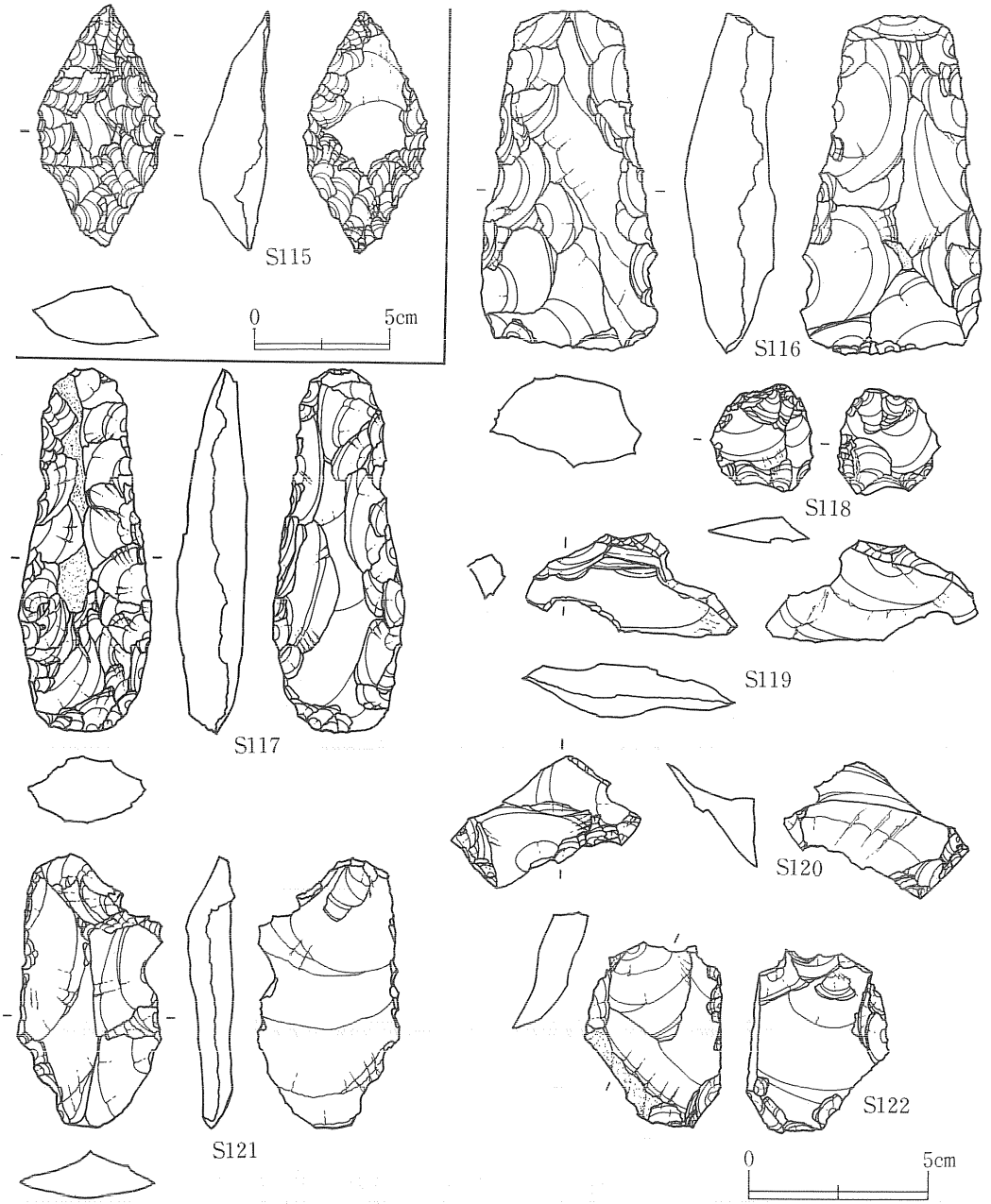

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S102 | NP48 | C | 4-b | 石槍 | b | 5.6 | 1.8 | 1.3 | 10.8 |
| S103 | NO50 | A | 4-b | 篦状石器 | Bウ | 4.1 | 3.9 | 1.0 | 23.2 |
| S104 | NM50 | D | 4-b | 篦状石器 | Bイ | 9.6 | 3.8 | 2.4 | 82.5 |
| S105 | NO49 | A | 4-b | 横型石匙 | | 4.4 | (5.9) | 1.3 | (18.0) |
| S106 | NO50 | C | 4-b | 不定形石器 | c | 2.6 | 2.7 | 0.5 | 3.0 |
| S107 | NO50 | D | 4-b | 不定形石器 | h(bc) | 5.0 | 5.4 | 1.5 | 27.6 |
| S108 | NO49 | D | 4-b | 磨製石斧 | abc | (9.7) | (4.5) | 3.0 | (207.2) |

第149図　捨て場２（４-b層）出土石器(1)



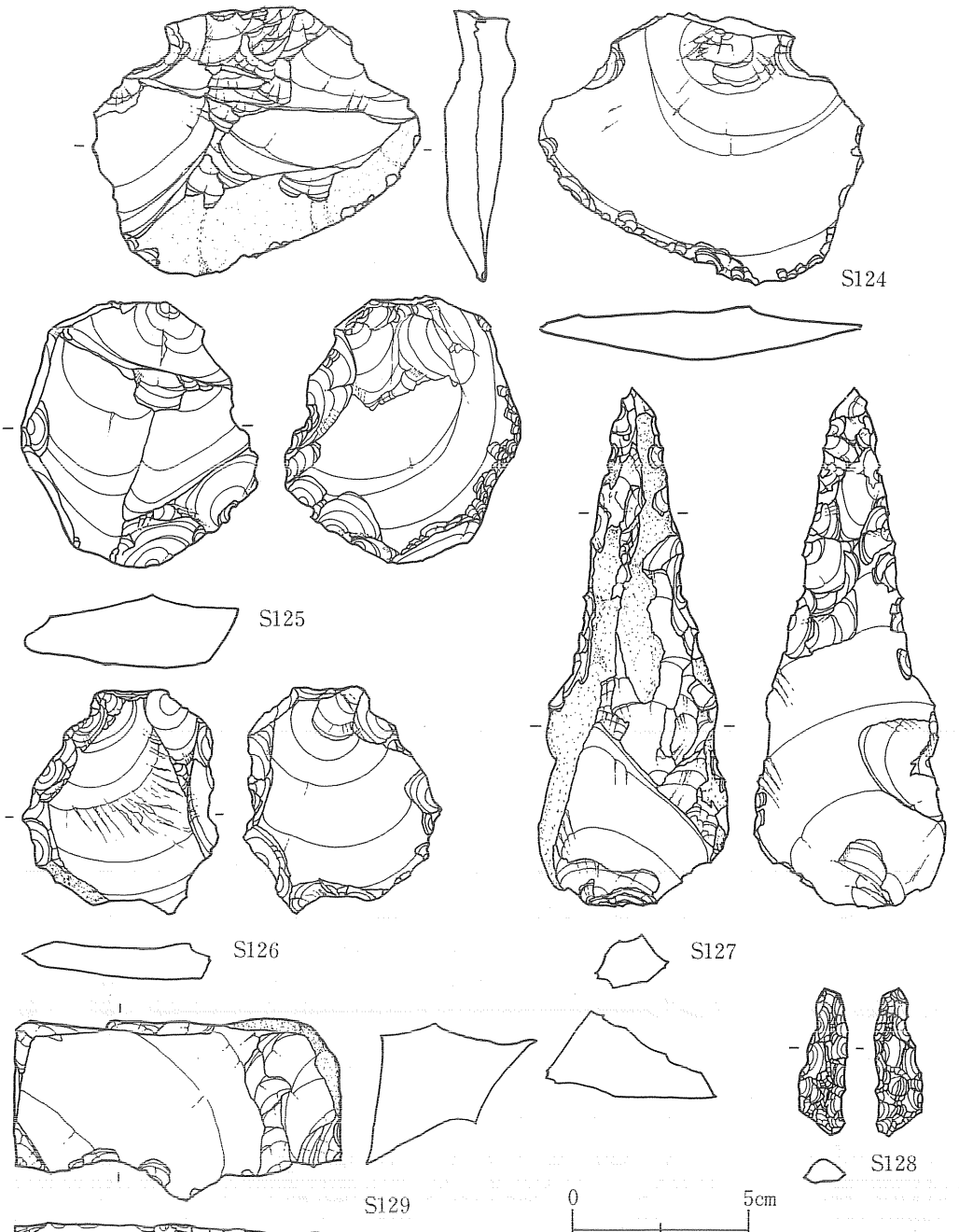

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S109 | NO50 | D | 4-b | 石核 | B-a | 5.4 | 4.8 | 2.2 | 53.3 |
| S110 | NO49 | B | 4-b | 石核 | K | 3.5 | 6.5 | 1.9 | 51.6 |
| S111 | NO49 | C | 4-b | 石核 | B-a | 4.9 | 7.8 | 3.2 | 137.7 |
| S112 | NQ51 | C | 4-b | 石皿 | c | ( 9.9) | (12.4) | (4.2) | 1609 |
| S113 | NQ50 | A | 4-b | 岩版 | | 4.1 | 3.7 | 0.9 | 6.6 |
| S114 | NP51 | D | 4-b | 有溜礫 | | 10.7 | 6.1 | 4.0 | 195.3 |

**第150図　捨て場２(４-b層)出土石器類(2)**



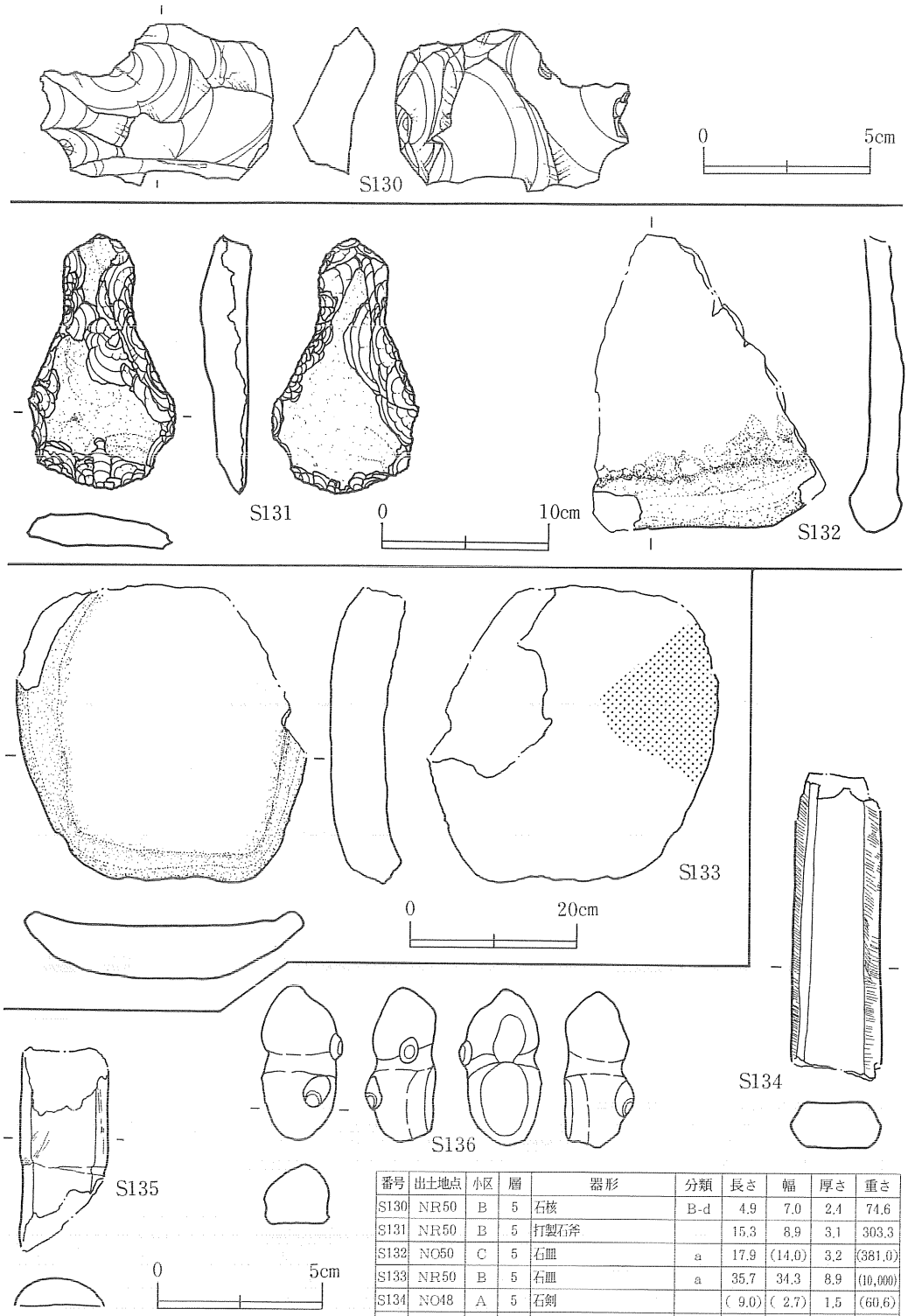

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S115 | NQ49 | A | 5 | 石鏃 | C | 4.5 | 2.4 | 1.3 | 9.8 |
| S116 | NN52 | B | 5 | 箆状石器 | Bイ | 9.5 | 15.0 | 2.6 | 108.9 |
| S117 | NO52 | D | 5 | 箆状石器 | Aイ | 10.2 | 3.7 | 1.8 | 67.3 |
| S118 | NN51 | C | 5 | ピエス・エスキーユ | a | 3.0 | 2.9 | 0.7 | 5.5 |
| S119 | NP51 | A | 5 | 不定形石器 | d | 2.8 | 5.9 | 1.5 | 15.5 |
| S120 | NP49 | B | 5 | 不定形石器 | f | 3.2 | 5.2 | 2.6 | 18.4 |
| S121 | NN52 | C | 5 | 微小剥離痕のある剥片 | | 7.6 | 4.0 | 1.7 | 39.5 |
| S122 | NO49 | D | 5 | 不定形石器 | f | 5.1 | 3.9 | 1.1 | 24.9 |
| S123 | NF52 | A | 5 | 微小剥離痕のある剥片 | | 3.7 | 3.1 | 0.6 | 5.0 |

第151図　捨て場２（５層）出土石器(1)



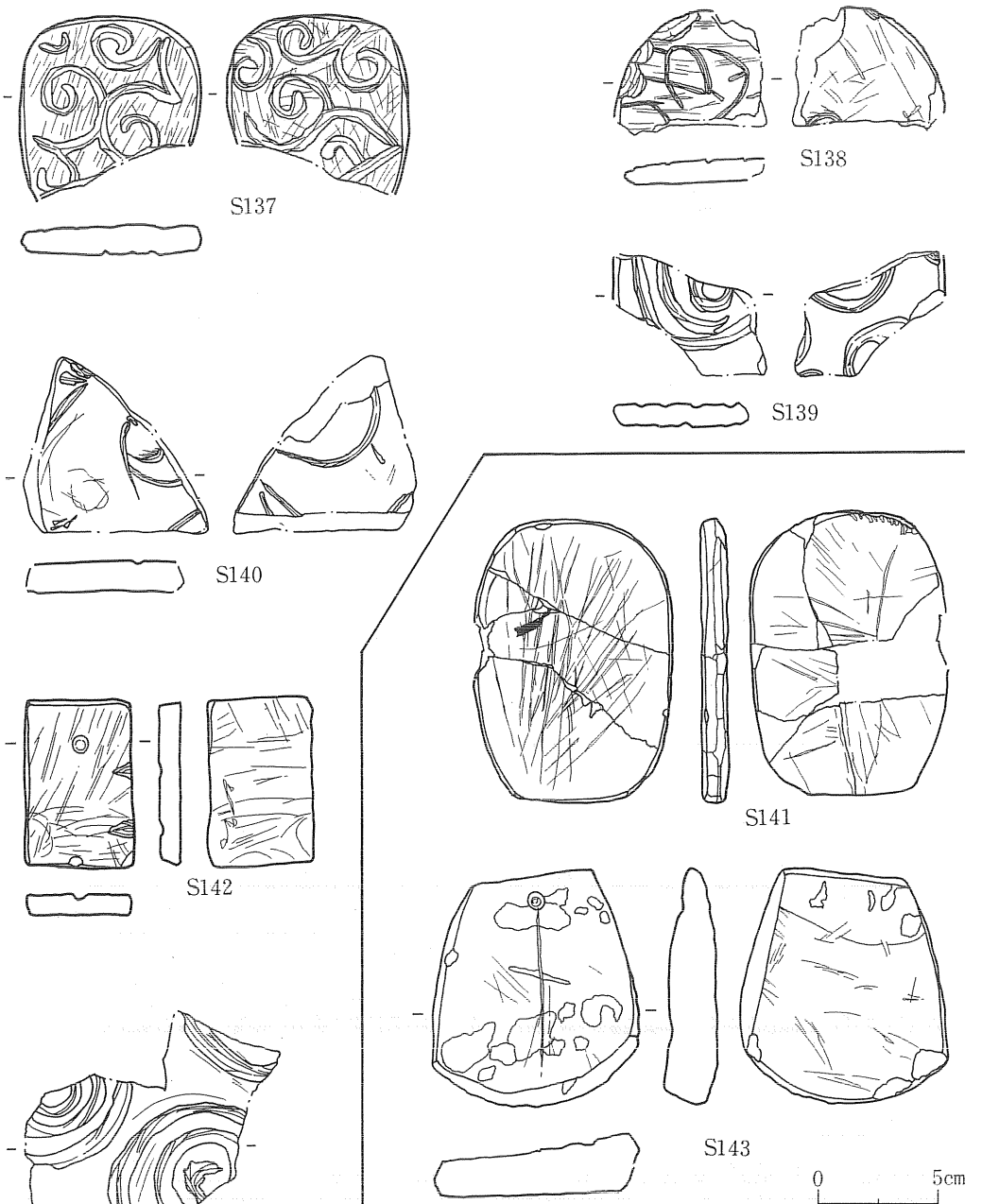

| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S124 | NO50 | A | 5 | 微小剥離痕のある剥片 | | 7.7 | 9.3 | 2.0 | 88.4 |
| S125 | NQ49 | C | 5 | 二次加工のある剥片 | g | 7.6 | 6.8 | 2.1 | 103.6 |
| S126 | NQ50 | C | 5 | 二次加工のある剥片 | f | 6.4 | 5.6 | 1.1 | 43.9 |
| S127 | NO51 | B | 5 | 二次加工のある剥片 | c | 14.8 | 5.5 | 2.8 | 131.7 |
| S128 | NR51 | D | 5 | 二次加工のある剥片 | c | 4.2 | 1.4 | 1.7 | 4.4 |
| S129 | NQ49 | C | 5 | 石核 | S-b | 9.3 | 5.1 | 4.1 | 229.1 |

第152図　捨て場２（５層）出土石器(2)




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S130 | NR50 | B | 5 | 石核 | B-d | 4.9 | 7.0 | 2.4 | 74.6 |
| S131 | NR50 | B | 5 | 打製石斧 | | 15.3 | 8.9 | 3.1 | 303.3 |
| S132 | NO50 | C | 5 | 石皿 | a | 17.9 | (14.0) | 3.2 | (381.0) |
| S133 | NR50 | B | 5 | 石皿 | a | 35.7 | 34.3 | 8.9 | (10,000) |
| S134 | NO48 | A | 5 | 石剣 | | ( 9.0) | ( 2.7) | 1.5 | (60.6) |
| S135 | NR51 | C | 5 | 石剣 | | ( 6.2) | ( 2.7) | (0.9) | (13.6) |
| S136 | NO49 | A | 5 | 有溝礫 | | 4.7 | 2.4 | 1.8 | 30.9 |

第153図　捨て場２（５層）出土石器類(3)




| 番号 | 出土地点 | 小区 | 層 | 器形 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S137 | NR50 | B | 5 | 岩版 | aア | ( 5.1) | 5.1 | 0.9 | (14.2) |
| S138 | NR50 | A | 5 | 岩版 | aア | ( 3.5) | (4.3) | (0.7) | ( 9.3) |
| S139 | NQ49 | C | 5 | 岩版 | aア | ( 3.5) | (4.3) | 0.7 | ( 6.0) |
| S140 | NO49 | A | 5 | 岩版 | aア | ( 5.5) | (5.2) | (0.9) | (12.8) |
| S141 | NQ48 | A | 5 | 岩版 | aカ | 11.8 | 8.3 | 1.2 | (117.0) |
| S142 | NR49 | B | 5 | 岩版 | bオ | 4.7 | 3.0 | 0.6 | 10.5 |
| S143 | NR50 | B | 5 | 岩版 | bエ | 9.9 | 8.7 | 2.2 | 174.0 |
| S144 | NR50 | B | 5 | 岩版 | aイ | ( 6.3) | (7.2) | (0.7) | (15.7) |

第154図　捨て場２(５層)出土石器(4)